

S4で叶える。
地方創生と
新しい学びのカたち

プレゼンター：渋谷駿伍

高校生から始める。
「地方創生」

S4

長野県高校生グループ

ひとり15秒。S4メンバーで、

自己紹介をします！

Let`s GO!!

高校生から始める。
「地方創生」

S4

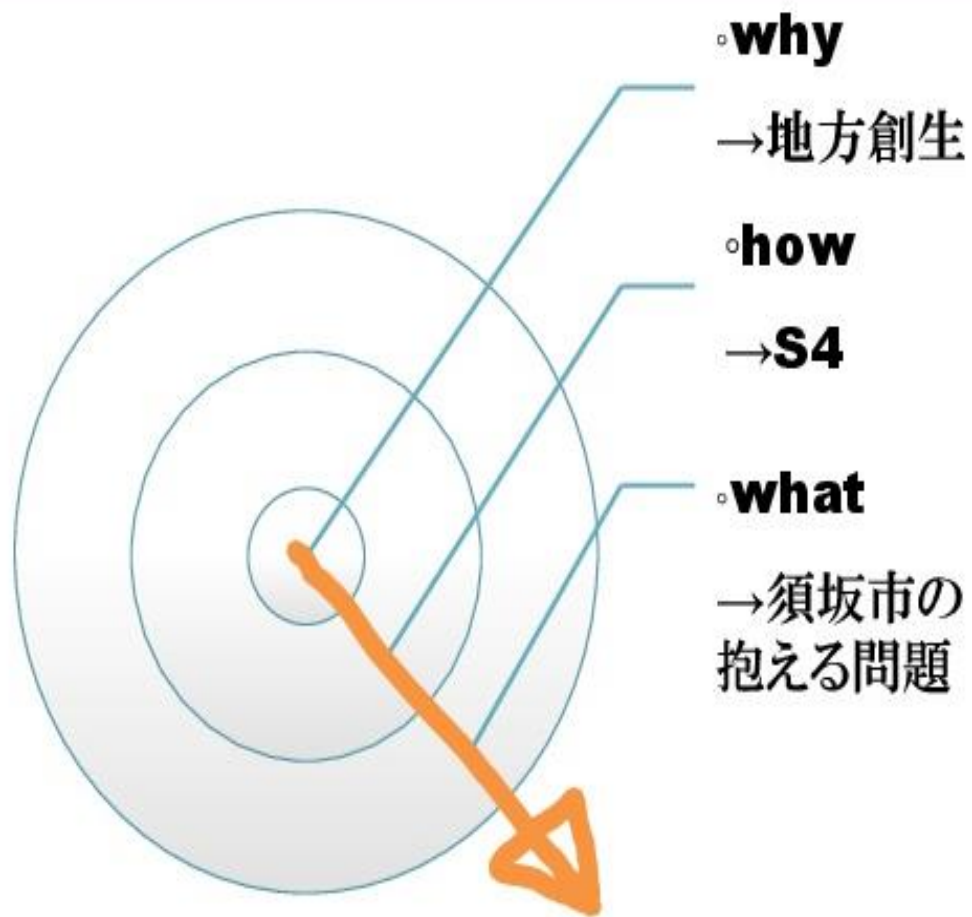
長野県高校生**グループ**

S4 の理念

イノベーションの法則である

「ゴールデンサークル」で

ブレない理念を持つ。



若者が考え、動き、変えてゆく。そんな未来を実現するため、この活動母体を創りました。

要するに、なにがしたい？？

高校生から始める地方創生によって、日本が直面する二つの問題を同時に解決するものです。

ひとつは、地方衰退。もうひとつは、若者の求められる能力が変わってきていること。

高校生から始める。「地方創生」

地方創生

- 新たな視点
- 大きなエネルギー

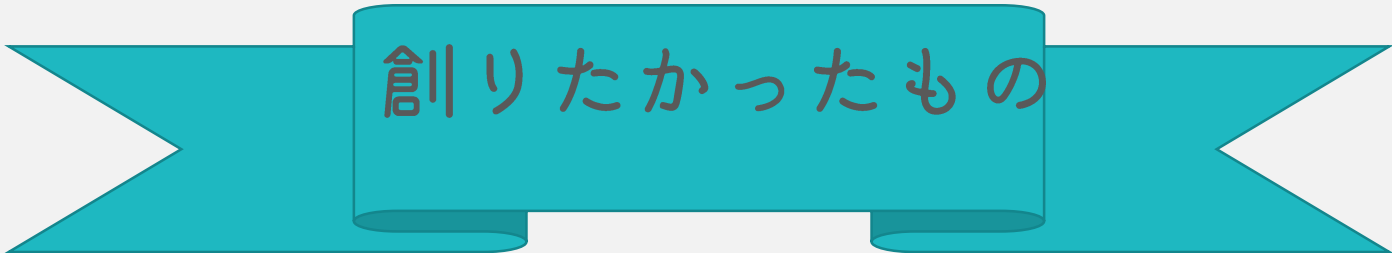
高校生

- アクティブ
ラーニング
- 新たな力を培う



どうして？ Why

ひとりの力ではどうしても解決できないこと。



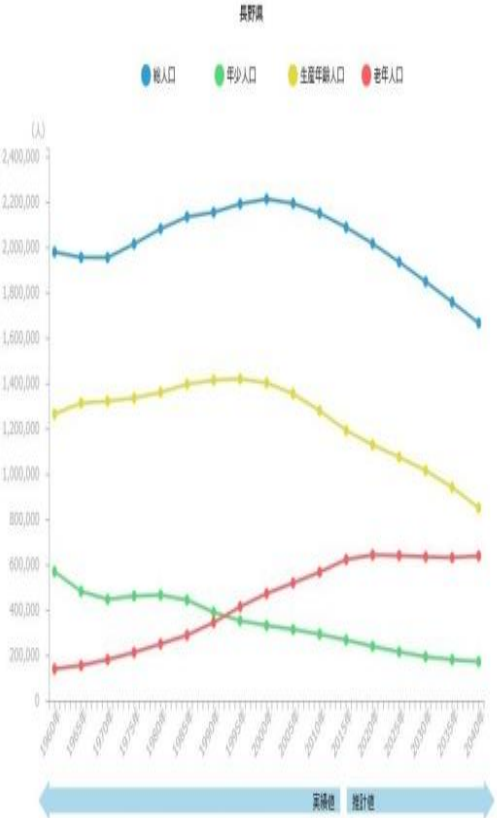
創りたかったもの

地域の問題を自分たち若者の力で解決していこうとする集団。

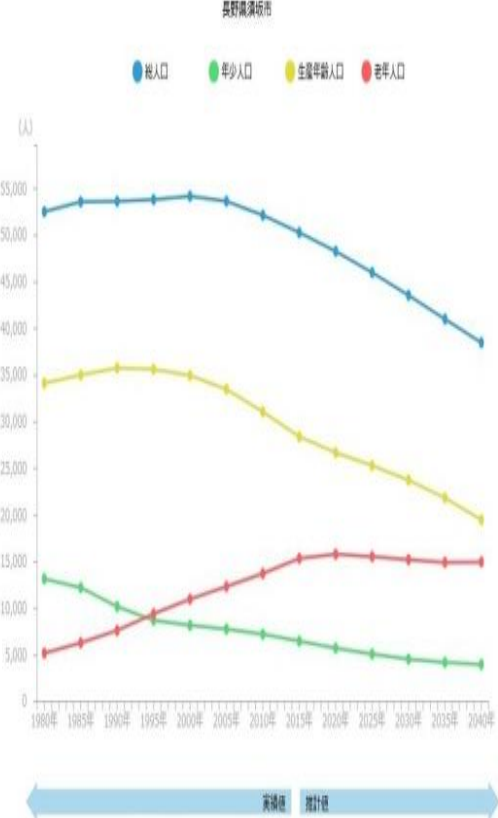
住むところは遠くても、根底には同じ想いを共有している仲間が隣にいる環境。

RESASで分析

◎長野県の人口推移(RESASより)



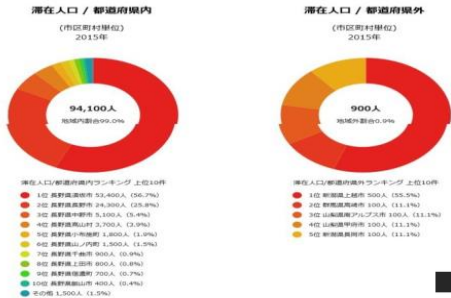
◎須坂市の人口推移(RESASより)



◎滞在人口 From-to 分析(RESASより)

長野県須坂市 平日
市区町村 → 市区町村

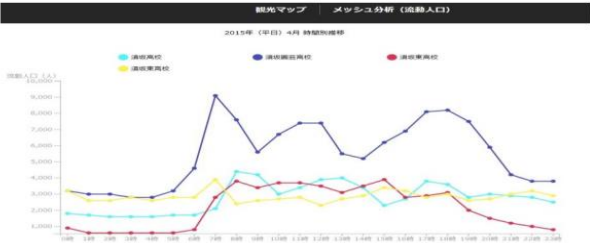
滞在人口合計：95,000人（滞在人口率：1.82倍）
（国勢調査人口：52,168人）



平日の地域内滞在人口は、須坂市以外は通勤・通学だと考えられます。私は、若者、特に**高校生の動きに着目**しました。

現在、須坂市には市役所を中心に半径1キロ以内に4校もの高校があります。滞在人口ランキング上位6位までは、ちょうど市内4校の通学圏内です。また、各校の須坂市外からの通学割合は、約5分の3（フェルニ推定）となっています。

◎時間別流動人口(RESASより)



◎メッシュ分析(RESASより)



そして、須坂市内4校が位置するポイントでの時間別流動人口や、メッシュ分析からも、高校の位置する箇所には、通学者が増える＝過密することが見て取れます。

以上の観点から、須坂市では、まちを活性化していく上で、**高校生が動くことで、大きな力になる**と考えました。

でも今までは、4校の高校生が集まり、力を結集したことも、交流の機会も無かったです…

「そこで」



どうやって？

How

1. 高校生のサミット
2. 産・官・学の連携
3. 小学生からお年寄りまで、自分とは異なるライフステージとの交流
4. 未来の自分からのフィードバック

何が起こる？ What

- 高校生から始まってゆく、**地方創生**。
- 新しい視点からの、問題解決に向けた活動により**今までできなかったことが可能に**。
- 参加者はその地域について**深く知る**ことになり、そこに住む人たちとの**交流が生まれ**、さらに地方が活性化する。
- 今までなかった**他校の高校生との新しいつながり**ができる。
- 自分で得た知識から、**考え、判断し、それを表現していく能力**。さらにそこから**問題点を発見し、正解のない問題の解決に向かって行動していく力**を手にする。
- 須坂市から始まる、この取り組みは同じように困っている地方自治体や高校生ならどこでも使えるアイデアであり、汎用性が高く、私たちの活動はすべてがモデルとなり、その**先駆者**となる。

ふむふむ。。。でもまだなんか、分からない、、、



ところで『S4』ってどういう意味？

What's about 『S4』

- 須坂の「S」
- 須坂市内4校の生徒会長の頭文字が「S」
- 私たちの住む信州の「S」
- 「Student」学生が、最初は須坂市や地方自治体の抱える「social problem」問題を、「share」共有するところから始まり、それを「solve」解決していくグループであるため。

これまでの活動 Example

◎今までに発案されたプロジェクト



プロジェクトアイデア 1

「S4 結成！～4校集まれば最強～」

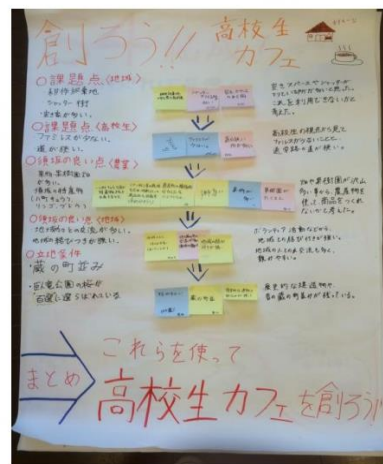
⇒ただいま計画進行中！



プロジェクトアイデア 2

「私たちが須坂を知る」

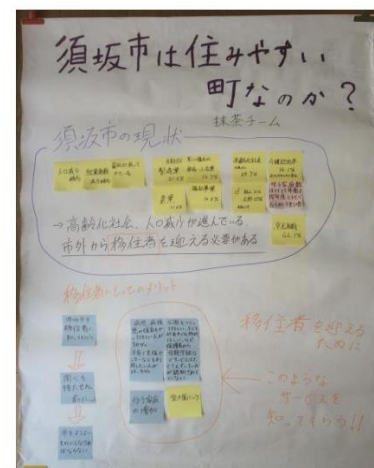
⇒ 9/22 の「0→1 ミーティング」で、須坂市のパンフレットや、市の細かいデータ、また resas から公開されているビッグデータを使い須坂についてはかなり詳しくなり、次のプロジェクトの方向性を見つけました！



プロジェクトアイデア 3

「創ろう！！高校生カフェ」

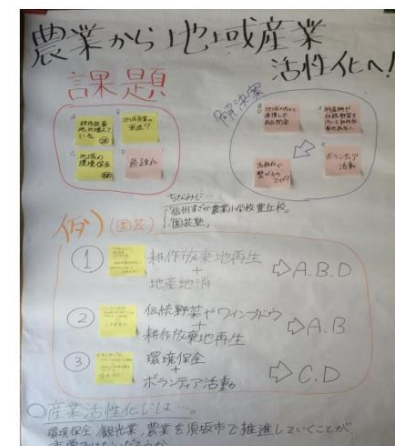
⇒産業界や、多方面との連携を模索中。



プロジェクトアイデア 4

「須坂市は住みやすい町なのか？」

⇒移住者しやすいようなサービスの存在を SNS で発信。



プロジェクトアイデア 5

「農業から地域活性化へ！！」

⇒市に提案して、高校生と共にボランティア活動を通じて活性化。須坂園芸高校で実施。



プロジェクトアイデア 6

「今ある観光資源をどうしていくべき？」

⇒街歩きアプリや、観光地について SNS で発信。観光マップの設置場所を増やしていく。

模造紙に、アイデアを出し合い、それをもとにプロジェクトを進めている。

…ふと気づいた

「もっと高校生の声を聴きたい。」



そうだ、アンケートとろう。

須坂市内各高校の先生方へ

平成 28 年 11 月 14 日

長野県高校生グループ S4

須坂市役所学校教育課

アンケート実施のお願い

紅葉の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今年の 9 月に、須坂市内 4 校の高校生が集まり、地方創生をしていこうと、「S4」という団体を立ち上げました。産官学の連携のもと、プロジェクトを立ち上げ、今では 9 校の高校、総勢 22 名の高校生が主体的に活動しております。

つきましては、私たちと同じ高校生が、須坂市についてどのようなことを考えているのか。自分自身への自己肯定感はどうだろうか。多くの高校生の意見を知りたく、アンケートを実施します。

結果につきましては、今後の須坂市の行政や、S4 での活動の指針とします。

- step1 ・各ホームルームで配布。
- step2 ・その場で回答してもらい、回収。
(約3分程で終わります。)
- step3 ・一か所に集めてもらい、
S4メンバーが回収。

◎最終回収メンバー

- ・須坂高校：渋川駿伍
- ・須坂東高校：黒岩拓哉
- ・須坂創成高校、須園キャンパス：菅沼祐希
- ・須坂創成高校、須商キャンパス：市川千夏

ご協力、よろしくお願い致します。

以上

高校生から始める。
「地方創生」

S4

長野県高校生グループ

s4@svk.jp



須坂市教育委員会 学校教育課

TEL 026-248-9010

須坂市内4校、延べ 1961人に向けて。

👉 須坂市に
対する思い
👉 自己肯定感

須坂市についてのアンケート

今からほんの1分だけ、ここ須坂市について考えてみませんか？
あなたが須坂市について、どんなことを想い、考えているのかを教えてください。
頭の体操だと思って、たくさんの気持ちを、ここにアウトプットしてもらえたら嬉しいです。

Q1 お住いの地域は須坂市ですか？ (はい・いいえ)

Q2 将来、須坂市には、

(残りたい。・帰ってきたい。・関わらないと思う。)

Q3 須坂市は好きですか？嫌いですか？ (好き・嫌い)

なにが、どんなところが好きか、おすすめを教えてください。

Q4 では、今の須坂市には何が足りないと思いますか？

Q5 最後に、私たち高校生は、何かを変えられると思いますか？

(はい・いいえ)

ご協力ありがとうございます。
あなたの貴重な想いを大切に、今後に生かします。

高校生から始める。
「地方創生」

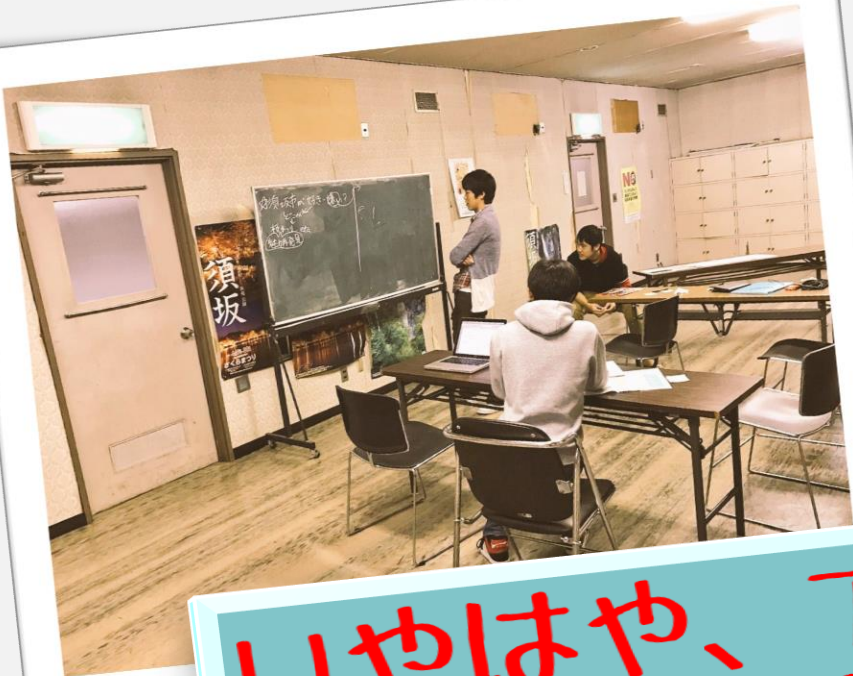
S4

長野県高校生グループ

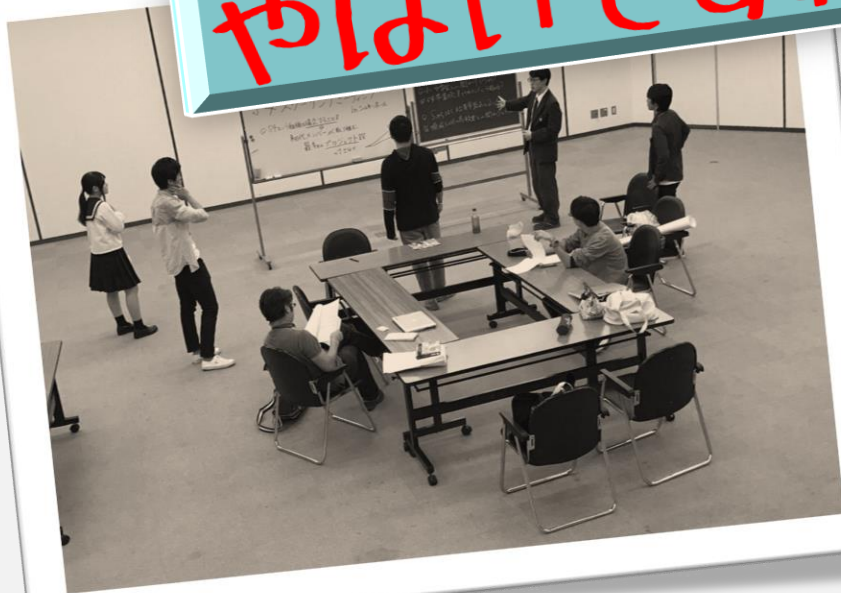
s4@svk.jp



須坂市教育委員会 学校教育課
TEL 026-248-9010



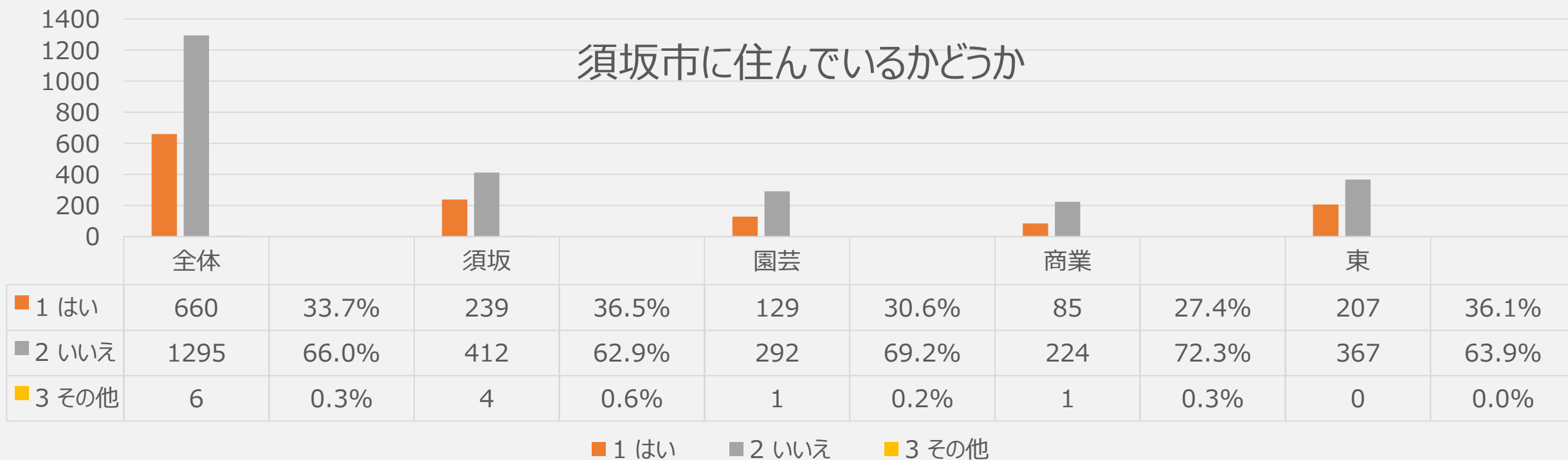
いやはや、アンケート集計って
やばいですね・・・



総作業時間 = 27時間
総動員数 = 16人
(助っ人10人)

須坂市内4校アンケートの結果

Q1:お住まいの地域は、須坂市ですか？

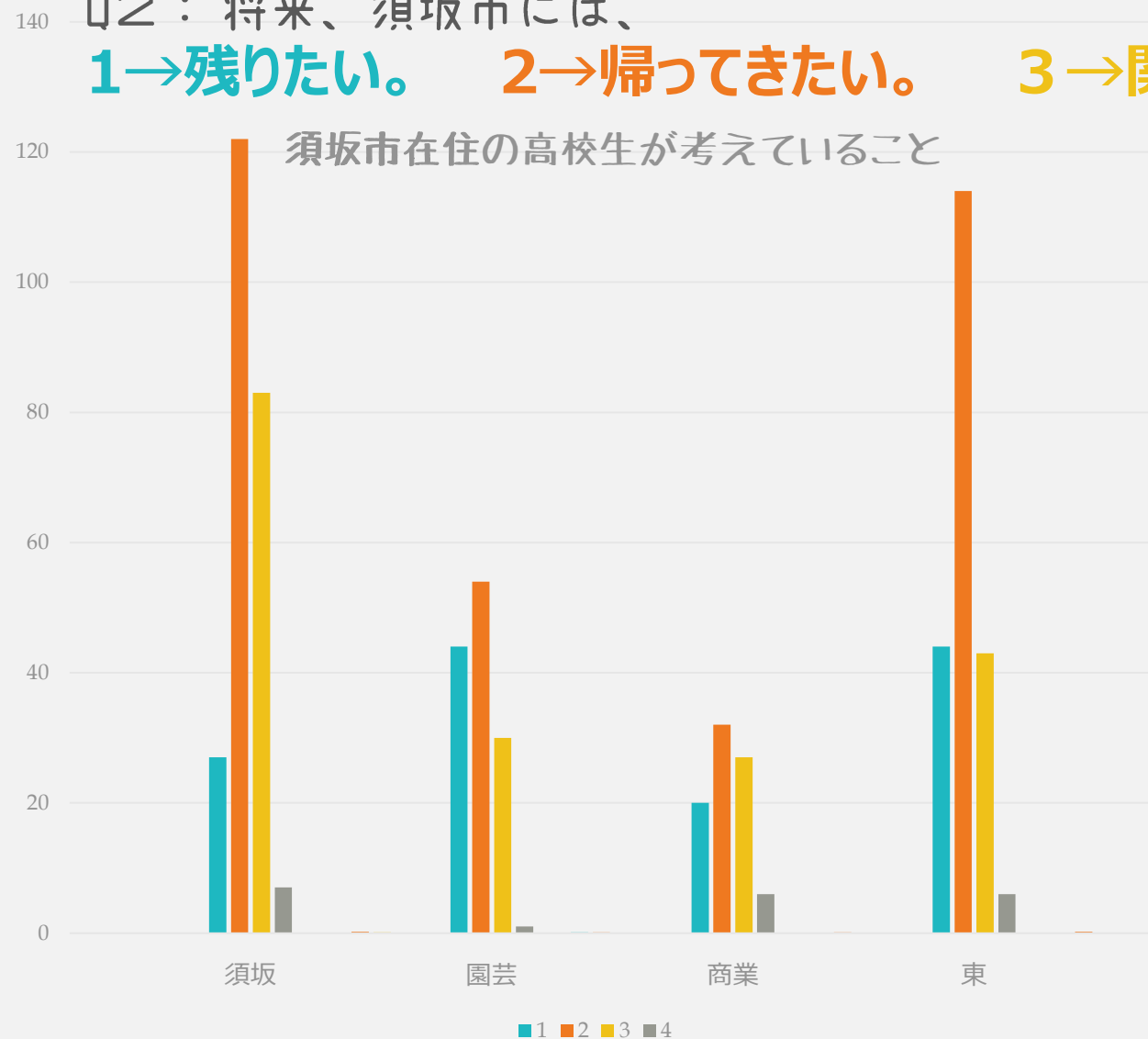


👉 全体的に、約2/3の生徒が市外から通っている。

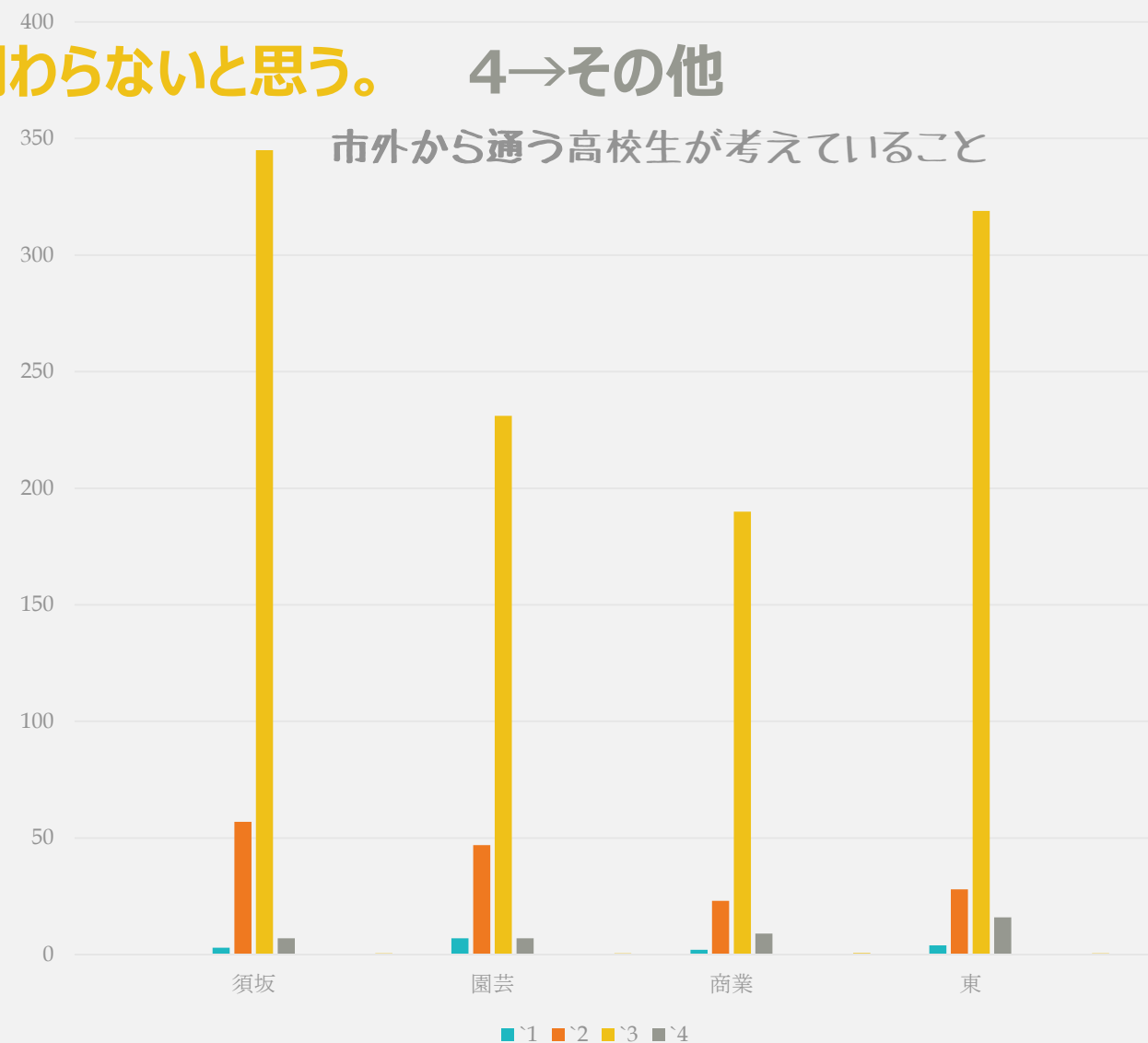
Q2： 将来、須坂市には、

1→残りたい。 2→帰ってきたい。 3→関わらないと思う。 4→その他

須坂市在住の高校生が考えていること



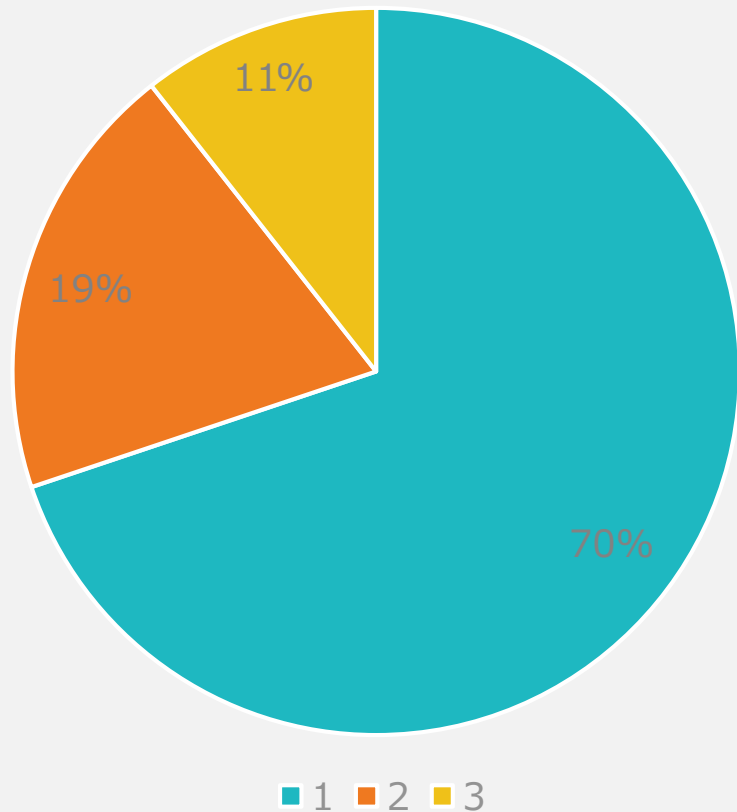
市外から通う高校生が考えていること



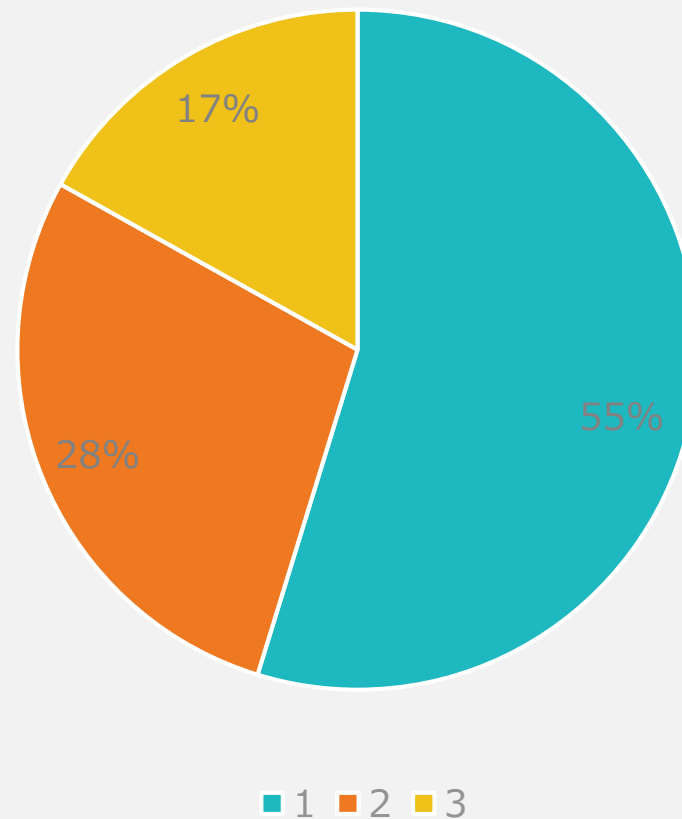
👍 もう一度、帰ってきたいと思わせる魅力が必要。

Q3:須坂市は好きですか？嫌いですか？

須坂市在住高校生の声



市外から通う高校生の声



👍 須坂市のファンは、更に増やす余地あり。

Q3:須坂市の好きなところ、おすすめは何ですか？

🏠 回答数が多いランキング

第1位⇒自然豊か
(27.9%)

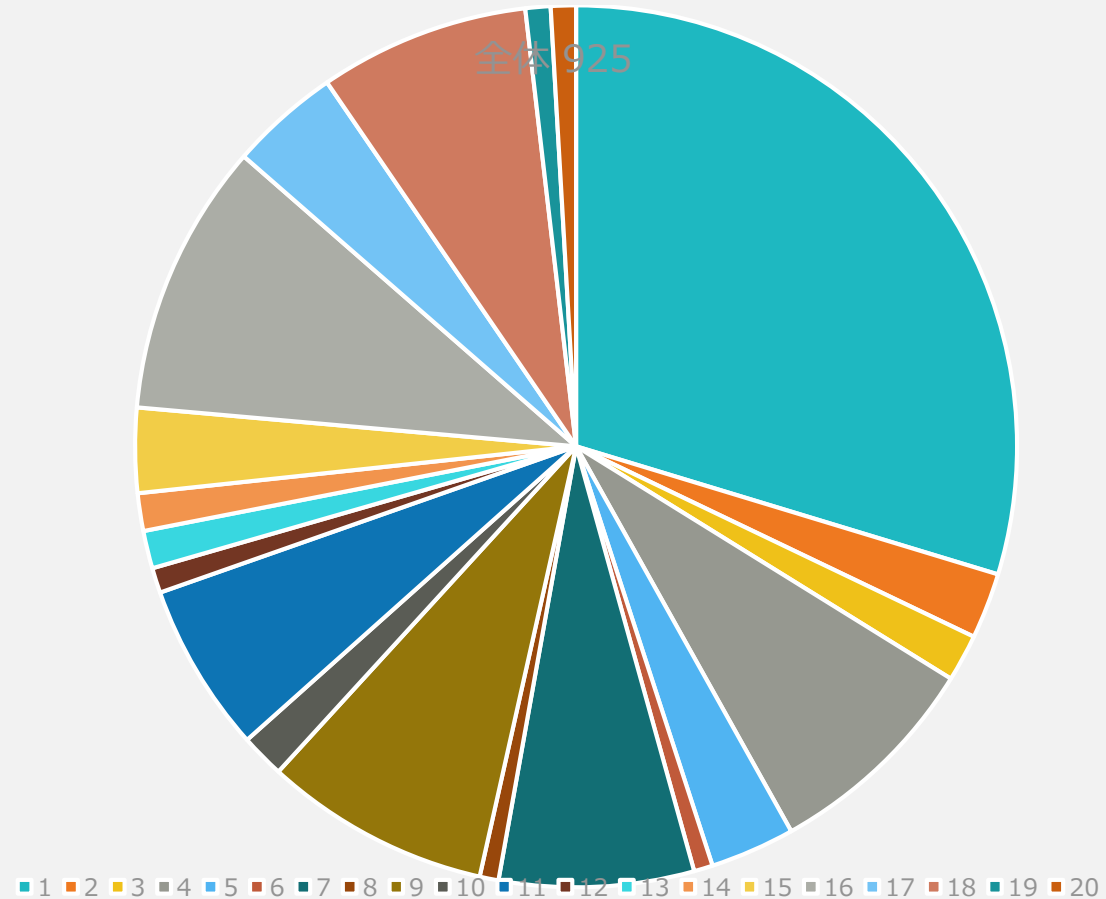
第2位⇒静か
(9.4%)

第3位⇒蔵の街並み
(7.8%)

第4位⇒臥龍公園
(7.6%)

第5位⇒平和で落ち着く
(7.2%)

第6位⇒お店が多い
(6.7%)



🏠 須坂市が推しているPRポイントと、高校生が好きなところ
がずれている。

製糸業については、高校生活の中で、触れる機会が無く、親近感が湧かない。何も知らない高校生の方が多い。

峰の原高原、米子大瀑布、五味池破風高原は、高校のある市街地から遠く、行ったことのない生徒の方が多い。

- ・ 果物が美味しい
- ・ 気候が住みやすい
- ・ 豊かな自然
- ・ 蔵の街並み
- ・ 臥龍公園

これらは、アンケートの結果と一致している。

◎須坂市の概要（須坂市公式ホームページより）
→須坂市が打ち出す、メインのPRポイント。

須坂市は長野県の北東部に位置し、明治から昭和初期にかけては**製糸の町**として栄え、近年は機械・金属工業と風光明媚な観光地、全国有数の**リンゴ・巨峰の産地**として躍進を続けております。気候は、典型的な**内陸性気候**でそれぞれの季節の訪れを感じることができます。また、**東南部には峰の原高原、米子大瀑布、五味池破風高原**などがあり**豊かな自然**に恵まれています。市街地には**製糸業**が盛んだったころを思わせる「**蔵の町並み**」や、市民をはじめ、訪れる方の憩いの場「**臥龍公園**」もあります。

Q4:今の須坂市に足りないものはなに？

1.商業施設

2.若者向けの遊ぶところ

3.観光地

4.駅前の整備

5.中高生が集まれる場所

6.勉強場所

7.街灯

8.活気

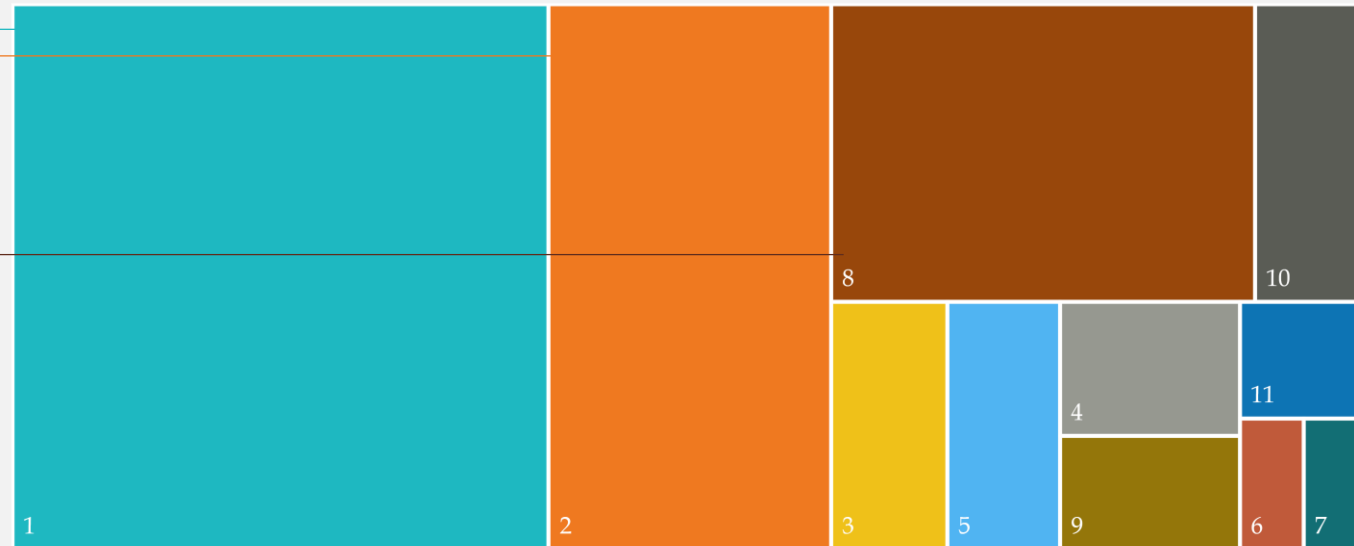
9.魅力

10.若い人

11.地域活性化

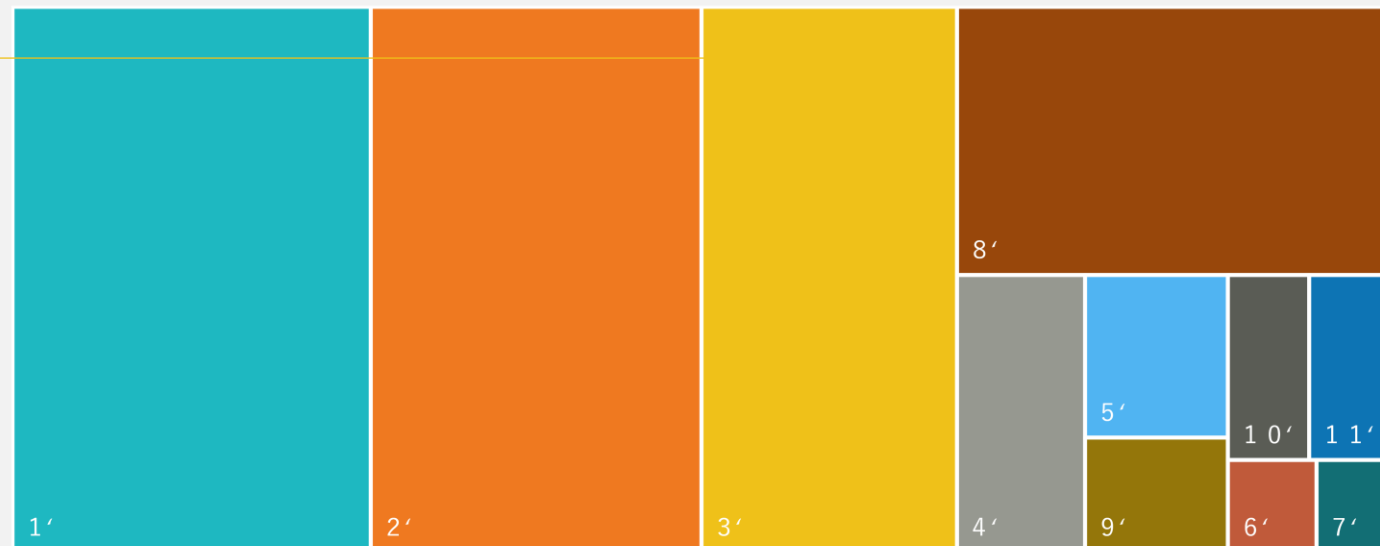
須坂市を好きな人が考えていること

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10 ■ 11



須坂市を嫌いな人が考えていること

■ 1' ■ 2' ■ 3' ■ 4' ■ 5' ■ 6' ■ 7' ■ 8' ■ 9' ■ 10' ■ 11'



- ✓ 須坂駅前
の整備
- ✓ 街灯の追加

市にお願い
すること

S4で出来る
こと

- ✓ 情報発信
- ✓ 商業施設・娯楽
施設が欲しい

若者向けの、商業施設と娯楽施設が合わ
さった、勉強のできる、中高生が集まれ
る、新観光スポットにもなるような場所

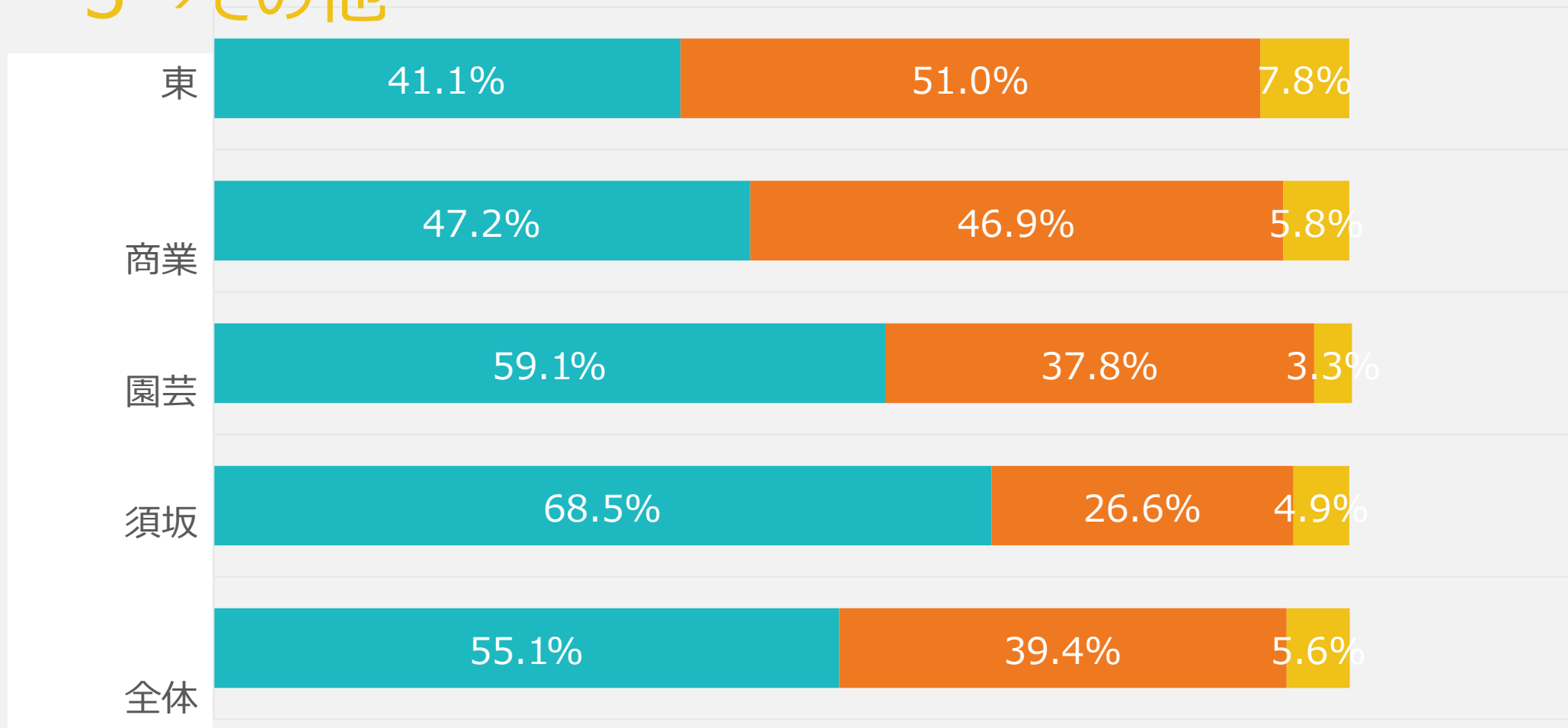
Q5：私たち高校生は、何かを変えられると思いますか？

1→はい

2→いいえ

3→その他

■ 1 ■ 2 ■ 3 自己肯定感の有無



👉 高校によって、差がある。

これからの展望

- ✓ 産業界、民間企業との仲を深める
- ✓ 小・中学校とのつながりを創る
- ✓ 長野県各地に点在する同志との連携
- ✓ 平日滞在人口順位で県内トップ10



具体的には？

目標は長野県内トップ10！

現在、須坂市内の高校へ進学する学生は、自然減を含め、減少傾向にあります。

高校生をはじめ、小学生、中学生などの若者が活躍でき、学力以外の能力を養えるという付加価値を生み出し、将来的には、

転出率を抑え、

市外からの進学率を高めることで、

平日滞在順位で県内トップ10に入ること
を数値目標とし、邁進します。

◎須坂市の滞在人口順位(RESASより)



目指すは、**10 位** 以内。

いま、助けてほしいことがあります！！

- ✓ カフェの経営の仕方。
- ✓ 事業計画書の作り方。
- ✓ 協力してくださる方の募集。
- ✓ 現在、1店舗の空き家候補があります
が、駅前の空き家候補があれば、教えてください。

須坂市に高校生カフェを創ろう！！プロジェクト始動。

そこで、

カフェ経営の仕方を
教えてくれる方

探しています。

事業計画書のつくりかたを
教えてくれる方

探しています。

協力してくれる方を

探しています。

駅前空きスペースを

ご存知の方、
教えてくれる方、

探しています。

最後に Last message

何かを変えるのは、若者。よそ者。変わり者。

「S4」は、まだ生まれたばかりのグループ。しかも地方創生していくなんて、これから先どうなるか、不安に想うかもしれません。

でも、俺には自信がある。今、この瞬間から動き始めれば、夢は叶うと。いや、叶えよう。

俺は信じている。自ら動き出すことによって、未来の須坂市を、長野県を、日本を、変えていけると。

きっと、S4はもっと大きくなって、活躍していることを。

迷うことがあったら、「ワクワク」を心のコンパスにして進んでほしい。皆さんの中にも、熱い想いと、「ワクワク」があることを願っています。

ふわっと、少しでもそんな感情を見つけたら、お気軽にこちらまでご連絡ください。

さあ、動き出そう！「**Now is the time**」今こそがその時。

◎連絡先

メールアドレス	s4@svk.jp
twitter	S4 長野県高校生グループ @S4_saikyou2016



メールアドレス

QRコード



twitter

楽しいひとときを、
ありがとうございました！

長野県高校生グループ「S4」

プレゼンター：渋谷駿伍

高校生から始める。
「地方創生」

S4

長野県高校生グループ

旧小田切住宅プロジェクト

清泉女学院大学人間学部

現代コミュニケーションコース 2年生

平成29年2月12日「蔵の町並みキャッパス発表会」

プロジェクトの目的

- 須坂の魅力を生かし伝える
- 観光の活性化、促進

プロジェクトの考え方

● 「観光文化と地元学」

→地域に住まう人びとが「生活の豊かさ」を実感でき、子孫に自信と誇りを持っていける環境を創造していくことが重要。

→観光産業のベースとなる考え方に、住民一人ひとりが地域に根差した固有の歴史的、社会経済的、文化的価値を生かし継承していくことがある。

→歴史的、社会経済的、文化的価値の継承のための持続的な取り組みをめざす。

プロジェクトの方向性

- 須坂市の歴史・文化を知る
→ 須坂市有形文化財である
旧小田切住宅でのイベント企画
- 須坂市の文化財を使用し、イベントを通して地域の未来を担う子どもたちに住んでいる所を学んでもらう
- 市民主体型・参加型のイベントを企画する
→ 市民ボランティア・地域の若者や
子どもの参加

アイデア

- 若者と旧小田切家のコラボレーション
- 小田切家の歴史や文化に関する定期的な企画を行う

例)

6月 杏のジャム作り
8月 水車のおもちゃ作り
1月 お雑煮作り
2月 節分パーティー

など

2月といえば

- 2月といえば節分。以前、旧小田切家では実際に行われていた。
- その時の掛け声は、「鬼は外～、福は内～」ではなく「ごもっとも～ごもっとも～」だった。

節分イベントの内容

- 日程 2017年2月5日 (日)
10時から12時30分
- 参加者 子供10(9)名、大人5(4)名
- 内容 お面づくり・豆まき
恵方巻きづくり

広報活動

- SNS

フェイスブック、インスタグラム、ツイッター
でイベント開催を告知

- ポスター制作

- ・旧小田切家住宅のイベント
で配布

- ・近隣幼稚園を中心に配布



実施報告

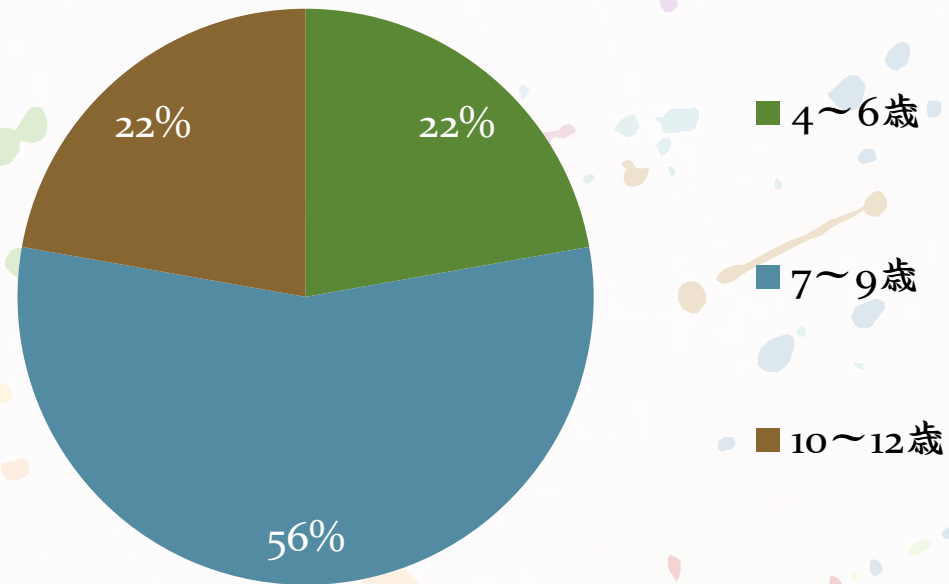
● 当日の様子



● お面づくり、恵方巻作りともに子供達の創意工夫がみられた。

アンケート結果

年齢



アンケート結果



■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

まとめ

●感想等のまとめ

参加者15名と、参加見込み人数より5名ほど少なかったものの、子ども達は非常に楽しそうな笑顔を見せてくれました。

さらに、旧小田切家の文化にも触れることが出来たと思います。

●提案

今回の節分をきっかけにイベントを定期的に行うことが重要であり、それが旧小田切家を広めていくことに繋がると 생각합니다。

ご清聴ありがとうございました

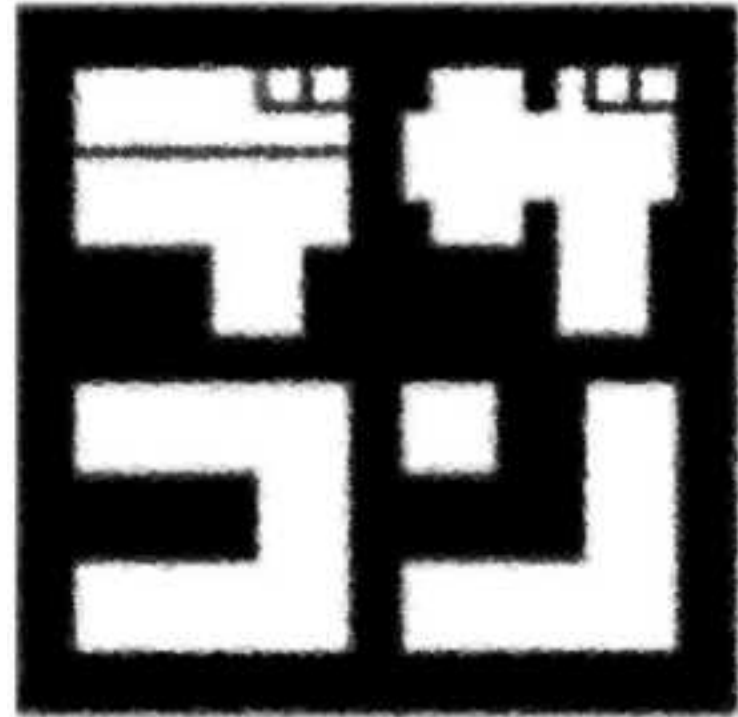
たなごころ

ひとごころ

店心あれば人心

発表の流れ

- ① デザコン概要
- ② 事前調査
- ③ 提案作品紹介
- ④ まとめ



デザコン概要

「全国高等専門学校デザインコンペティション」

高専と言えば

- ・ロボコン(ロボットコンテスト)→機械系 TVで放映
- ・プロコン(プログラミングコンテスト)→情報系

・デザコン→土木系・建築系

生活環境に関連した様々な課題に
取り組むことにより、
より良い生活空間について考える。

デザイン部門

- 構造デザイン
- **空間デザイン**
- 創造デザイン
- AMデザイン
- プレデザイン



空間デザイン部門 「あたりまえをReスタート」



空間デザイン部門【既存ストックを 生かした未来のまちづくり】

「そこにあるもの」で未来のまちをつくる。
環境・文化・歴史などを踏まえつつ、自由で魅力的な既存
ストックの活用提案を求めます。

【既存ストックを
まちづくり】

をつくる。
つつ、自由で魅力的な既存

か】

らなみ、建物、プロダク
生活の中で「素朴だな」「あ
る「もの」を自由に写生。
の有無は問いません。

(高校・訪問キャンパス)、
1学校

デザコン部門

開催日程：実施要綱の公開：2016年4月上旬（デザコンHPに公開した各部門の実施要綱を参照して下さい。）

本選：2016年12月17日（土）～18日（日）

会場：高知ちばさんセンター（高知市布田3992-2）



問い合わせ先：高知工業高等専門学校 学生課修学支援係

TEL:088-864-5625 FAX:088-864-5536 Email:gakuseikk@jm.kochi-ct.ac.jp

事前調査

まず建物を選びました。

- 廃校となった学校
- 廃業となったお店・シャッター商店街



廃業した店舗



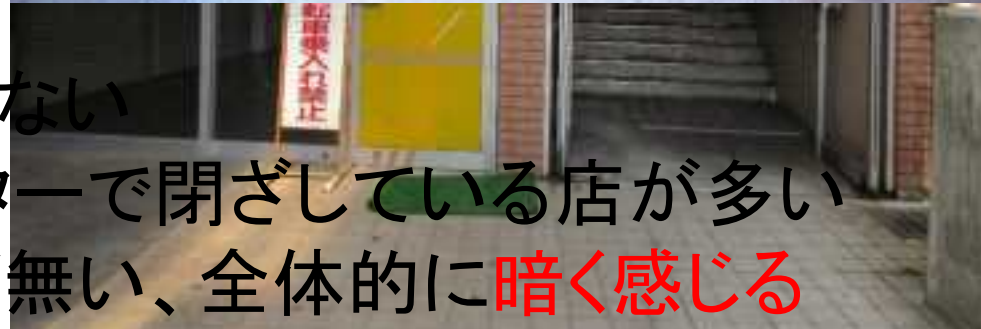
廃校の風景

パルムの現状

- 割れた窓ガラスや建物の老朽化が目立つ
 - 古さが際立つ
- 人が近づきがたい雰囲気を感じられる



- 人がいない
 - シャッターで閉ざしている店が多い
- 活気が無い、全体的に暗く感じる



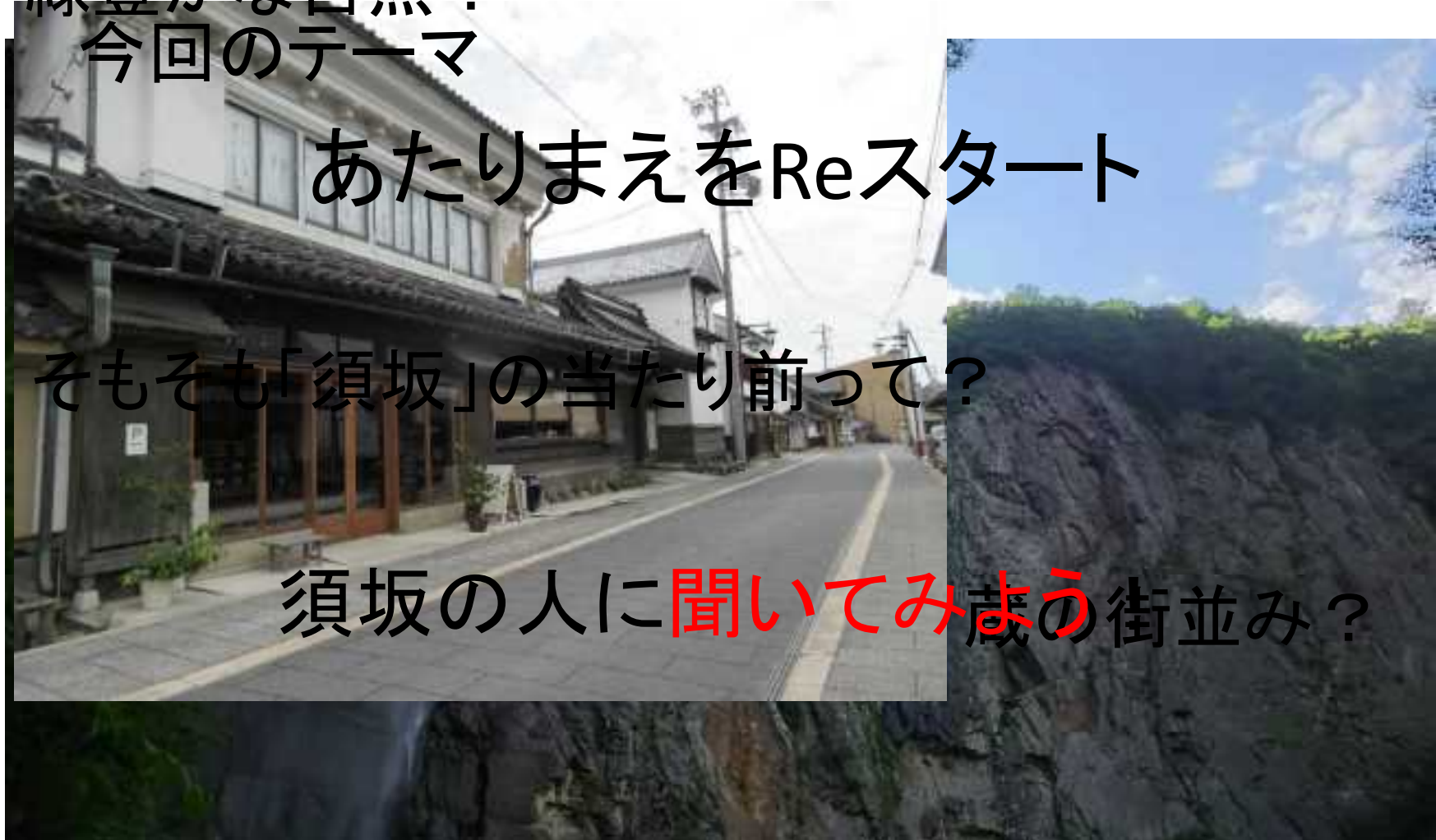
事前調査

緑豊かな自然？
今回のテーマ

あたりまえをReスタート

そもそも「須坂」のあたり前って？

須坂の人に聞いてみようの街並み？



事前調査

須

-
-
-
-
-
-



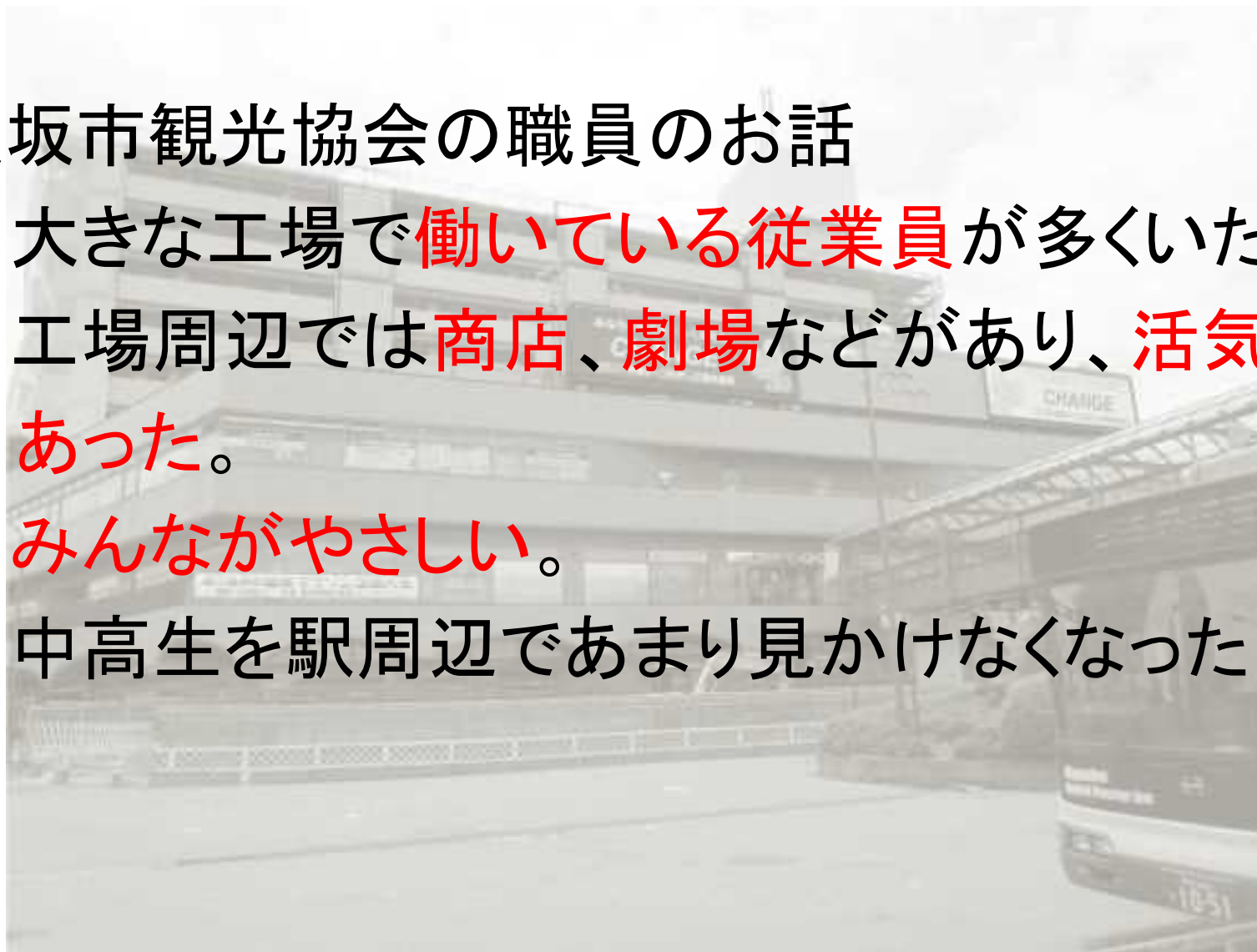
臥竜公園内の竜ヶ池と弁天島

に。
。

事前調査

須坂市観光協会の職員のお話

- 大きな工場で働いている従業員が多くいた。
- 工場周辺では商店、劇場などがあり、活気があった。
- みんながやさしい。
- 中高生を駅周辺であまり見かけなくなった。



事前調査



取材した宴会場

れ

事前調査

事前調査を踏まえて...

- 昔の須坂は栄えていた
- 須坂の人はやさしい
- 若い人が見られない

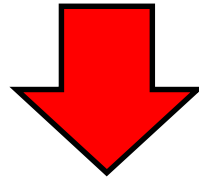
このことが当たり前と

思っていることではないだろうか？

事前調査

昔栄えていたパルム

多くの人が行き交い、**活気が満ちていた**



昔の**パルムの活気**と須坂のやさしさを

Reスタートしよう

たなごころ

ひとごころ

店心あれば人心

「魚心あれば水心」

《魚に水と親しむ心があれば、水もそれに応じる心がある意から》

相手が好意を示せば、自分も相手に好意を示す気になる。

相手の出方しだいでこちらの応じ方が決まること。（デジタル大辞泉より）

パルム

「パルム」palm

《てのひら、たなごころ。》（研究社 新英和中辞典より）

須坂市には大きな工場があり、須坂市で働く人々や
その家族が、パルムに住んでいた。

「パルム」は、商店街として地元の人々に愛され、
人々にとって、なくてはならない存在。

「人々を手のひらで包み込むような暖かさ」
があるパルムの心。

「店に人を想う心があり、人も店を思う」
「魚心あれば水心」のような関係。

バブル崩壊後、工場が市から撤退し人口も減少。



多くの店が閉店し、人々は「パルム」から離れていった。

現在のパルム

訪れる人は少ない。

昔の活気を知る世代も「パルム」に

魅力を感じていない。

若い世代にとって「パルム」は

あってもなくても変わらない存在。

「パルムは人々の生活を思い、

人々はパルムを必要とする」

関係は失われている。

この当たり前を壊したい。

もう一度「店心あれば人心」の関係を取り戻したい。

店心

たなごころ

あれば

人心

ひとごころ



一階 商店街



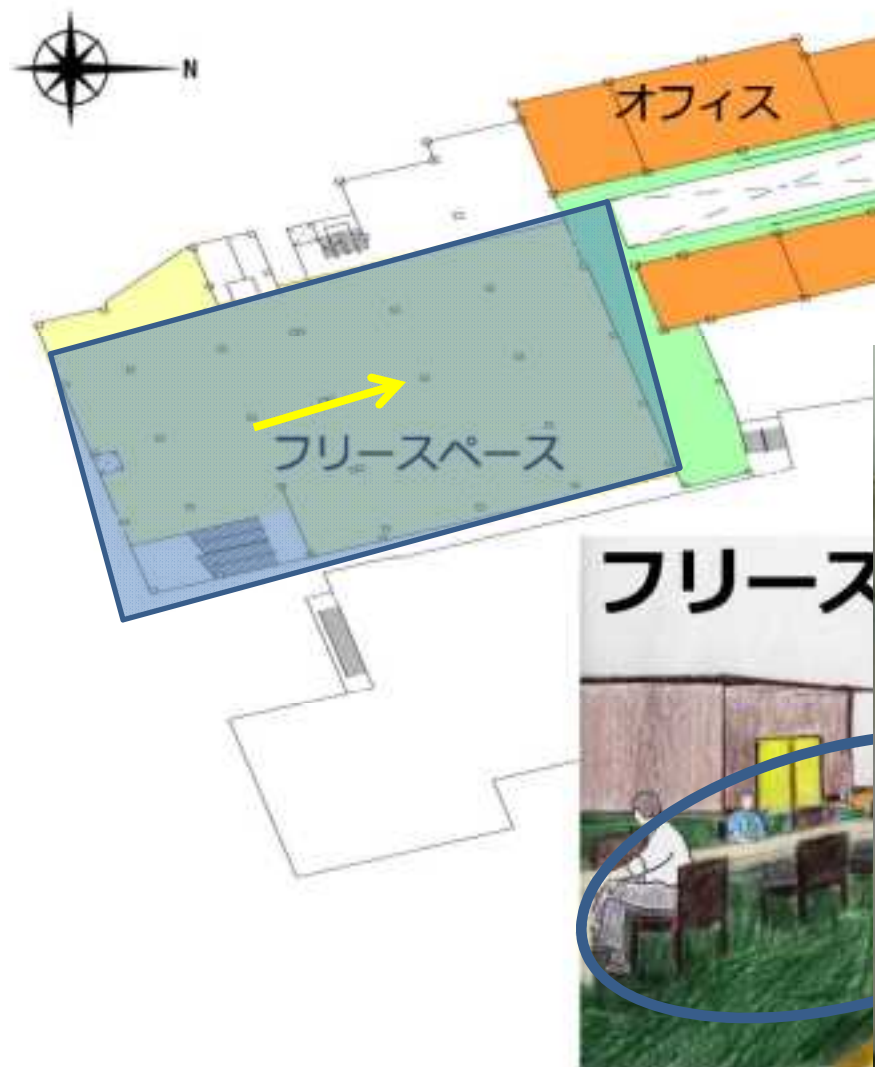
一階 商店街

狭く、暗いシャッター街だった商店街
→二階までの吹き抜けにする
！**広く、明るく**見せる事が可能に。



→店舗に瓦屋根を付け、須坂市の特色
「**蔵**」を意識した造り

二階 フリースペースとオフィス



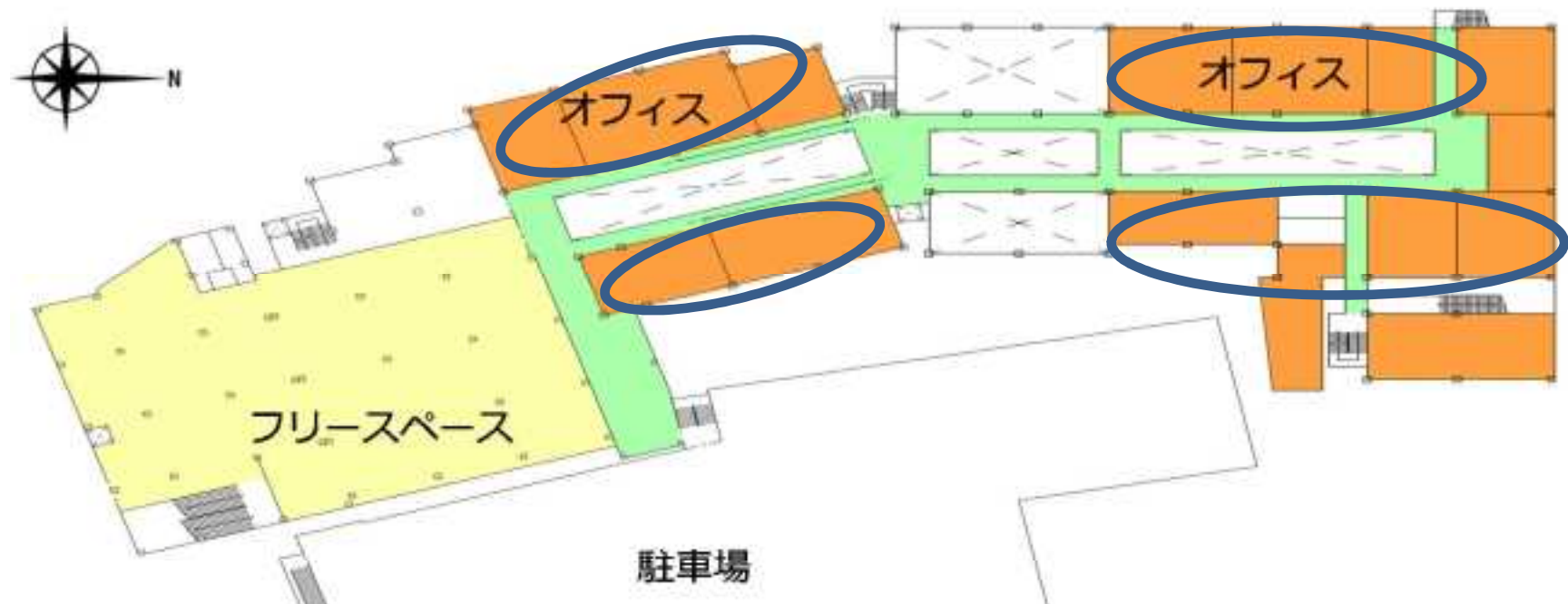
学生が勉強したり、会話をしたりする
スペースがない。若い世代が訪れるこ
とはなかった。

→フリースペース

！フリースペース内には図書館・幼い

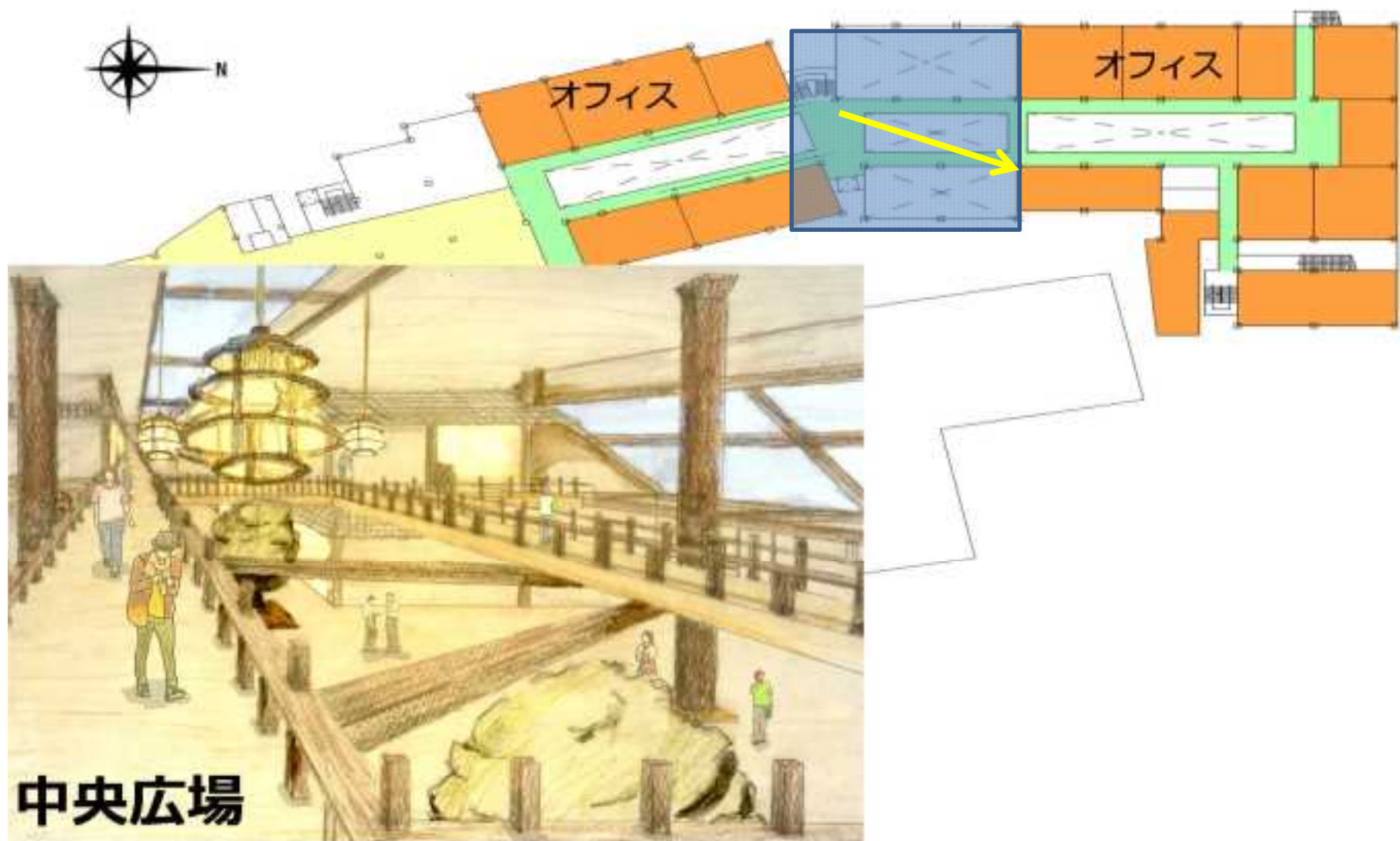


二階 フリースペースとオフィス



パルム内には生活支援団体のオフィスがあるが認知されていない。
→二階に、さまざまなオフィスと市役所・郵便局などを誘致
！生活に必要なサービスの利用者がパルムに訪れることでパルムの賑わいが増す。
！新しいサービスと出会うきっかけ

二階 フリースペースとオフィス



三階 住居と屋上庭園

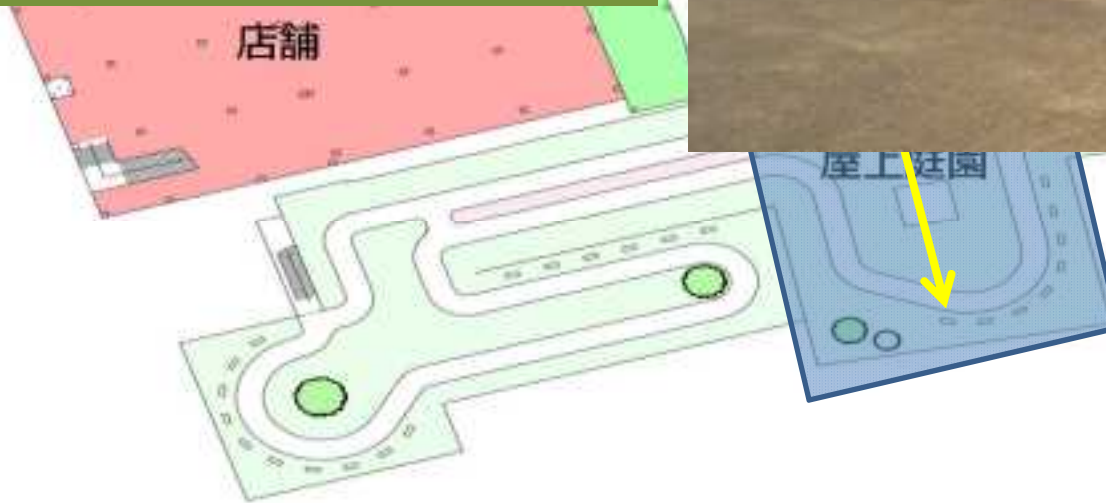


屋上の駐車場を利用する人は
ほとんどいなかったが、ここ
からの景色がとても美しい
→誰もが訪れることができる

屋上庭園

→日常生活では隠れて見えな
い、美しい山々が見え、人々
の憩いの場となる。

→足元灯があるため、夜も安
全に散歩が楽しめる。



これで作品の紹介を終わります。

デザコン参加を通して

- 須坂の歴史について学ぶことができた
かつて工場があったこと
たくさんの人が働いていたこと、、、。
- 須坂の良さを実感した
温かい人々
古い町並み、、、。
- 須坂市の人々は須坂市が好き

ご静聴ありがとうございました。



蔵の町並みキャンパス成果発表会
食を中心とした蔵の町並みキャンパス
—Wonderful Oyaki—

長野県短期大学生活科学科
健康栄養専攻1年生

活動の概要

目的 須坂市内の食に関わる各施設の見学およびおやき作りの体験を通して、須坂市の食の歴史・文化・暮らしについて知見を広め、伝統食への理解を深め、地域文化の展開と可能性について考える

実施日 平成28年9月30日

参加者 生活科学科健康栄養専攻1年生41名、教員 2名

活動内容 おやき作り体験、塩屋醸造見学、旧小田切家住宅見学

おやき作り体験

郷土食を学ぶ

- 平成21年度から8年間実施
- 会場 須坂市人権交流センター
- 全員が調理実習を行う
- 実習内容 おやき
ひんのべ（すいとん）汁

おやき作り



ひんのべ汁作り



塩屋醸造見学

信州味噌を学ぶ



味噌蔵

扉が開くと味噌の香りがしてきた
壁の黒色は麹菌などで長年、蔵に
引き継がれてきた微生物が味噌を
作り出す

小林さんから味噌の作り方、食文
化、栄養について学んだ。さらに、
発酵食品について、理解を深めた。
味噌汁、漬物、甘酒の試食した。



塩屋醸造前

旧小田切家住宅見学

製糸業で栄えた歴史や
暮らしを学ぶ



主屋の外観

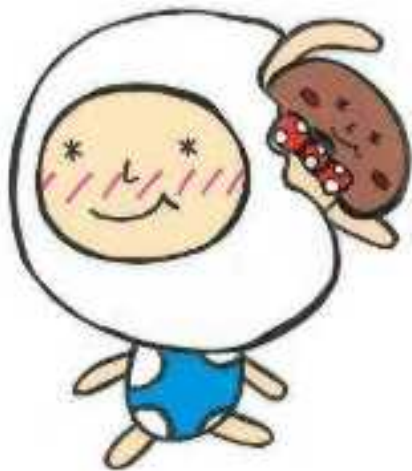
館長さんからは明治から昭和初期にかけて製糸業で栄えた須坂の歴史と、須坂の製糸業の発展に貢献した小田切辰之助の話をしていただいた。



写真右奥、水車小屋

食を中心とした蔵の町並みキャンパス ～Wonderful Oyaki～

長野県短期大学 生活科学科健康栄養専攻1年



おやき作り体験

9月30日に蔵の町並みキャンパスでおやき作り体験に行きました。
講師の先生に教わりながら、おやきとひんのべを作りました。
おやきの具は、丸なす・さつまいもあん・野菜ミックス・ピザ
でした。



おやきの歴史

- ▶ 縄文時代の遺跡・・・粉を練って焼いた跡を発見
- ▶ 信州の山間部での小麦の栽培



信州独自の“粉食文化”へ

- ▶ 信州の山間部で主流だった“灰焼きおやき”

いろり

↓ 里、町へ

かまど

焼き・蒸かし・焼き蒸かし・揚げ焼きなど生まれた

善光寺平・筑摩(松本市)・安曇野で盛んだった



須坂のおやきについて

- 7月の祇園祭になすのおやきを殿様に差し上げ、喜ばれたのが今でも“もてなし”として残っているという説がある(江戸の後半?)

7月30日、小豆あんのおやきを仏前に供える。この日は極楽の門が開き、仏様がおやきを食べながら13日間の旅をして8月13日に各家に着くといわれていた。

今でも、お盆におやきをつくりお供えする家庭もある。

- 蒸したふっくらタイプのおやきは、須坂が発祥の地と言われている。



おやきの種類について

〈おやきの具〉

〈皮〉

どの土地でも小麦粉を使用する、そば粉を混ぜる地域もある

〈具〉

定番のもの・・・丸なす、野沢菜、にら、切干大根、小豆あん など

変わり種・・・ピザ、ビビンバ、そらまめ、きんぴらごぼう など



〈おやきの加熱方法〉

蒸す

須坂・長野・信州新町・塩尻・豊科町など



ほうろくで焼いて囲炉裏の中へ

西山・生坂村・八坂村など



須坂の郷土食

▶ やしょうま

旧暦の2月15日(現在:3月15日)、お釈迦様の命日である涅槃会(ねはんえ)に、米粉を練って固め、色を付け模様を作りお供えする。ごま、豆、くるみなどを入れて作るものもあり、素朴な味わいが楽しめる。



▶ ひんのべ

たっぷりの野菜に油揚げを加えた味噌仕立ての汁に、生地を薄く引っ張って延ばして、適当な大きさにちぎって入れたものです。冬の代表的な郷土食として食べられている。



▶ にらせんべい

北信地方では畑仕事のおこびれ（小昼）や、子どものおやつとしてなじみ深いにらせんべい。小麦粉またはそば粉を水や卵で溶いて焼き、ニラを具材として味噌で味をつけたもの。



▶ こねつけ

水田のない（あるいは少ない）土地では米は貴重であったため、飯米を水で洗い小麦粉を足して焼いたこねつけが作られた。具を味噌にして包むのが特徴。釜に残った米粒を水に漬け、ざるに戻し干し米にし食すことも生活の知恵のひとつだった。



おやき作り体験の感想

- おやき作りをしたことがない人もいましたが、講師の先生方に教えていただきながら、楽しく作ることができました。
- 実際におやきを作ってみて、時間もそれほどかからず簡単に作れ、小さい子どもも作りやすいので、いろんな人におやきを作ってもらいたいと思いました。
- いままで何気なく食べていたおやきについて興味がわき、さらに自分たちで追求しおやきの歴史など知ることができました。
- おやきの先生にお話をうかがい、先生のおやきについての考えや多くの人に広めたいという思いを知り、私たちもおやきを伝えていけたらいいと思います。

外国の方にアンケート調査

☆設置したお店

長野市善光寺仲見世通りの2店舗に
アンケートBOXを設置
つち茂物産店（おやき）・滝屋本店
（お土産）

☆期間

2017年2月 1 日～5日

☆対象

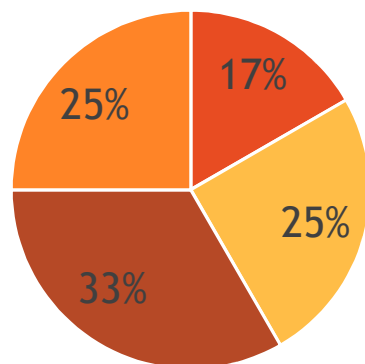
おやきを購入した外国人の方々

☆内訳

12名の方が回答（台湾、アメリカ、韓国、
イタリア、その他不明）



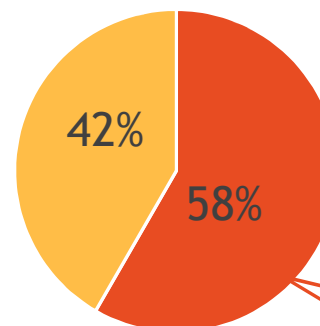
Q1 どうやっておやきを知りましたか



- インターネット
- 観光ガイド本
- 誰かから聞いた
- その他



Q2 おやきを食べたことがあるか



- ある
- ない

・何のおやきを食べたか

きのこ 3人
カボチャ2人
野菜 2人
野沢菜 2人

・好きなおやき

きのこ2人
野菜 2人
野沢菜 1人
カボチャ1人

なぜ今回買おうと思ったか

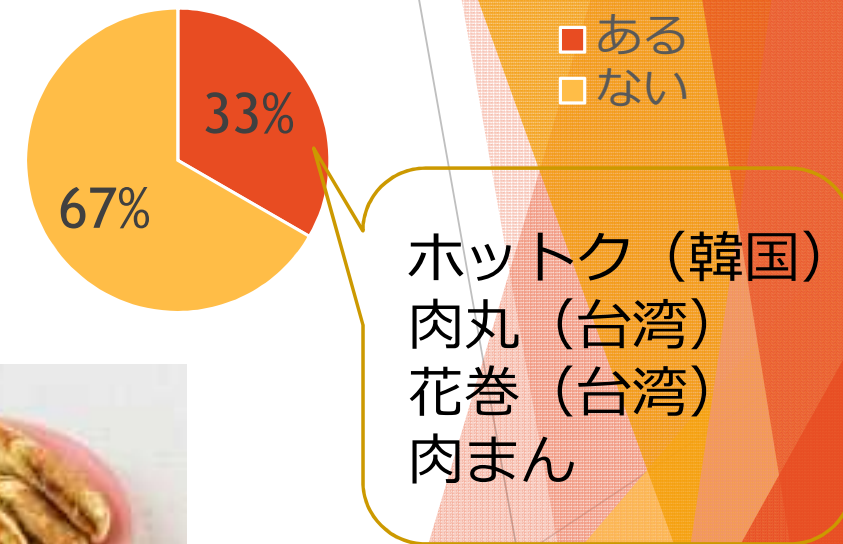
- ・人が買っているのを見て
- ・人が食べているのを見て興味が出たから
- ・有名だから
- ・お昼だから
- ・おなかがすいたから

Q3 どんなおやきを食べてみたいか

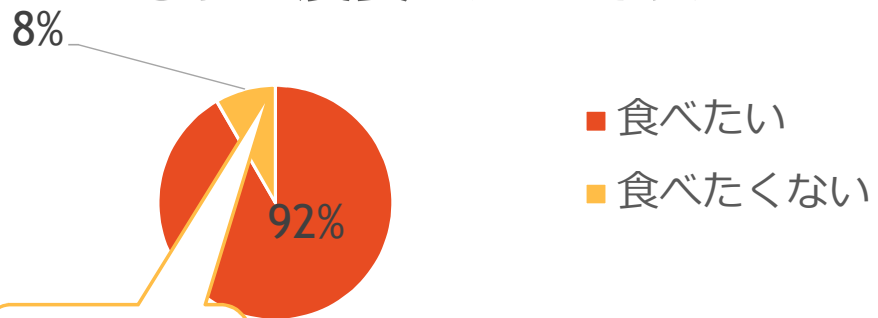
チーズ	4人
キャベツ	1人
キノコ	1人
ツナ	1人
辛いもの	1人
肉のみ	1人
ベーコンチーズ	1人
ピザ	1人
ポークカレー	1人
今のままで良い	1人



Q4 あなたの国にはおやきの ような食べ物がありますか



Q5 あなたはおやきを
もう一度食べたいですか

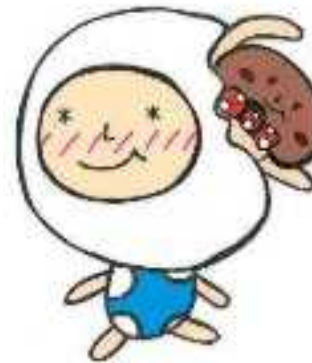


食感がた
かったから

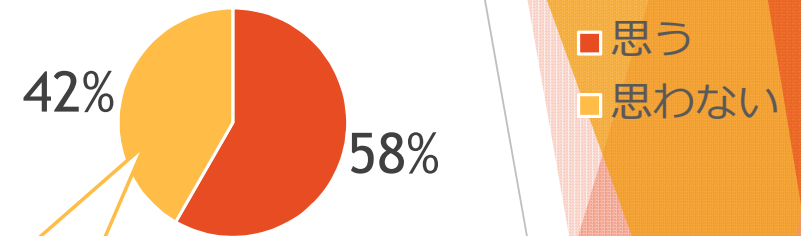


オナカスイタ

〇〇。



Q6 あなたはおやきを
作ってみたいですか



作るより
食べたいから



Let's
Make

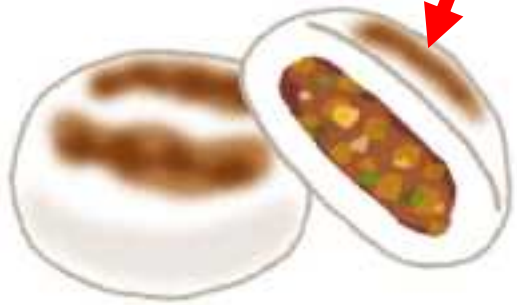


OYAKI



BUN

18pieces



- mild flour 17oz
- baking powder 0.4oz
- sugar 0.3oz
- salt 0.1oz
- vegetable oil 0.4oz
- vinegar 0.5oz
- tepid water 12oz

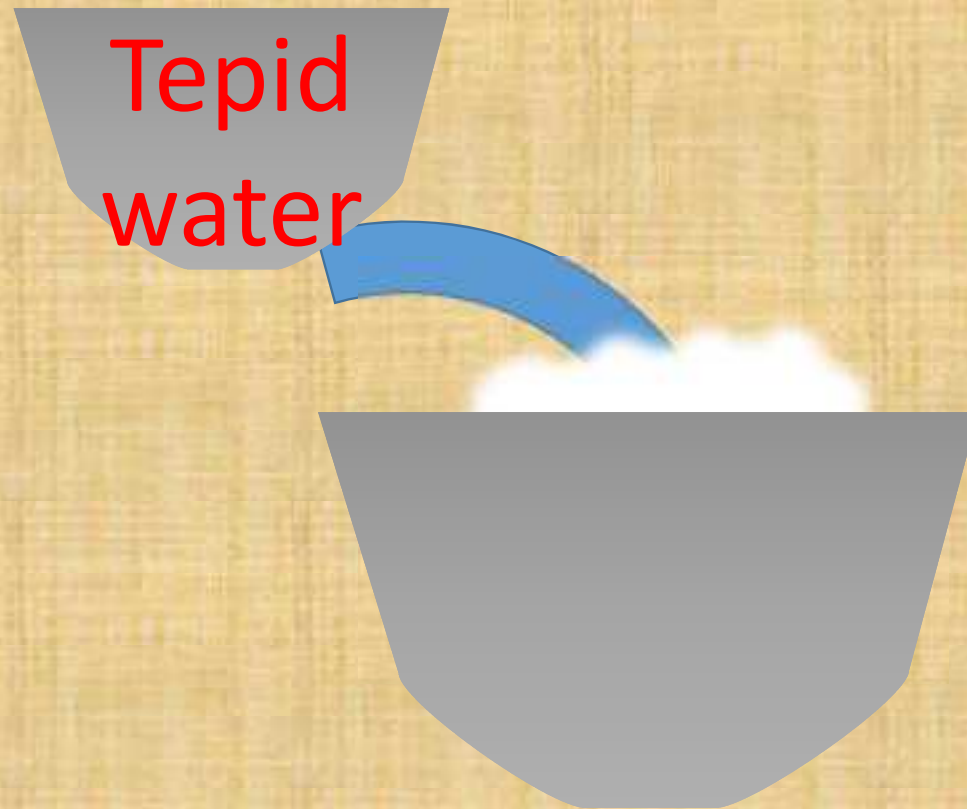


recipe

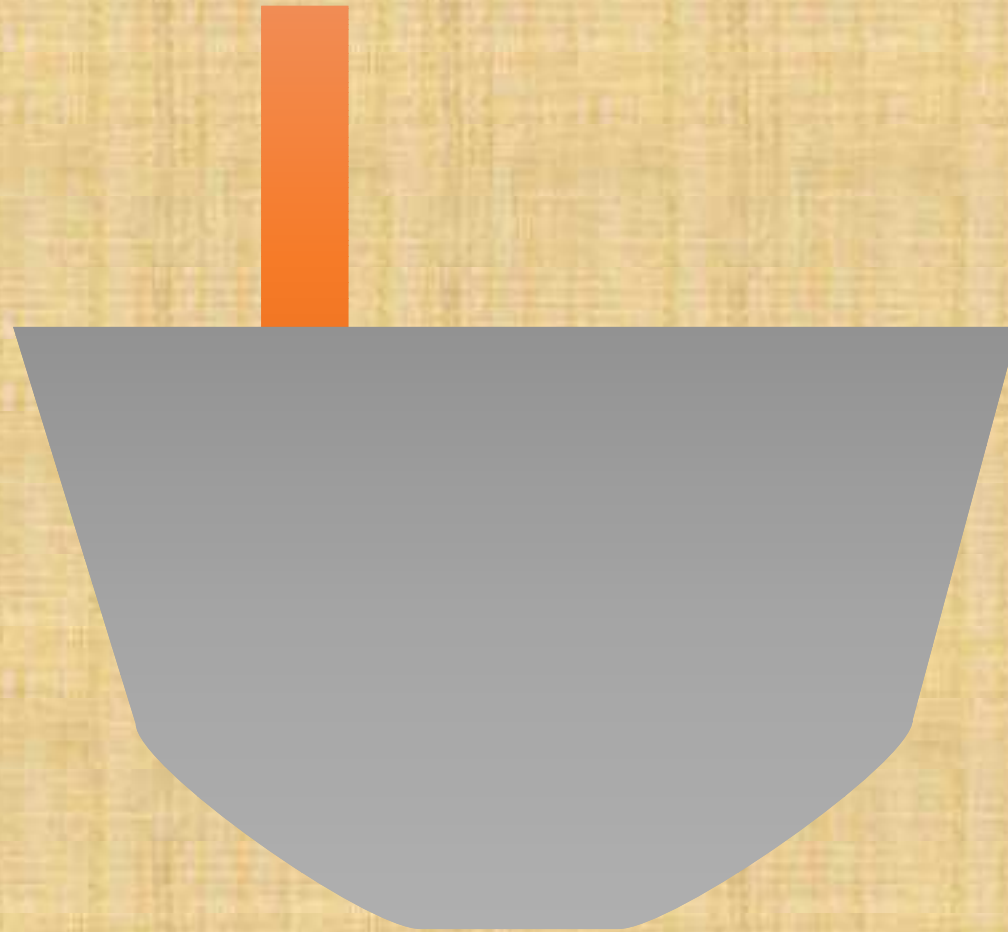
MIX



ADD TEPID WATER



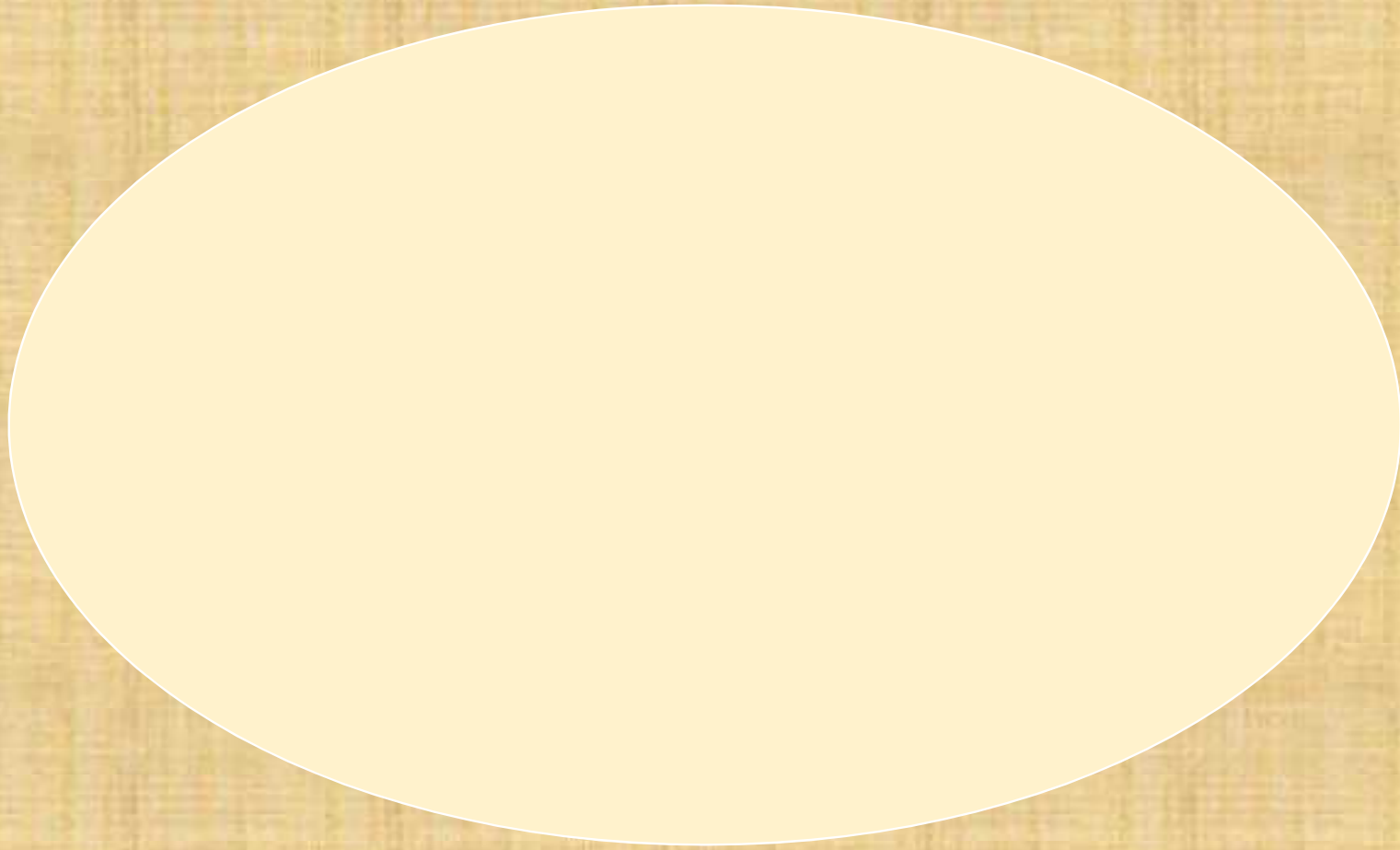
KNEAD WELL



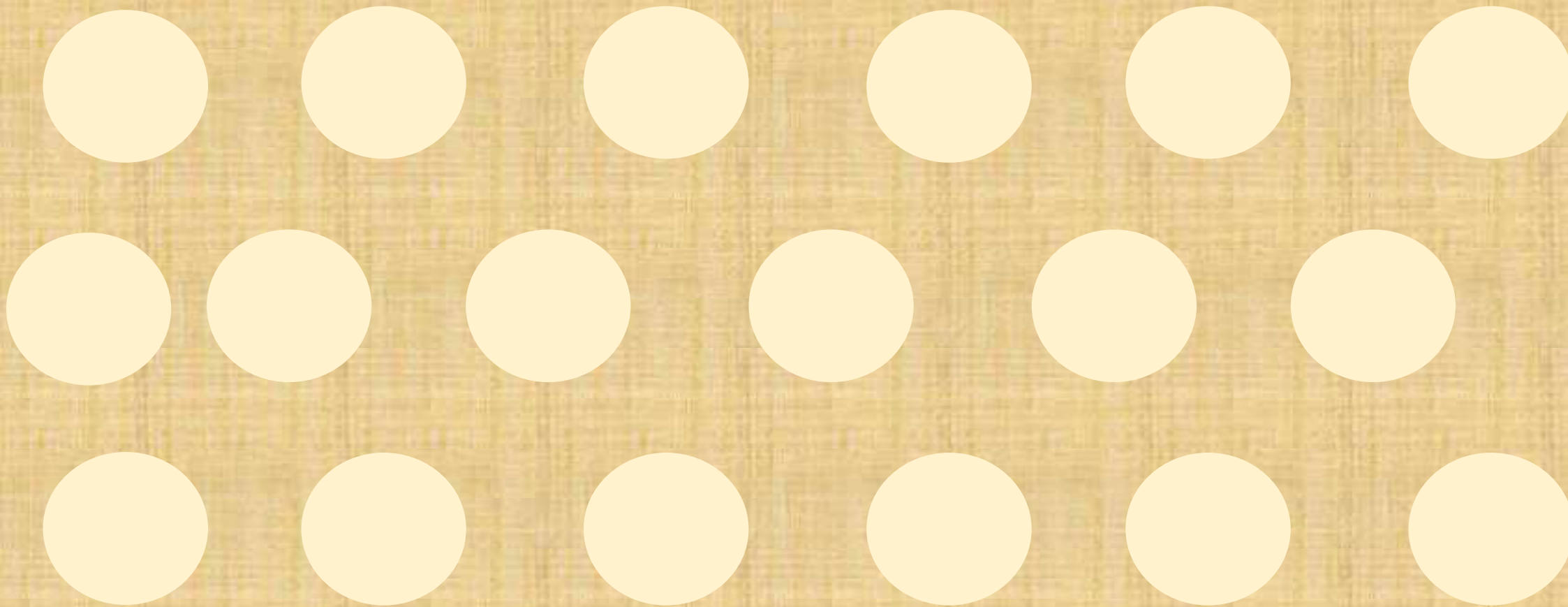
LEAVE FOR 30MINUTES



CUT INTO 18 PEACES

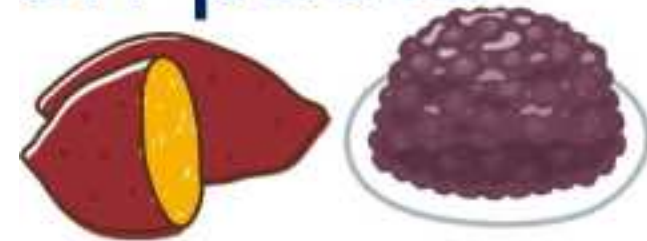
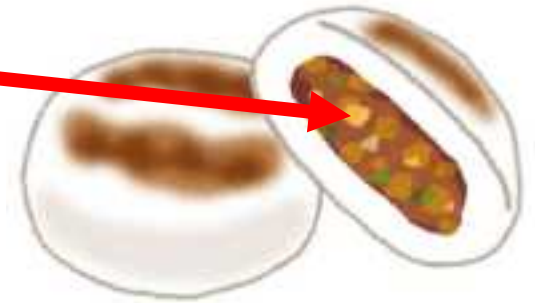


CUT INTO 18 PEACES



CONTENTS

- Eggplant
- Onion
- Sweet potato & Red been paste
- Mixture of vegetables



recipe

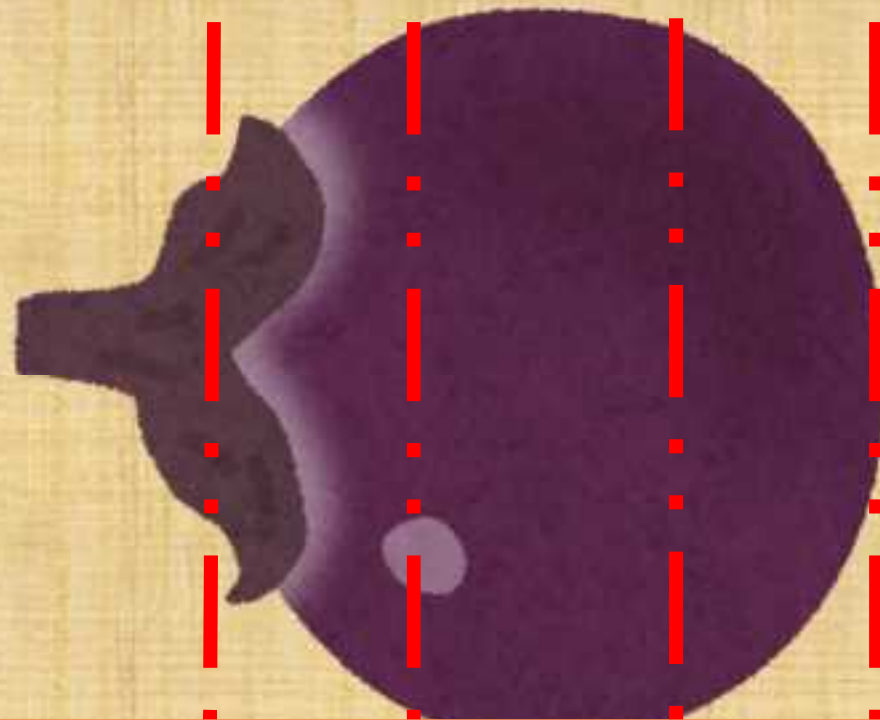
The word "recipe" is rendered in a bold, black, sans-serif typeface. It is centered horizontally within a blue graphic element that resembles a wide arrow pointing to the right. The blue shape is a rectangle with a triangular point on its right side, which aligns with the end of the word. The letters of "recipe" are dark and have a slight white outline, making them stand out against the blue background.

EGGPLANT



- eggplant 2.5oz
- miso 0.4oz
- sugar 0.3oz
- vegetable oil 0.2oz

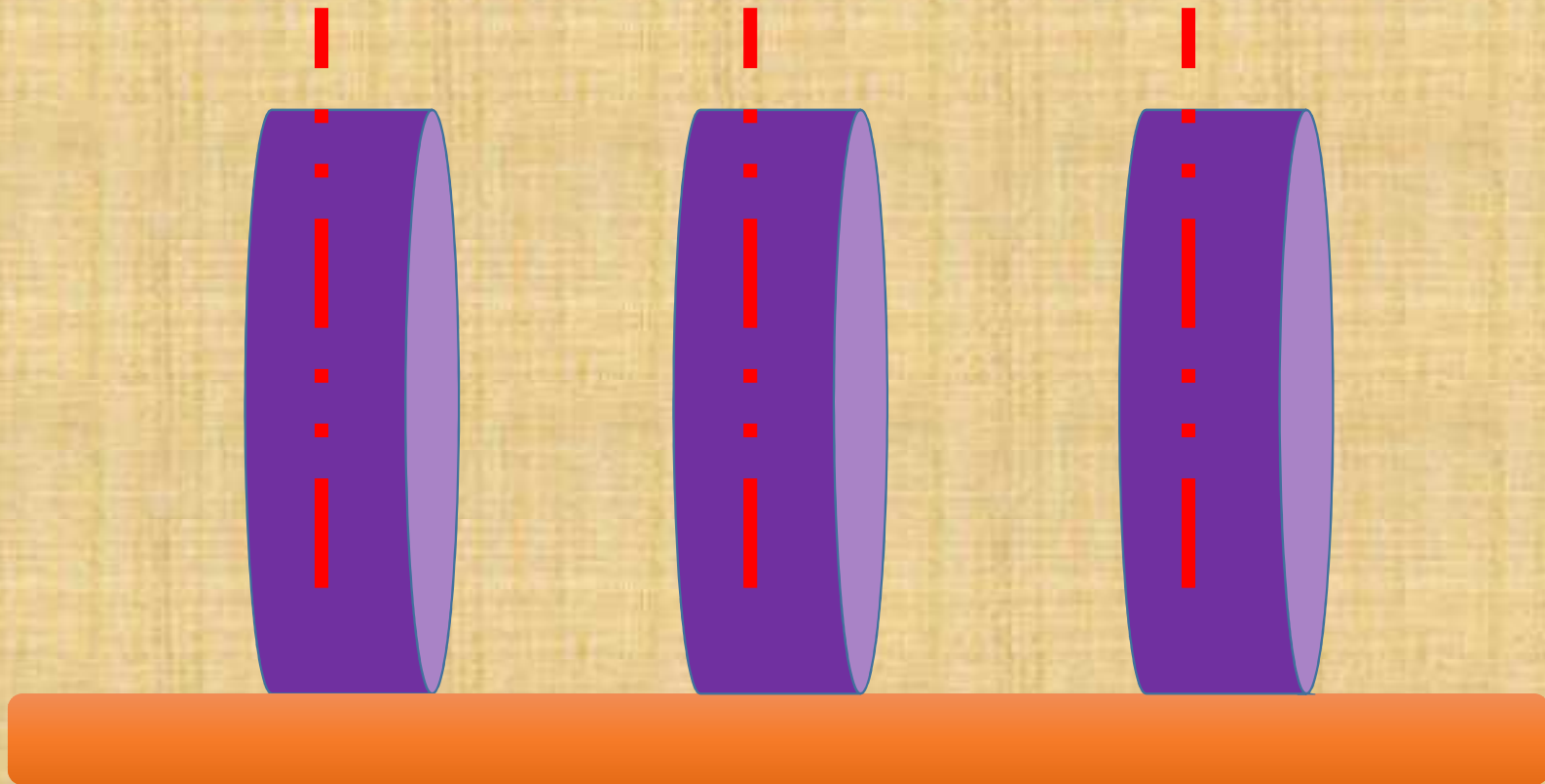
SLICE



SLICE



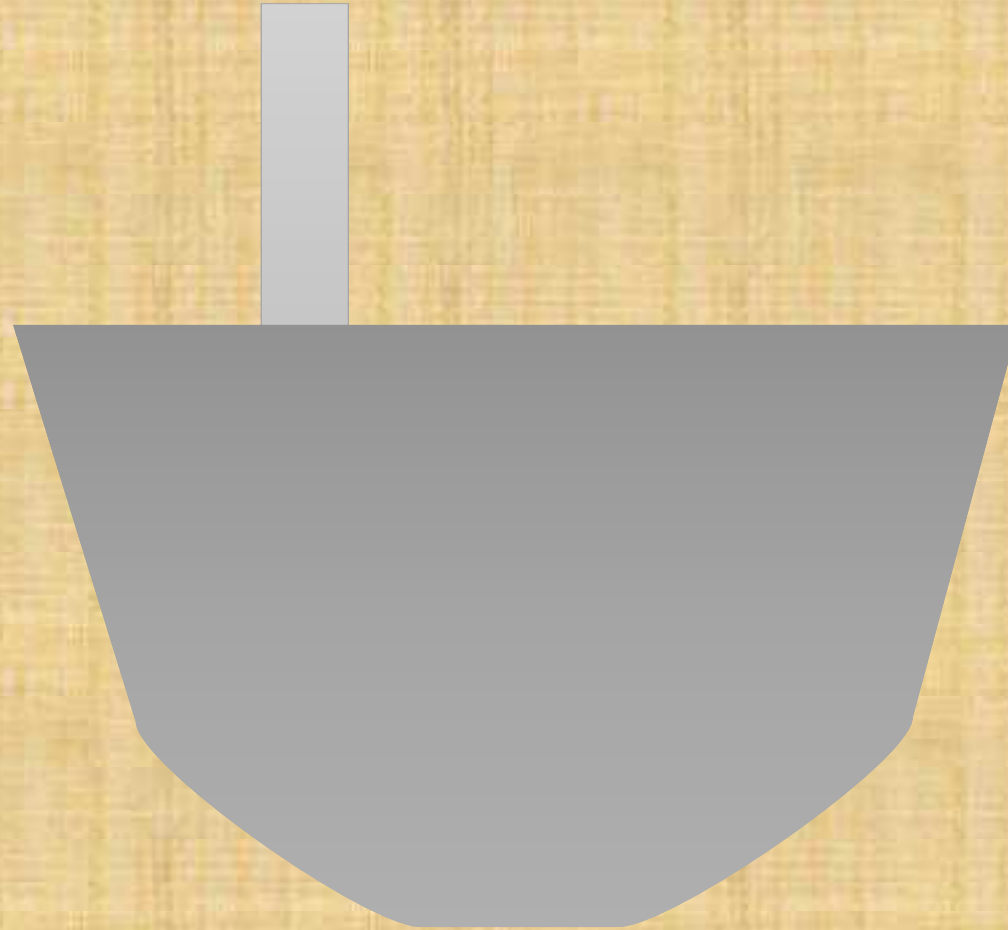
CUT THE EGGPLANT



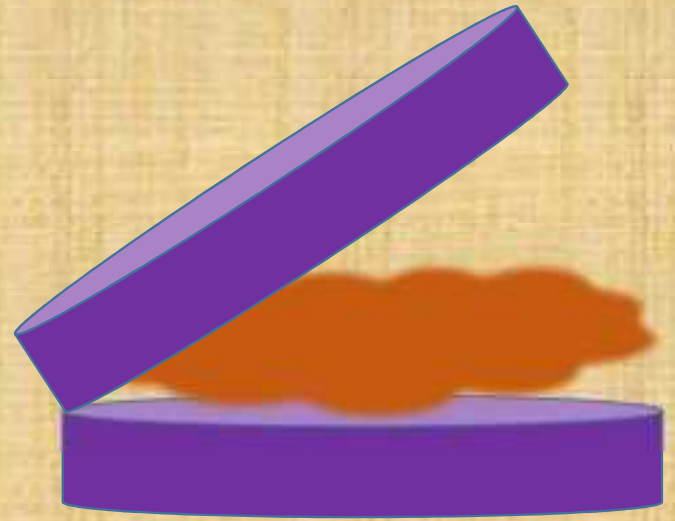
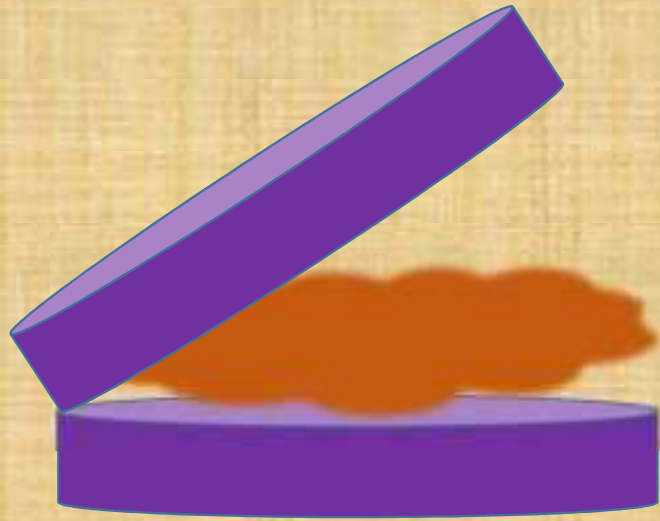
MIX



MIX



PUT INTO



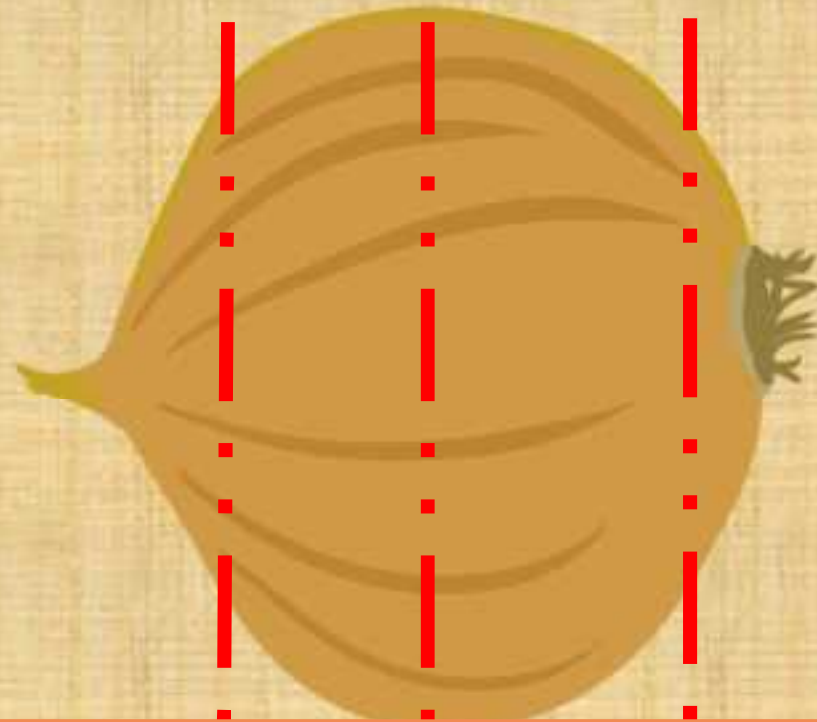
ONION

- onion 2pieces
- shiso 6sheets



- miso 0.9oz
- sugar 0.3oz
- vegetable oil 0.2oz

SLICE



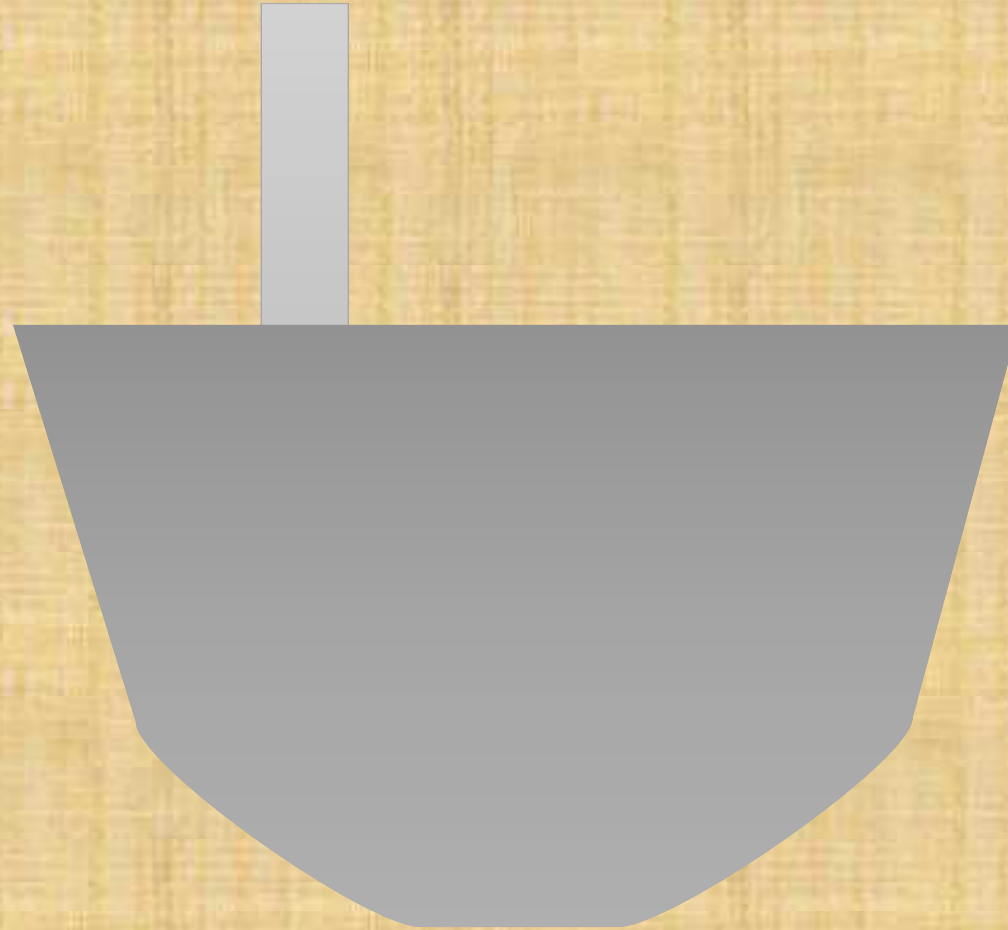
SLICE



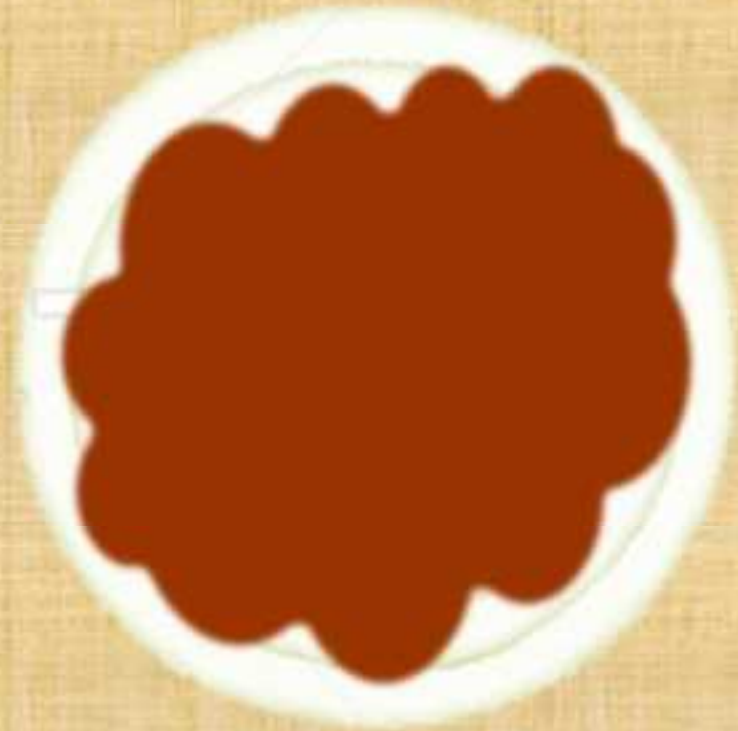
MIX



MIX



PUT ON



PUT ON



SWEETPOTSTO & RED BEEN PASTE

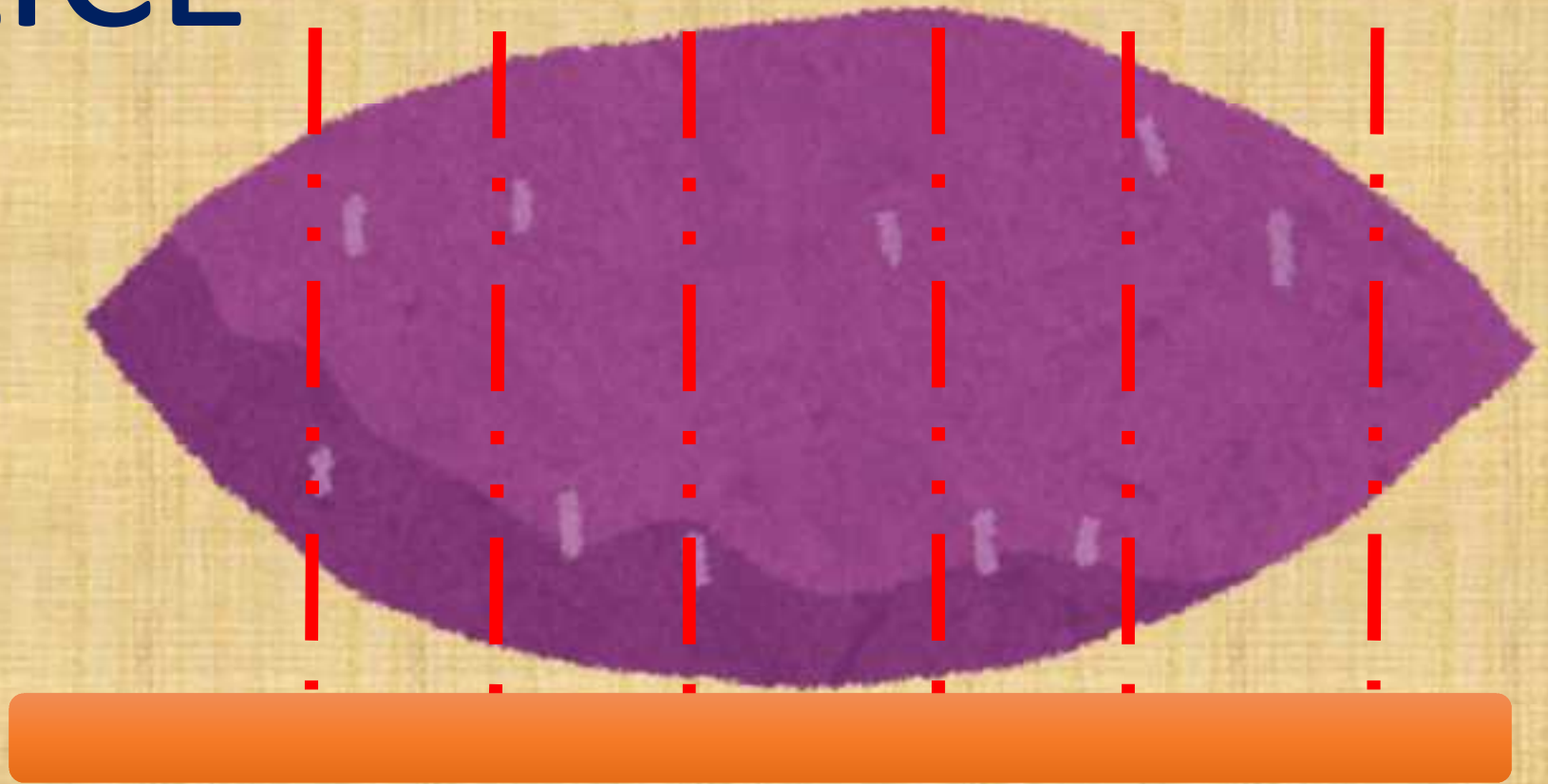


- sweet potato 4.3oz

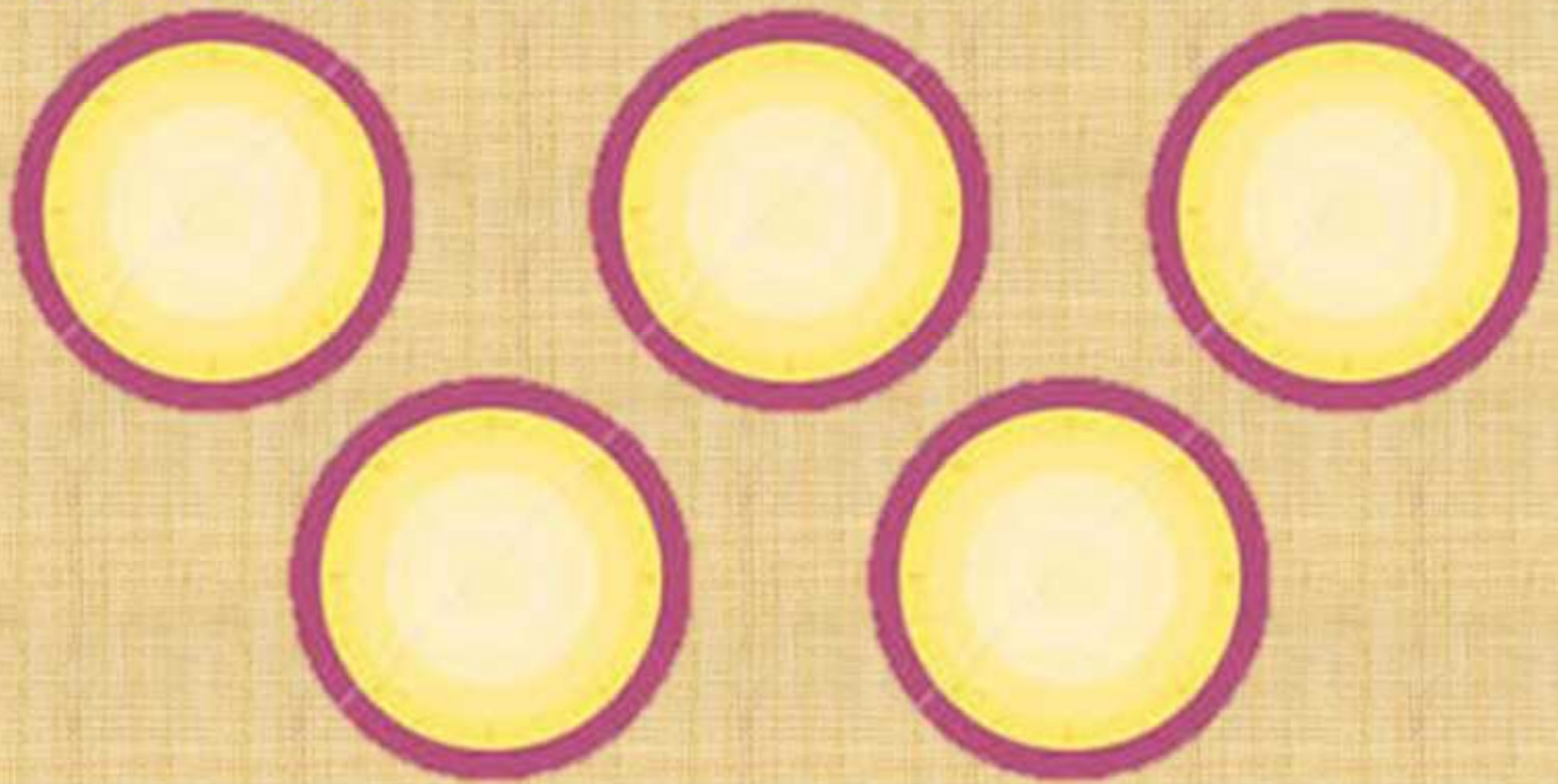


- red been paste 5.4oz

SLICE



SLICE



PUT ON



MIXTURE OF VEGETABLES



▪ cabbage 10.7oz

▪ carrot 1.8oz

▪ salt 0.02oz

▪ miso 1.1oz

▪ sugar 0.3oz

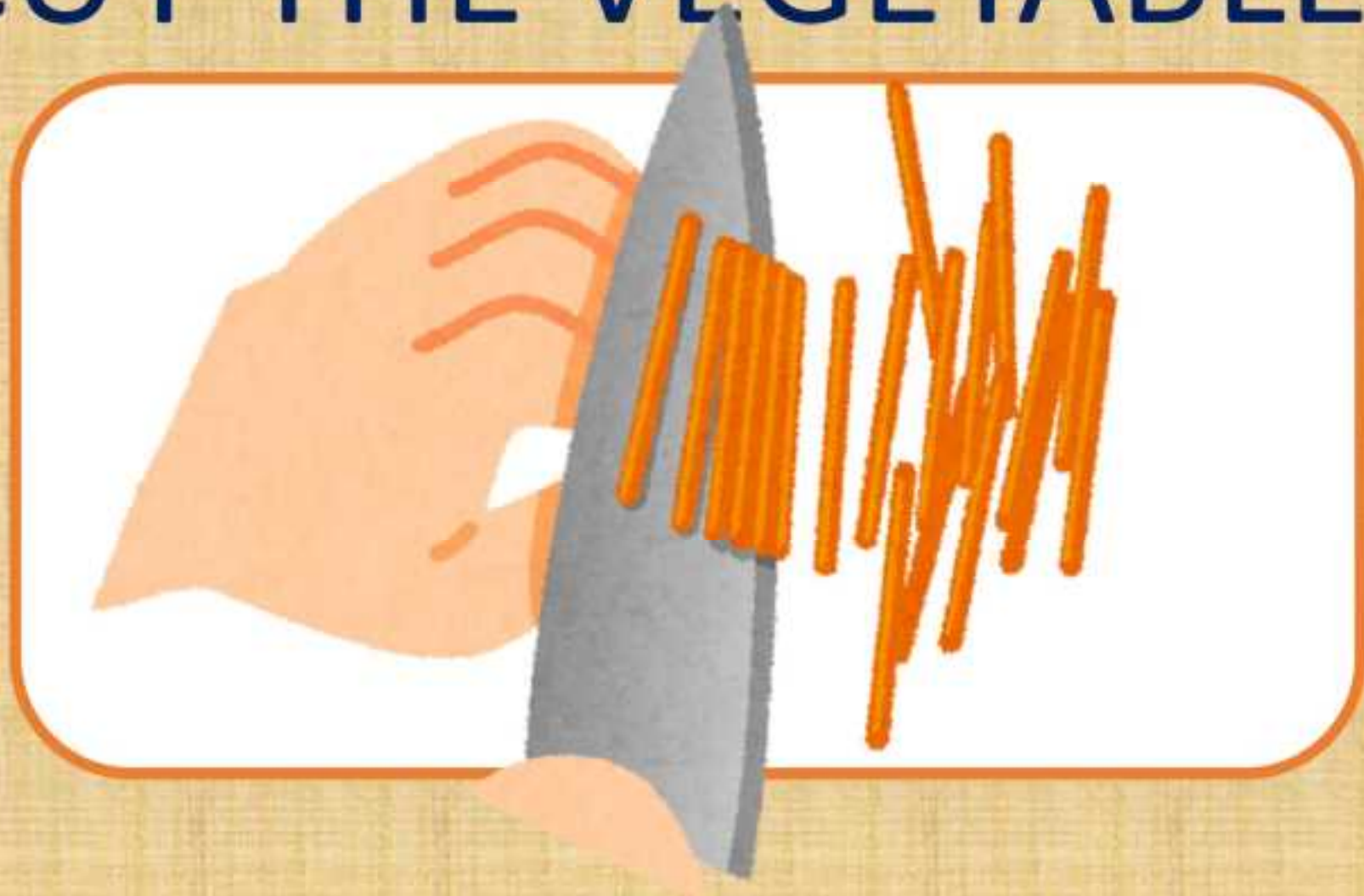
▪ vegetable oil 0.2oz



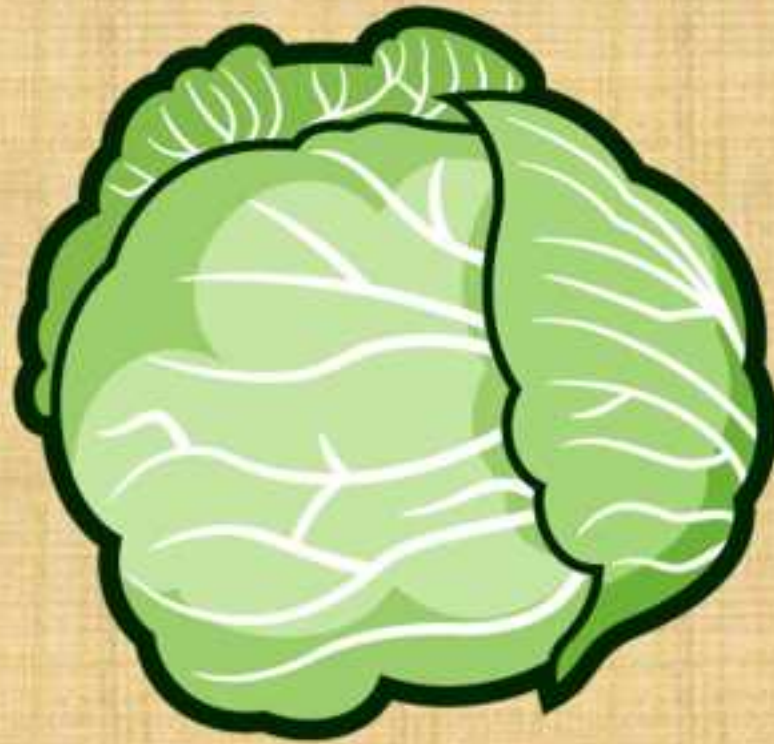
CUT THE VEGETABLE



CUT THE VEGETABLE



CUT THE VEGETABLE



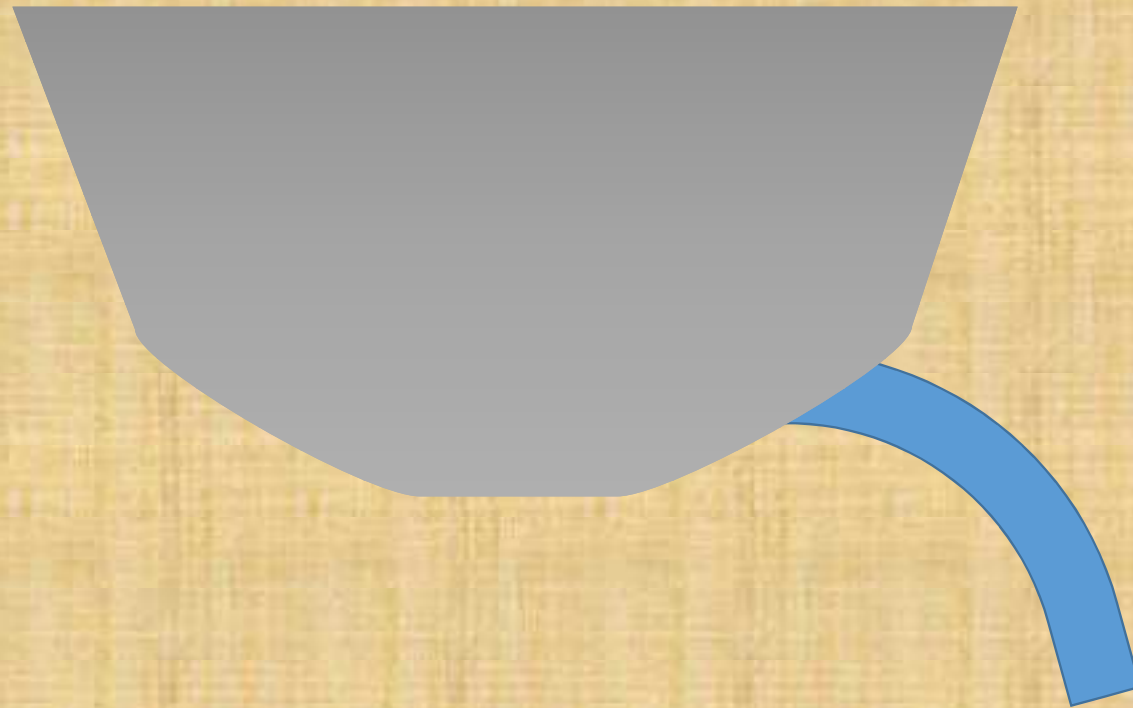
CUT THE VEGETABLE



SPLINKLE THE SOLT



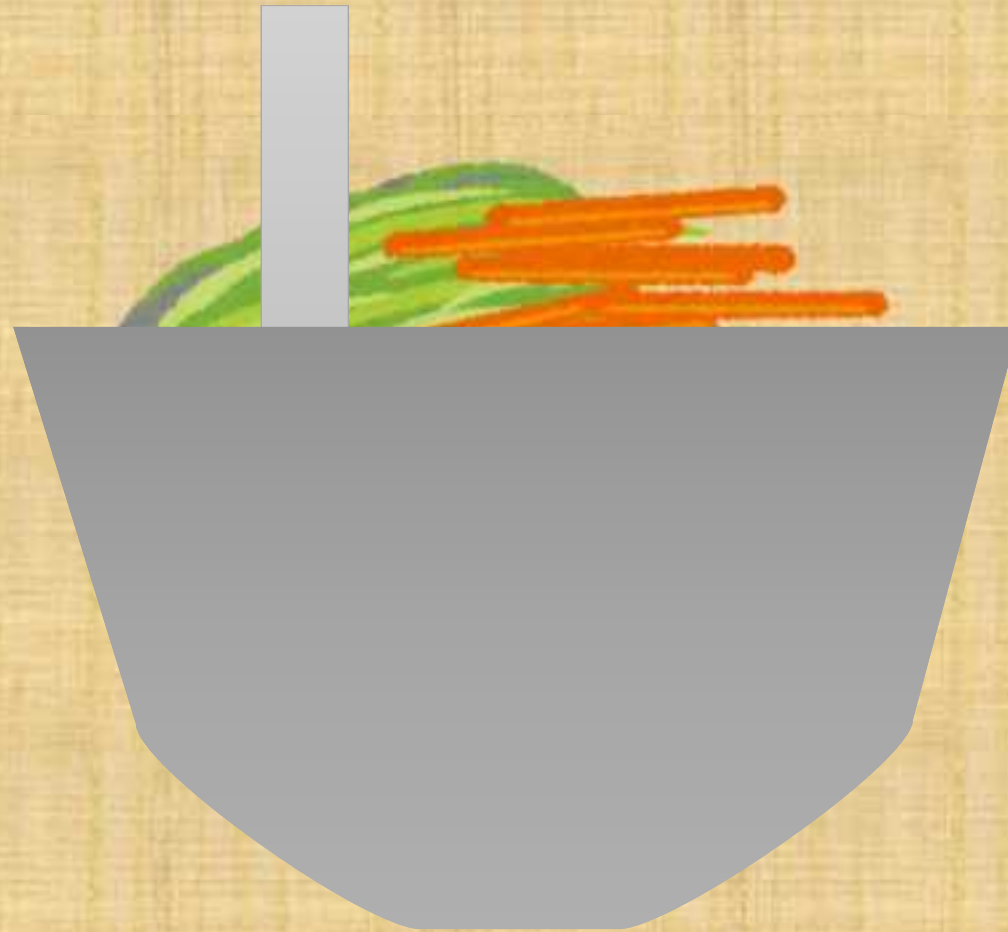
**SQUEEZE EXCESS
MOISTURE**



MIX WITH VEGETABLE



MIX WITH VEGETABLE



Last

work



WRAP INGREDIENTS



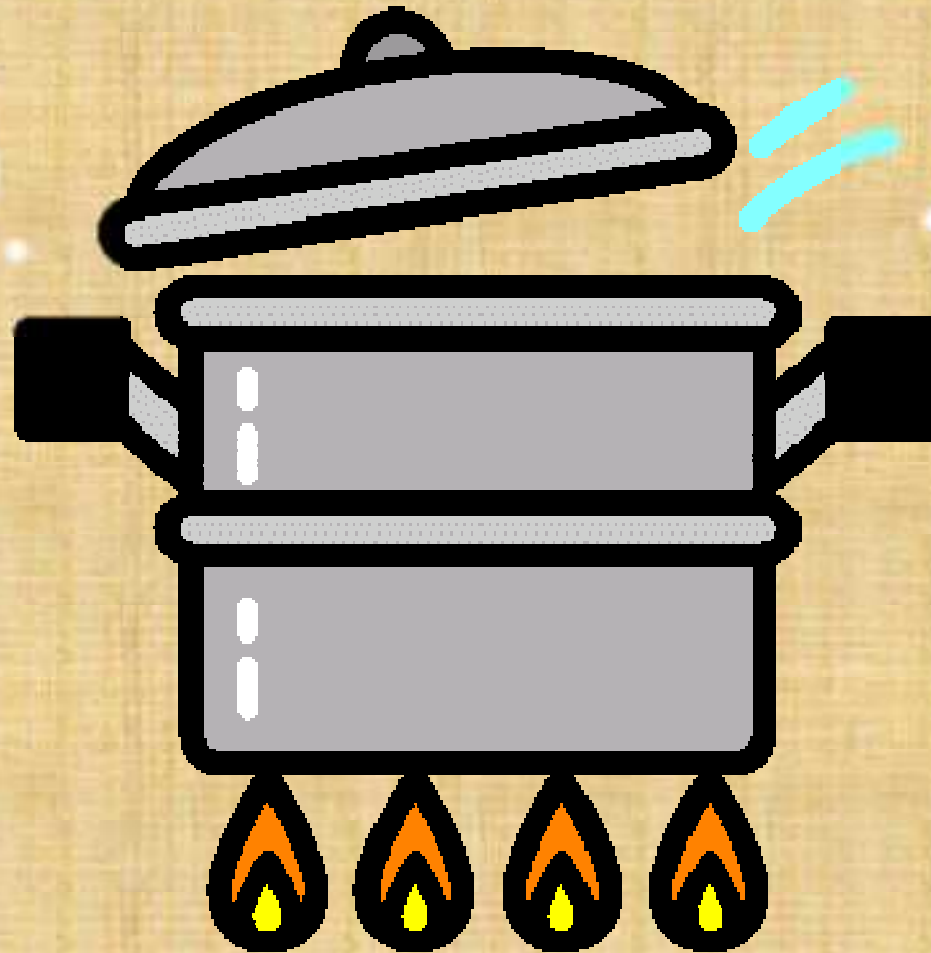
WRAP INGREDIENTS



WRAP INGREDIENTS



STEAM FOR 20MINUTES





OYAKIN



KANNA
CHAN



Finish!

蔵の町並みキャンパス 成果発表会

村山早生ごぼうを使った ごぼうクッキーの報告

長野県短期大学健康栄養専攻2年 調理学ゼミ 井出、塚本

概要

- 須坂市からの依頼を受け、須坂市の伝統野菜である村山早生ごぼうをお菓子に使えないかと、クッキーをつくることにした。



試作1回目

- 一般的なクッキーのレシピに、
ごぼうを取り入れた。
- ごぼうの形態をすりおろし・
さがき・粗みじんで考えた。



試作1回目

- みんなで試食した結果、すりおろしのごぼうを加えることに決めた。
- クッキーの型をゼミ生が考えることにした。



試作2回目

- 味噌の分量をクッキー10枚あたり、
10g・20gとした。
→もっと細かく味噌の量を考えることにした。
- 須坂市の形からクッキー型を作成した。



引用:Google マップ

試作3回目

- 味噌の分量をクッキー10枚あたり、
5g・10g・15g・20gとした。
→官能検査の結果、10～15g
にすることにした。



完成！

- お手元の配布資料に材料・レシピをのせておきました。
- ぜひご家庭で作ってみてください。



まとめ

- 村山早生ごぼうの特性を生かしたクッキーを作ることができた。
- 試行錯誤の中、おいしいクッキーを作ることができた。



ご清聴ありがとうございました！



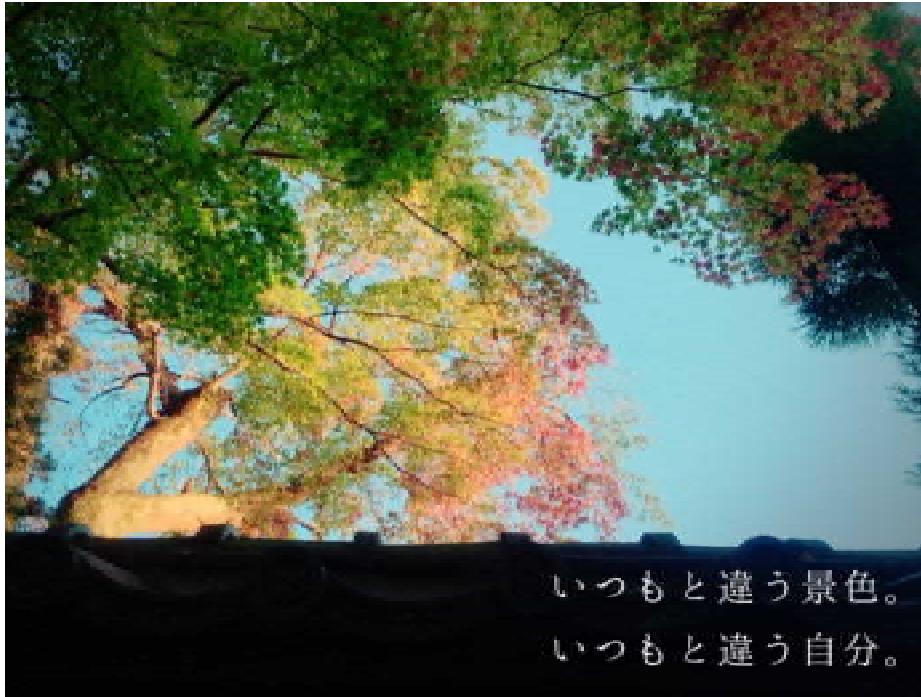
須坂蔵の町並みキャンパス
—見学地の情景—

長野県短期大学 日本語日本文化専攻
日本語・中国文学・近現代文学ゼミ

平成28年度 蔵の町並みキャンパス

- 2016年10月24日（月）13:30～17:30に実施
- 豪商の館田中本家博物館、旧小田切家住宅、臥竜公園、世界の民俗人形博物館を見学・散策した。
- 参加者は24名（学生21名、教員3名）

【豪商の館 田中本家博物館】



いつもと違う景色。
いつもと違う自分。

【田中本家】

製作者：三原千夏

- ・紅葉、瓦、空の三つが綺麗に撮れることがなかなかないことを、「いつもと違う景色」という言葉にした。
- ・立止まって上を見上げることもなかなかないので、「いつもと違う自分」という言葉にした。



【田中本家】

製作者：吉池まどか

- 裏道から覗く木々が四季折々の風景を生み出していて、立ち止まらずにはいられない場所でした。



【田中本家】

製作者：龍野佑美香

- 田中本家の見せる秋の景色をコンセプトに、背景に秋らしい風景が広がりながら、手前の美しい朝顔が印象深いこの画像を選びました。

【旧小田切家】

【旧小田切家】 製作者：小林彩夏



- ・台所はいつでも、人や光の集まる暖かい場所だと思い、このコピーをつけました



【旧小田切家】

製作者：待井希

- 現代の須坂市の街中にもかかわらず、昔の暮らしを垣間見ることが出来ました。

【旧小田切家】 製作者：小林もも



- 旧小田切家住宅では建物内でお抹茶を頂くことができます。ここを訪れた方にはぜひ、昔ながらの雰囲気味わいながらゆっくりした時間を過ごしてほしいという思いからこの写真を選びました。

【臥竜公園】



【臥竜公園】

製作者：佐藤大輝

- 臥竜公園ののんびりした雰囲気をとんぼが止まっている様子で伝えました

【臥竜公園】 製作者：星山楓南



- ・陽の光が差した池や公園の様子が分かるように撮りました。

【世界の民俗人形博物館前】

【人形博物館前】 製作者：小川みのり



萌黄、若竹、常磐、千歳緑
日本の「緑」を味わいませんか？

- 人形博物館前の小道の、緑の豊さをテーマとし、光に反射して様々な色に輝く草木を日本古来の色の名前を用いて表現しました。

【人形博物館前】 製作者：畠山優花



- きれいな夕日に照らされる建物と赤いザクロから感じられる、秋の風情や蔵の町の落ち着いた雰囲気コンセプトにこの写真を選びました。

取り組みのまとめ

- ポストカードに言葉を添えたことで、須坂の魅力をより深く伝えられた。
- 町並みを写真に撮ることで、普段見逃してしまいがちな風景を形に残すことができた。
- 実際に須坂市の町並みや建造物を見ることで、歴史や文化を肌で感じることができた。

須坂市の小・中学校における 地域の伝統・文化資源の教材活用 に関する研究

信州大学教育学部
家庭科教育コース
林 美香



背景

グローバル化の進展

「次期学習指導要領等に向けられた
これまでの審議のまとめ」

伝統や文化に立脚した
広い視野を持つこと

学習指導要領において

伝統と文化



学習指導要領(小学校)の内容例

□国語科

◇伝統的な言語文化に関する事項

- ・昔話や神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞いたり，発表し合ったりすること。
(第1・2学年)
- ・易しい文語調の短歌や俳句について，情景を思い浮かべたり，リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。(第3・4学年)
- ・長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使うこと。
(第3・4学年)
- ・親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章について，内容の大体を知り，音読すること。(第5・6学年)

□家庭科

- ◇米飯やみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることにも触れること。(第5・6学年)

目的

地域の伝統・文化

授業実践の実態

教材活用の在り方

長野県須坂市



引用 : googlemap

長野県須坂市

養蚕・製糸業が繁栄した歴史



蔵の町並み



蔵の町並みキャンパス



<http://www.city.suzaka.nagano.jp/>

調査方法

調査期間

平成28年12月1日～12月15日

アンケート調査

「地域の伝統・文化を活用した授業実践に関する」
アンケート

調査方法

調査対象：須坂市内すべての
小学校11校・中学校4校
教頭先生
学年主任の先生
教科主任の先生(中学校)

結果

長野県の伝統・文化に関わる
授業実践の教科別割合

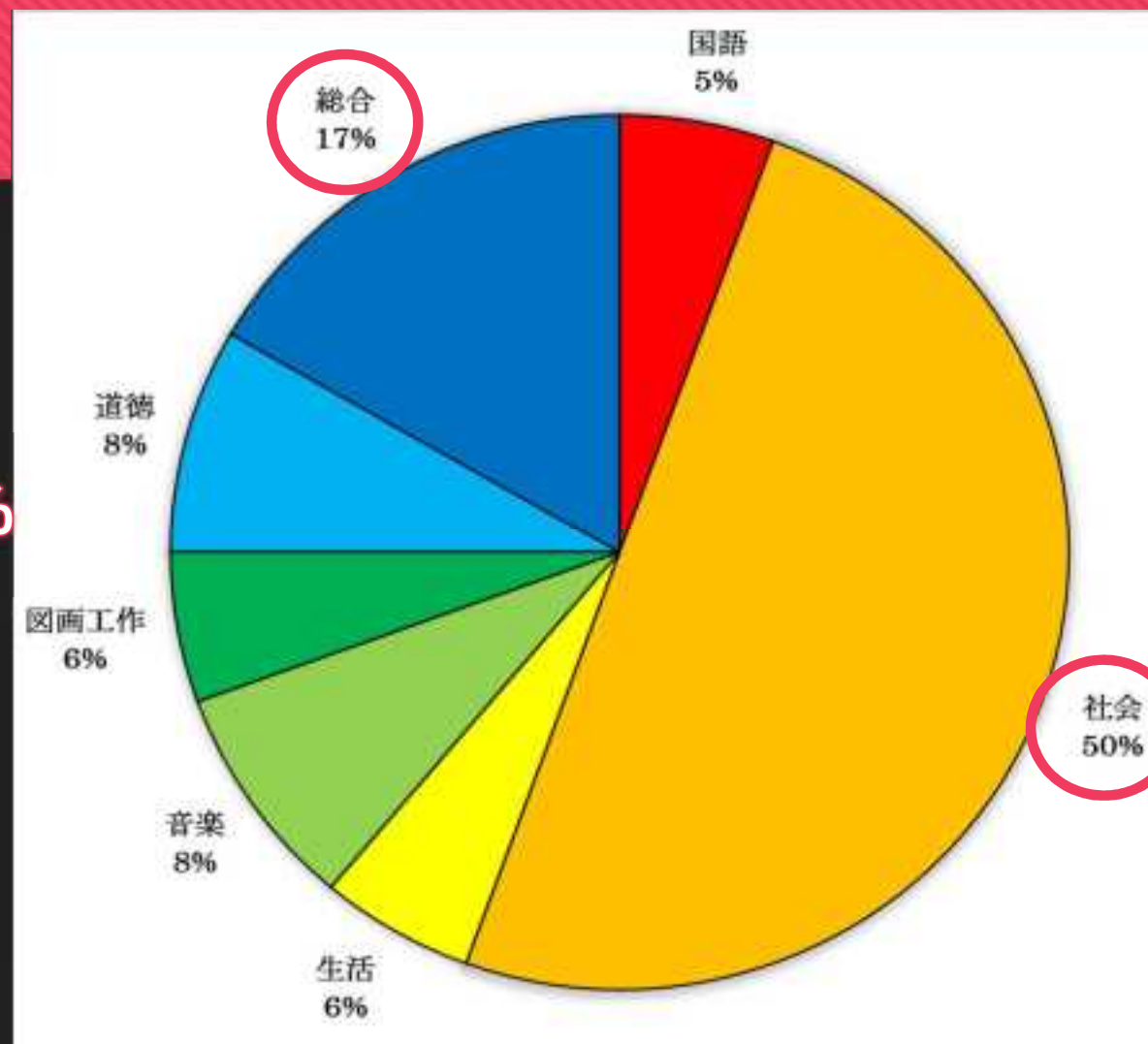
須坂市内の資源を抽出

長野県の伝統・文化に関わる 授業実践の教科別割合 (小学校)

「社会」 50%

「総合的な学習の時間」 17%

「算数」「理科」「家庭」
の授業実践について
回答を得られなかった



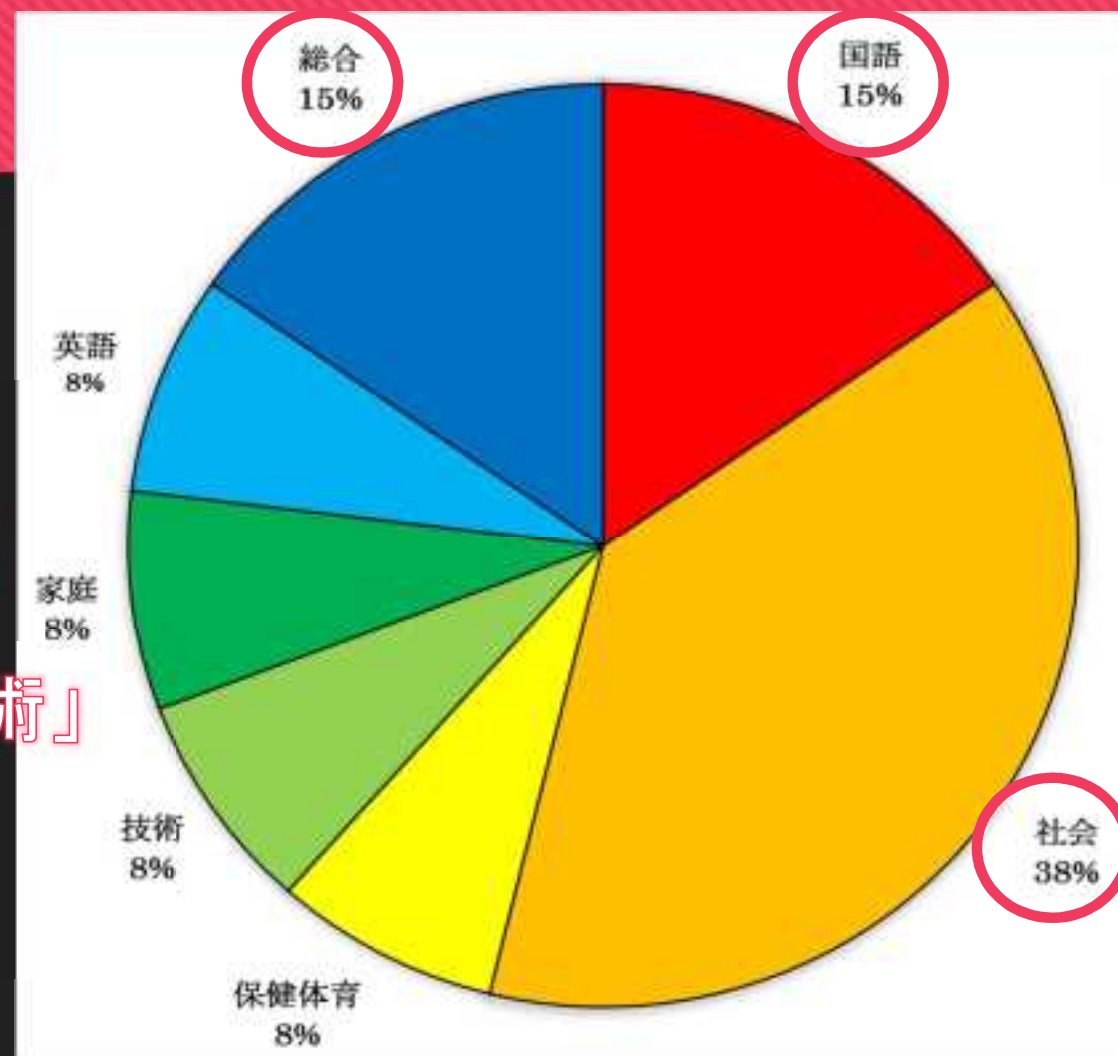
長野県の伝統・文化に関わる 授業実践の教科別割合 (中学校)

「社会」 38%

「国語」 15%

「総合的な学習の時間」 15%

「数学」「理科」「音楽」「美術」
の授業実践について
回答を得られなかった



須坂市内の資源 アンケート調査より 23件の回答を得た

自然 …1件

人物 …2件

施設 …5件

食 …4件

産業 …2件

歴史・文化 …10件

その他 …1件

常盤中学校区
(須坂小学校・小山小学校・
日滝小学校を含む)

健御名方神社(長野県須坂市大谷町)

資源分類：歷史・文化

活用されている教科：図画工作、総合的な学習の時間

授業事例：小学校第5学年を対象にした図画工作

授業内容：地域の神社の写生(神社の歴史や由来を学習した上で、絵にしてい

授業事例：小学校第6学年を対象にした総合的な学習の時間

授業内容：地域の史跡巡り

(歴史的建物、祭事、などから、当時の人々の生き方や大事にしてきたものを学ぶ。)

『健御名方神社(長野県須坂市大谷町)』は、須坂市立日滝小学校の西隣にある神社であり、諏訪社跡を引き継ぐものと考えられている。明治40年に、国の神社整理統合策により、本郷の八幡宮、大谷の山の神、高橋の皇大神宮の三社の建物を移動し、現在の健御名方神社社殿が建てられた。

須坂探検マップ <http://www.suzakamap.com>

須坂市誌 第二巻 地誌・民俗編 発行 須坂市 平成26年3月31日発刊



相森中学校区 (豊洲小学校・旭ヶ丘小学校 を含む)

旧越家住宅(山丸一番館)(長野県須坂市春木町435-2)

資源分類：施設

活用されている教科：社会

越寿三郎

資源分類：人物

活用されている教科：社会

授業事例：小学校第3学年の社会

授業内容：須坂の産業・文化のために力をつくしてくださった越寿三郎さんを
窓口に須坂の特徴やよさに関心を寄せる。

『越寿三郎(1864~1932)』は、長野県須坂市の豪商小田切家の三男として生まれ、
20歳で越家の養子となった。明治から昭和時代前期の実業家であり、須坂の製
糸業を繁栄させ、後に「製糸王」と呼ばれた。

『旧越家住宅(須坂市春木町435-2)』は、越寿三郎ゆかりの建物である。平成15
年9月には、主屋と二つの土蔵が国の登録有形文化財となった。

「越寿三郎物語」 www.city.suzaka.nagano.jp

旧越家住宅(山丸一番館) 歴史と自然の香る街 信州すざか

www.suzaka-kankokyokai.jp



墨坂中学校区 (森上小学校・日野小学校・ 井上小学校・高甫小学校を含む)

須坂の井上黒(三峰紀聞)

(井上氏居館跡 長野県須坂市井上町)

資源分類：歴史・文化

活用されている教科：国語

授業事例：中学校第1～3学年の国語(伝統的な言語文化と国語の
特質に関する事項)

授業内容：平家物語(須坂の井上黒)

『須坂の井上黒』は、「平家物語」巻9「知章最後」に記述がある。井上で生まれた黒馬が後白河法皇の御所に送られ、法皇は井上黒と名付け、自分の馬として大切に飼った。ある時法皇は「ここでは何の働きもできない」とふびんに思い平家に与え、平清盛の四男・知盛の名馬として戦場を駆けたとされる。

須坂新聞WEBサイト <http://www.suzakanews.co.jp>

『三峰紀聞故事(三峰紀聞)』は、江戸時代に須坂藩家老「丸山辰政」が書いた須坂見聞録である。須坂の伝説や口碑をまとめている。

須坂探検マップ <http://www.suzakamap.com>



東中学校区 (仁礼小学校・豊丘小学校を含む)

芭蕉句碑 秋風塚(長野県須坂市仁礼)

芭蕉句碑 花上塚(長野県須坂市米子)

資源分類：歴史・文化

活用されている教科：国語

授業事例：中学校第1,2学年の国語(B 書くこと)

授業内容：古典を学ぶ中で、須坂市・小布施町の芭蕉や一茶の句碑を紹介し、俳句作りを行っている。

『芭蕉句碑』は、「翁塚」と呼ばれる。俳諧を学ぶ者の中には松尾芭蕉を敬う人が、全国各地に「松尾芭蕉の句碑」を建立した。

須坂市内芭蕉句碑：春の夜塚(長野県須坂市井上)・時雨塚(長野県須坂市墨坂神社芝宮境内)・蓑虫塚(長野県須坂市本上町勝善寺境内)・桜塚(長野県須坂市幸高秀泉寺横)・秋風塚(長野県須坂市仁礼)・花上塚(長野県須坂市米子)・月見塚(長野須坂市臥竜山頂上)

須坂探検マップ <http://www.suzakamap.com>



考察

有形の地域資源が多く活用されている

無形の地域資源の活用が少ない

《伝統・文化に関する地域資源》

多角的に捉える
活用方法を検討する

これから活用が期待できる 須坂市内の資源



『須坂市誌』

- ①複数の教科(特別活動も含む)で活用可能
- ②須坂市の気候・風土・歴史によって形成された
- ③地域の人々との交流を生み出す

日滝小学校を含む)

資源分類：産業

昭和の頃は、市内の瓦屋でも瓦が作られていたが、現在では、屋根瓦の施工のみを行う。須坂市内に残る土蔵の屋根には、瓦職人が、技巧と趣向を凝らした鬼瓦が飾られている。瓦生産が盛んで、高い技術を持った愛知県三河地方(三州)の神谷喜三郎が須坂の穀町で瓦屋を営んでいた森山家に招かれ、瓦屋の技術を伝えたとされる(第二巻505～508ページ)

小学校の理科(第6学年)

「(4)大地のつくりと変化 土地やその中に含まれる物を観察し、土地のつくりや土地のでき方を調べ、土地のつくりと変化についての考えを持つことができるようにする。ア 土地は、礫、砂、泥、火山灰及び岩石からできており、層をつくって広がっているものがあること」

「(1) 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、次の事項を指導する。ア 自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、暮らしの中の作品などを鑑賞して、よさや美しさを感じ取ること。」



相森中学校区 (豊洲小学校・旭ヶ丘小学校 を含む)

2-才 輪中(長野県須坂市北相之島町)

資源分類：歴史・文化

相之島町内の水害を防ぐ役割を担う。この地は八木沢川の河口に近く、豊洲地区でもっとも標高が低いため、たびたび湛水被害にあった。昭和41年八木沢水門に相之島排水機場が設けられたが、昭和50年代に台風による集中豪雨で、八木沢川が氾濫したため、居住者の転出世帯が続出した。この水害を機に町内への浸水を防ぐために、昭和58年に汚水排水路沿いの道路に設置された(第二巻160～162ページ)

学習指導要領と関連させた活用方法

小学校の社会(第3・4学年)

「(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。」

中学校の理科(第二分野)

「(7) 自然と人間自然環境を調べ、自然界における生物相互の関係や自然界のつり合いについて理解させるとともに、自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し判断する態度を養う。イ 自然の恵みと災害」



東中学校区 (仁礼小学校・豊丘小学校を含む)

4-カ ドキョ (長野県須坂市豊丘・仁礼の山間部)

資源分類：食

蚕の蛹のことを「ドキョ」といった。昭和30年代まで鍋で繭を煮て糸引きをした時に出るドキョや、売られているものを買って加工して食べていた。ドキョは春蚕のものが一番おいしいとされる。ドキョを炒ってから醤油・みりん・砂糖・酒・ネギ・山椒を入れて煮つけた(第二巻540ページ)

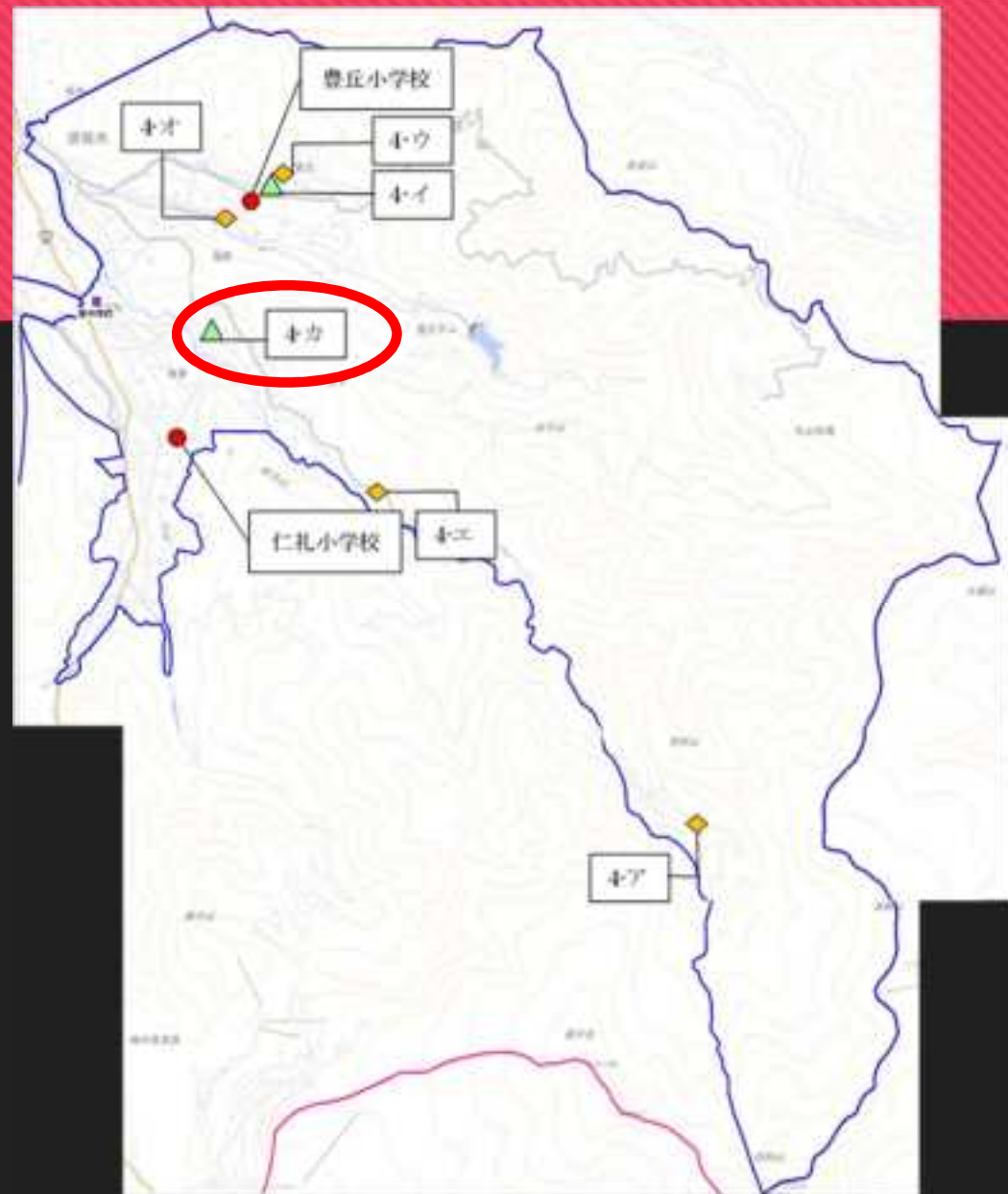
学習指導要領と関連させた活用方法

小学校の理科(第3学年)

「B 生命・地球 (1) 昆虫と植物 身近な昆虫や植物を探したり育てたりして、成長の過程や体のつくりを調べ、それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり、成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。」

小学校の生活(第1・2学年)

「(7) 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする。」に関連した活用が可能である。養蚕が盛んであった須坂市の歴史を学び、蚕について詳しく学習することで、養蚕が盛んであった当時は、蚕が人々の生活に大きく関わっていたことを理解することができるだろう。



まとめ

地域の伝統・文化資源の活用

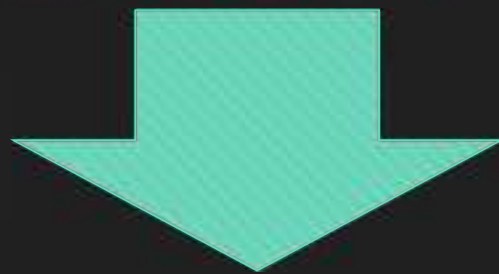


教材化の工夫

地域の方とつながる

今後

子どもの発信力
ふるさとに誇りを持つ



地域の発展

ご清聴ありがとうございました



街区の再生

信州大学工学部建築学科

建築設計製図Ⅳ課題

- 須坂市の歴史的街区を対象として、都市組織の個別的再生を通じて、街区全体を段階的に再生する。
- その全体プログラムを組み立てるとともに、個別的再生を個々に設計する。
ex)...step0 → step1 → step2 → step3

対象範囲

- 対象街区
- 対象街区に面している道路
- その道に面する敷地



敷地調査（ヒアリング調査・敷地周辺の調査）



敷地調査（対象街区）



2



1



3

敷地調査（対象街区）



5



4



6

講評会

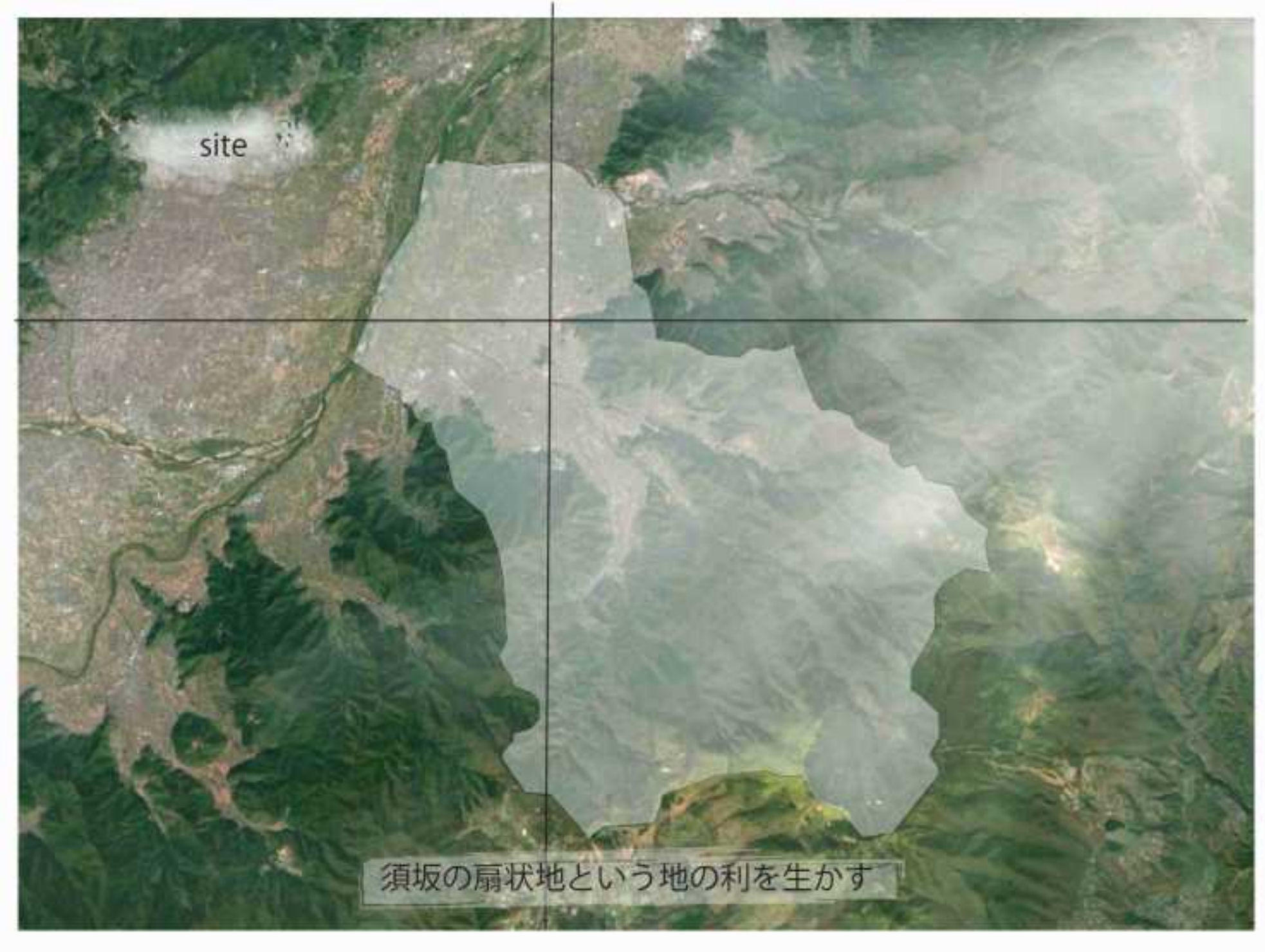


水がつなぐ縁

—街と人の隙間を建築で埋めていく—

親水空間をコミュニティ空間とし、
建築的に建物間の隙間を埋めて
いくことで、人と人との隙間を埋め
ていく街区の設計



A satellite photograph of a mountainous landscape. A large, irregularly shaped area in the center-right is highlighted with a semi-transparent grey overlay, representing a fan-shaped landform. The surrounding terrain is green and rugged, with some brownish patches indicating different land uses or vegetation. A black crosshair is overlaid on the image, with a vertical line passing through the highlighted area and a horizontal line intersecting it.

site

須坂の扇状地という地の利を生かす



駅と対象街区の位置関係



水が生活を、コミュニティを支えていた時代の終焉

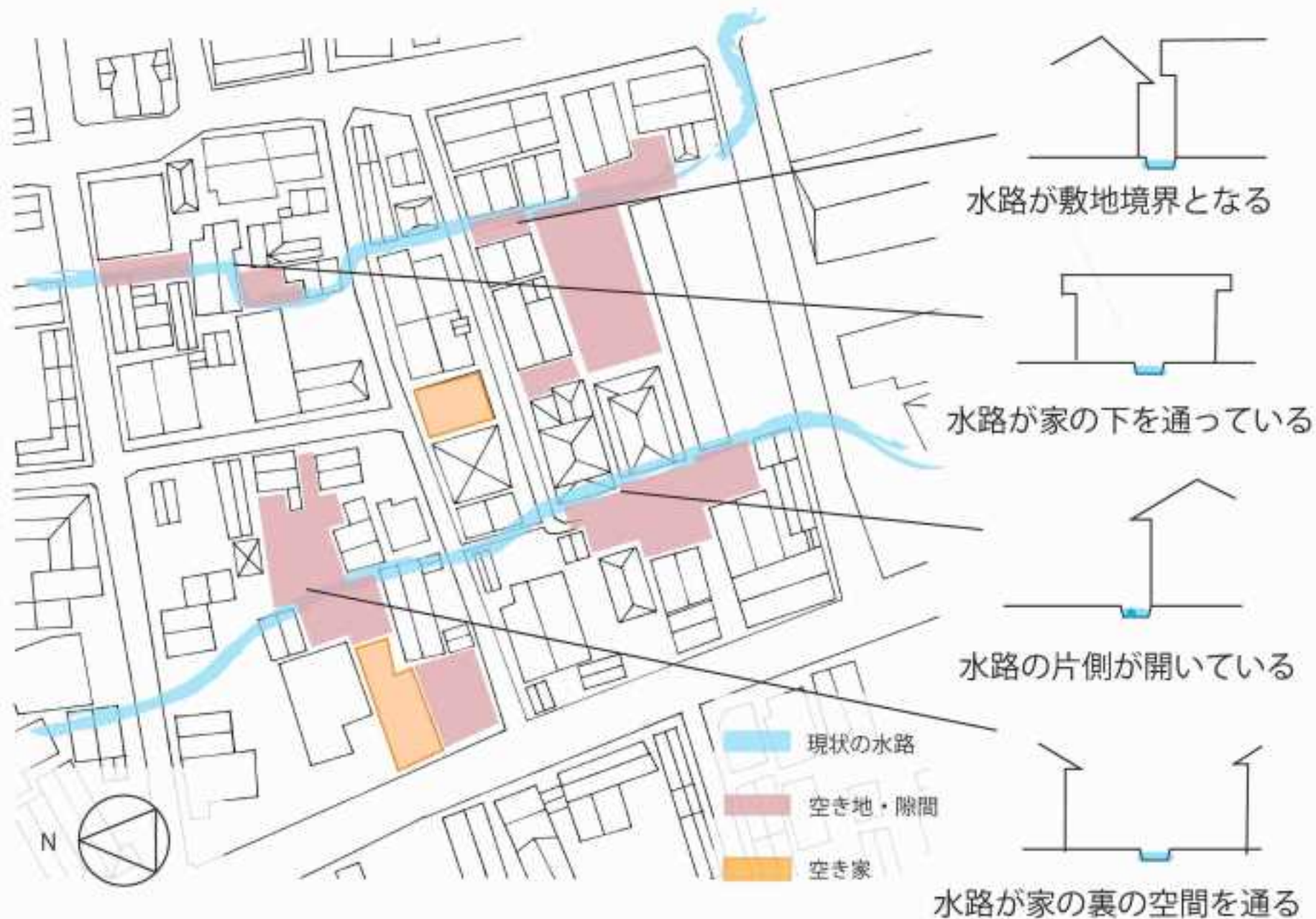
水空間の復元からデザインを考える

program

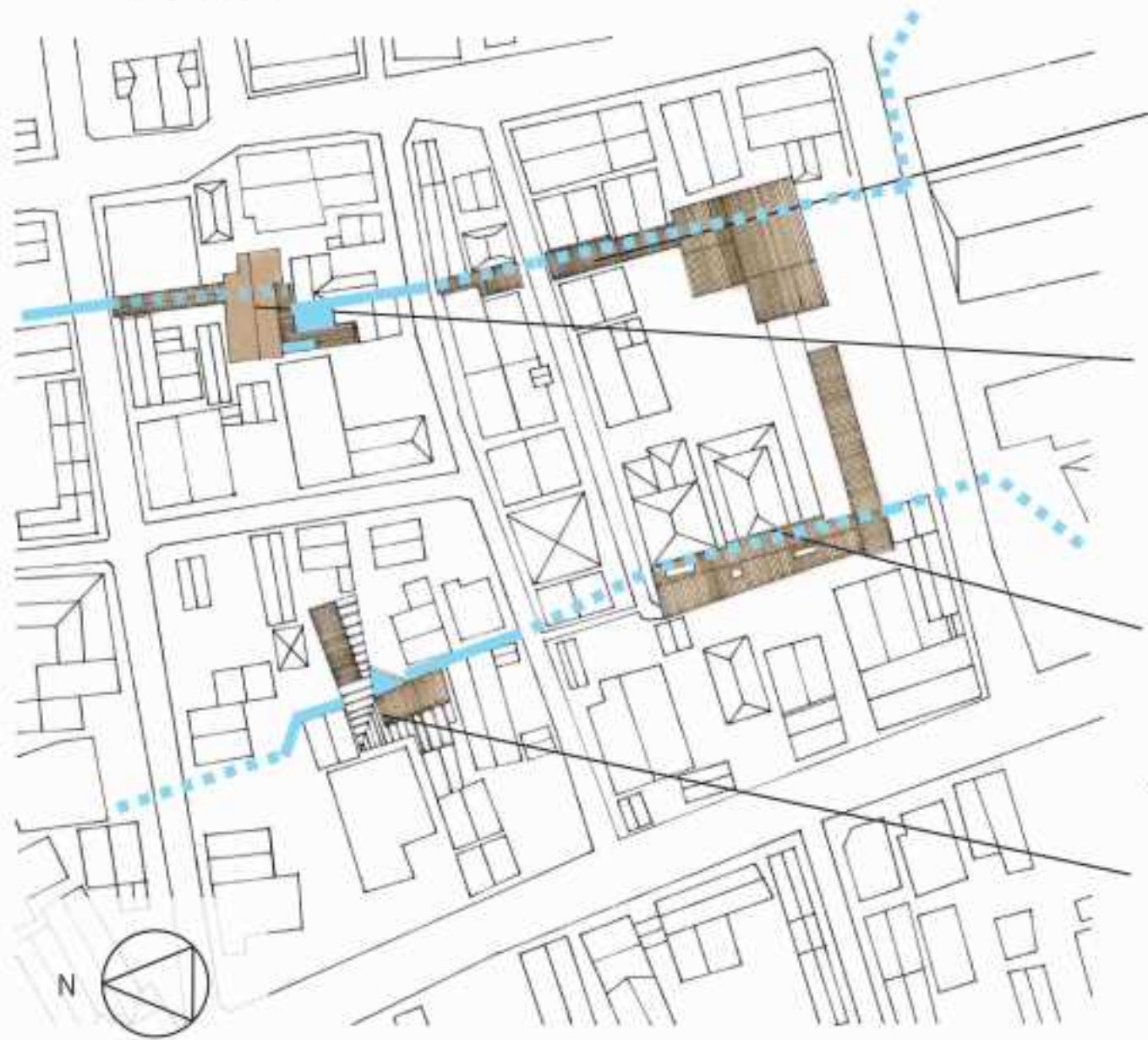
- 1 水景計画 ーコミュニティ空間の形成
- 2 改修計画 ー住空間の提案
- 3 修景計画 ー地域市民とのまちづくり

program

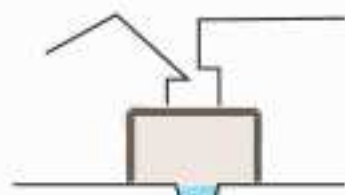
- 1 水景計画 ーコミュニティ空間の形成
- 2 改修計画 ー住空間の提案
- 3 修景計画 ー地域市民とのまちづくり



1 水景計画



再生プラン



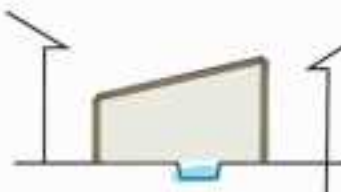
隣人との共有部となる



水路を生かした水車



住民と地域の交わりの場



裏の空間を埋める場

1 水景計画

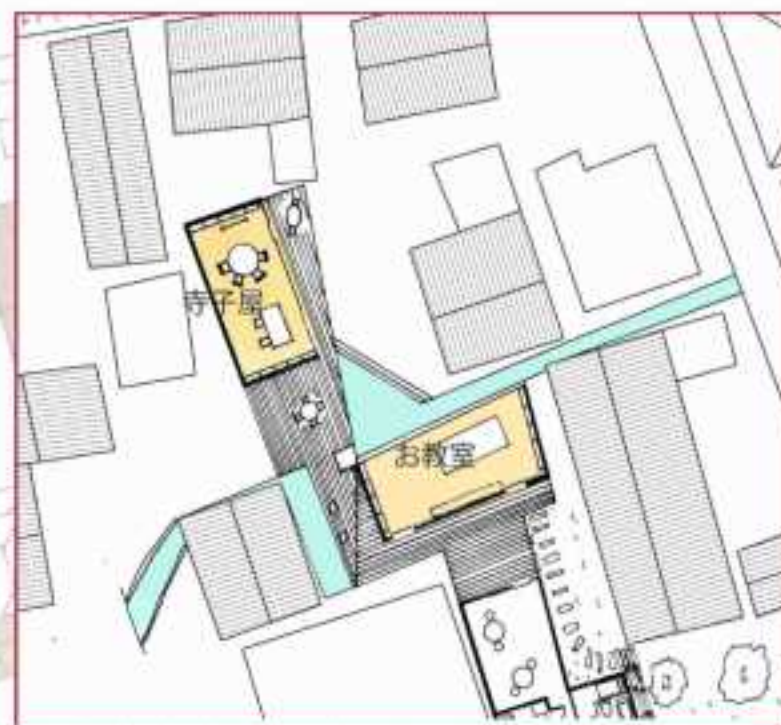
水車の復元

水路が住宅の下を通ることから
入れ子構造で下掛け水車を復元
し、動力で精米を行う。
水車の横を歩けたり、入れ子の
天窗から水車を覗くことができ
たりと博物的機能も持たせる

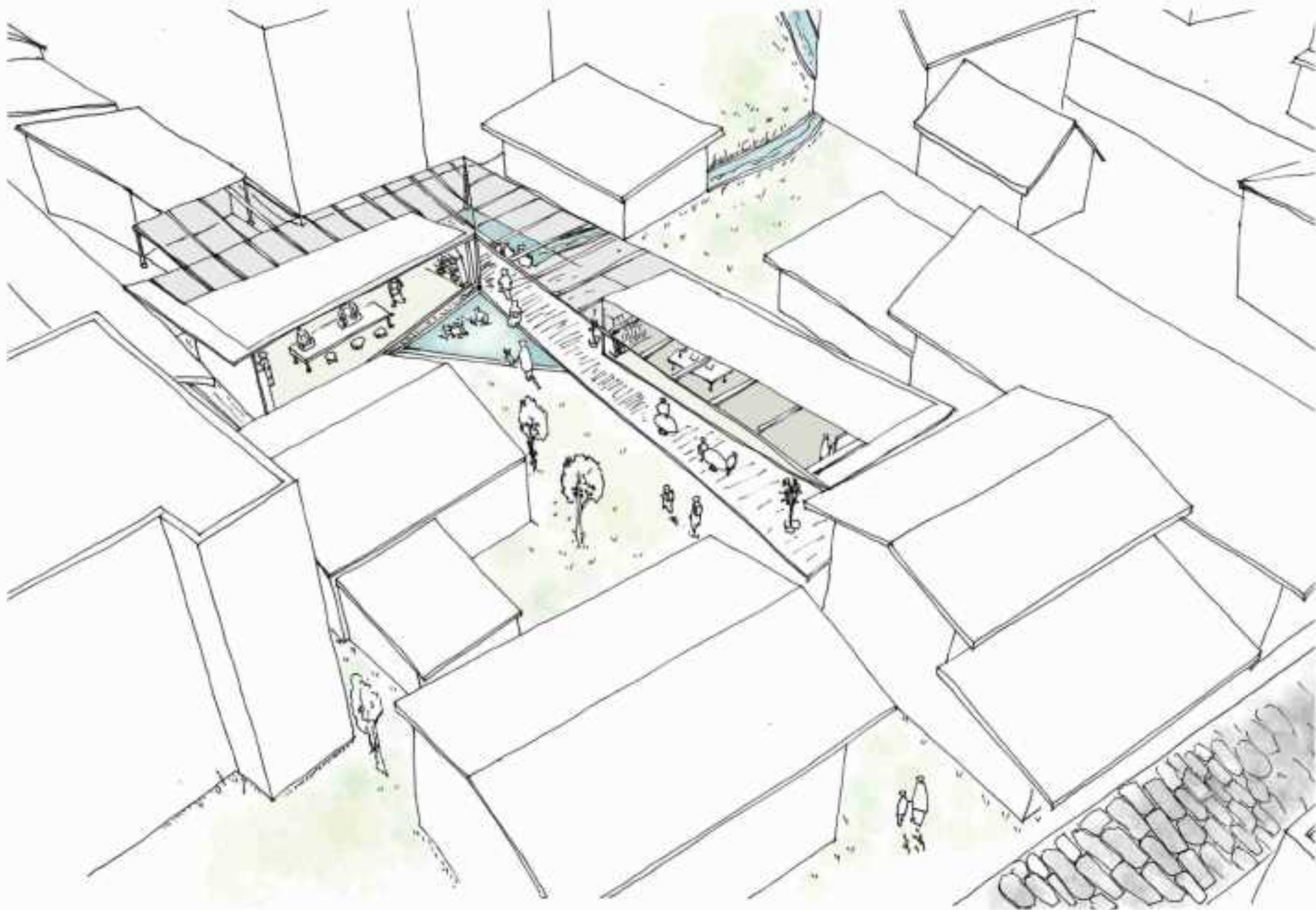


断面図

1 水景計画



住宅の裏空間に子供達の学びの場
として親水空間と学習塾、地域の
お教室を設計します



子供達のにぎわいあふれる場を作る

program

- 1 水景計画 ーコミュニティ空間の形成
- 2 改修計画 ー住空間の提案
- 3 修景計画 ー地域市民とのまちづくり

1

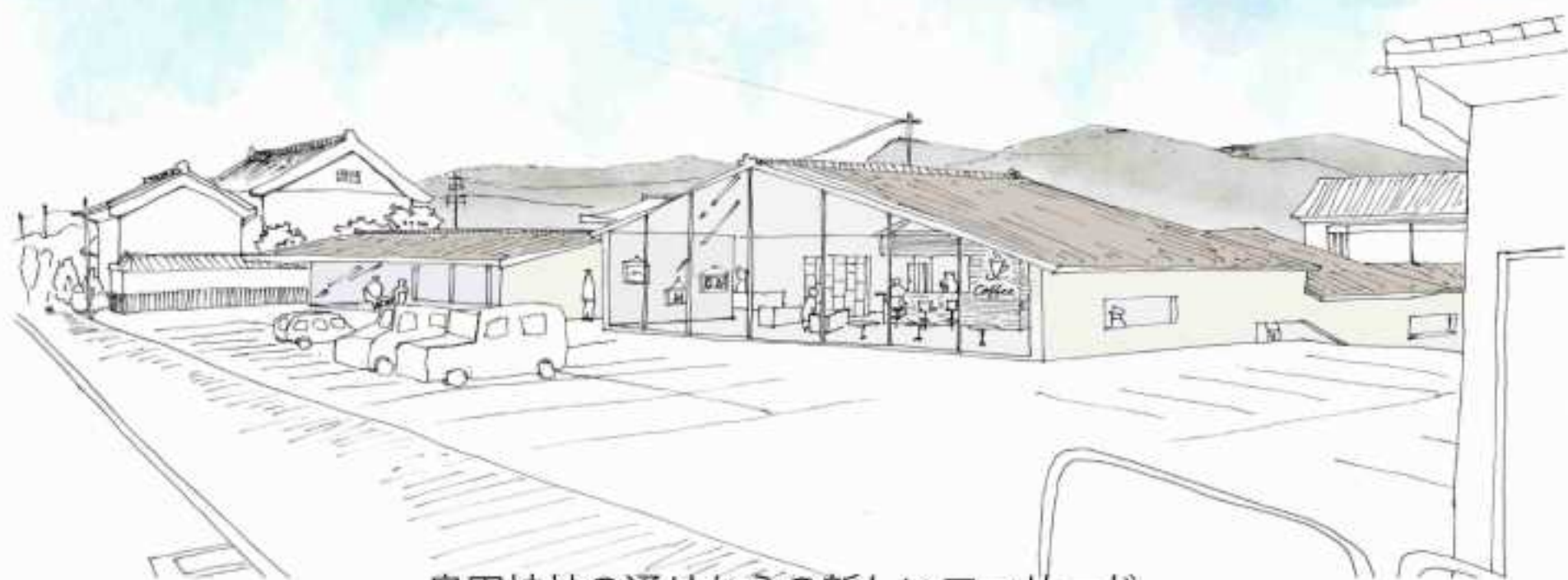


2 改修計画



コンテナの改修





奥田神社の通りからの新しいファサード



連続立面図

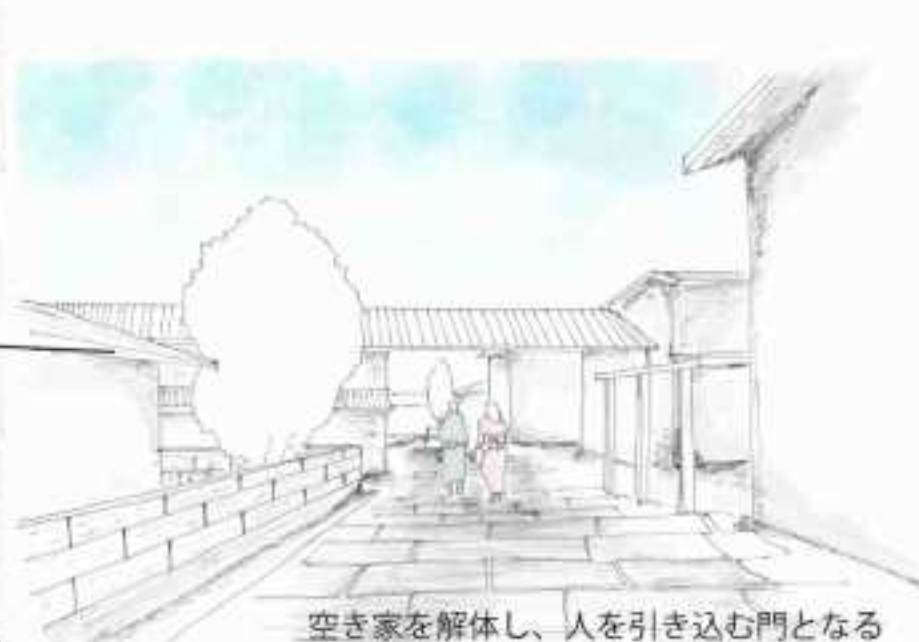
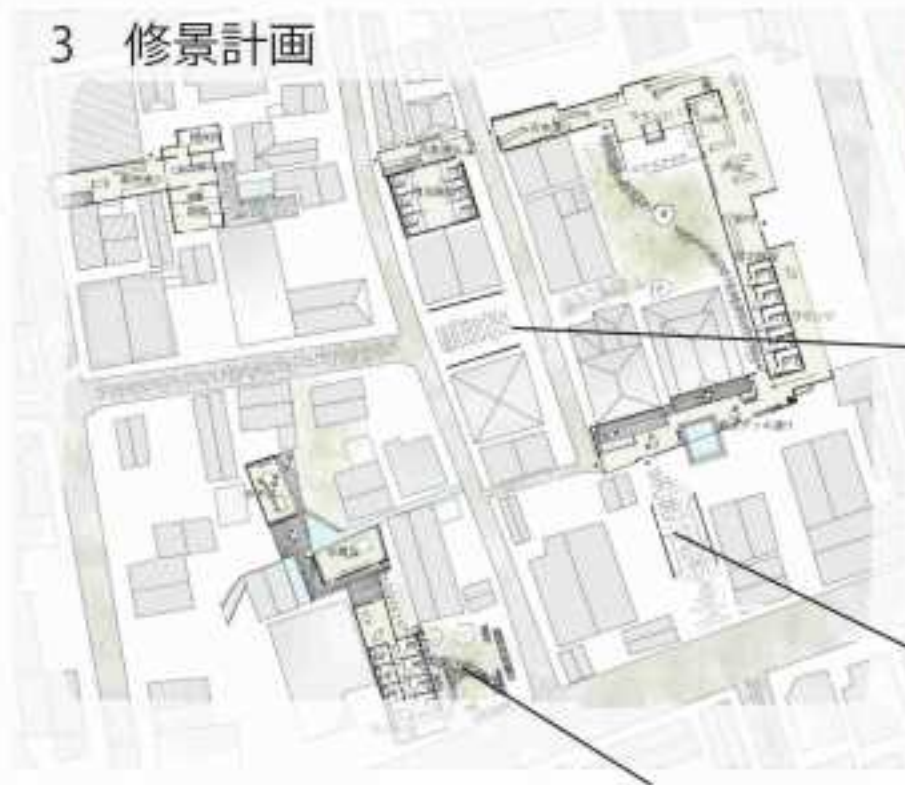


連続平面図

program

- 1 水景計画 ーコミュニティ空間の形成
- 2 改修計画 ー住空間の提案
- 3 修景計画 ー地域市民とのまちづくり

3 修景計画



空き家を解体し、人を引き込む門となる



空き地でバザーなどが行える公園を設計する

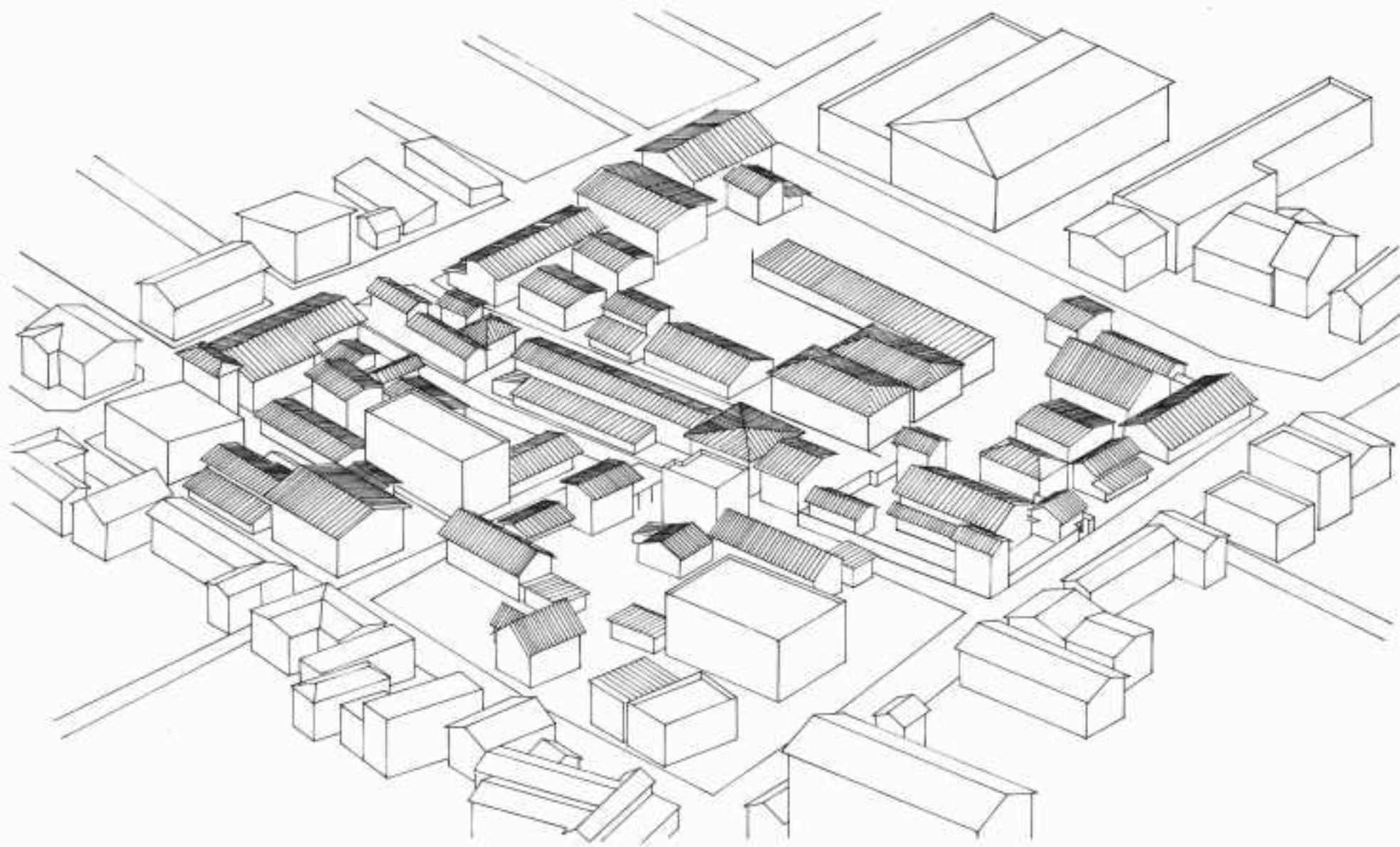


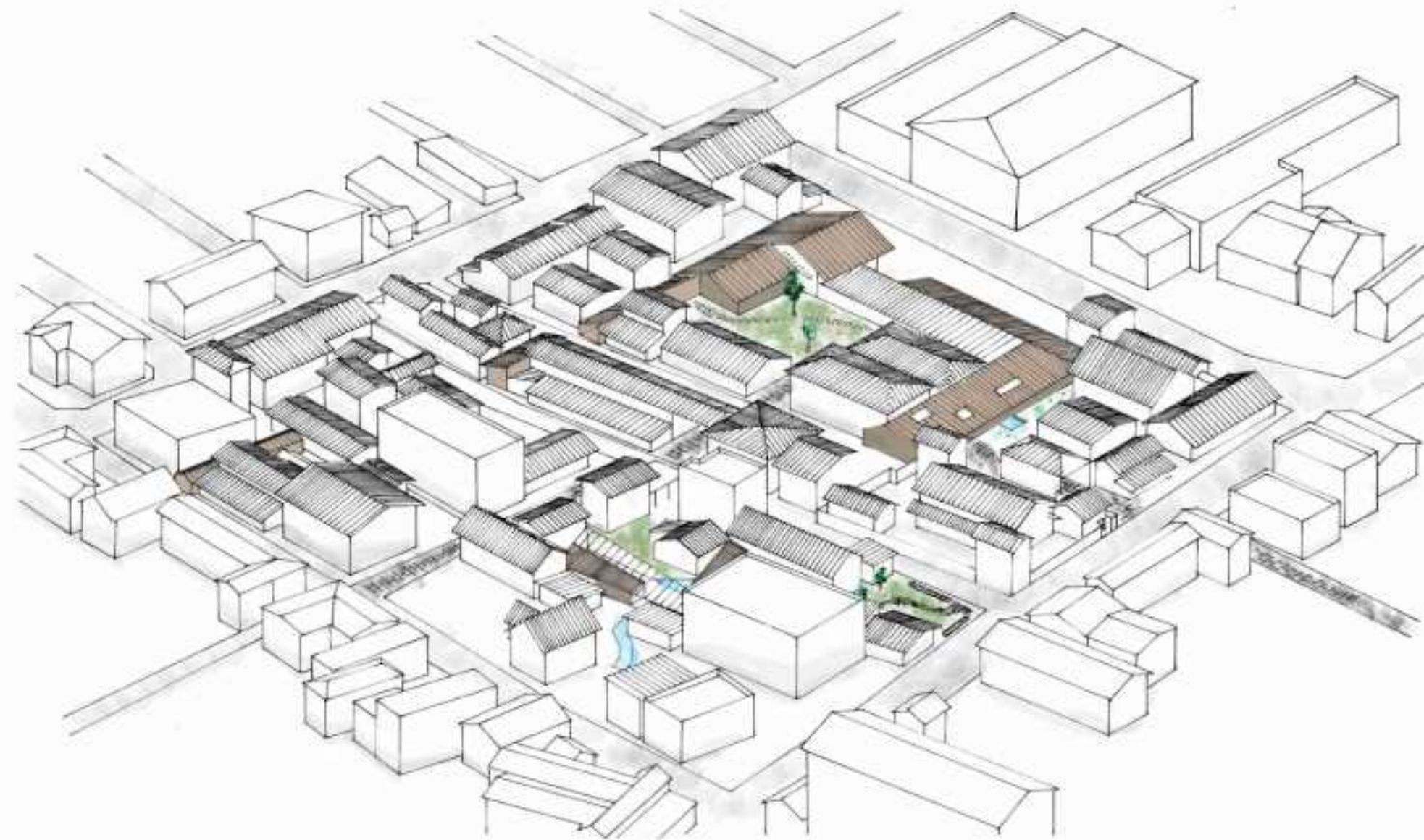
しらふじの洋館を解体し
石畳を敷くことで大門通
りからの延長空間を造る



親水空間とウッドデッキの憩いの場

0





ご静聴ありがとうございました

信州大学工学部建築学科 3 年 有田一貴

ひとが住むまち

信州大学建築学科3年 春日智也



STEP0

・須坂の現状



蔵のまちなみ



足軽長屋



荒地化した空地



道に面した駐車場

STEP0

・須坂の現状

空家の増加

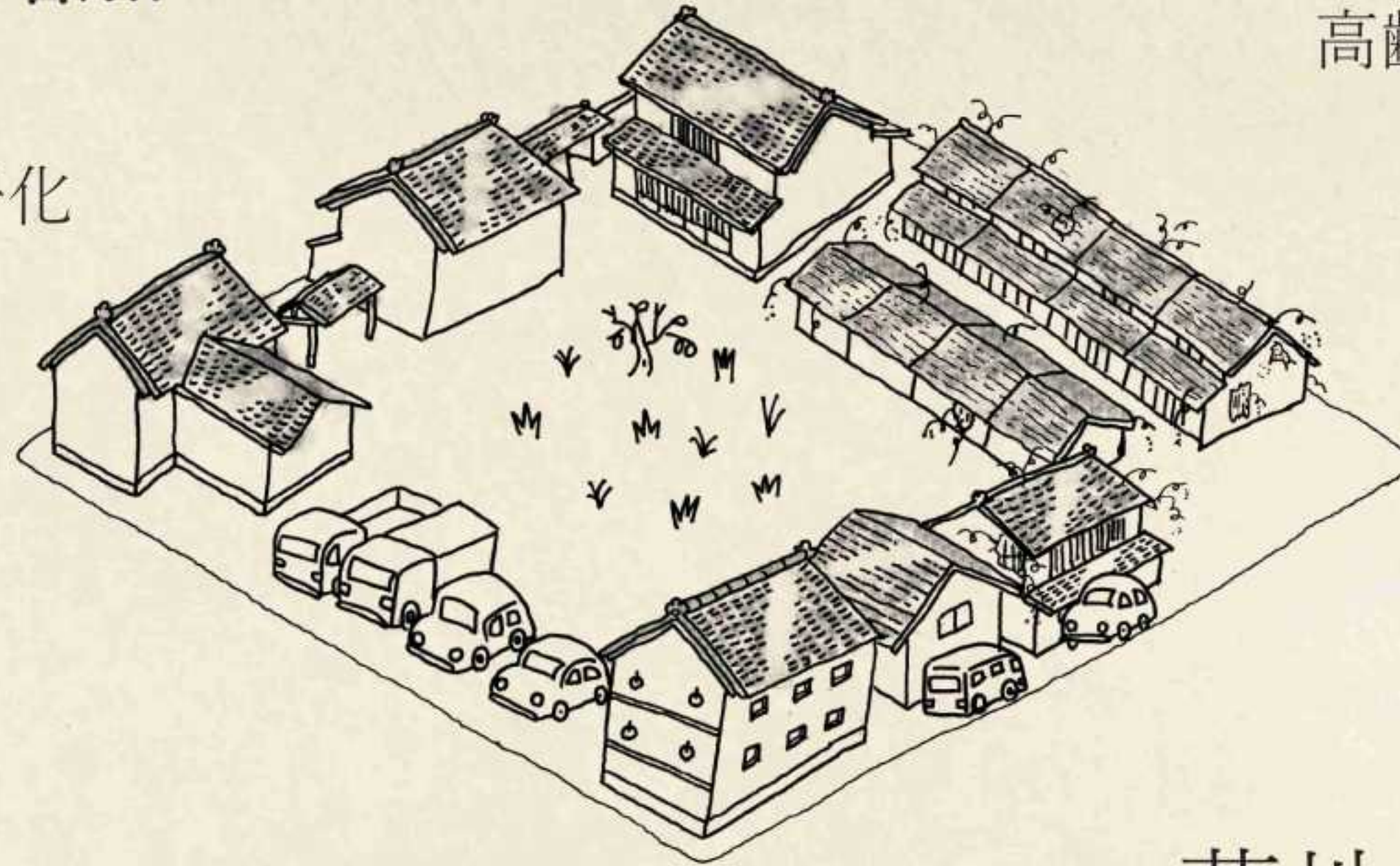
歴史的建物の老朽化、取壊

高齢化

少子化

空洞化

若い世代の人口減



賑わいの減少

無秩序に駐車場が増加

荒地化

再生の要点

- ・ひとが住む：ひとが住み続けることで、まちは成長する。
- ・修景：須坂らしさを守りつつ、新たな景観を創る。

STEP0

歴史的まちなみ

老朽化した長屋

道に面した駐車場

荒地

STEP1

長屋を店舗に改修

駐車場を街の内部に

STEP2

ボンエルフ (蛇行路)

子育て世代向けの住宅

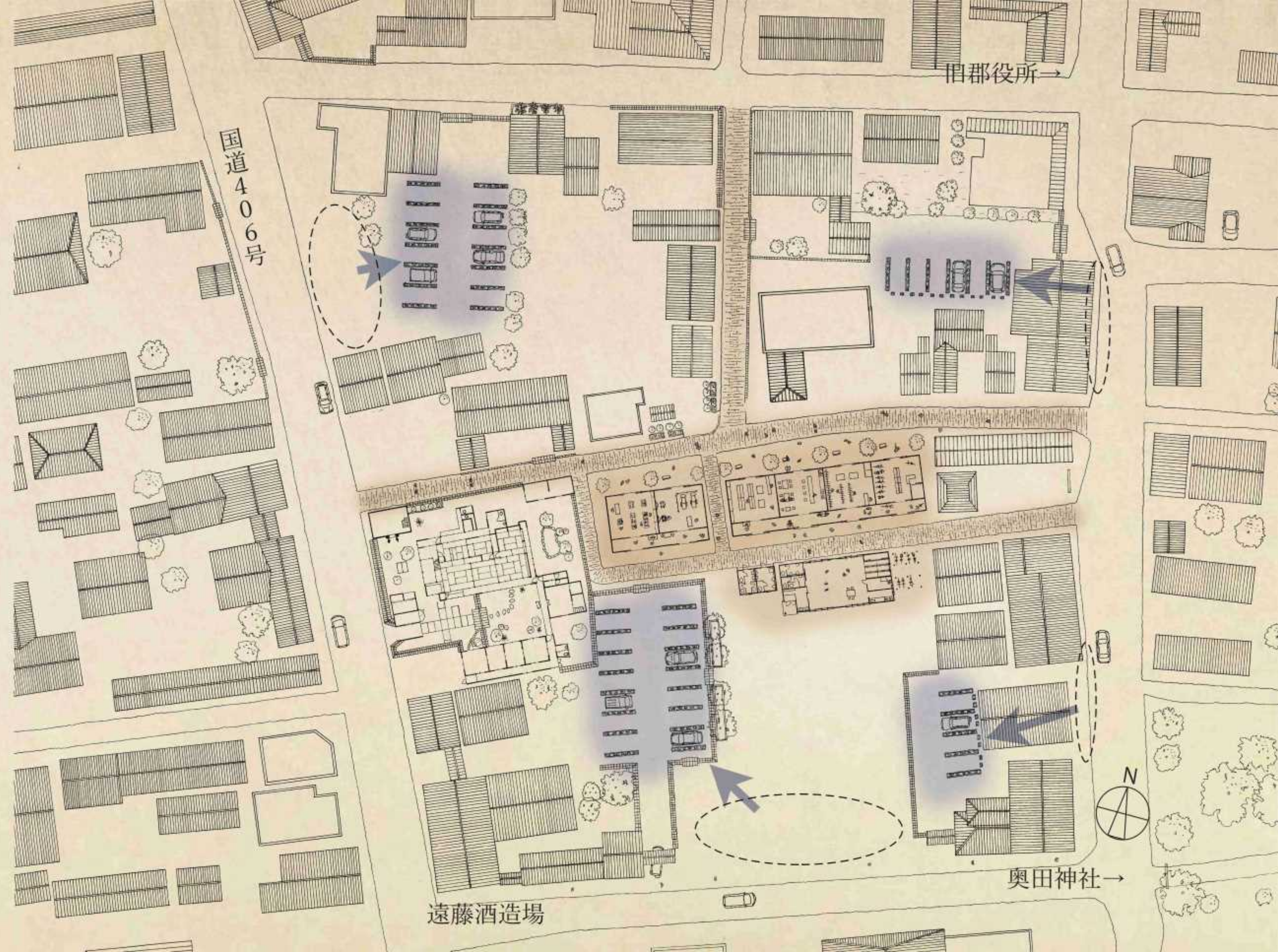
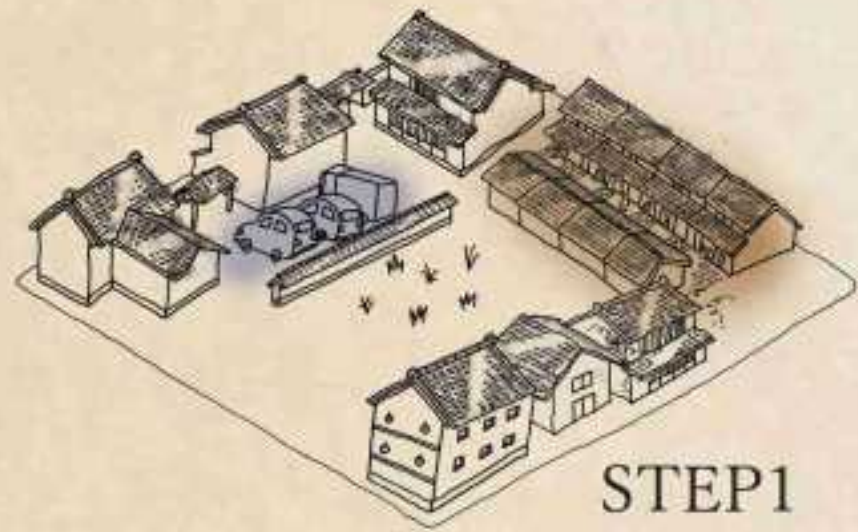
STEP3

市民の広場

住居に改修

STEP1

- ・駐車場の整理
- ・長屋の改修

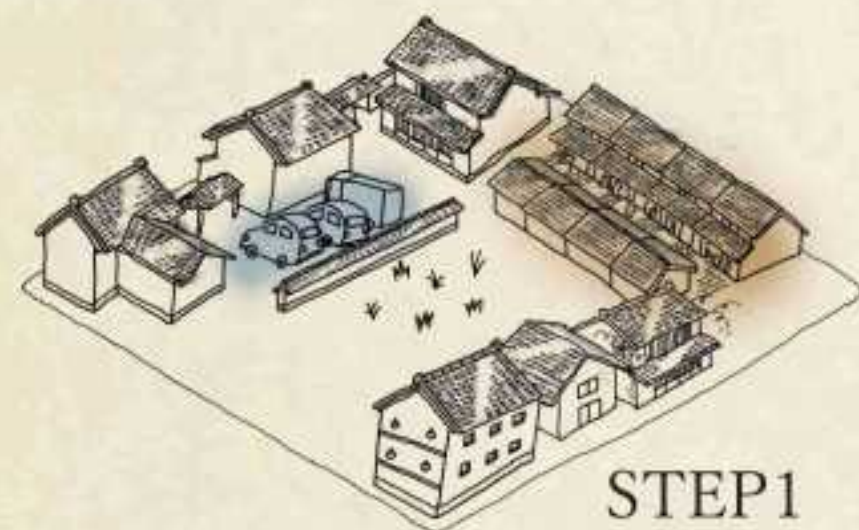


STEP1

- ・駐車場の整理
- ・長屋の改修



STEP0



STEP1



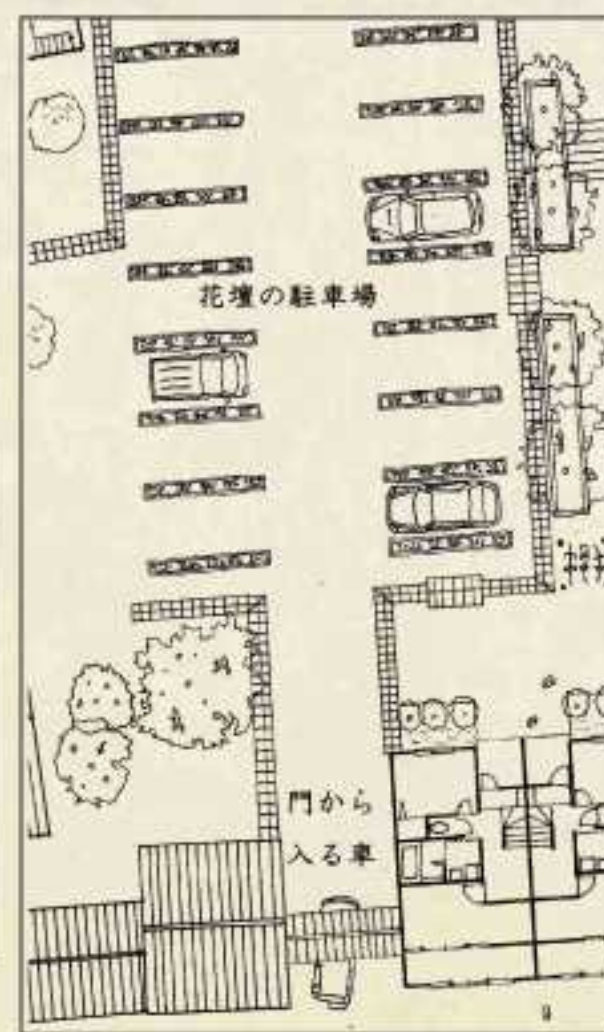
STEP2



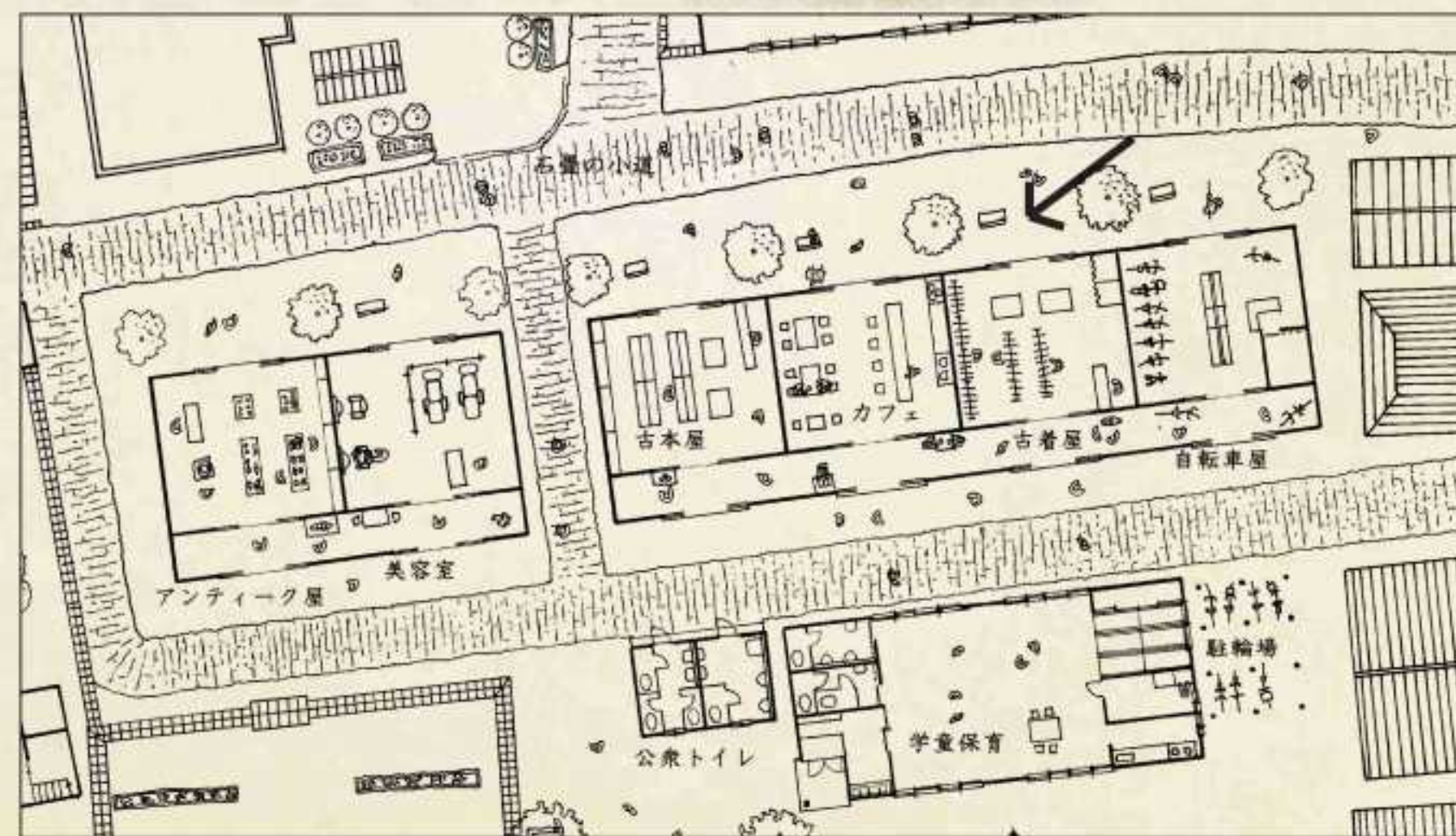
STEP3



現状の足軽長屋



花壇の駐車場



長屋の再生：店舗と学童保育

STEP2

- ・子育て世代向け住宅
- ・ボンエルフ（蛇行路）

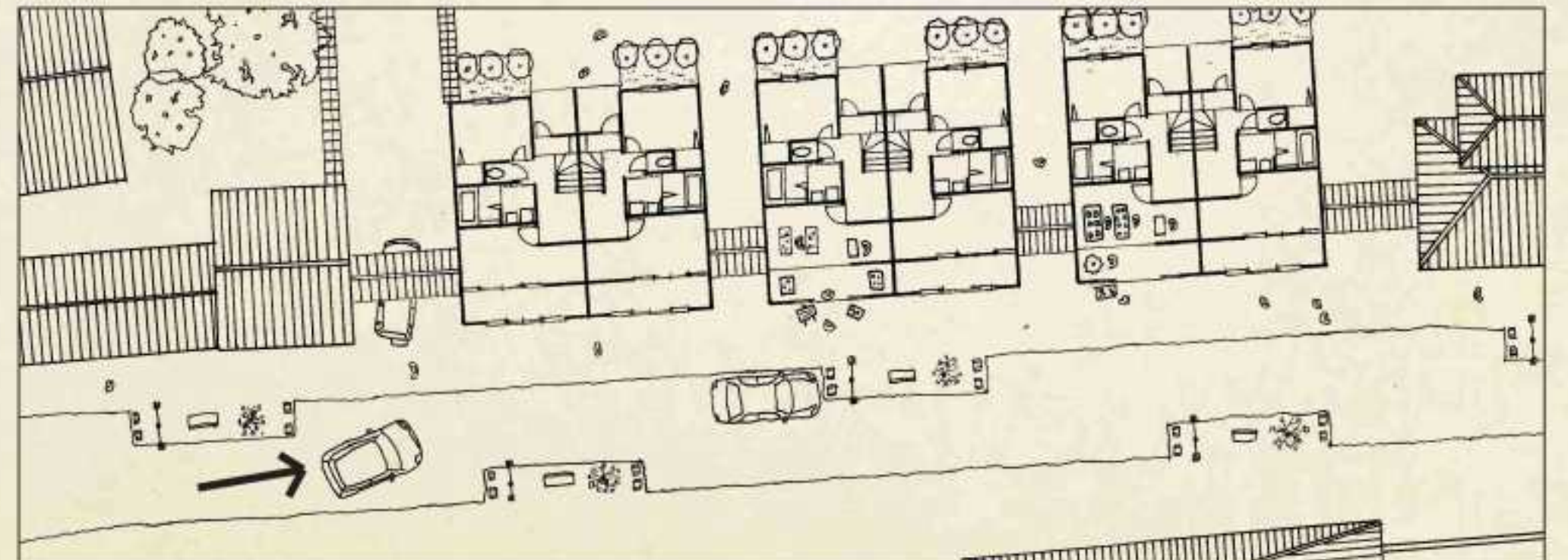


STEP2

- ・子育て世代向け住宅
- ・ボンエルフ（蛇行路）



現状の奥田神社への参道



住宅とボンエルフ

STEP3

- ・住民の広場
- ・長屋を住宅に改修



STEP0



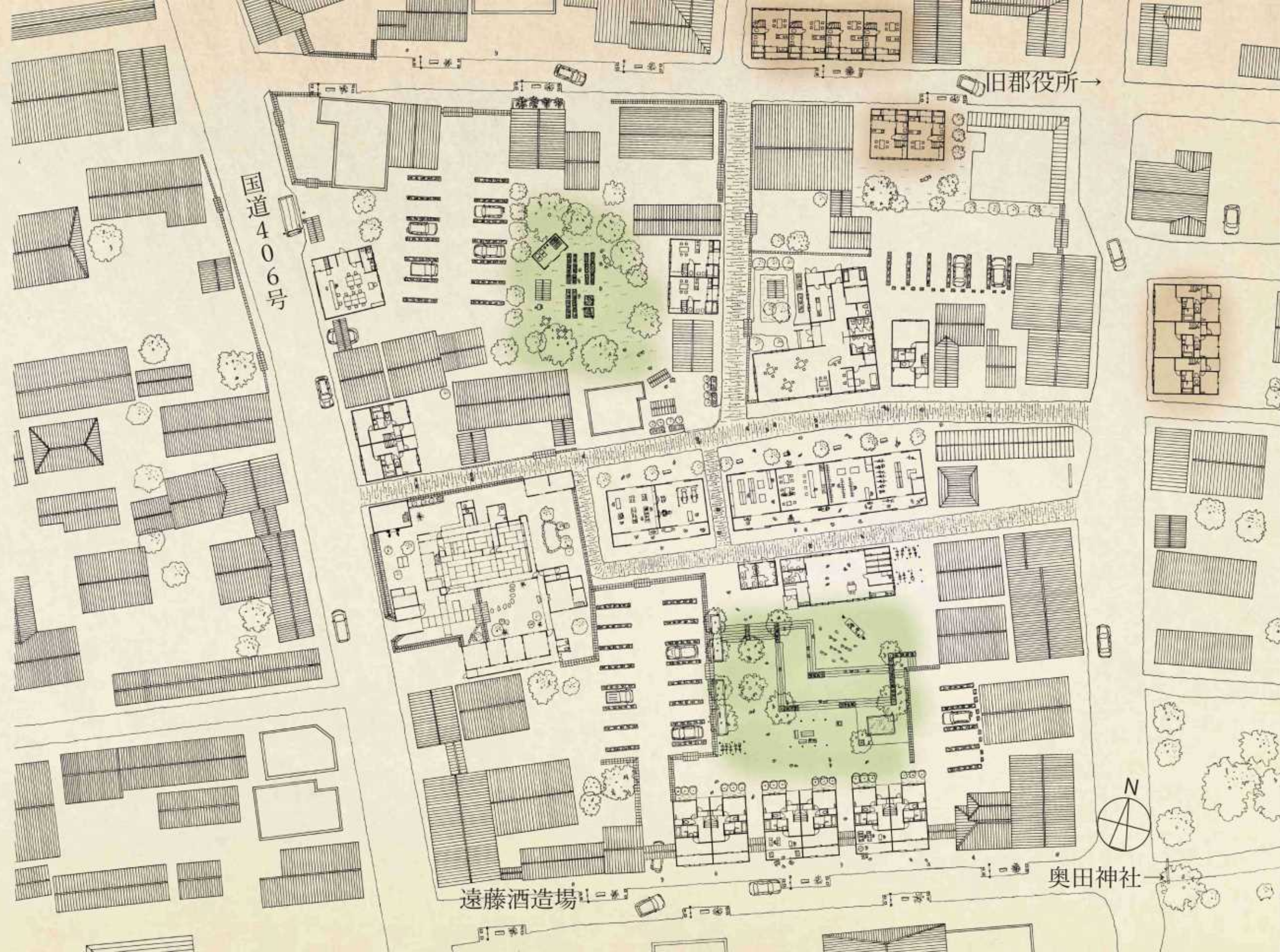
STEP1



STEP2



STEP3



STEP3

- ・住民の広場
- ・長屋を住宅に改修



STEP0



STEP1



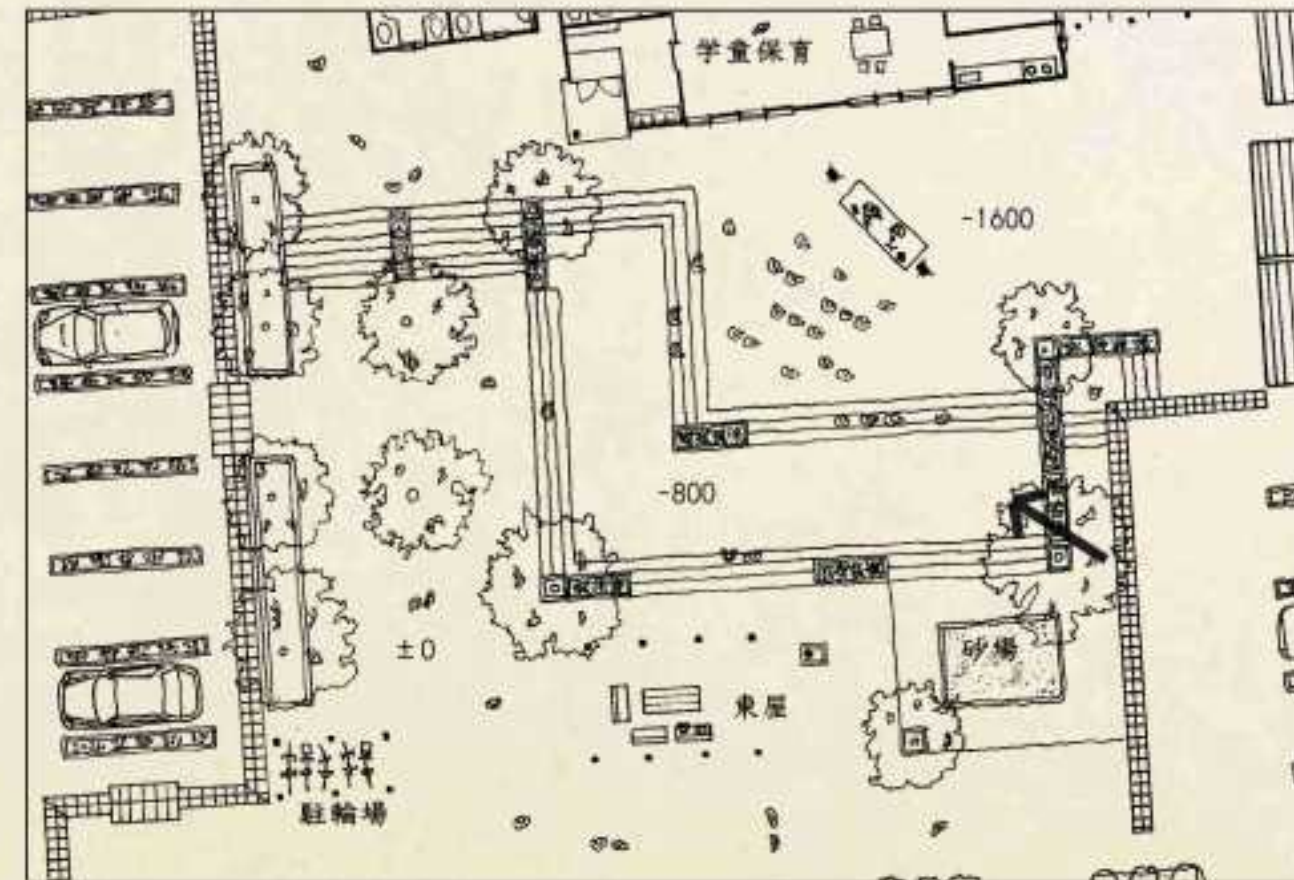
STEP2



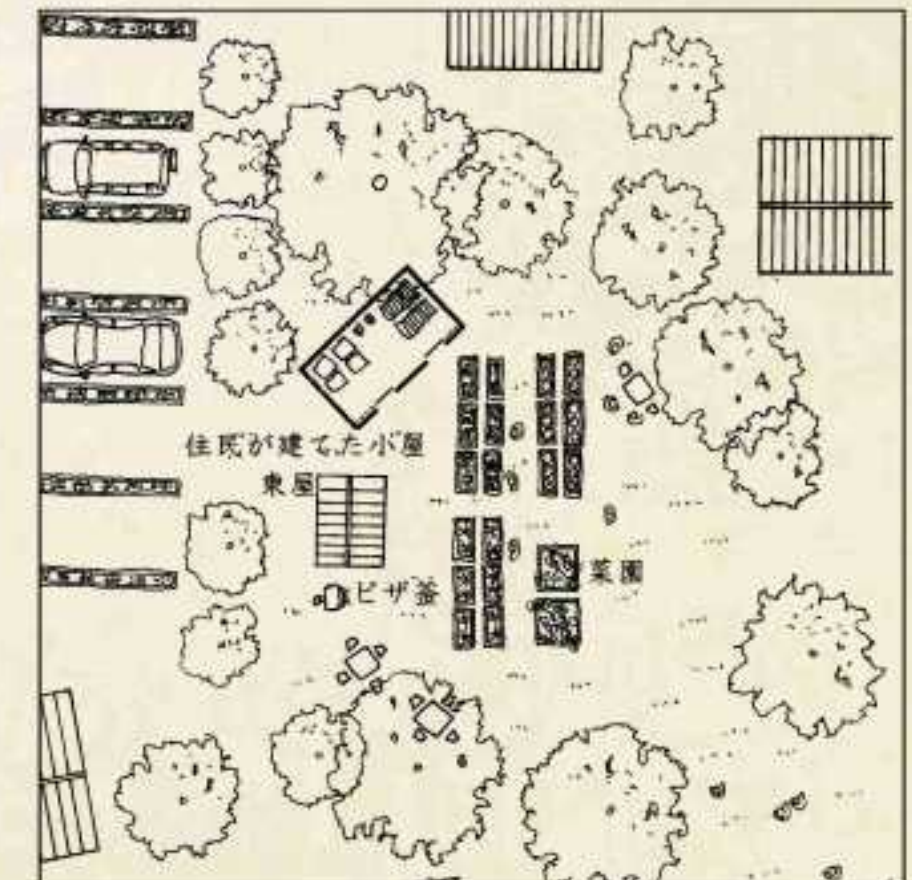
STEP3



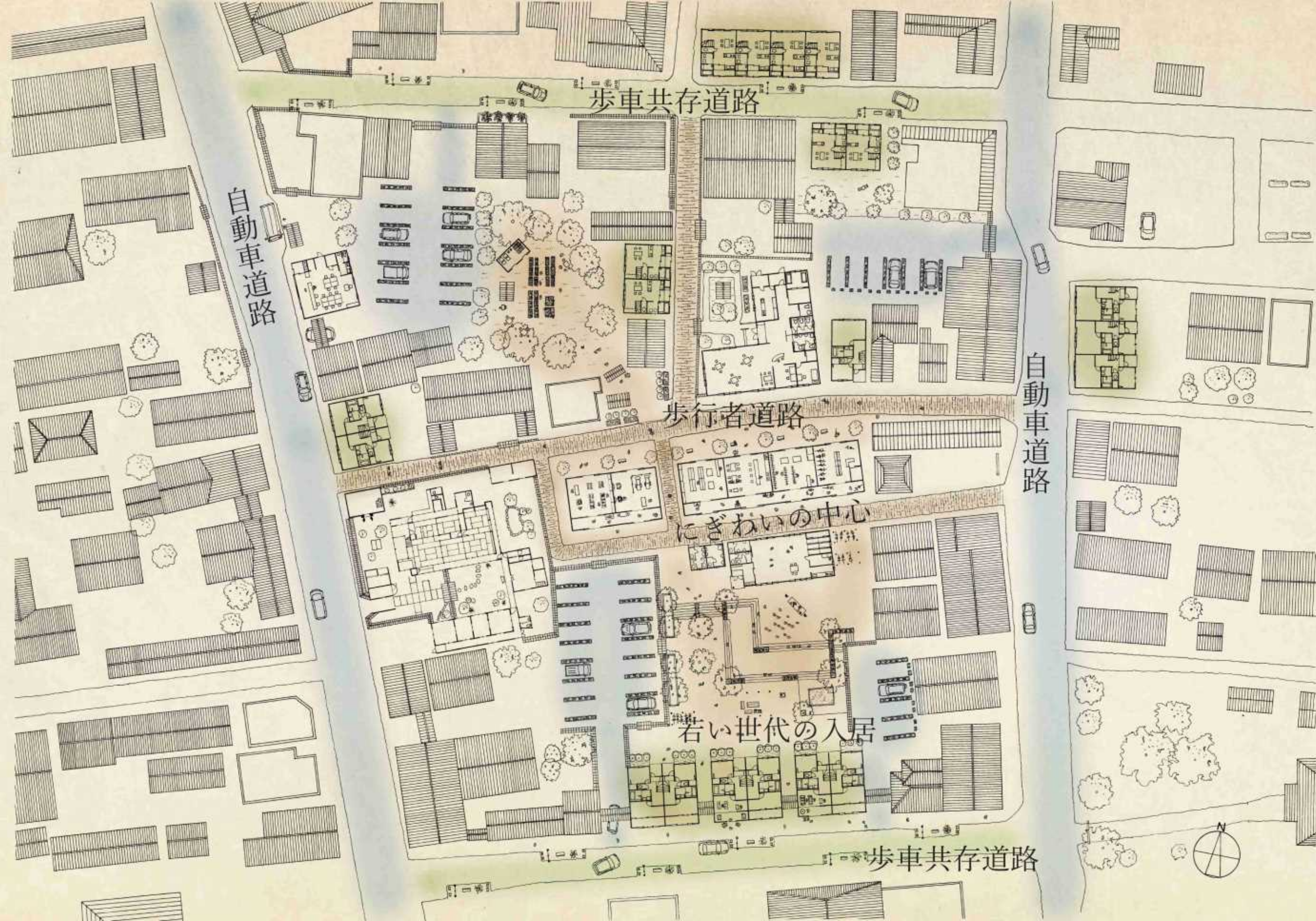
現状の荒地



住民の広場



住民の庭



歩車共存道路

自動車道路

自動車道路

歩行者道路

にぎわいの中心

若い世代の入居

歩車共存道路



永く住まうために

信州大学工学部建築学科 3 年常見奈央



対象街区位置図



■：対象街区

須坂市郡役所

須坂小学校

奥田神社

中心市街地



Step0: 現状

しらふじや、遠藤酒造場
など歴史的建物が
立ち並んでいる



上町通り

暗くなると街区への入り口は
真っ暗で、人通りが少なくなる。



足軽長屋

使われていない駐車場、空き地
が多くもったいない空間ができて
しまっている。



ニーズ

- ・ 商店が少なく不便
- ・ 観光の目玉を作るのは中心地から離れると難しい
- ・ 子育て世代に来てほしい
- ・ 古民家に興味を持った若者はいるが、管理が行き届いていない伝統的な建物も多い。



Concept

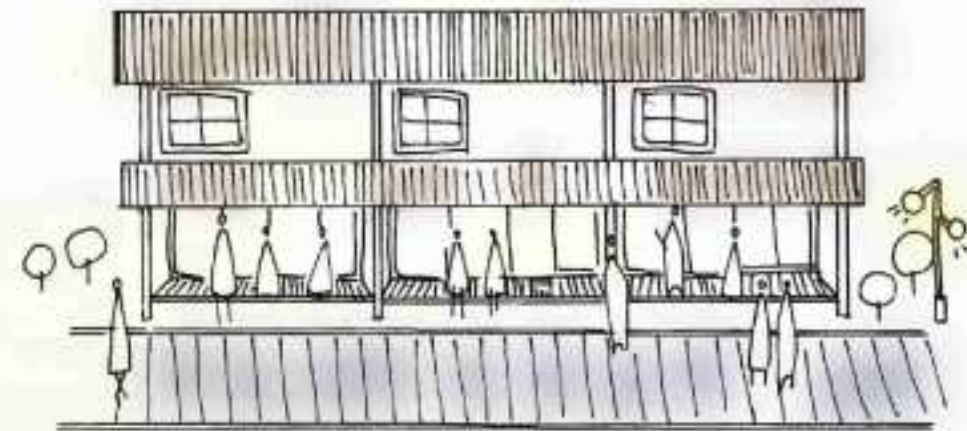
対象を須坂に永く住みたいと思う家族や何かを始めたい若者に設定する。そうして多くの世代が混ざり合いコミュニティを形成していく須坂の街を考える。

Program

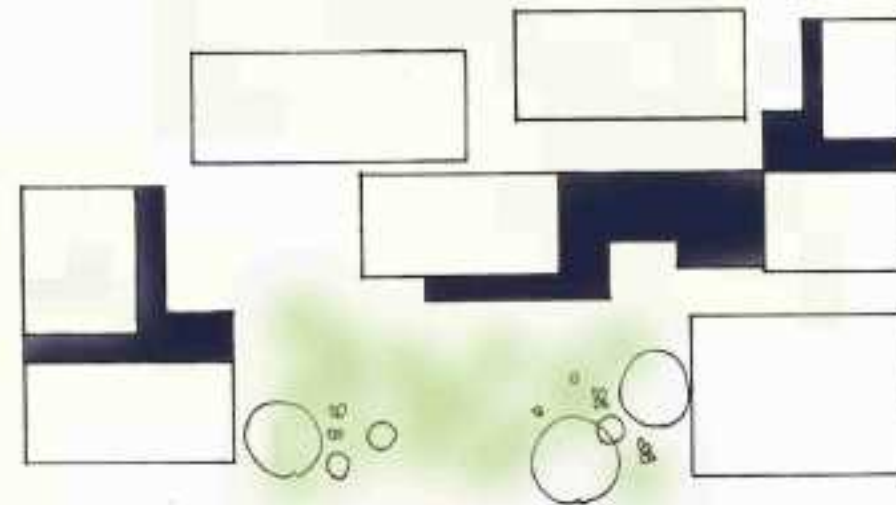
step1: 歩道、街区の整備



step2: 対比する長屋



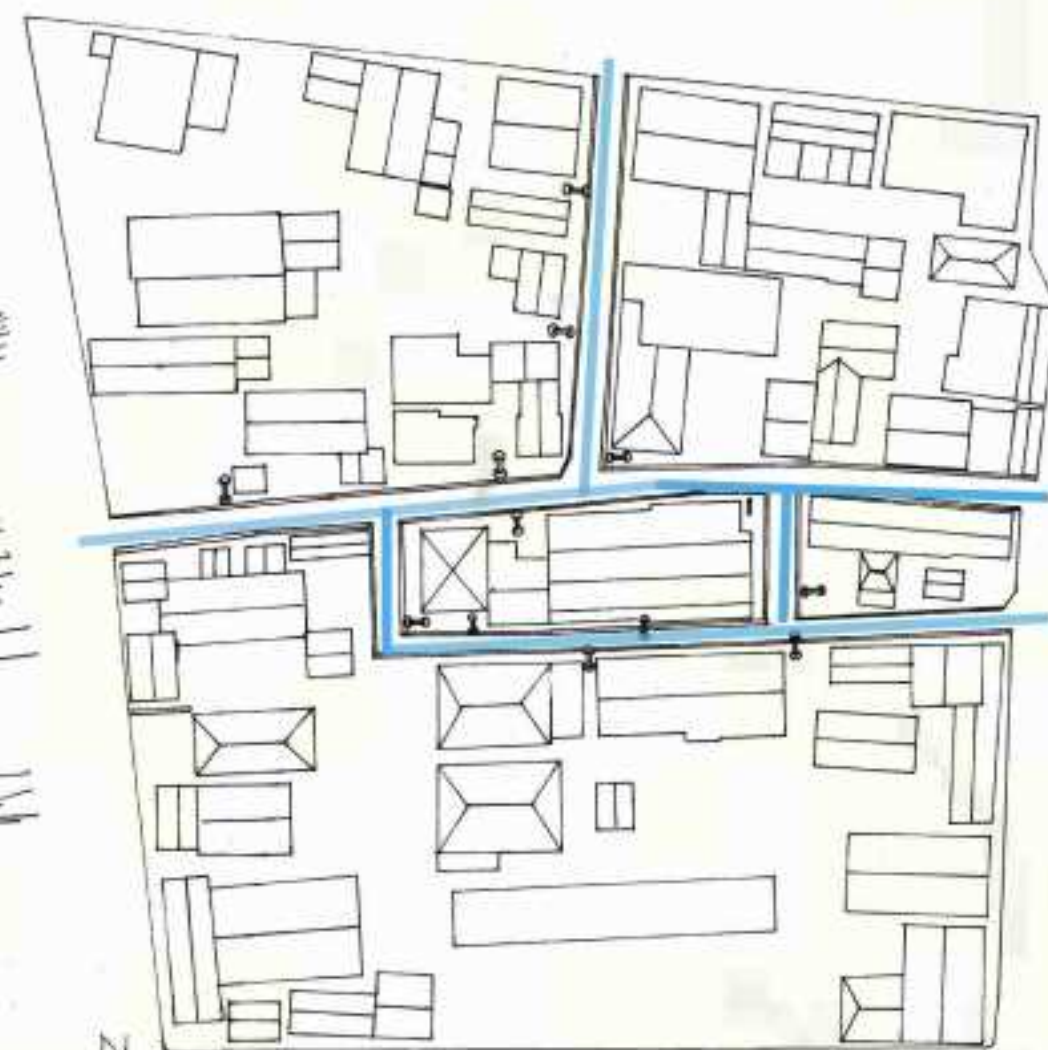
step3: 広場と店舗



Step1: 歩道、街頭の整備



石畳調の通りパース



歩道配置図

街区内を走る特徴的な道路。



歩行者専用の歩道と街灯の設置



街区のシンボルとなり他の街区との
差異が生まれる

Step 2: 対比する長屋



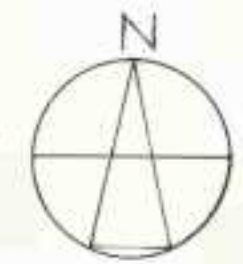
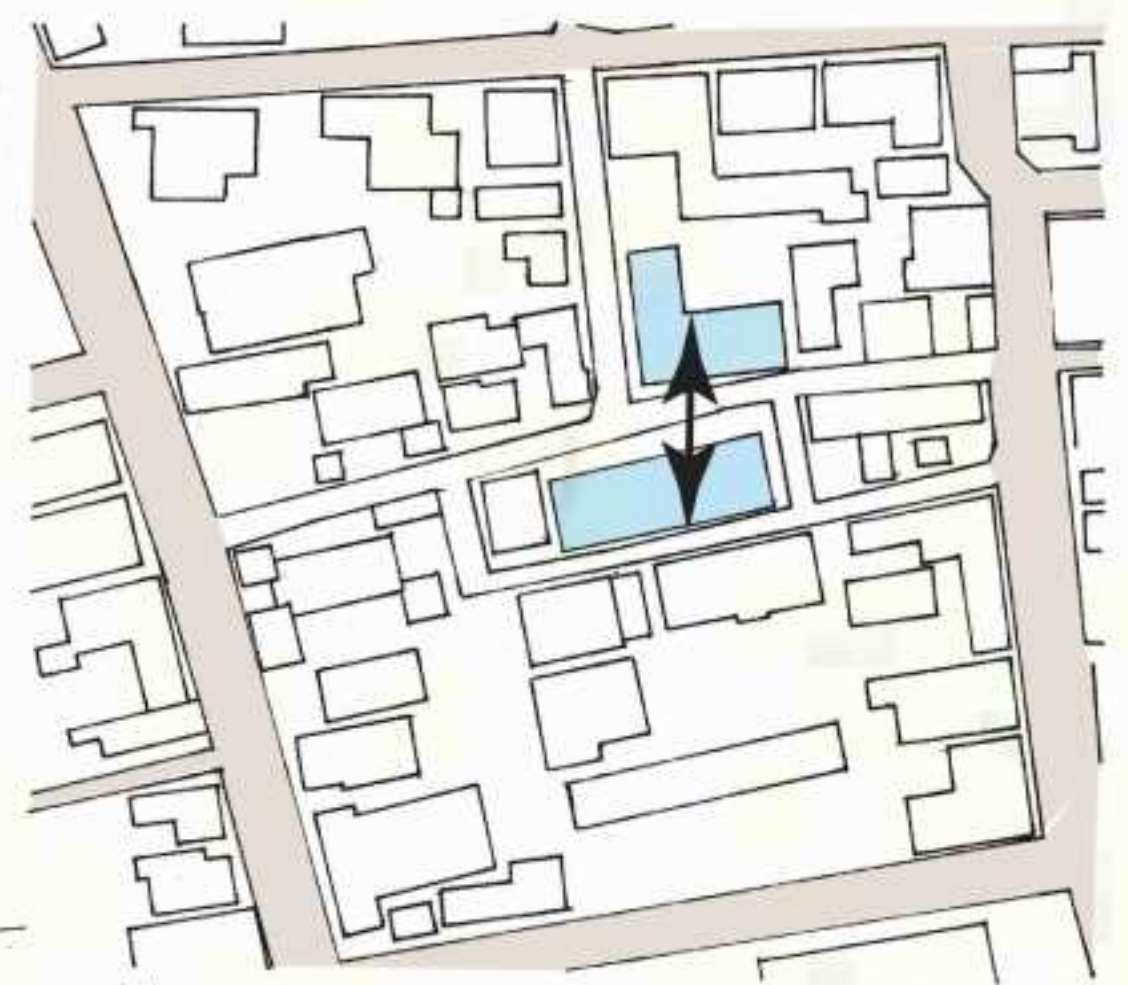
足軽長屋



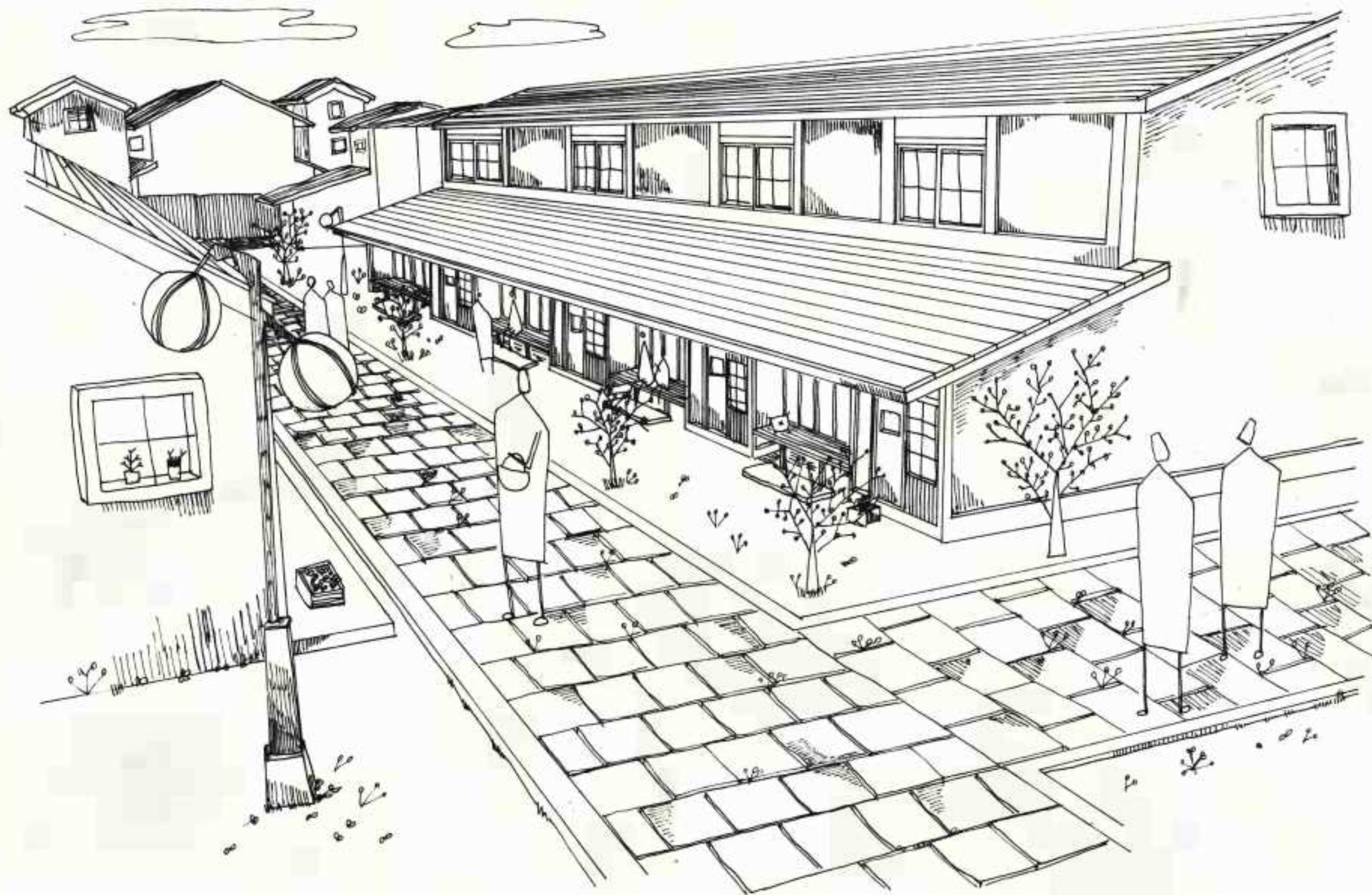
- ・江戸時代、廃藩置県により江戸から引き返してきた藩士のために急いで建てられた長屋。
- ・二階が低いのは、お殿様を見上げないようにする為
- ・現状ではうまく利用できずに埋もれている。



step2

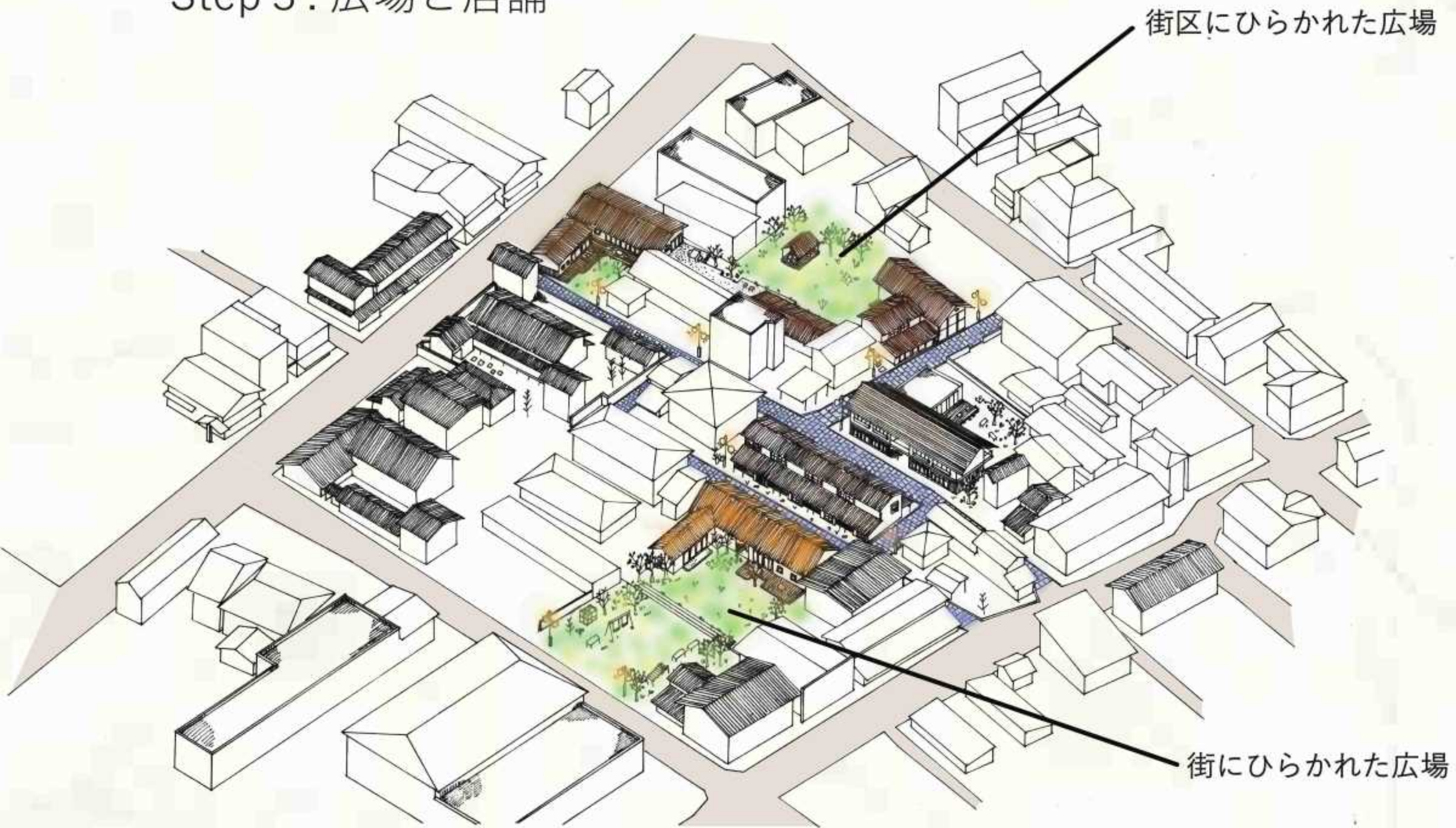


歴史を持つ足軽長屋
+
新規の長屋
↓
長屋の対比

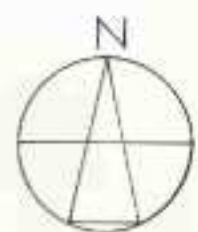


step2 足輕長屋個別的再生

Step 3: 広場と店舗



街区にひらかれた広場



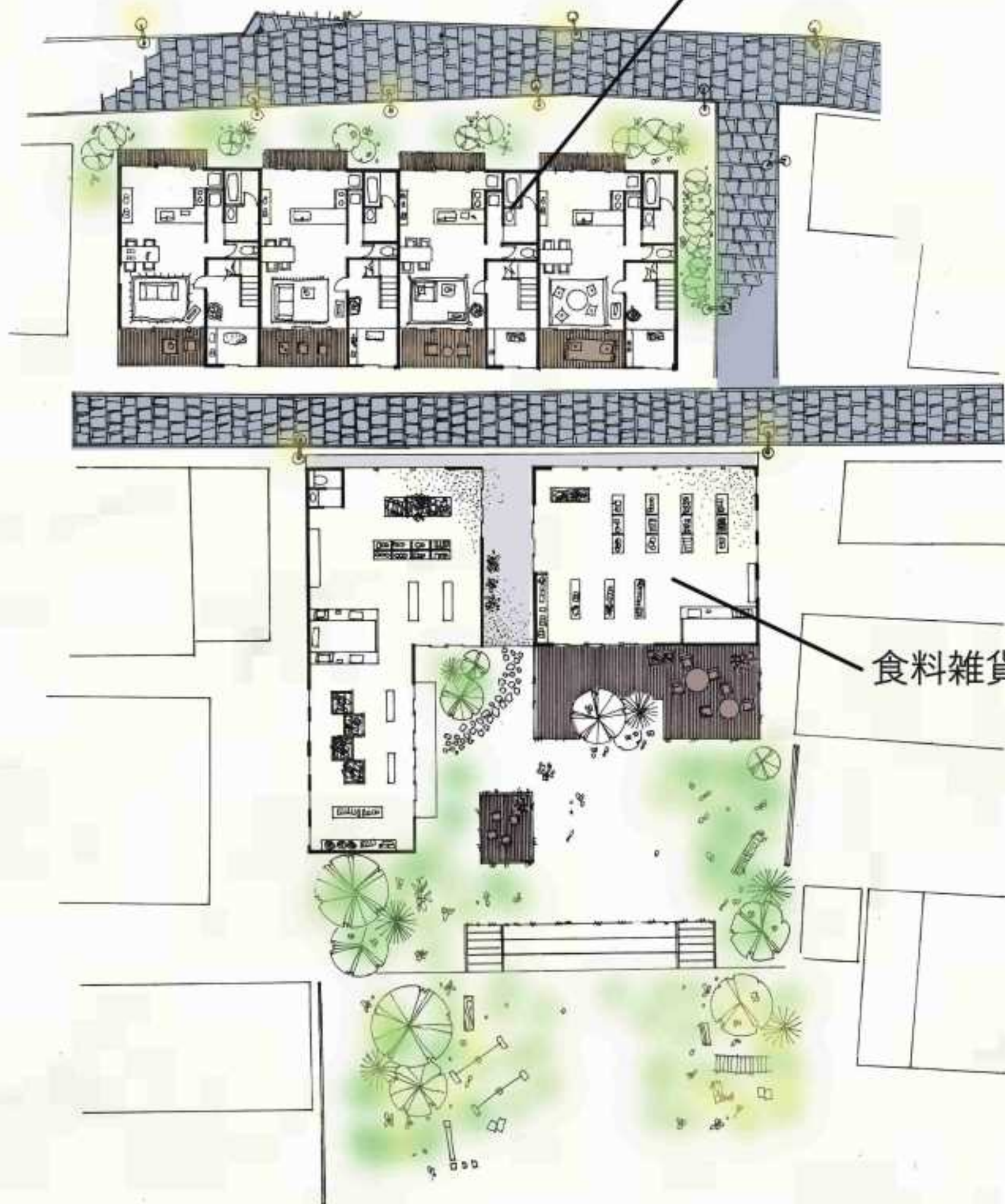
 :step2

 :step3

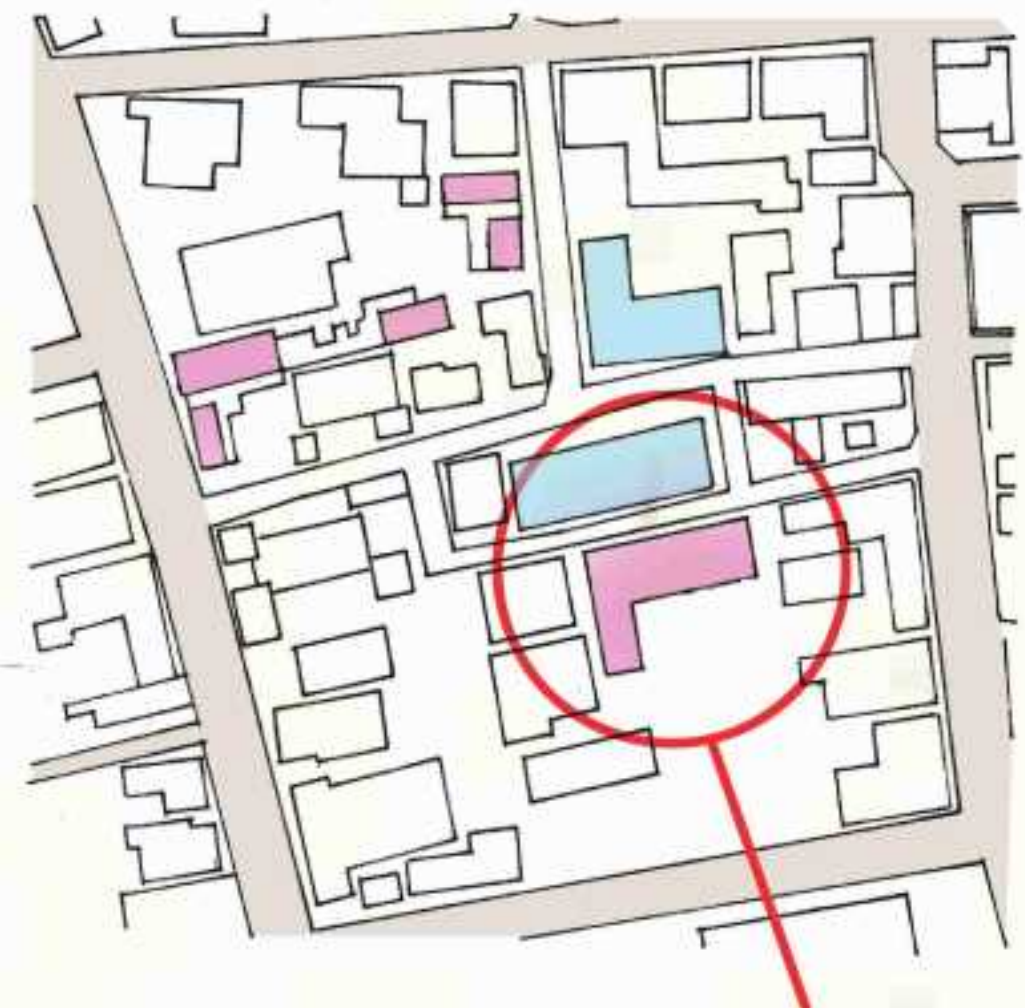


店舗の中を突っ切ったり、建物との間を
縫うようにして見つけ出す広場は秘密基地の
ような要素も併せ持つ

家族向け集合住宅



食料雑貨店



街に開けた広場

step2

step3

小学生が広場の近くを通り、たまり場や遊び場を形成してゆく。広場は街区へのアプローチでもある。

完成形





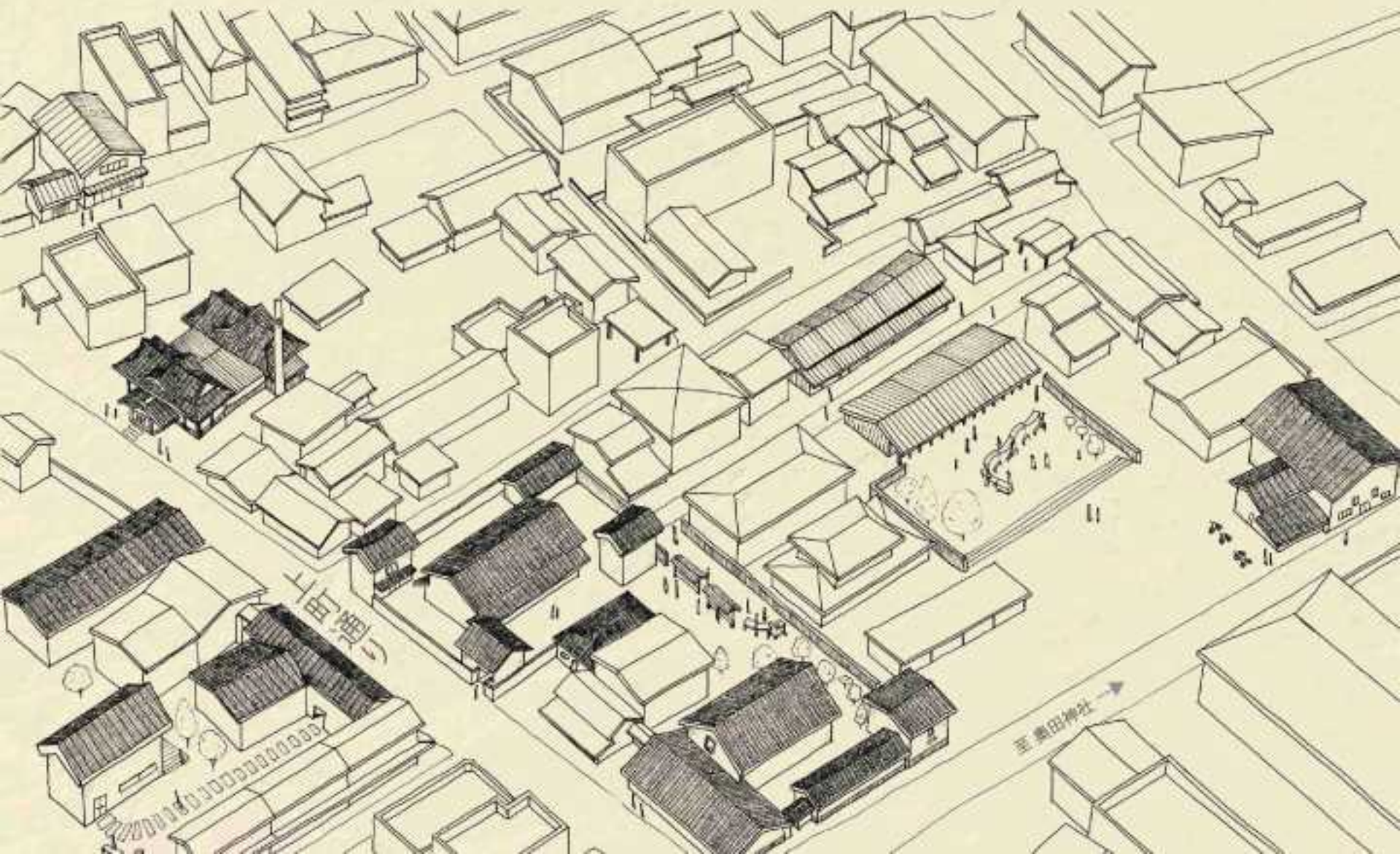
ご清聴ありがとうございました

まちやどプロジェクト

～ まち全体をひとつのヤドに～

徳州大学工学部建築学科3年

斉藤 知真



コンセプト

蔵や町屋など所々に古き良き町並みが残る須坂。

ここはもともと、製糸業で栄えた町。

町には繭を保管する蔵などが建ち並び、商いと生活が隣り合っていた。



蔵などが立ち並ぶ町並み



ふれあい館まゆぐら

コンセプト

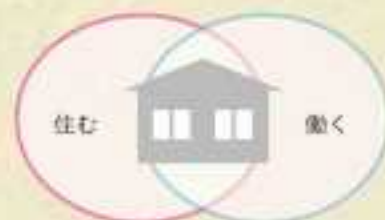
それが現在はシャッターが下りた店や空き家が目立つ。

仕事と生活が離れた場所で行われ、
かつてのような暮らしの豊かさが失われているように感じた。



シャッターが下りてしまった店

□むかし



□いま



暮らし方の変化

Step0 対象街区の現状

まちづくりとはひとづくり。

そのためにも、まずは町の人暮らしを豊かにしたい。

→ まちのニーズ = **暮らしの豊かさ**

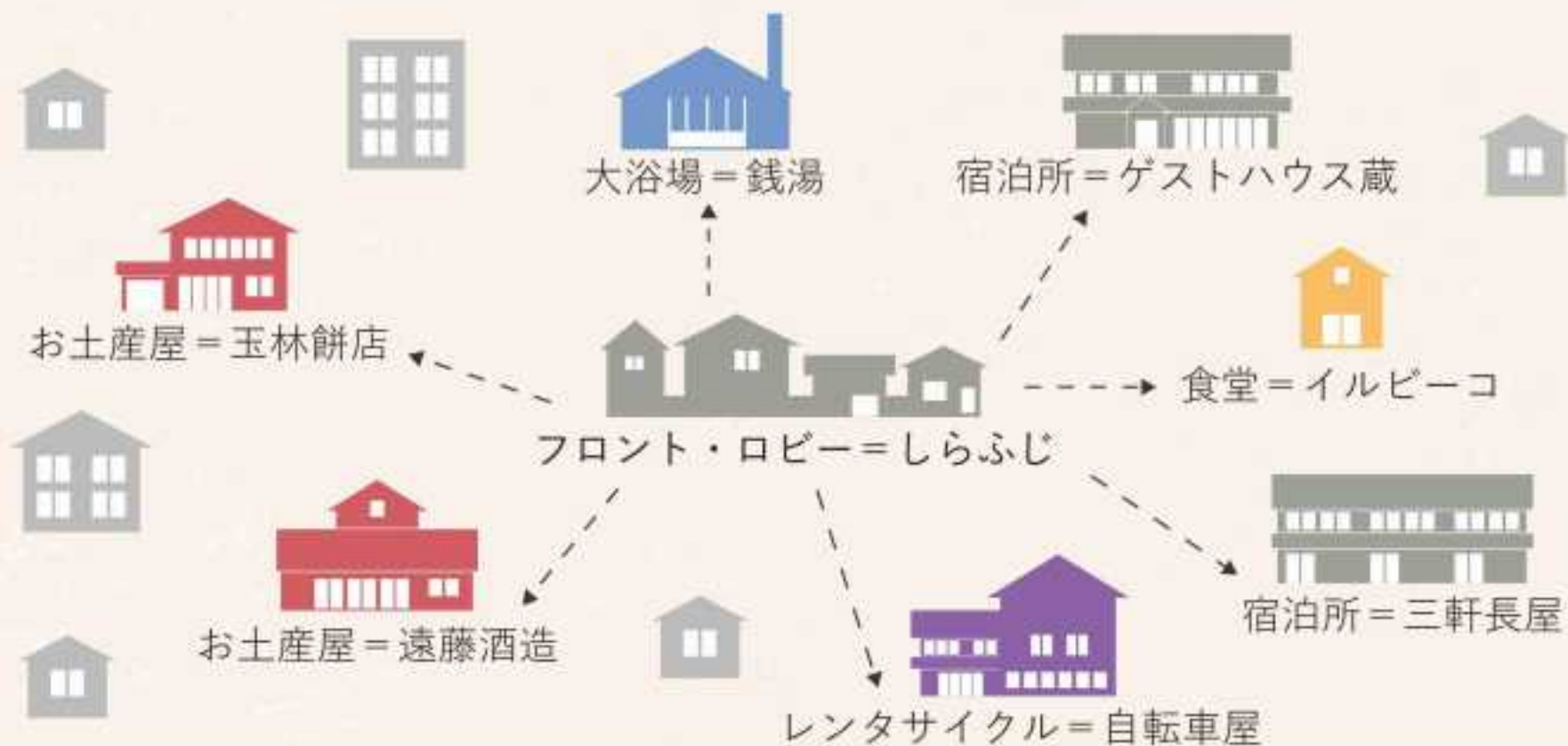


豊かな暮らし = **商いと生活が隣り合う暮らし**

まちやどプロジェクト

まちに宿泊所や大浴場などのヤド機能を散りばめることで、
まちの魅力を本当の意味で味わうための宿泊体験を提供する。

まち＝ヤド



まちやどプロジェクトの流れ

Step 0 対象街区の現状

まちのニーズを探る

Step 1 仮設的装置を用いた展開

既存要素と仮設的装置を掛け合わせたイベント

Step 2 仮設的空間から常設的空間

イベントの内容に因んだヤド機能をつくる

Step 3 新たなヤド機能の追加

元々町にはないヤド機能を新たにつくる

Step0 対象街区の現状

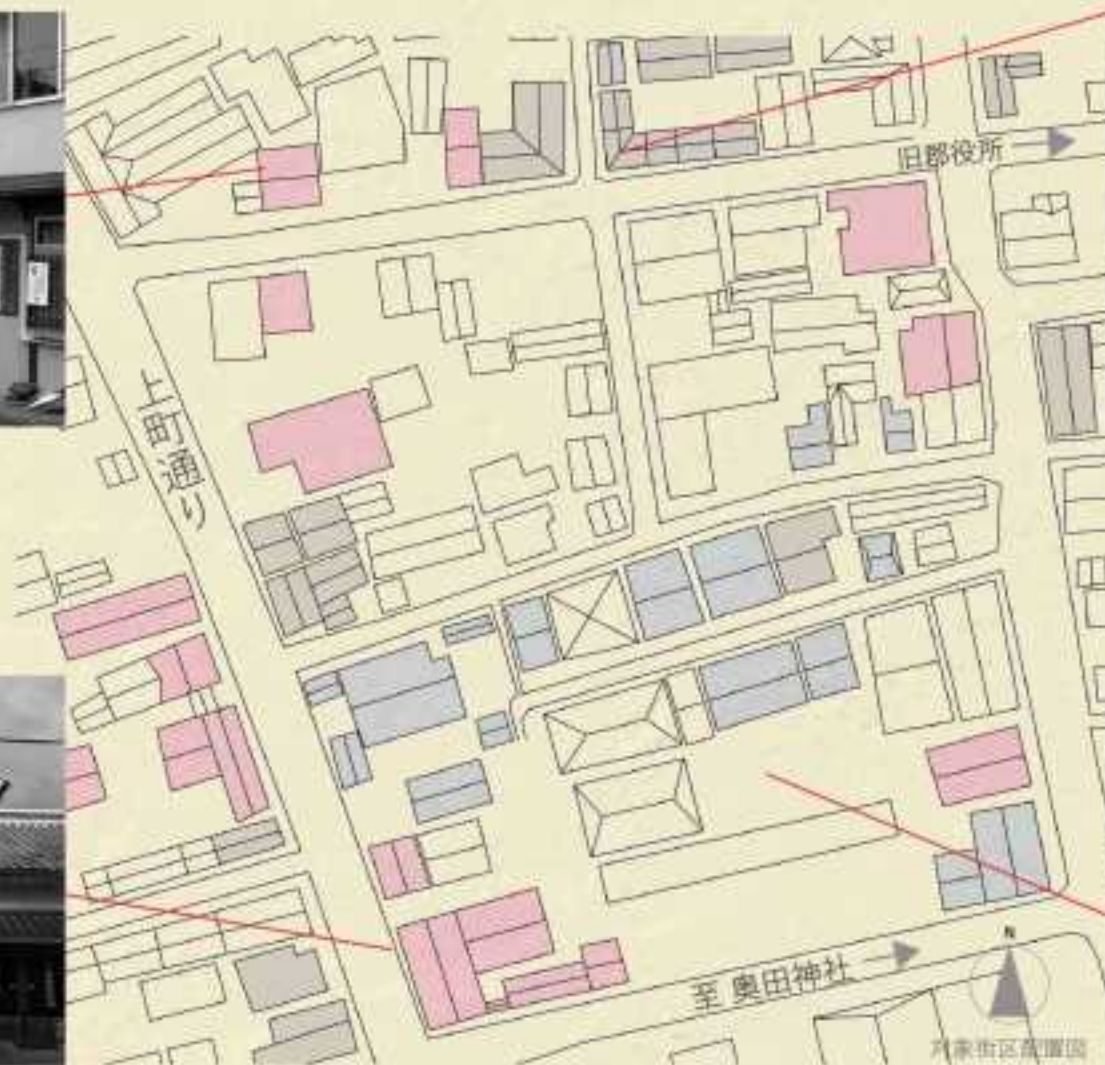
Step0 対象街区の現状



玉林餅店



遠藤酒造場



空き家



空き地

■ 店舗

■ 古い建物

■ 空き家

Step1 仮設的装置を用いた展開

Step1 仮設的装置を用いた展開



イベント



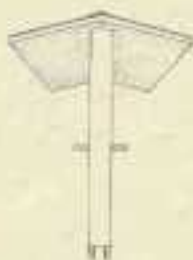
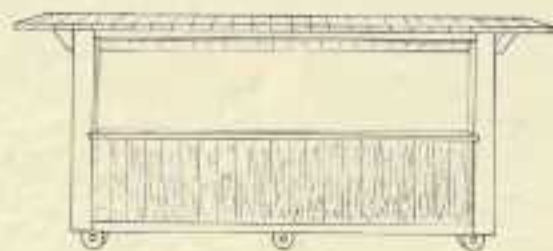
Step1 仮設的装置を用いた展開



既存施設
→ 遠藤酒造場

×

×



仮設的装置
→ 移動式カウンター

Step1 仮設的装置を用いた展開



日本酒と料理を提供する日本酒ガーデン

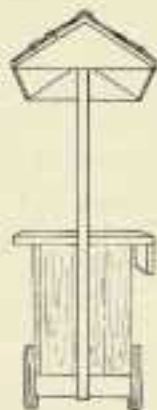
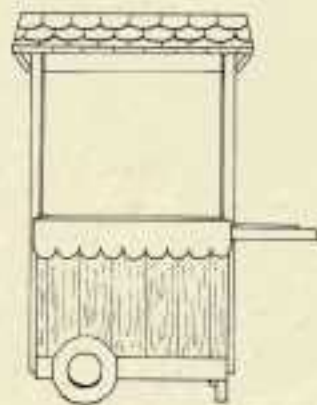
Step1 仮設的装置を用いた展開



既存施設
→玉林餅店

×

×



仮設的装置
→移動式屋台

Step1 仮設的装置を用いた展開



道ばたで和菓子やお茶を提供する野外茶屋

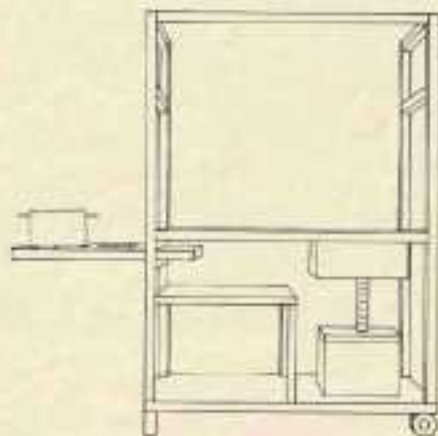
Step1 仮設的装置を用いた展開



個人の趣味
→料理好きな人

×

×



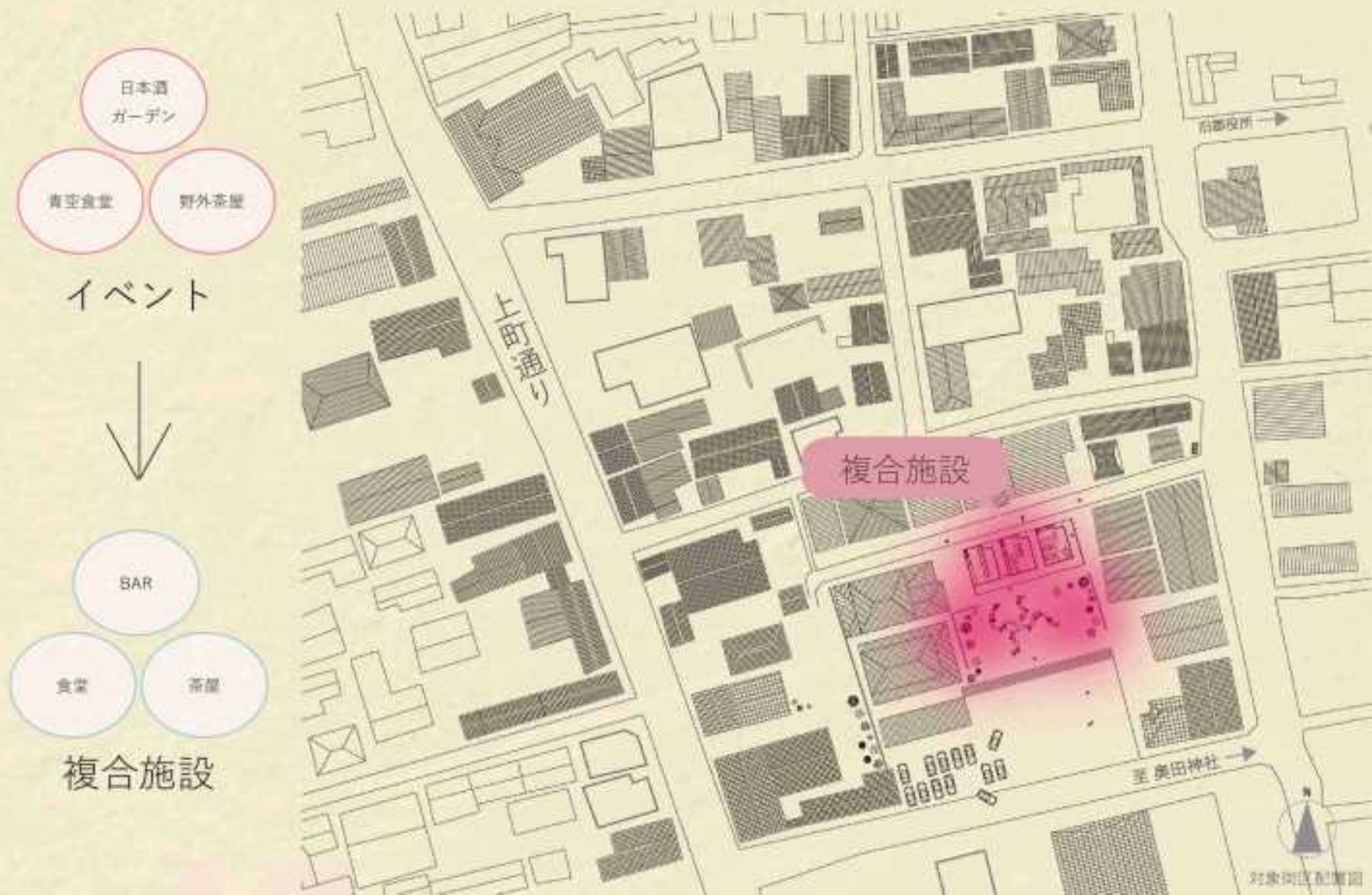
仮設的装置
→移動式キッチン

Step1 仮設的装置を用いた展開



Step2 仮設的空間から常設的空間への展開

Step2 仮設的空間から常設的空間



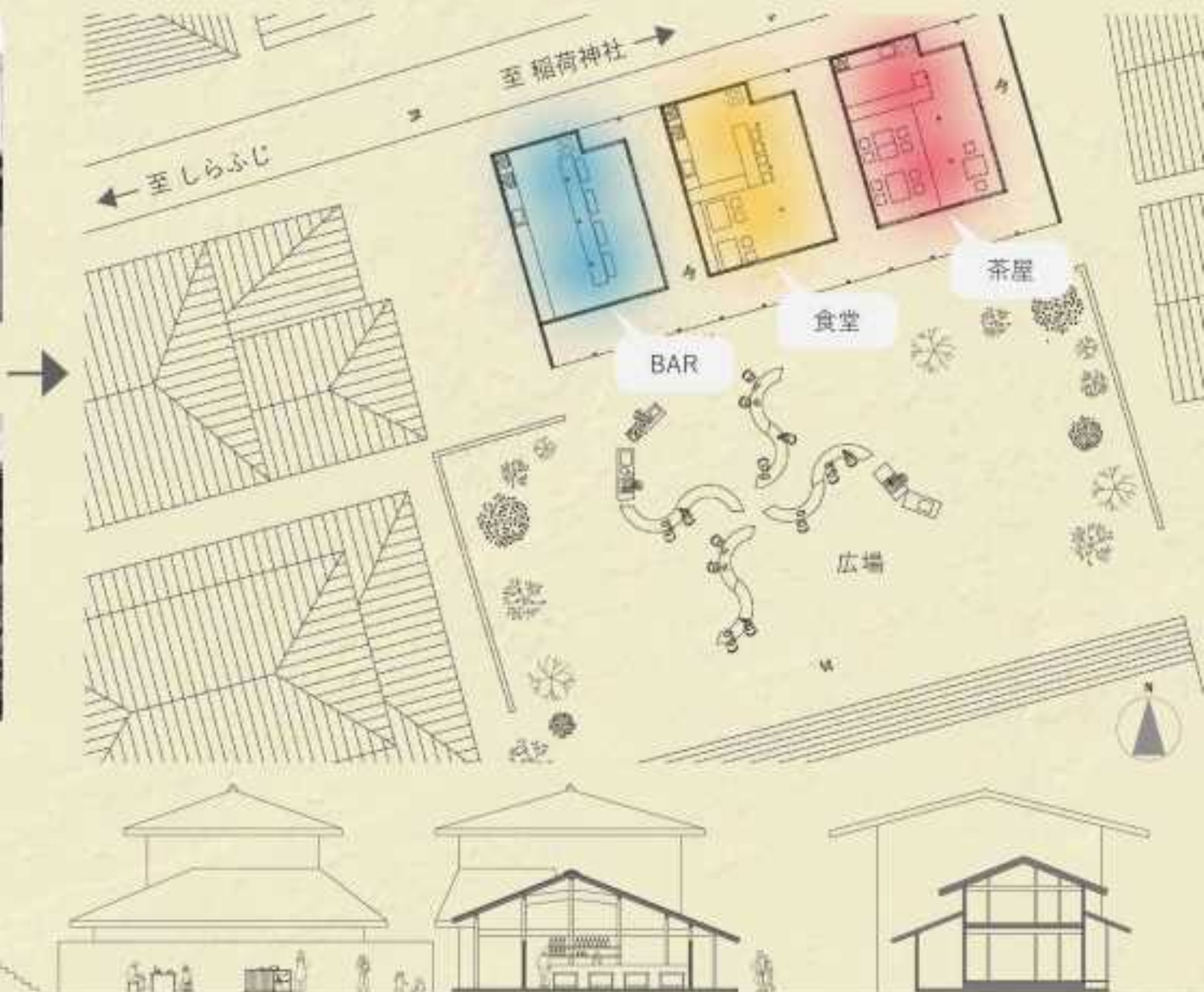
Step2 仮設的空間から常設的空間



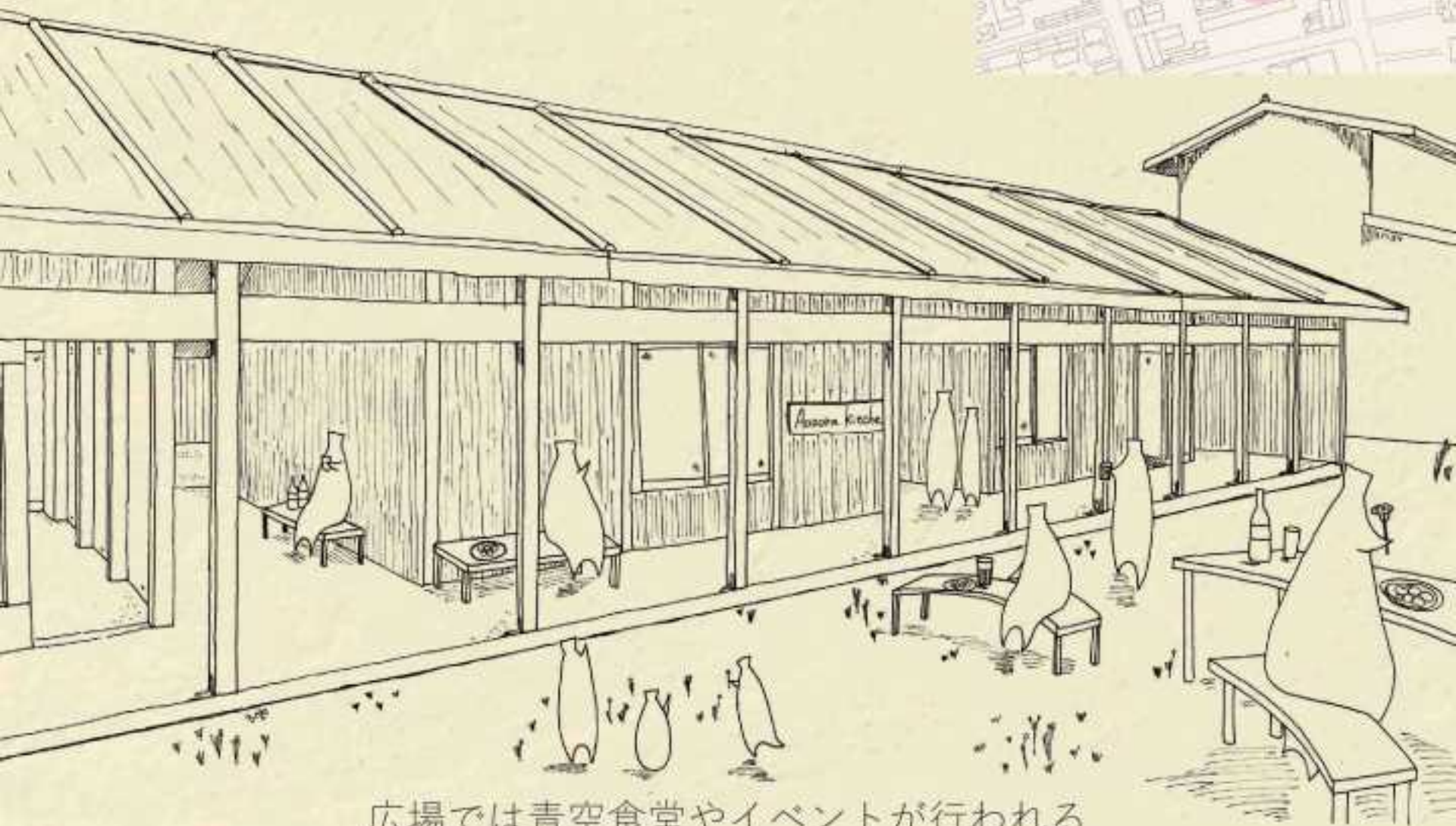
三軒長屋



空き地



Step2 仮設的空間から常設的空間



広場では青空食堂やイベントが行われる

Step3 新たなヤド機能の追加

Step3 新たなヤド機能の追加

新たなヤド機能

宿泊所
||
三軒長屋

大浴場
||
銭湯

レンタサイクル
||
自転車屋

銭湯

宿泊所

自転車屋

旧郡役所

奥田神社

Step3 新たなヤド機能の追加



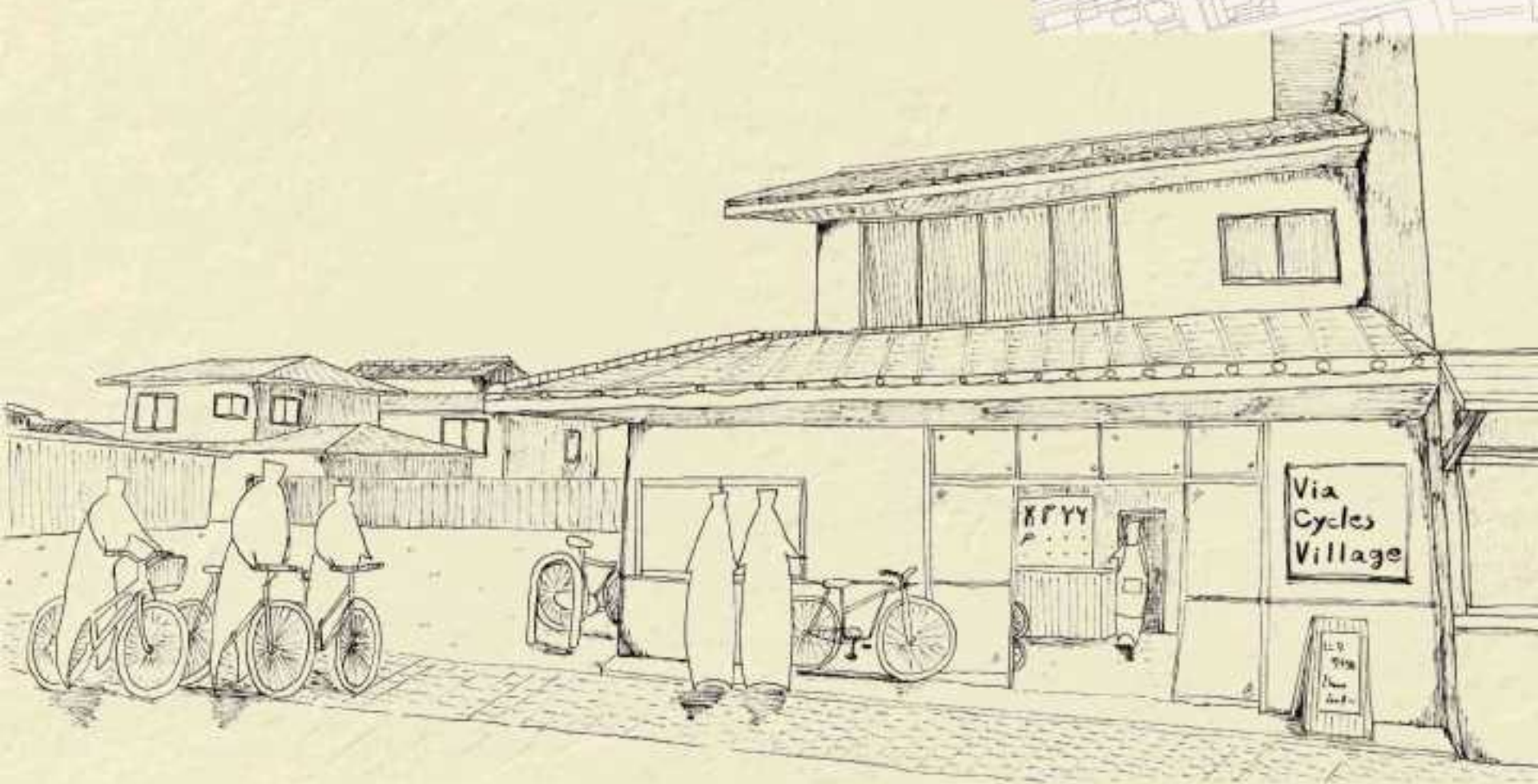
かつての三軒長屋は家単位で泊まれる宿泊所になる

Step3 新たなヤド機能の追加



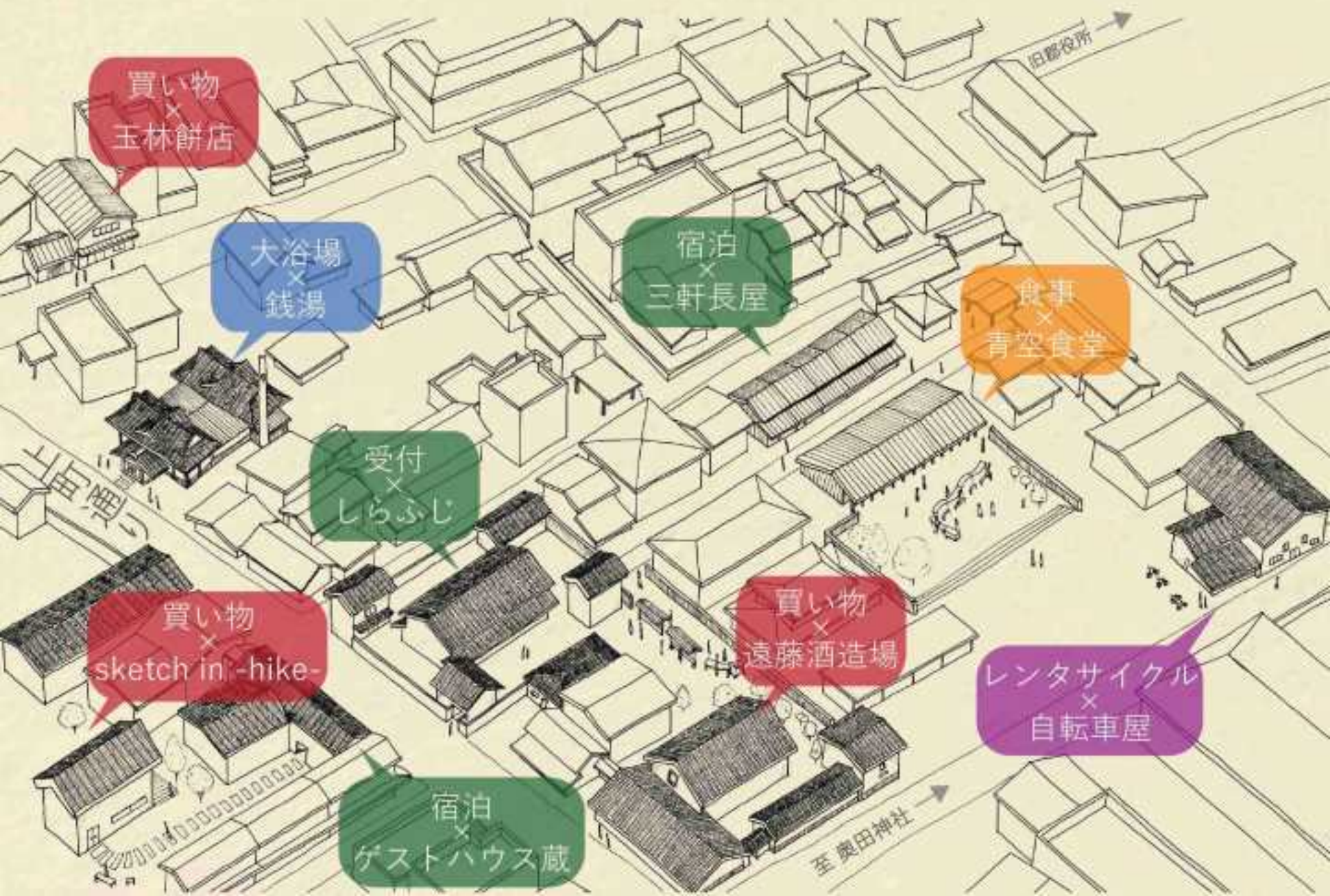
銭湯はまちやどの大浴場となり宿泊客や住人が訪れる

Step3 新たなヤド機能の追加



自転車屋のレンタサイクルで宿泊客は須坂を探索する

まち全体がヤドになっていく...



ご静聴ありがとうございました。

民家の再生

信州大学工学部建築学科
建築設計製図Ⅳ 課題

課題内容

須坂の町家を再生せよ

- ・ 2世帯以上の家族が住まうことのできる集合住宅（1家族：3人以上）
- ・ まちのニーズに対応した機能を含めること（店舗や公共施設など）
- ・ なるべく既存を活かし、大規模な増築はしないこと。
ただし、古いものにこだわりすぎない。

対象建物：ふれあい館しらふじ



対象建物：ふれあい館しらふじ



聞き取り風景



実測内容



●実測内容

- ・ 配置図、隣地関係
- ・ 主屋・洋館

平面図

立面図（全面）

矩計図（直行2面）

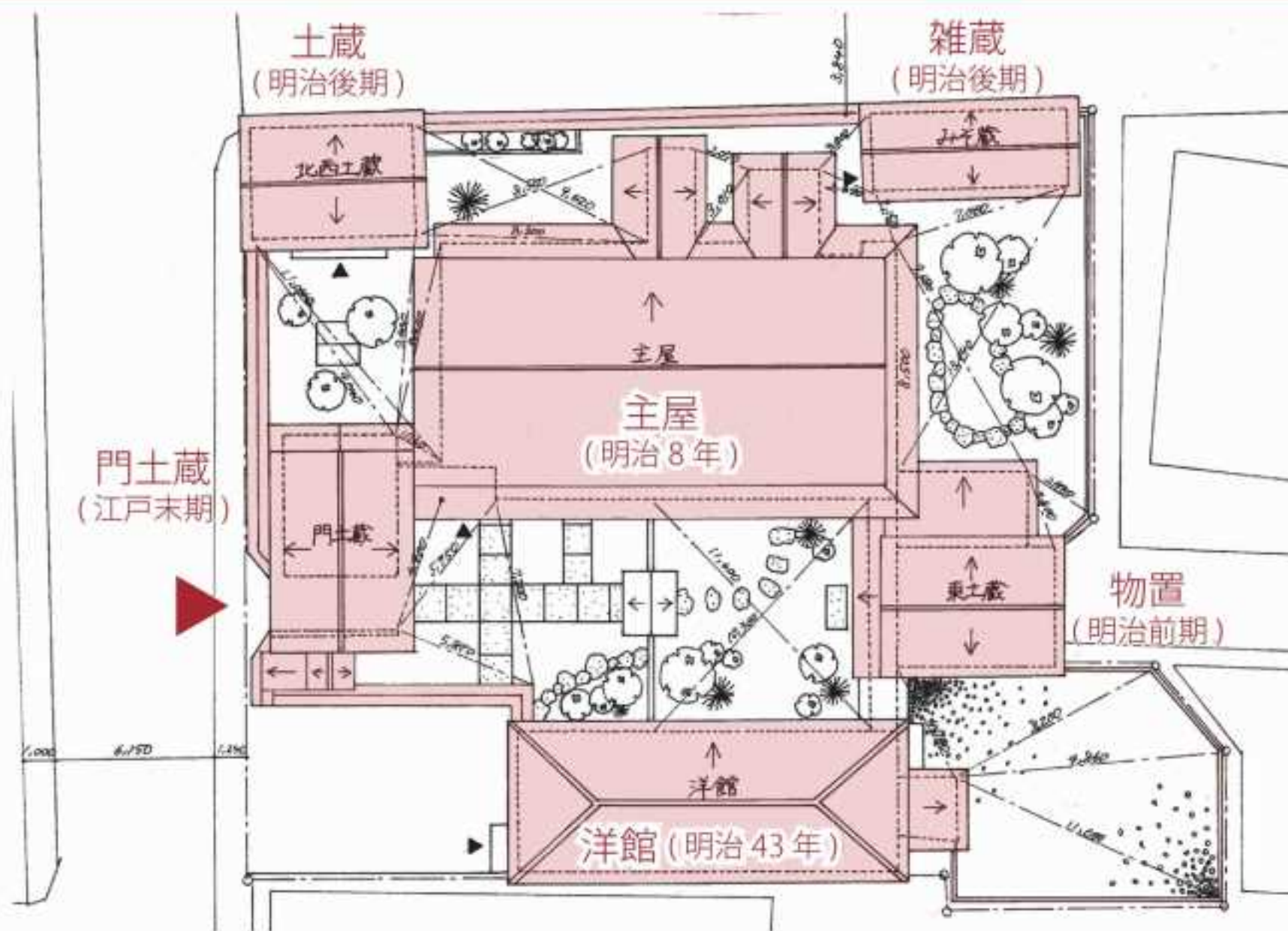
小屋伏せ図（主屋のみ）

- ・ 土蔵4棟

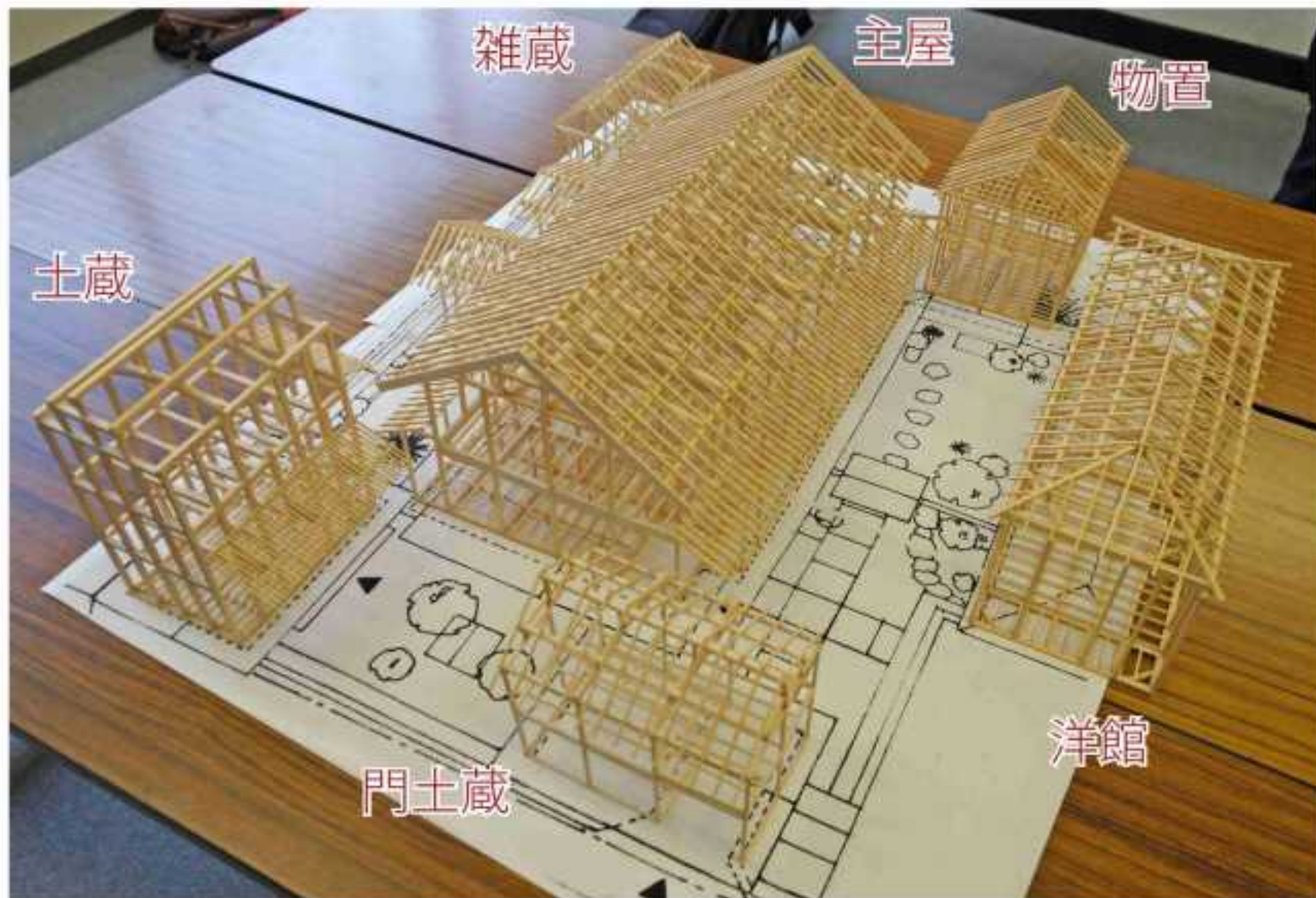
平面図

断面図

実測図面：配置図



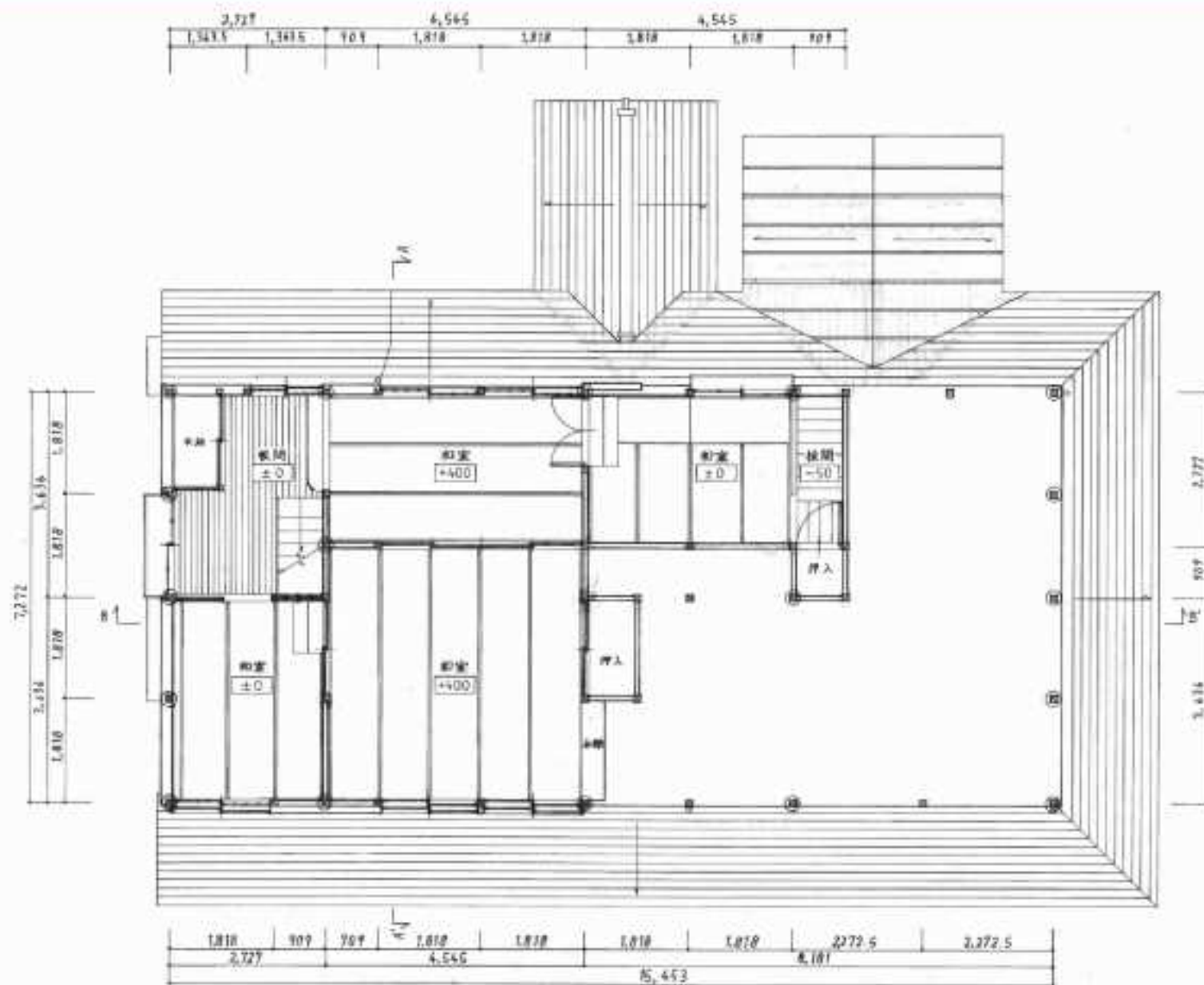
架構模型



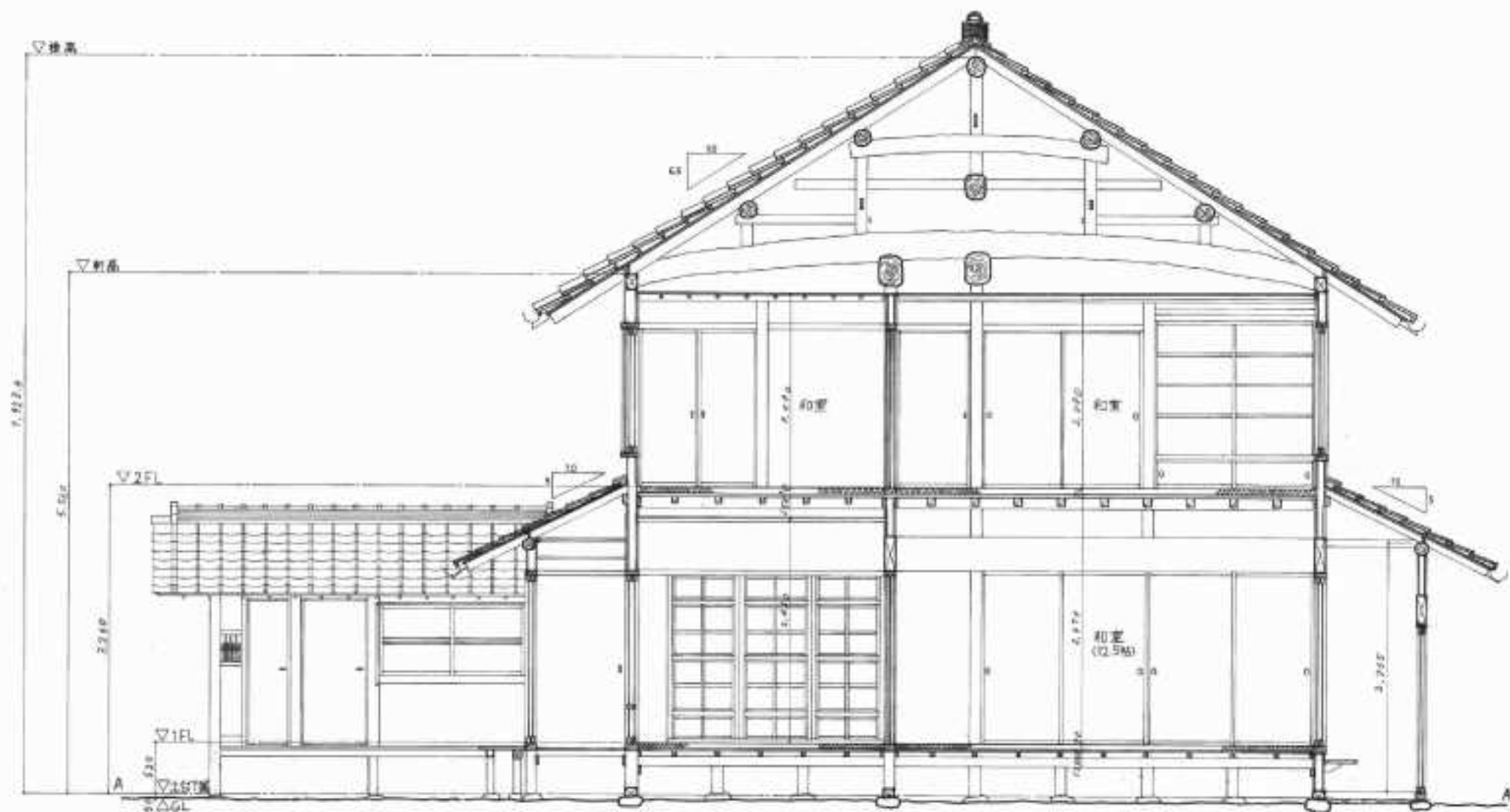
実測図面：主屋 平面図（一階）



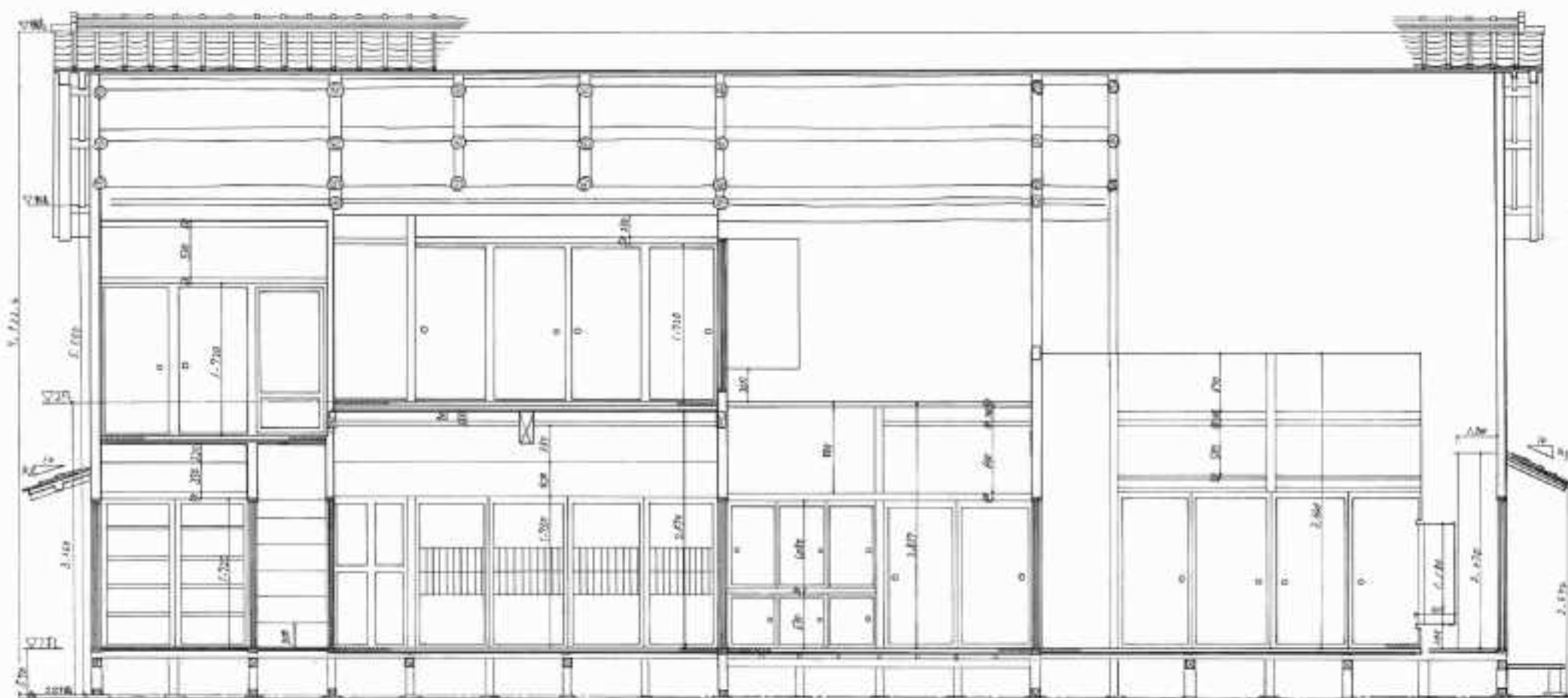
実測図面：主屋 二階平面図



実測図面：主屋矩計図（梁間）



実測図面：主屋 矩計図（矩計図）



実測図面：主屋 立面図



北立面図



西立面図

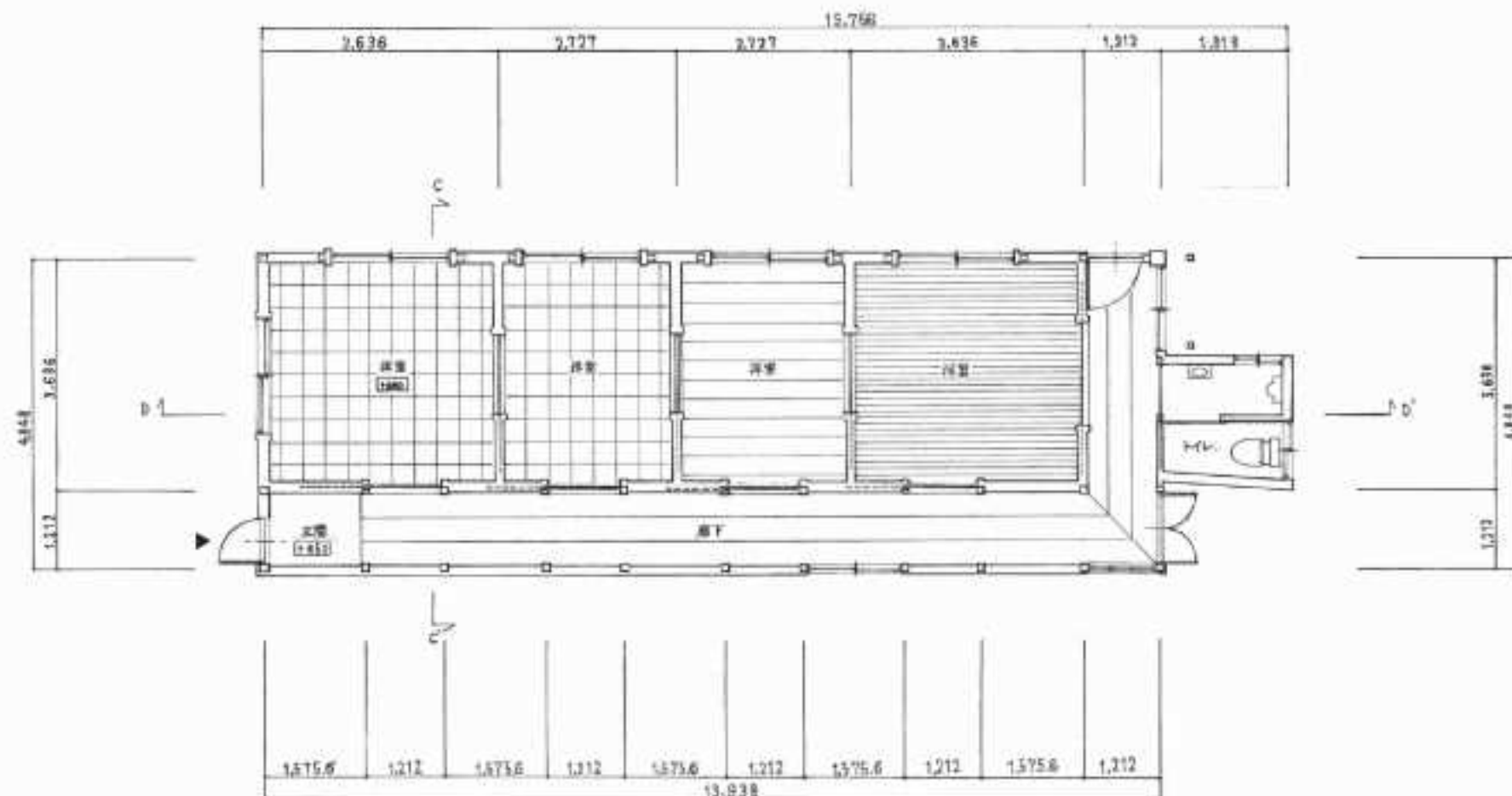


南立面図

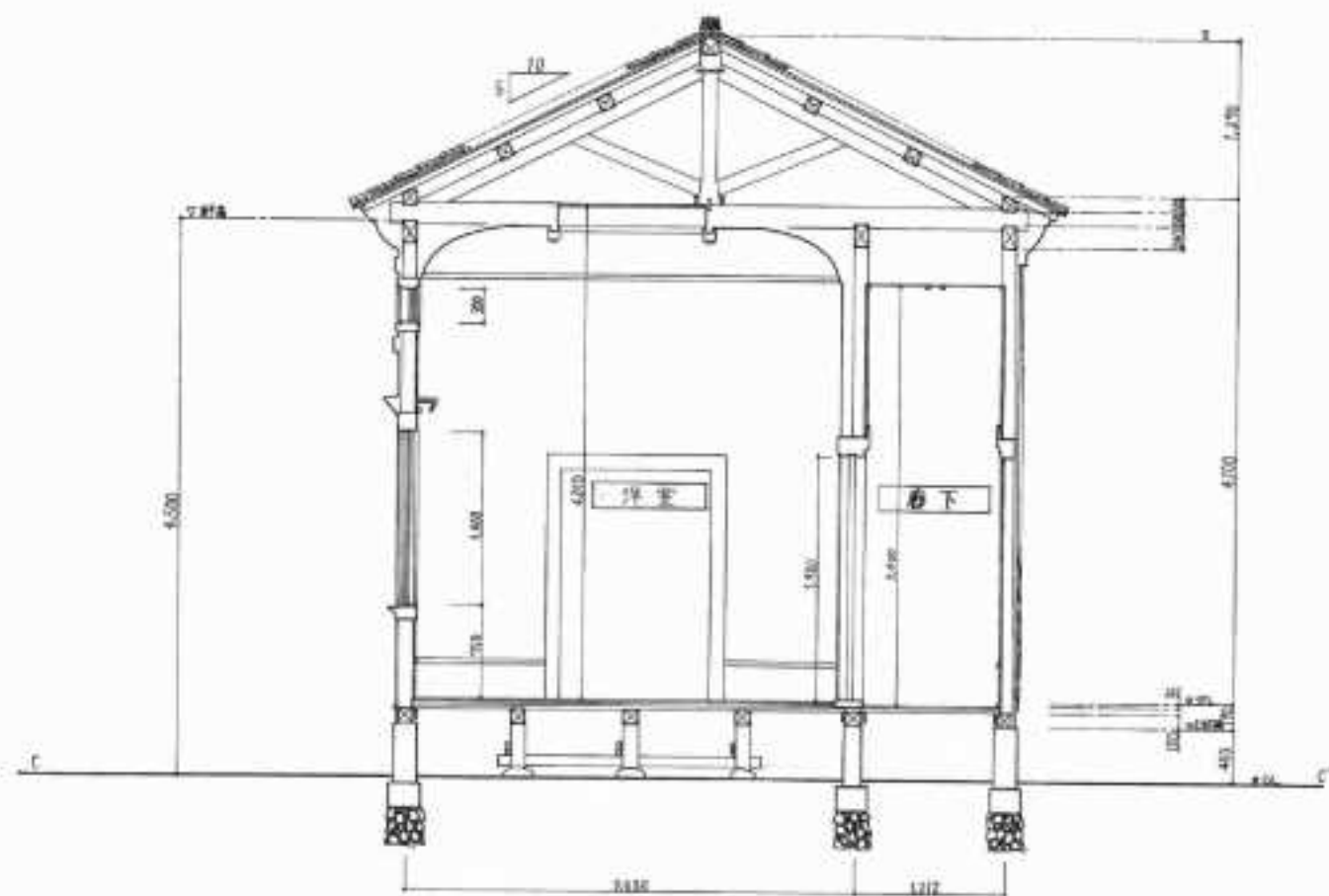


東立面図

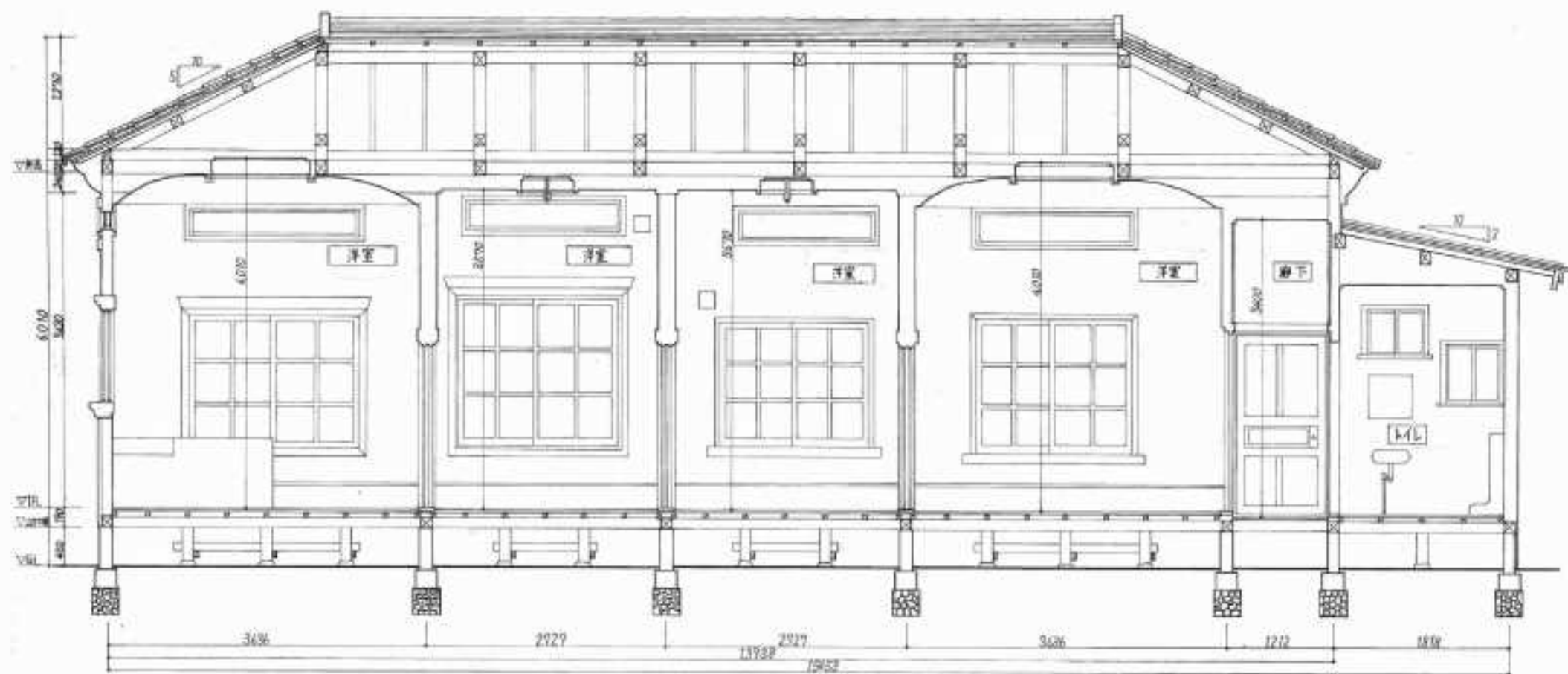
実測図面：洋館 平面図



実測図面：洋館 短手矩計図



実測図面：洋館 長手矩計図



実測図面：洋館 立面図



北立面図

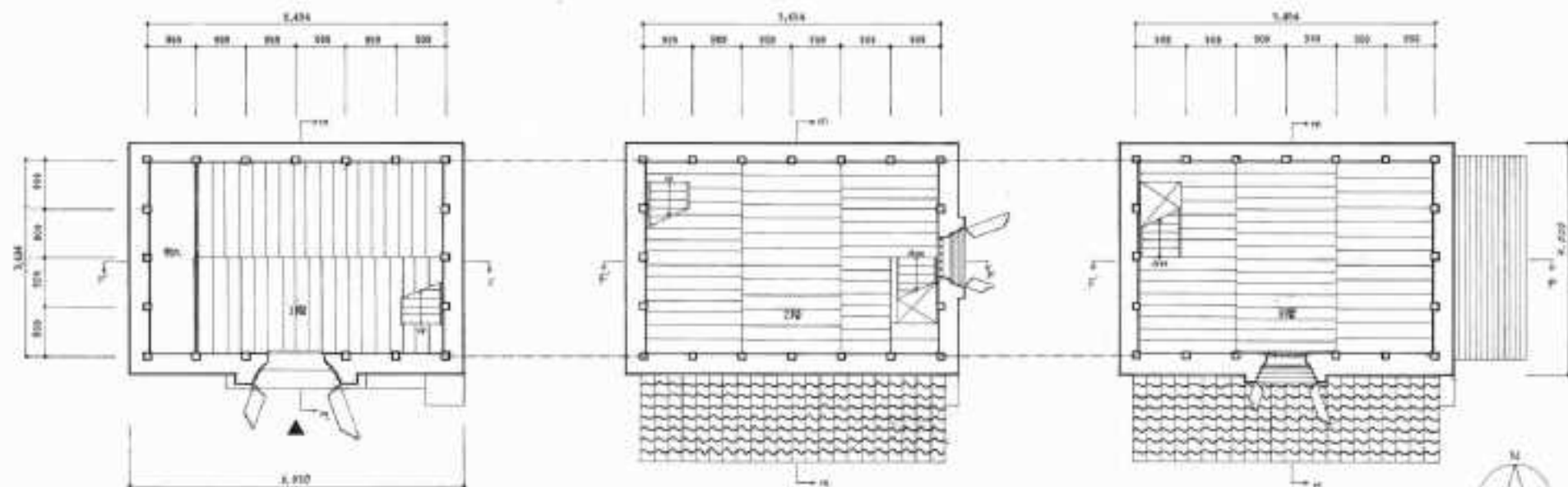
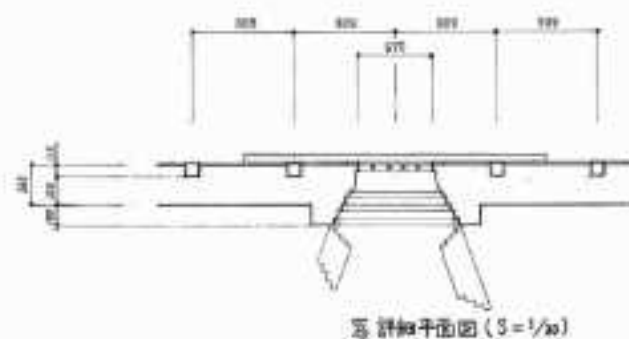
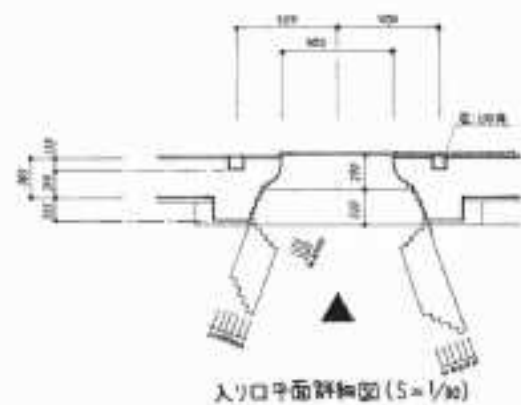


東立面図

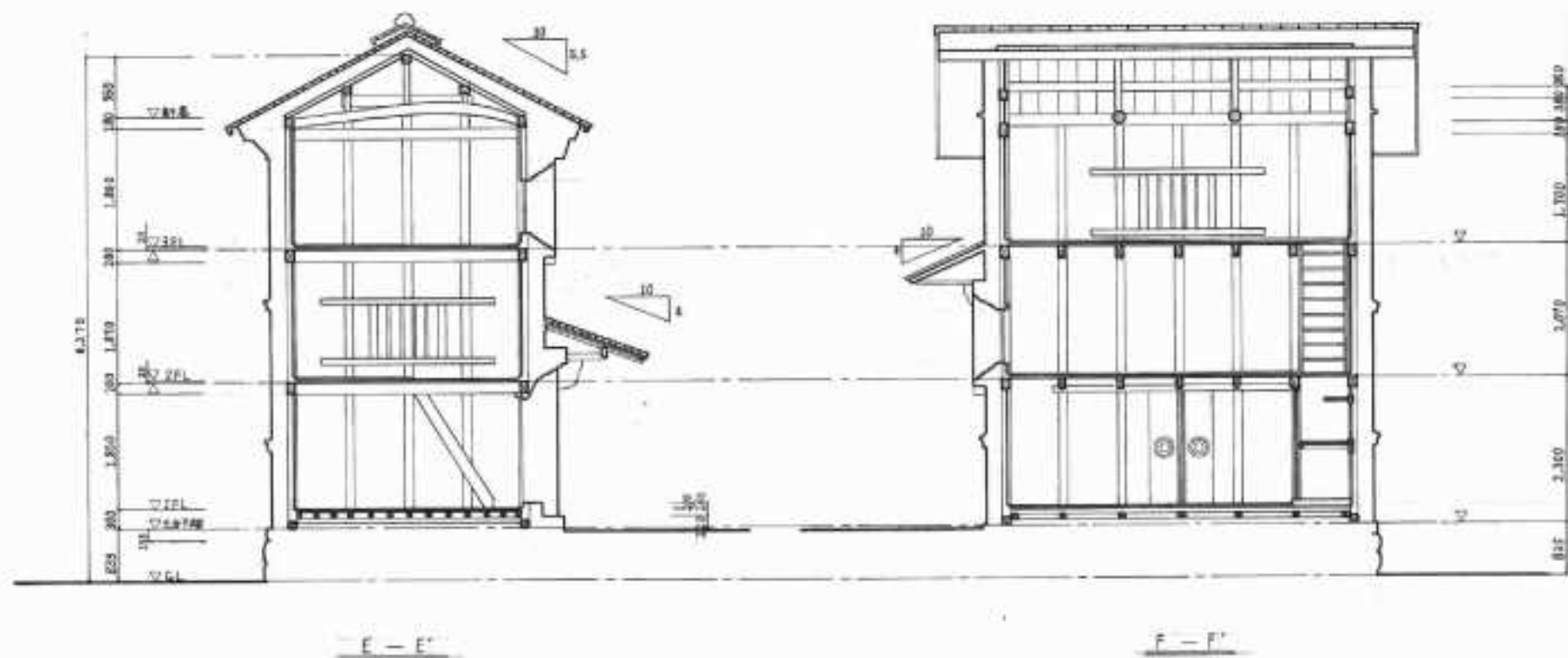


西立面図

実測図面：北西土蔵 平面図



実測図面：北西土蔵 断面図





「すざか暮らし」を始める家族へ

～地域愛・家族愛をはぐくむまちへの提案～

スローライフに憧れて地方に移り住む人 増

・夫婦のセカンドライフとして

しかし

・子連れのファミリーには難しい



須坂なら
子育てがしやすい環境



- ・美しく 自然豊か
- ・地の食材を新鮮なうちに頂ける
- ・まちの人の温かさ



周辺環境



須坂に移住したいファミリー

家族で移り住む第一歩にしたい！

今、須坂に住んでいる子育て世代

小さい子連れで気兼ねなく
おしゃべりできるお店が少ない！



建築的操作 + 須坂の住みやすさ
人の温かさ



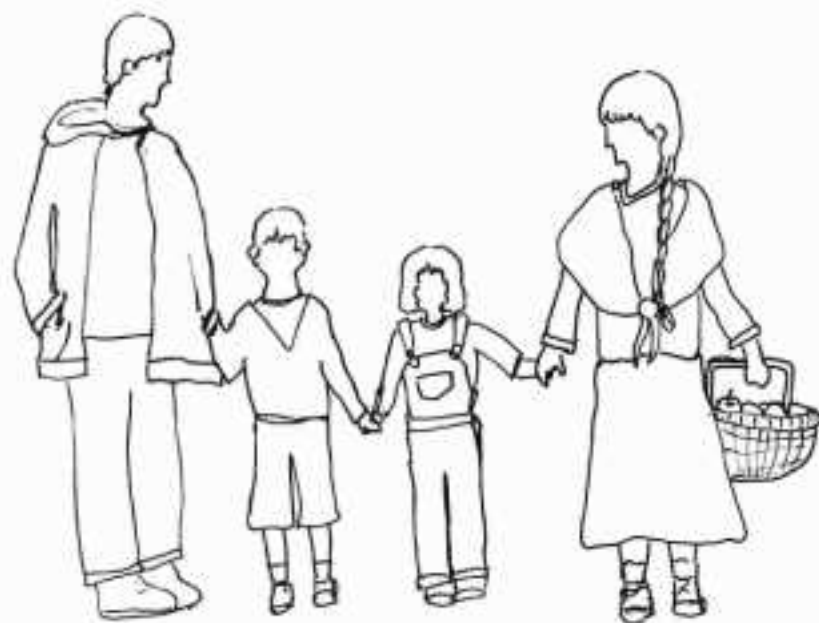
地域貢献しつつ地域に溶け込む生活

須坂をもっと子育てしやすいまちに

すざか愛・家族愛 あふれる 「すざか暮らし」の提案

設定

地産地消のレストランを開く世帯：A



父 子 子 母



地酒を提供するバーを開く世帯：B



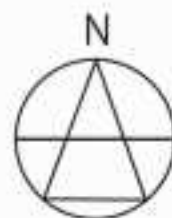
母 子 父



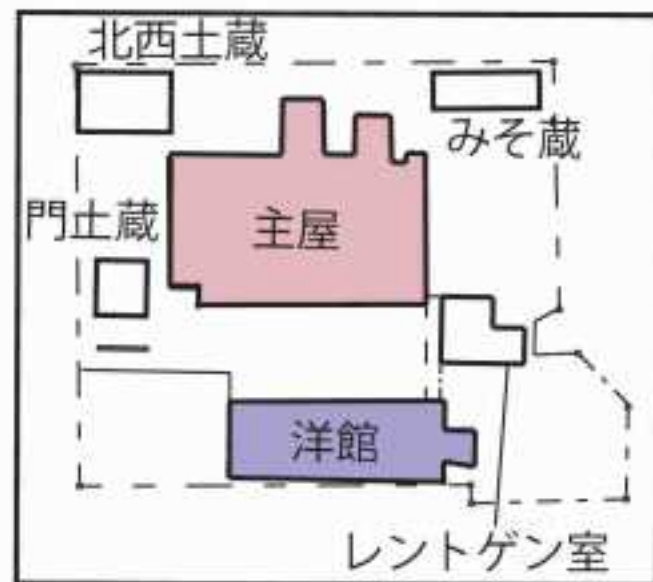
既存からの変化



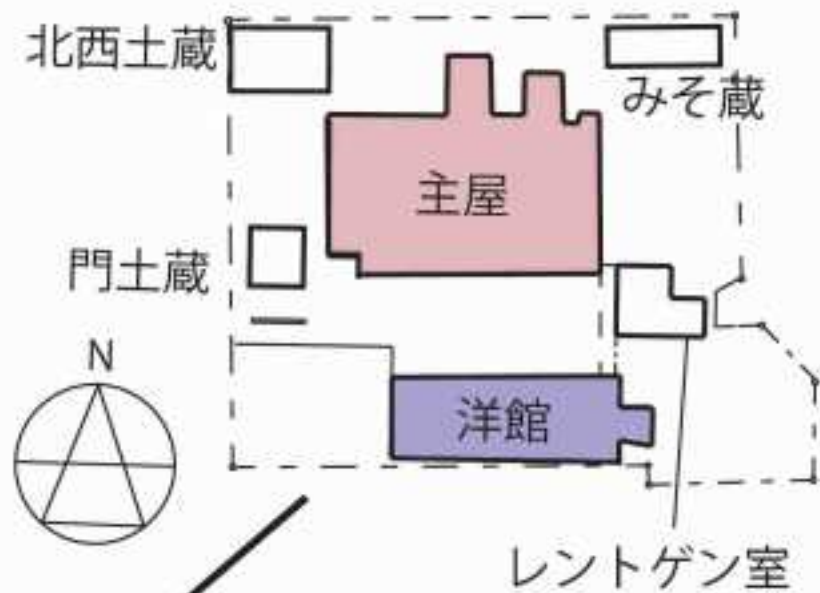
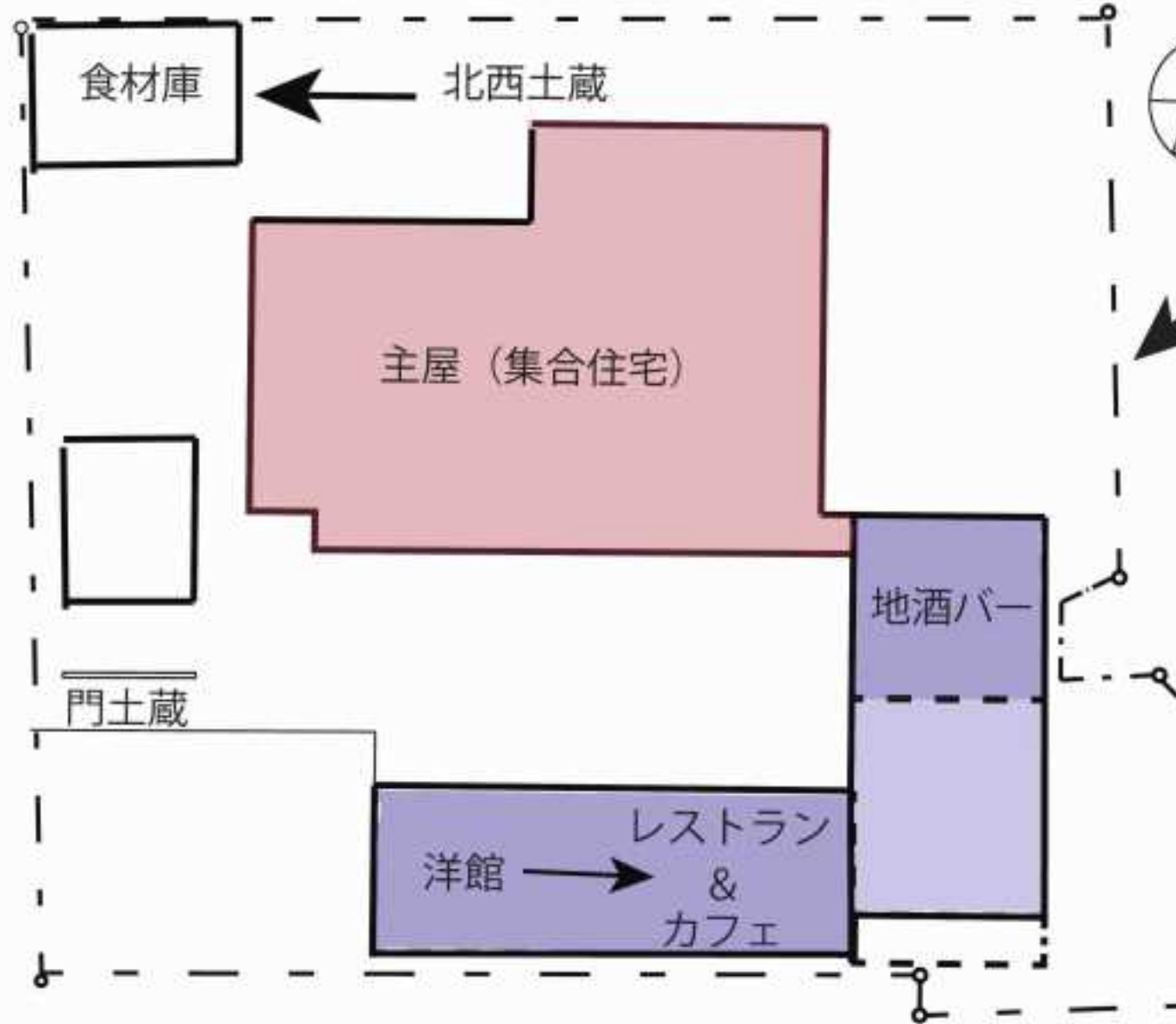
- : 増・新築
- : 減築
- : 手を加える



閉じている



改修後 用途変更



須坂でとれた食材
須坂で作られたお酒

ふれあい館しらふじ

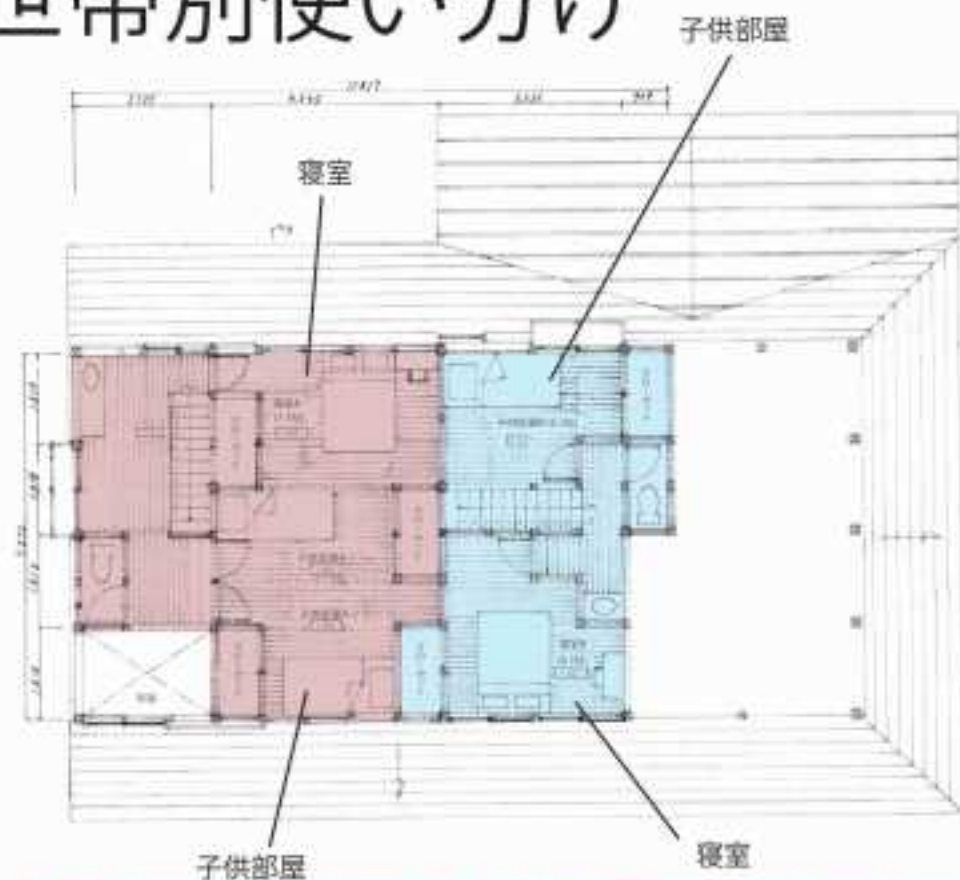
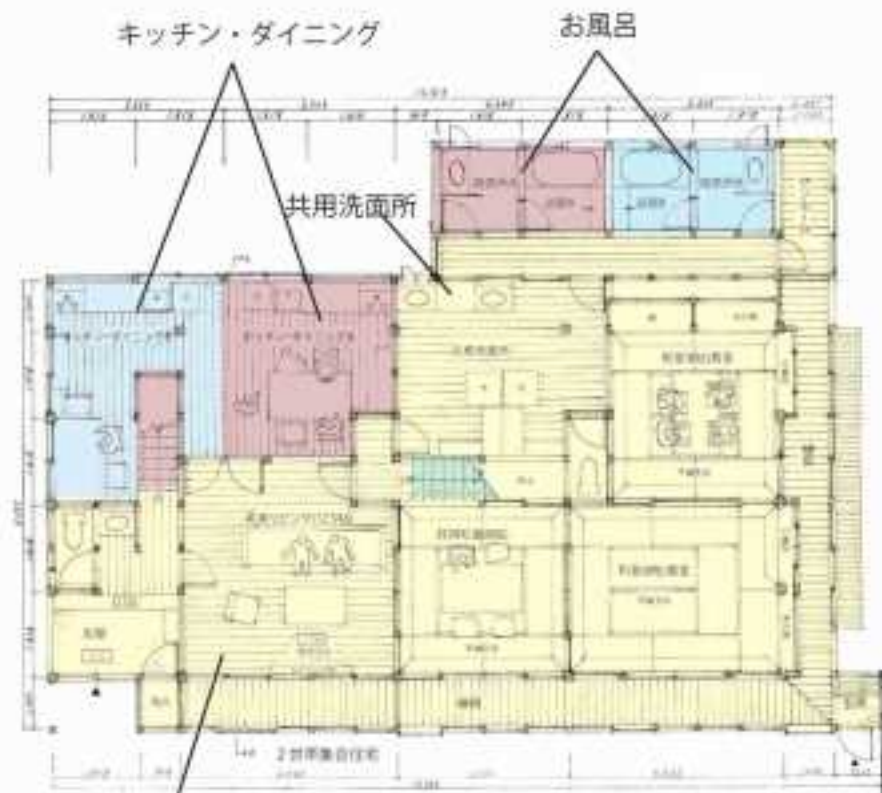
食材庫

レストラン & カフェ

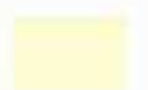
地酒バー



改修後主屋 世帯別使い分け



世帯Aの領域

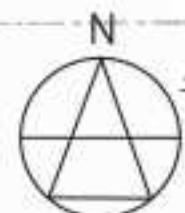
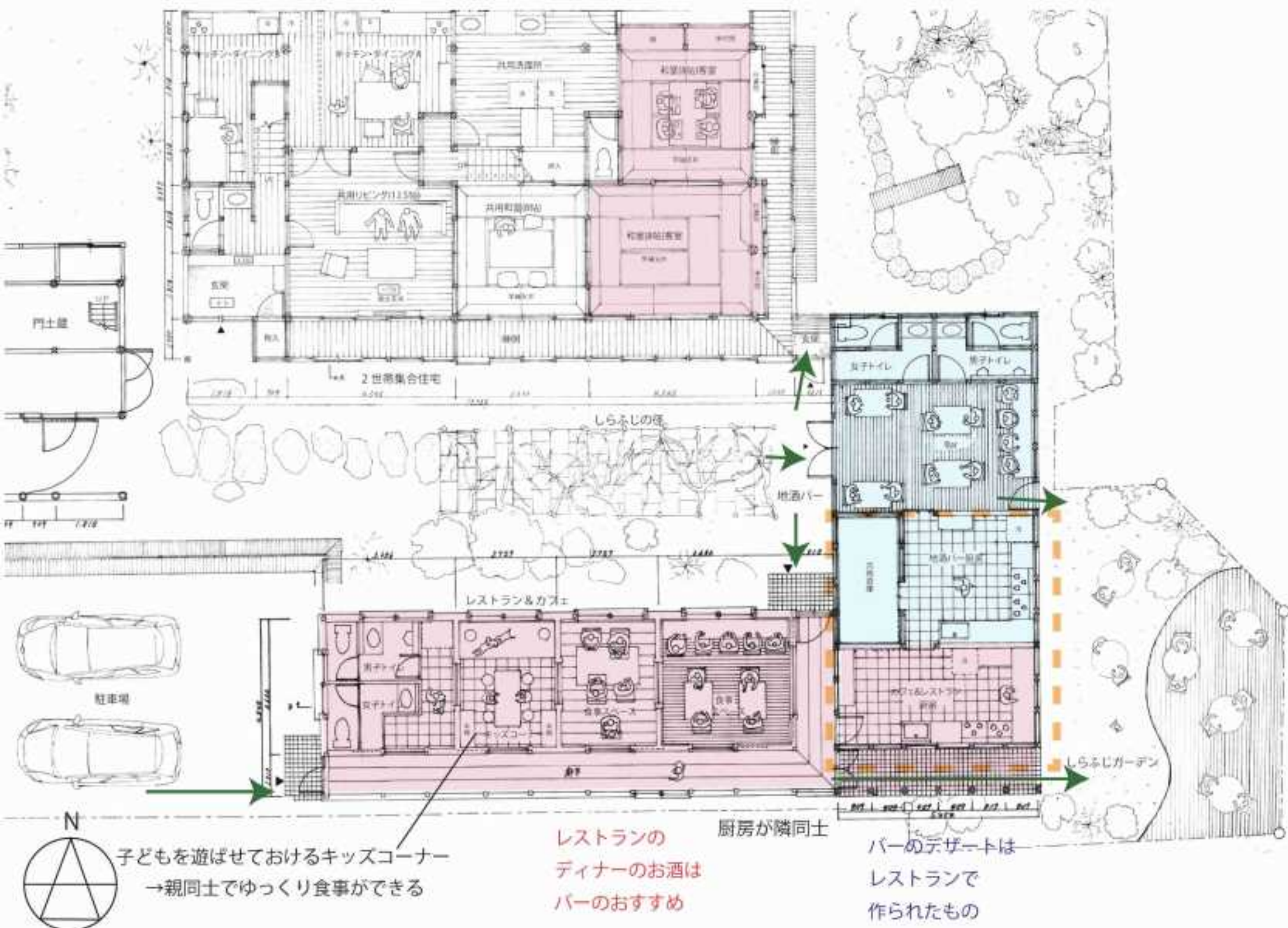


共同部分



世帯Bの領域



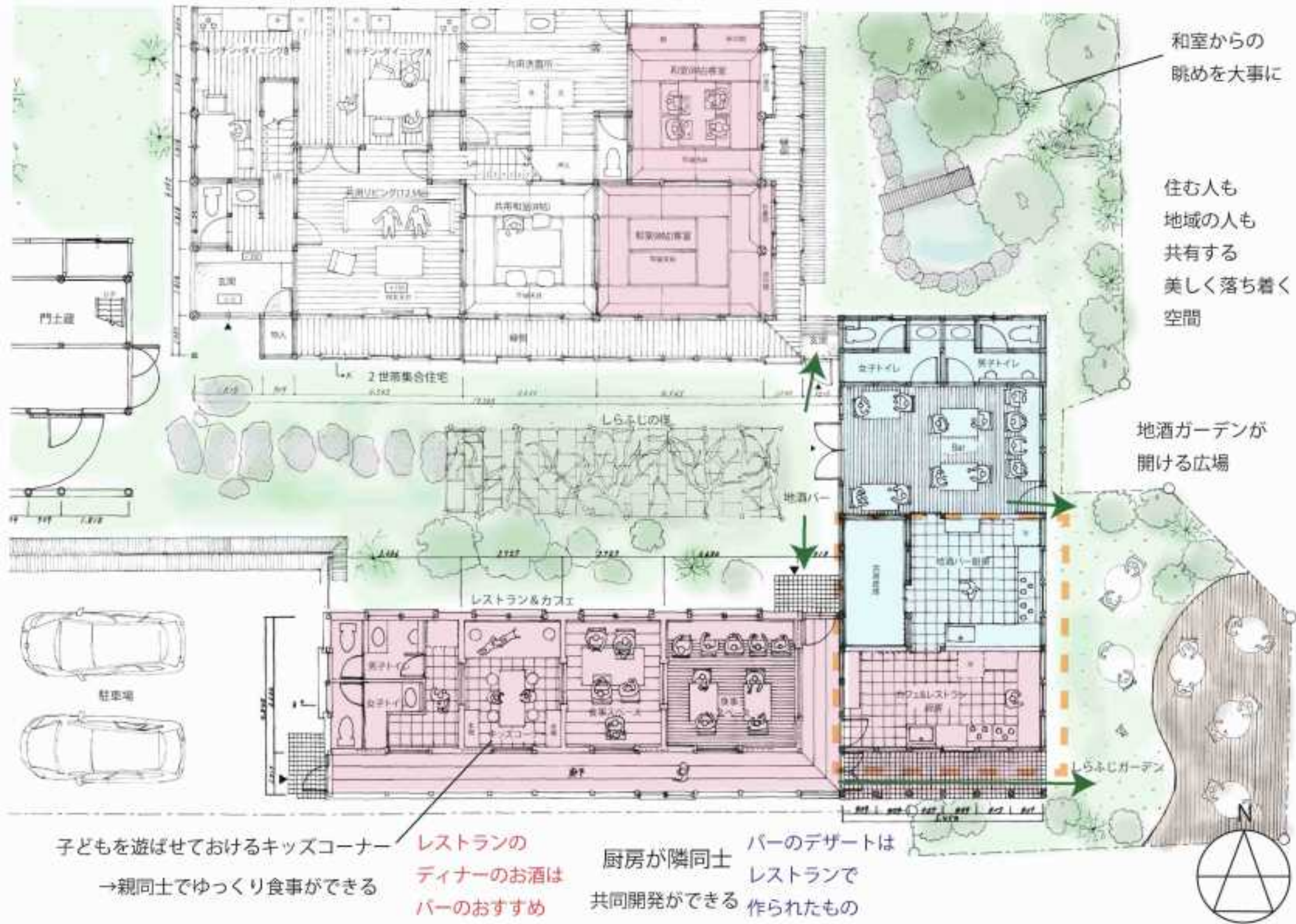


子どもを遊ばせておけるキッズコーナー
→親同士でゆっくり食事ができる

レストランの
ディナーのお酒は
バーのおすすめ

厨房が隣同士

バーのデザートは
レストランで
作られたもの



和室からの
眺めを大事に

住む人も
地域の人も
共有する
美しく落ち着いた
空間

地酒ガーデンが
開ける広場

子どもを遊ばせておけるキッズコーナー
→親同士でゆっくり食事ができる

レストランの
ディナーのお酒は
バーのおすすめ

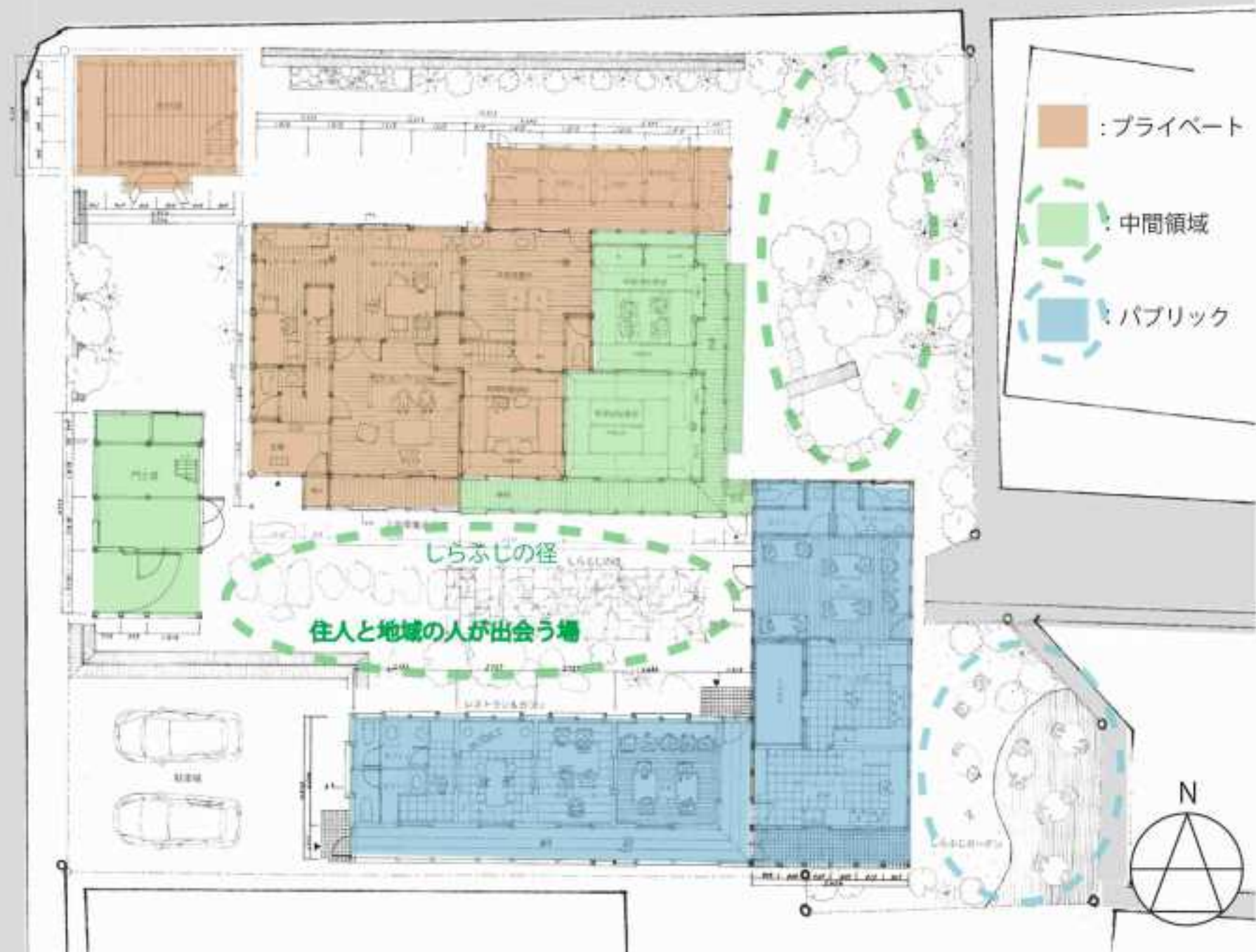
厨房が隣同士
共同開発ができる

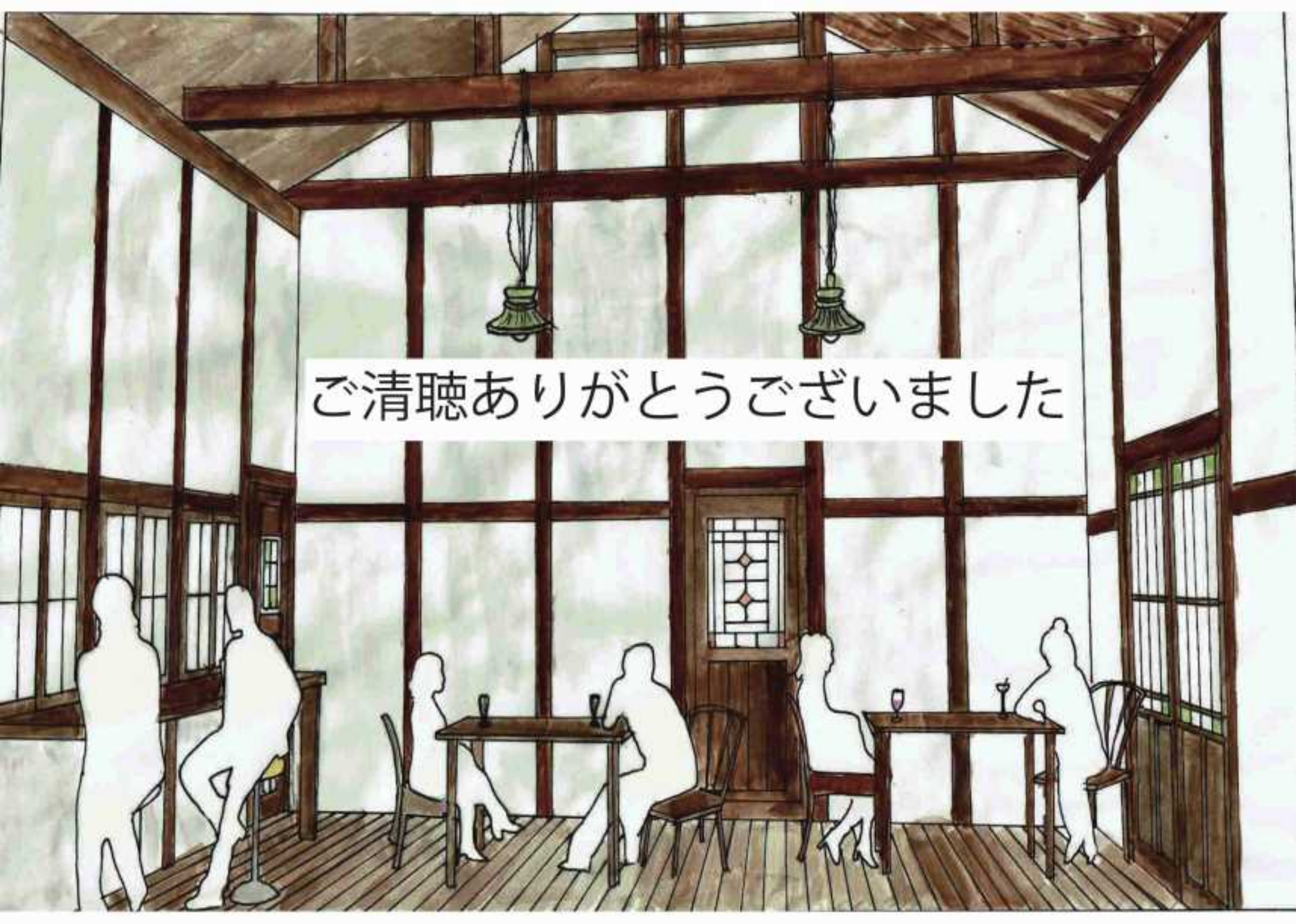
バーのデザートは
レストランで
作られたもの

ゲストハウ蔵



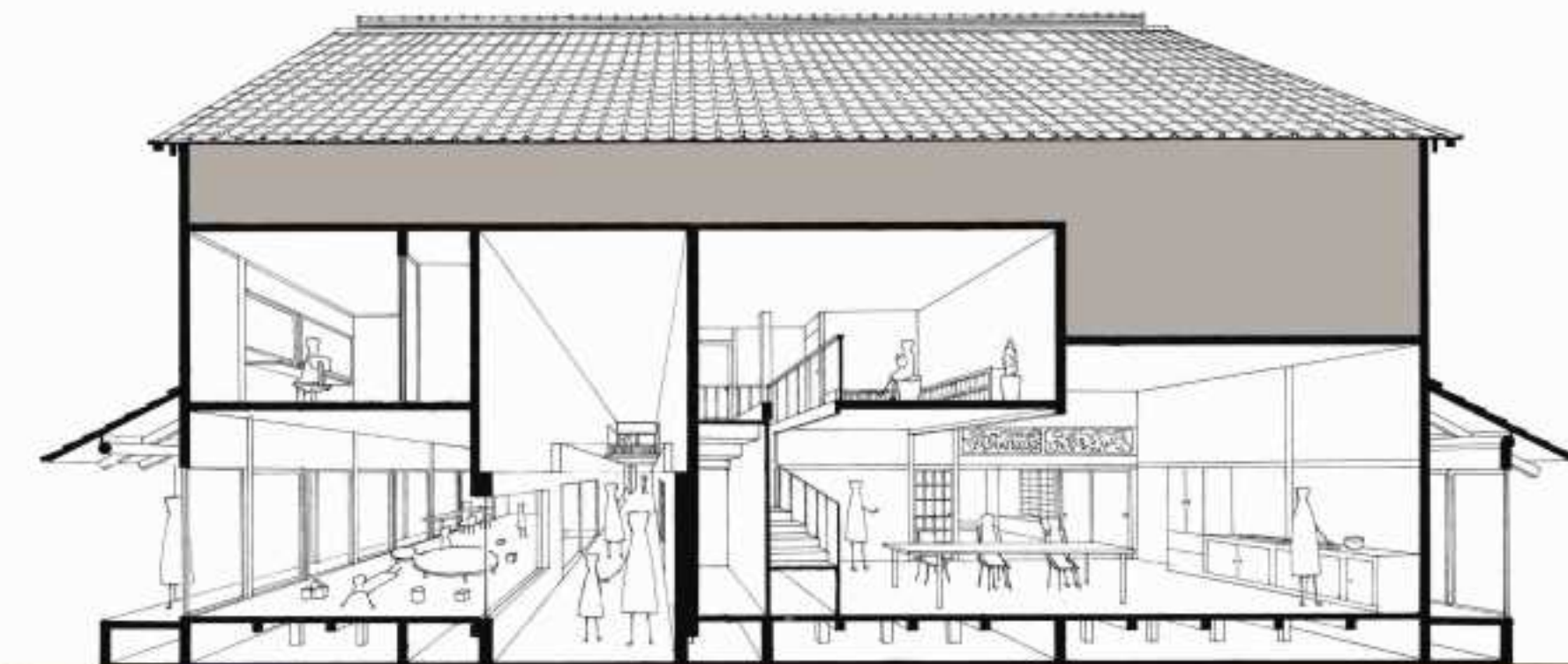
ゲストハウス蔵





ご清聴ありがとうございました

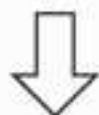
壁の道



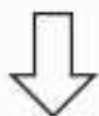
信州大学工学部建築学科 3 年 勝地夢斗

ニーズ&コンセプト

しらふじ周辺には小学校などがあるが、児童館のような場所がない。
だから子供が下校時などで気軽に立ち寄れる場所がほしい。



しらふじに二世帯の集合住宅に料理教室を中心とする「食」をテーマにした機能を付加する。



象徴的な道によって住宅と「食」関連機能をつなぐ

プログラム

集合住宅

家族構成

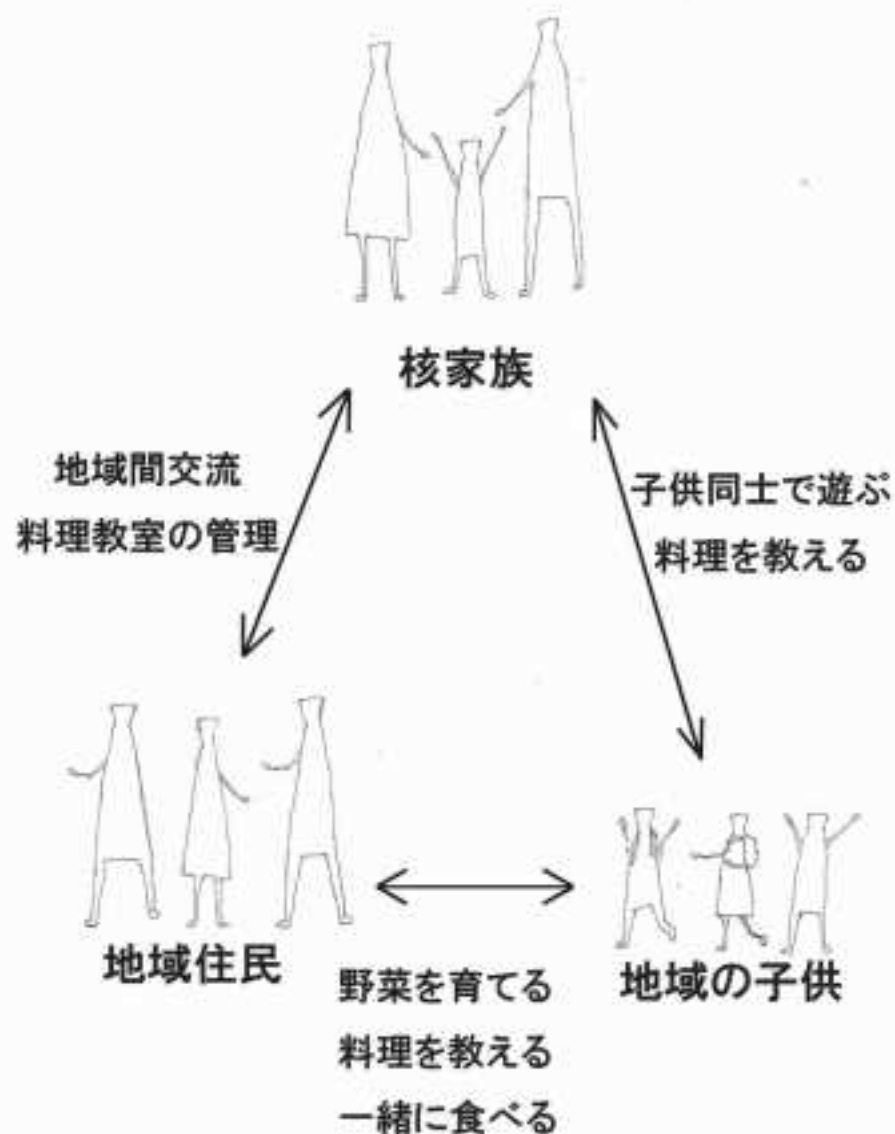
夫婦＋子供 3名 × 2組

付加機能

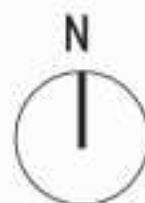
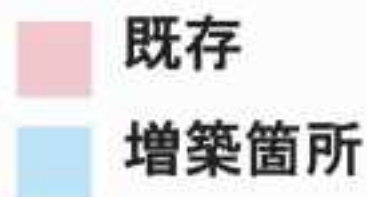
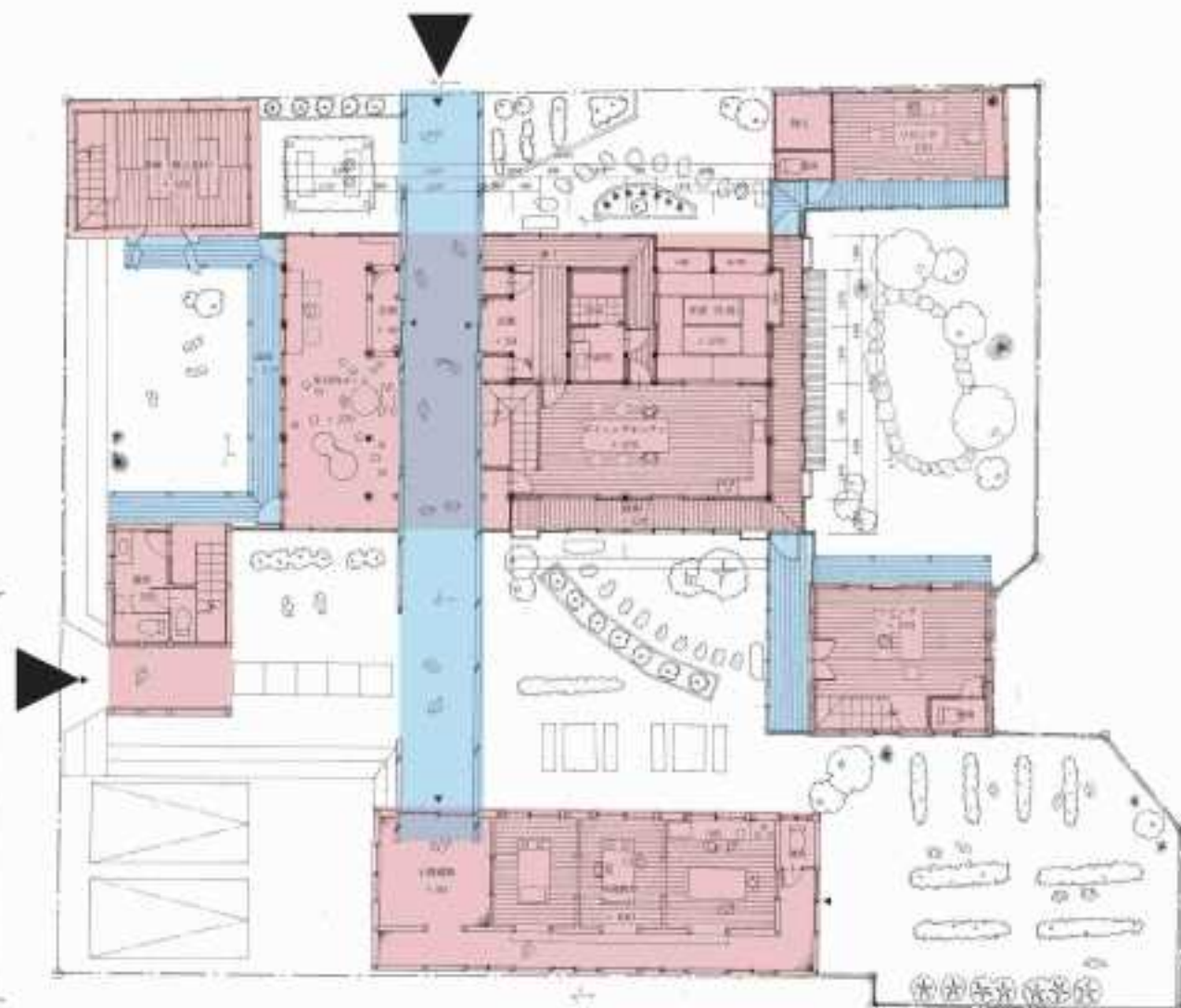
利用者

児童（下校途中・休日に立ち寄る）

地域住人（教えるために来る）

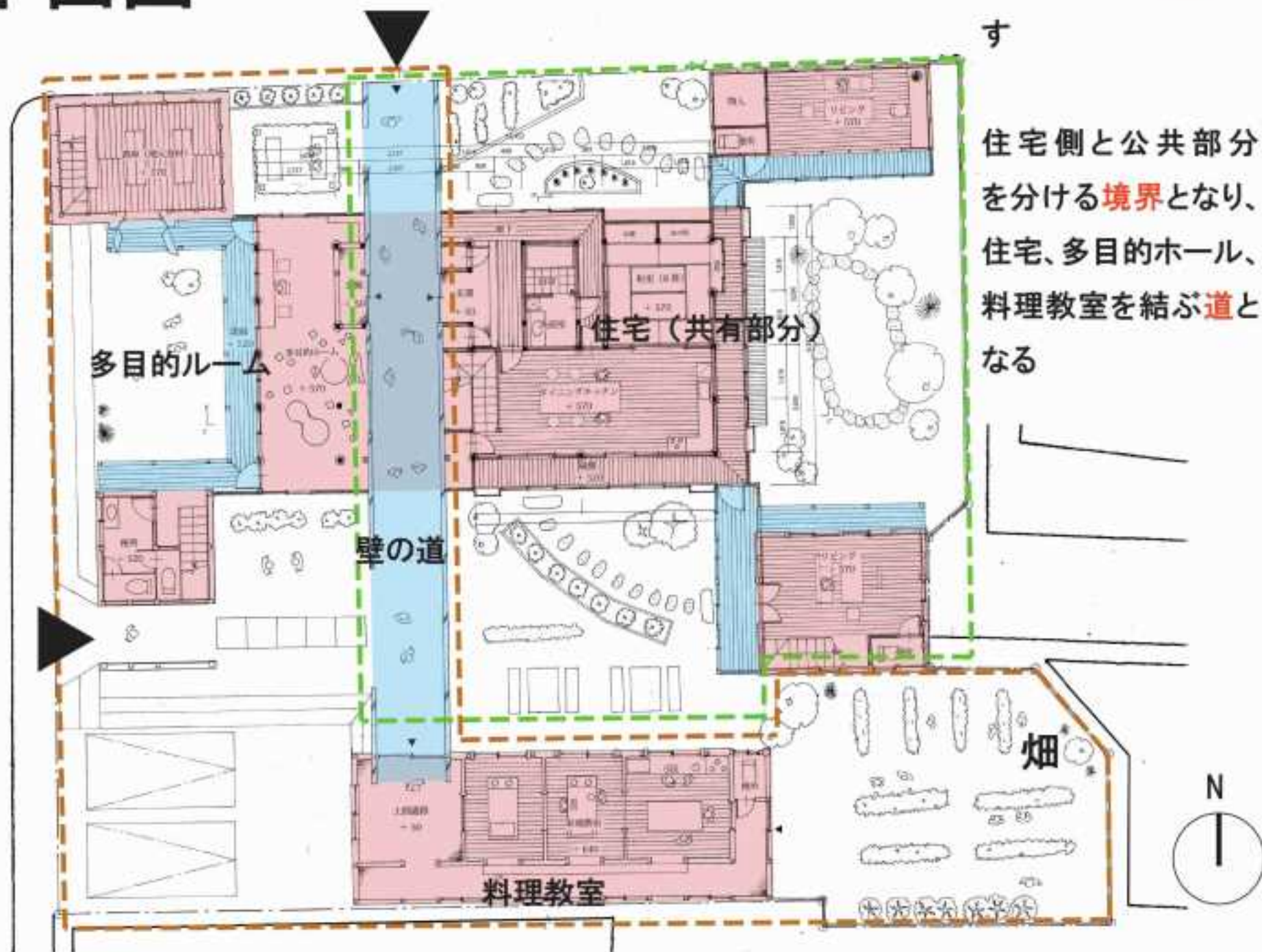


1 階平面図再生案

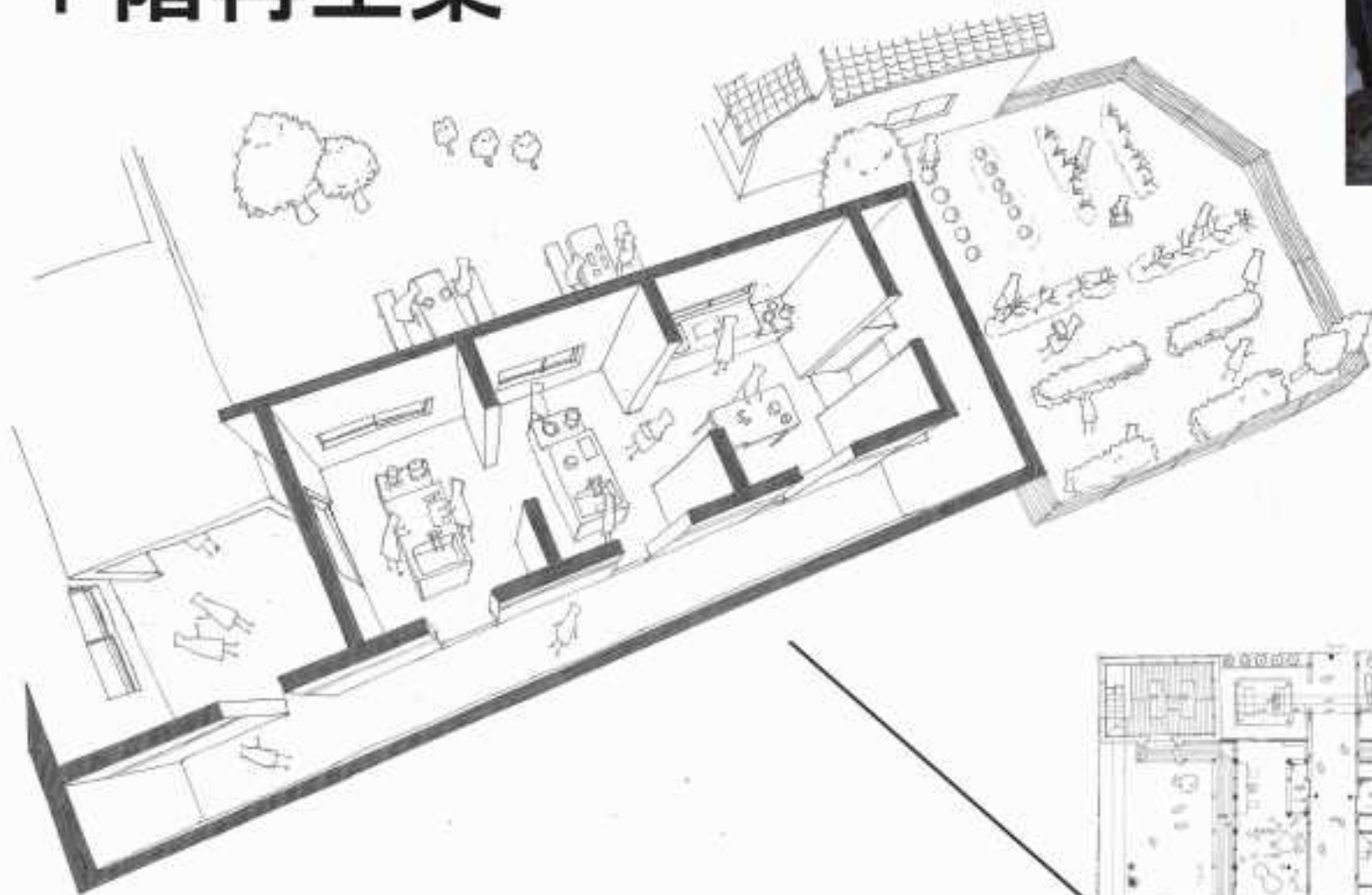


1 階平面図

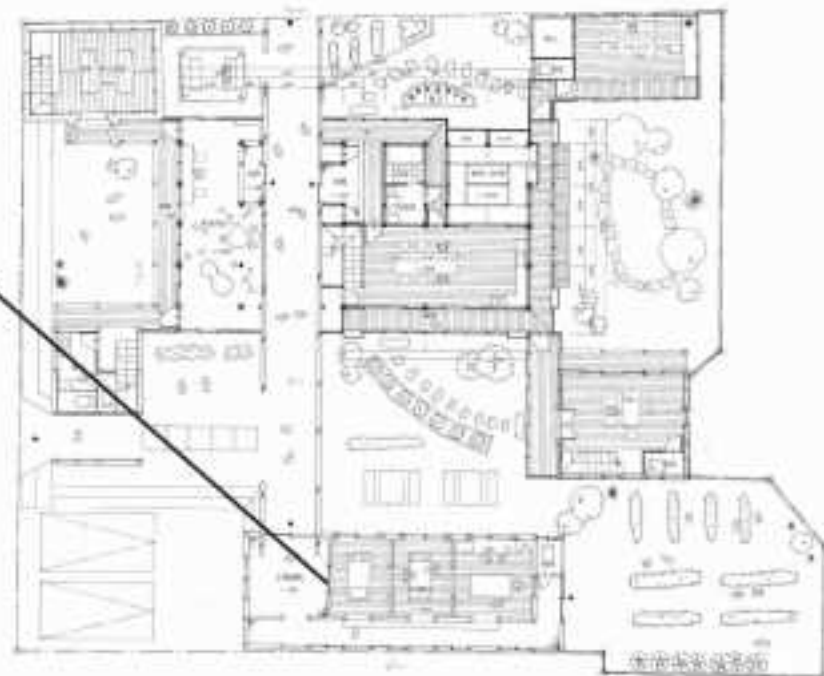
大笹街道



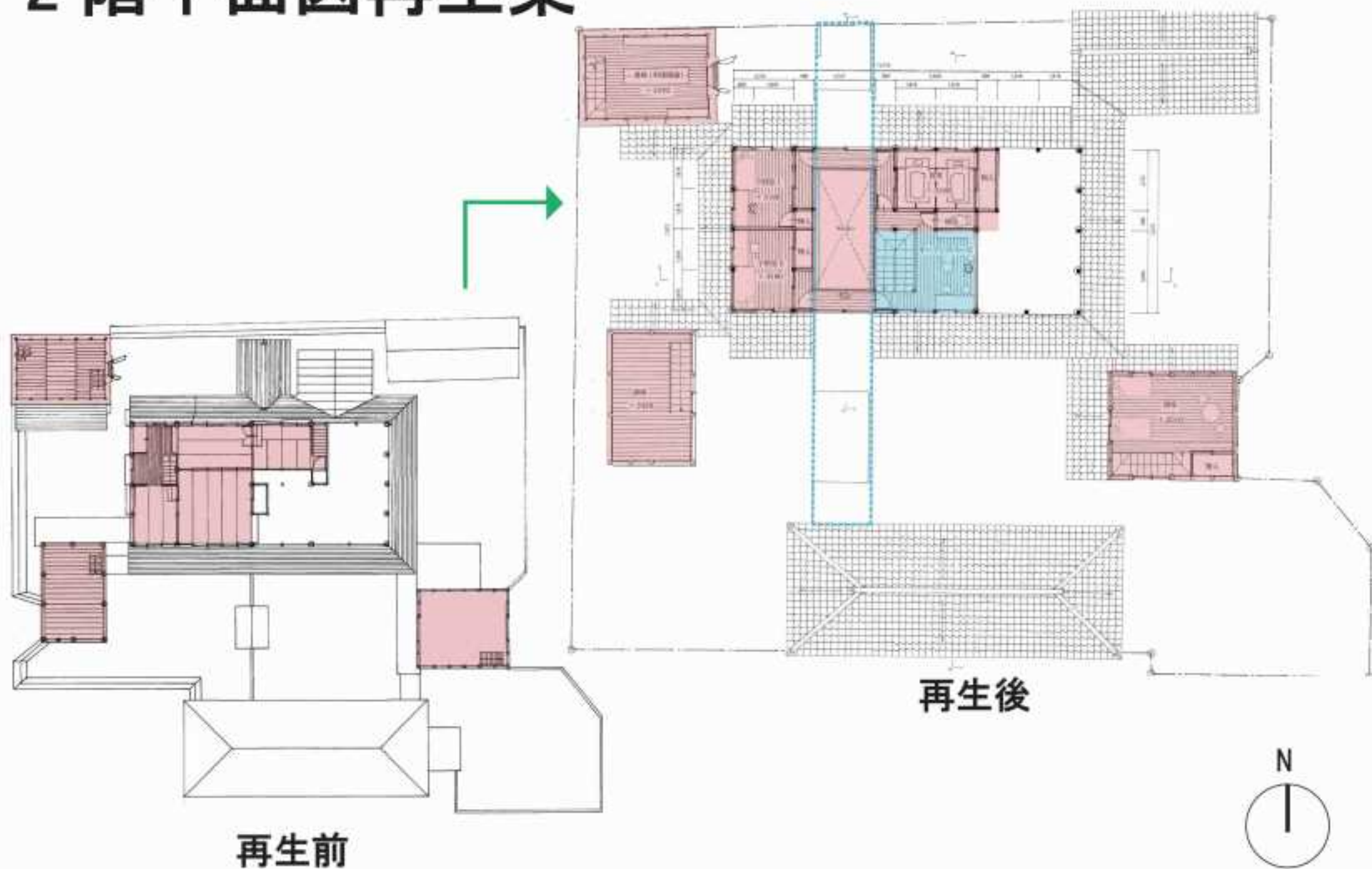
1 階再生案



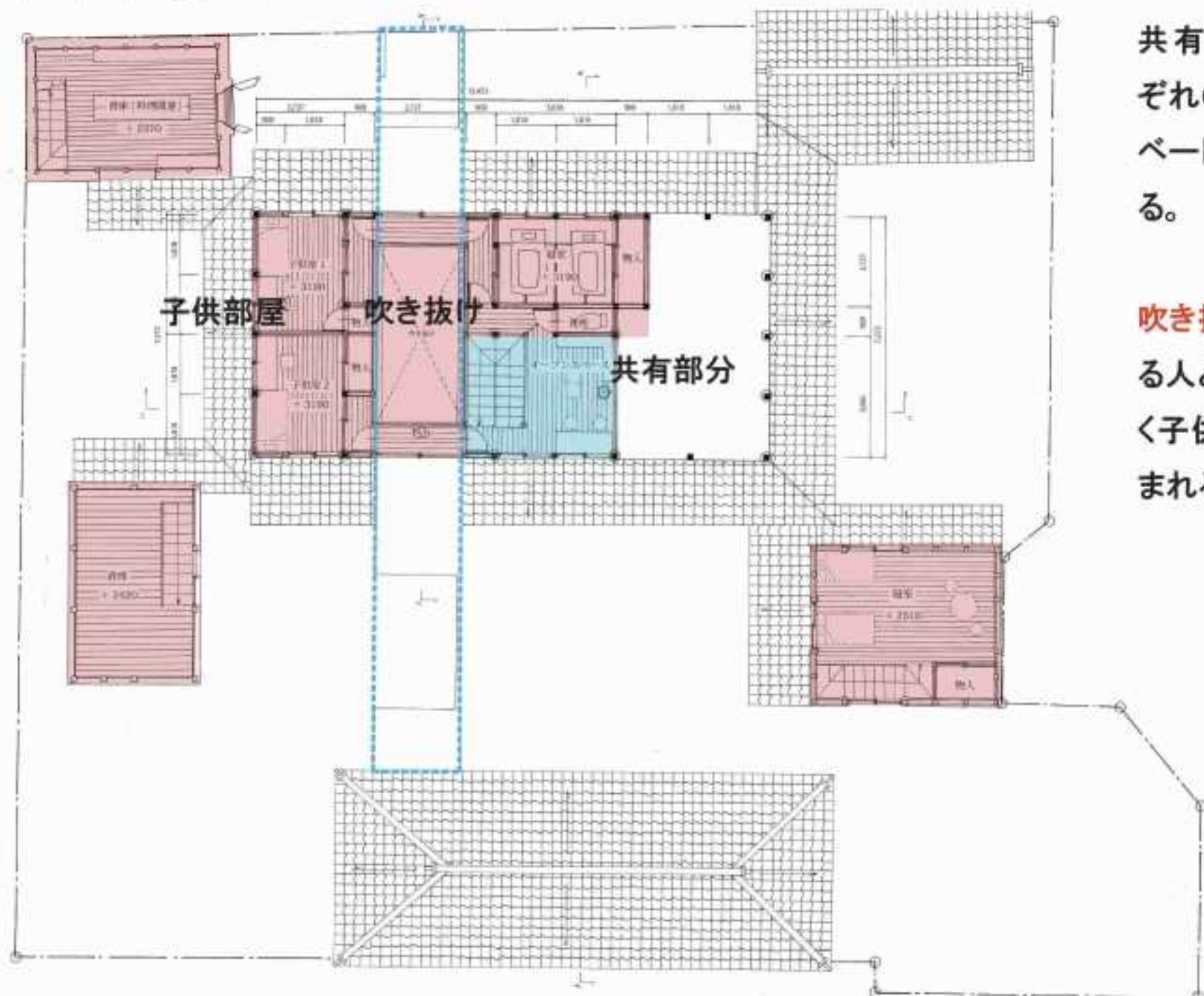
畑を料理教室に配置することでスムーズに料理に移行できる



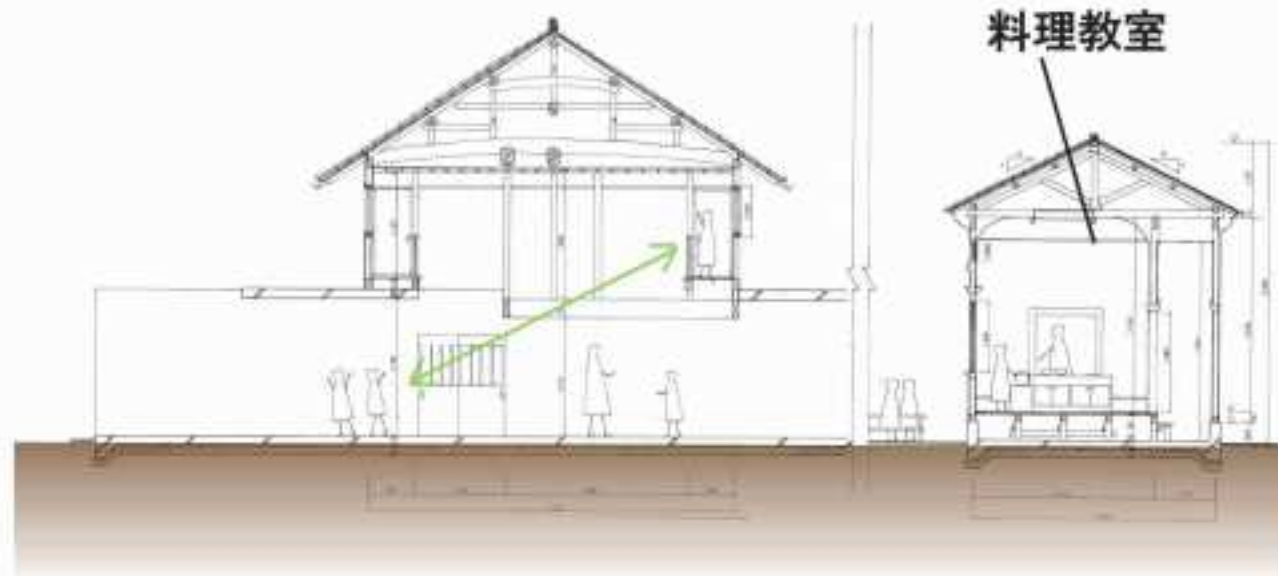
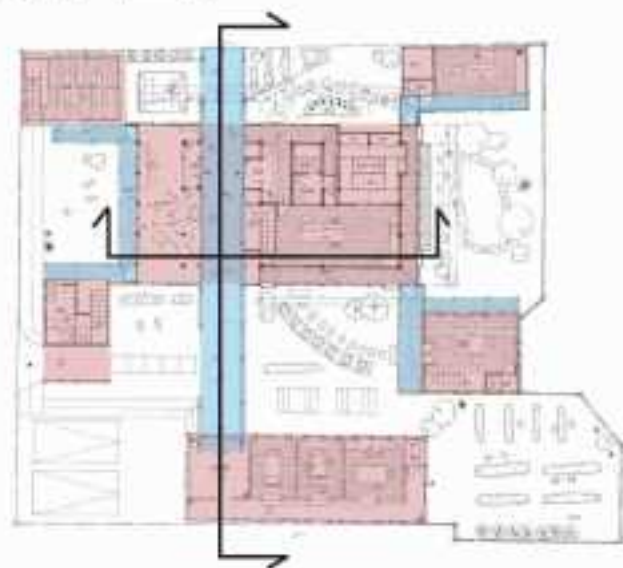
2 階平面図再生案



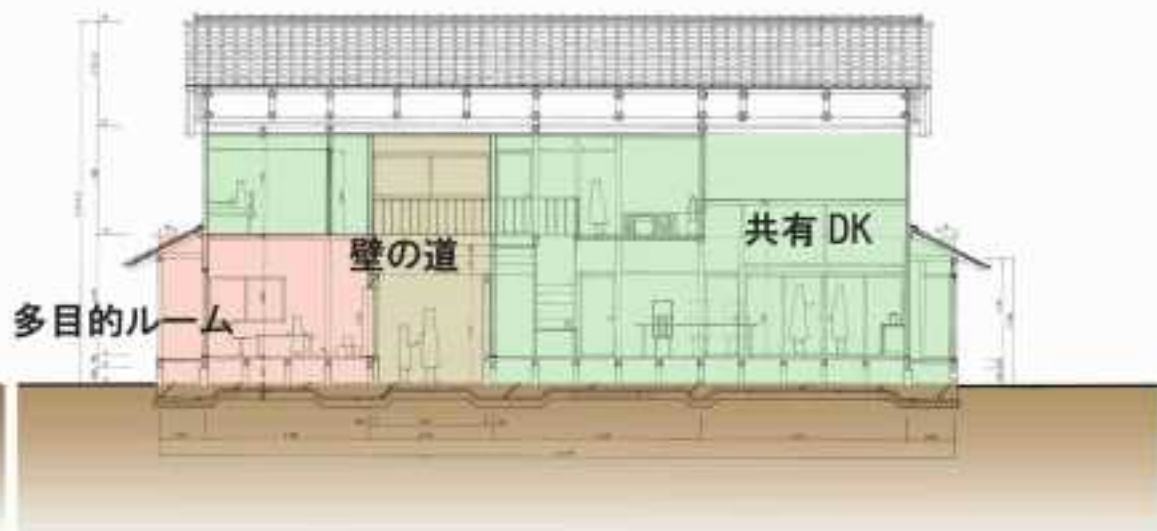
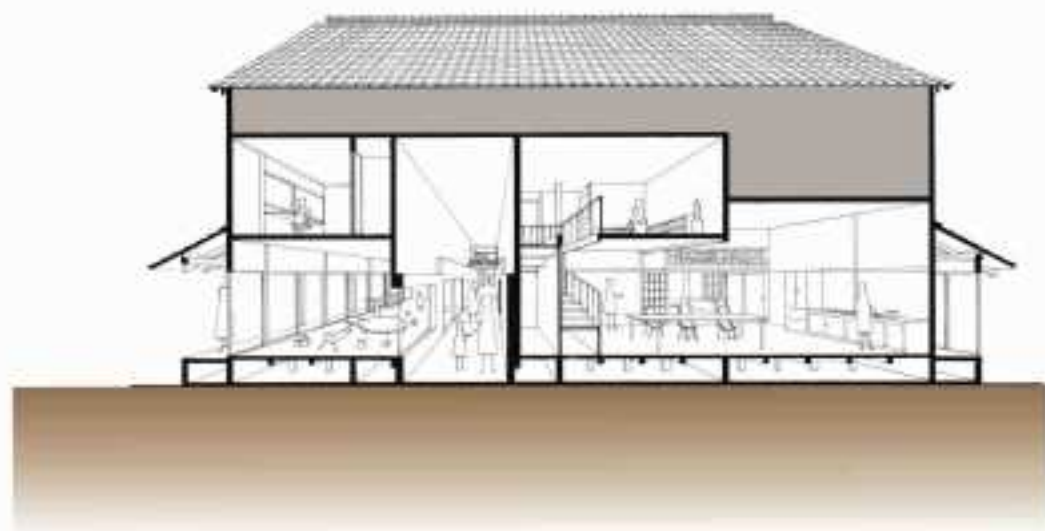
2 階平面図



断面計画

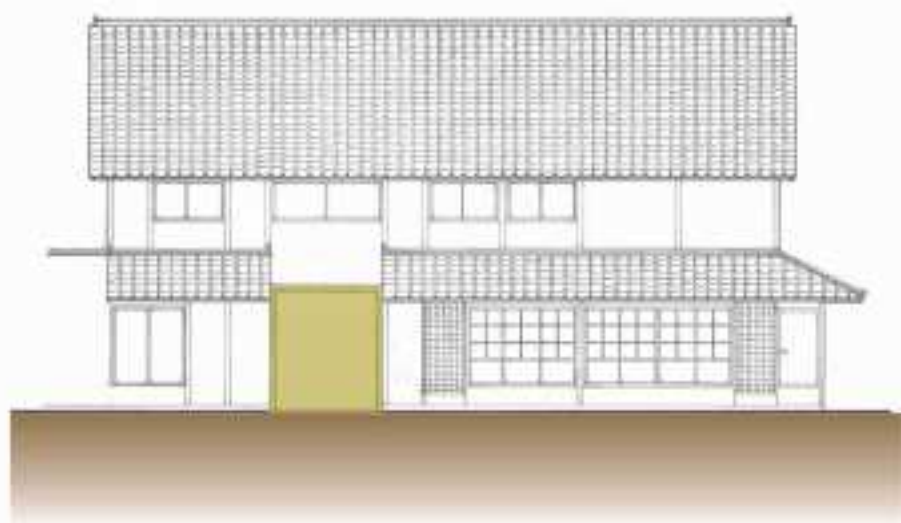


短手方向



長手方向

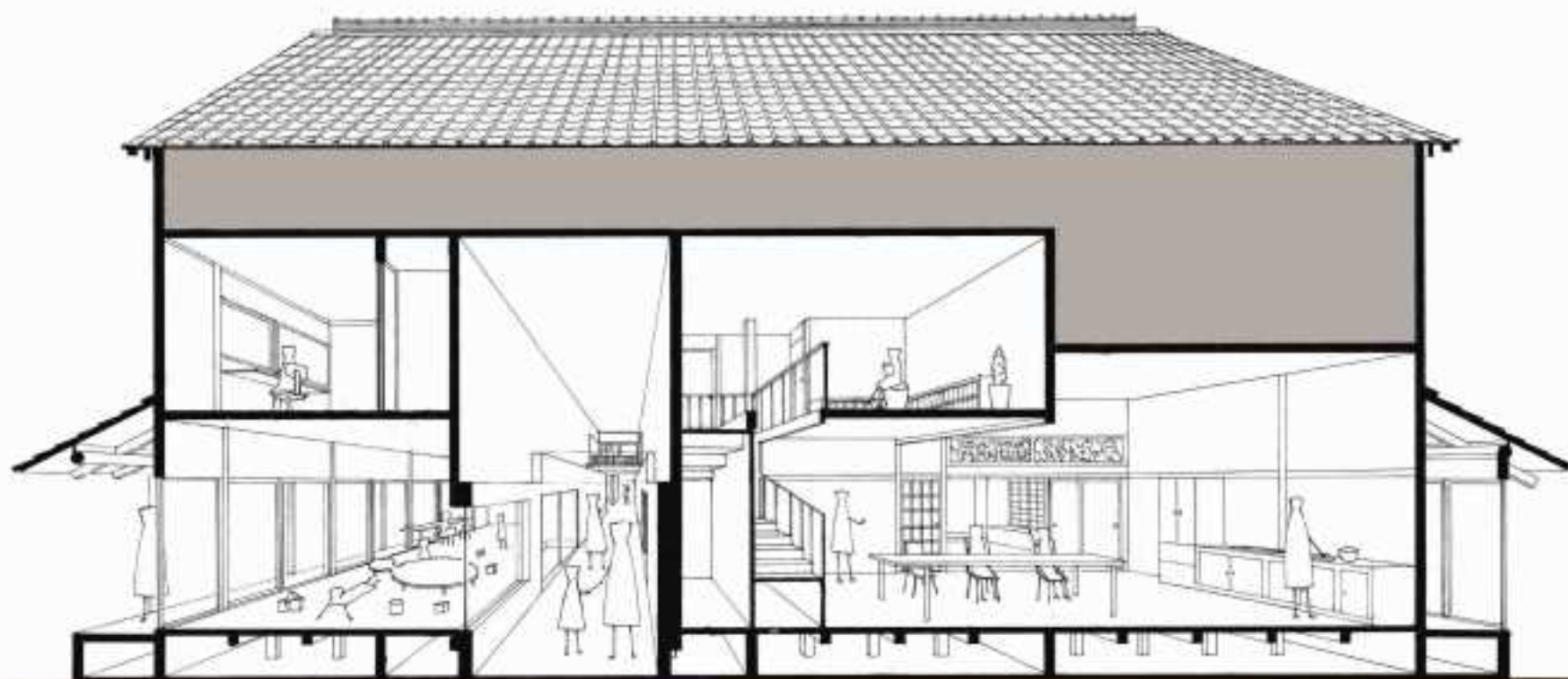
立面图



南立面图



西立面图



ご清聴ありがとうございました。

Family tree

～庭で組み合わせる人々のふれあい～



古民家 × 古本屋

信州大学工学部 建築学科 3 年

14T7802B 齋藤 裕



古民家 × 古本屋

須坂の蔵の使い方に本の貯蔵を提案し

住民や地域の人々が気軽に読書等の活動を行える場所を作る。

古本は蔵によって分類し

読み手の年代を定め、同世代の賑わいを促す。



住まう人



祖父母・老夫婦

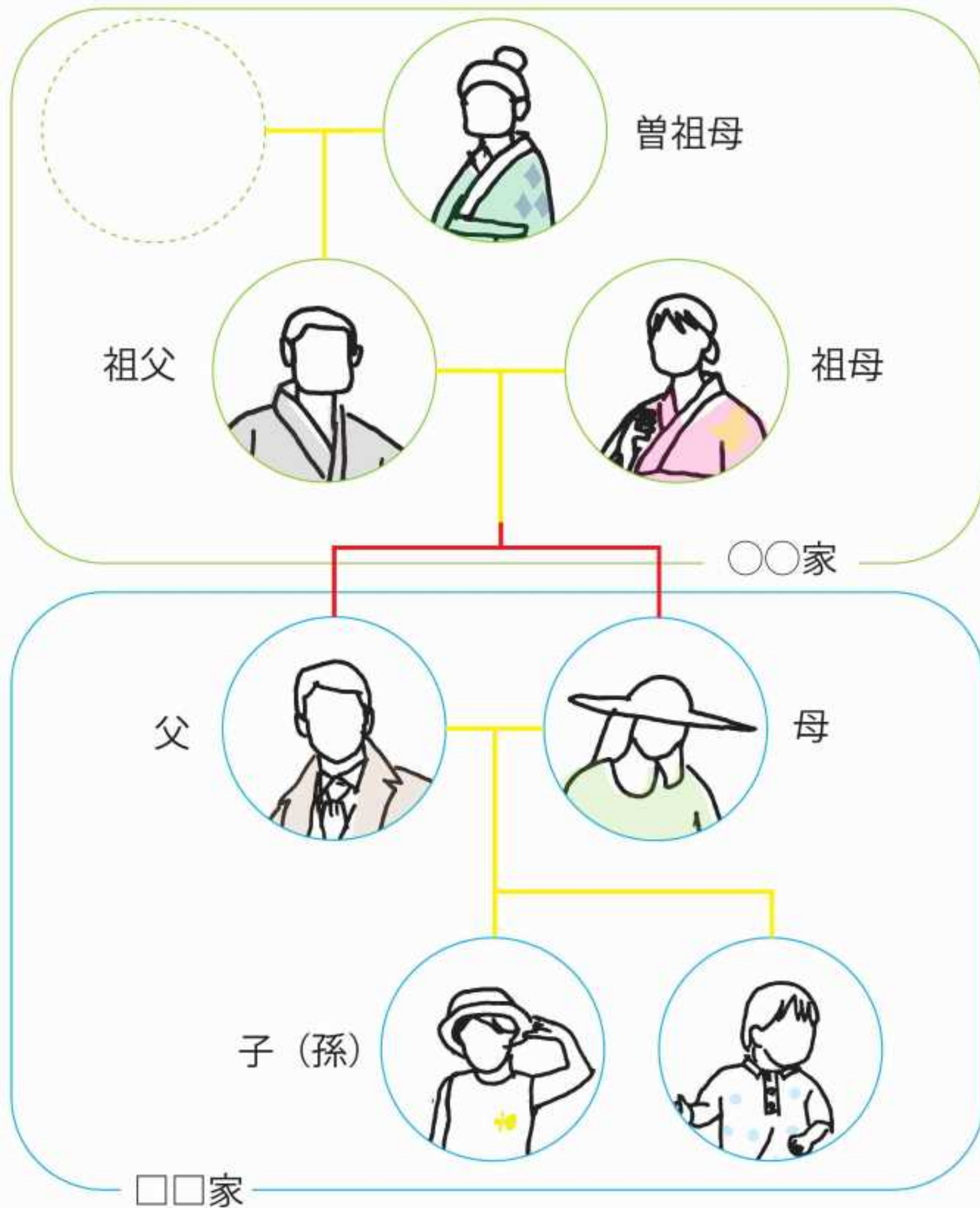
[古本屋]

X



核家族

[新規就農]



古民家の操作



簡略平面図

1. 風流で作られた中仕切りの門に注目



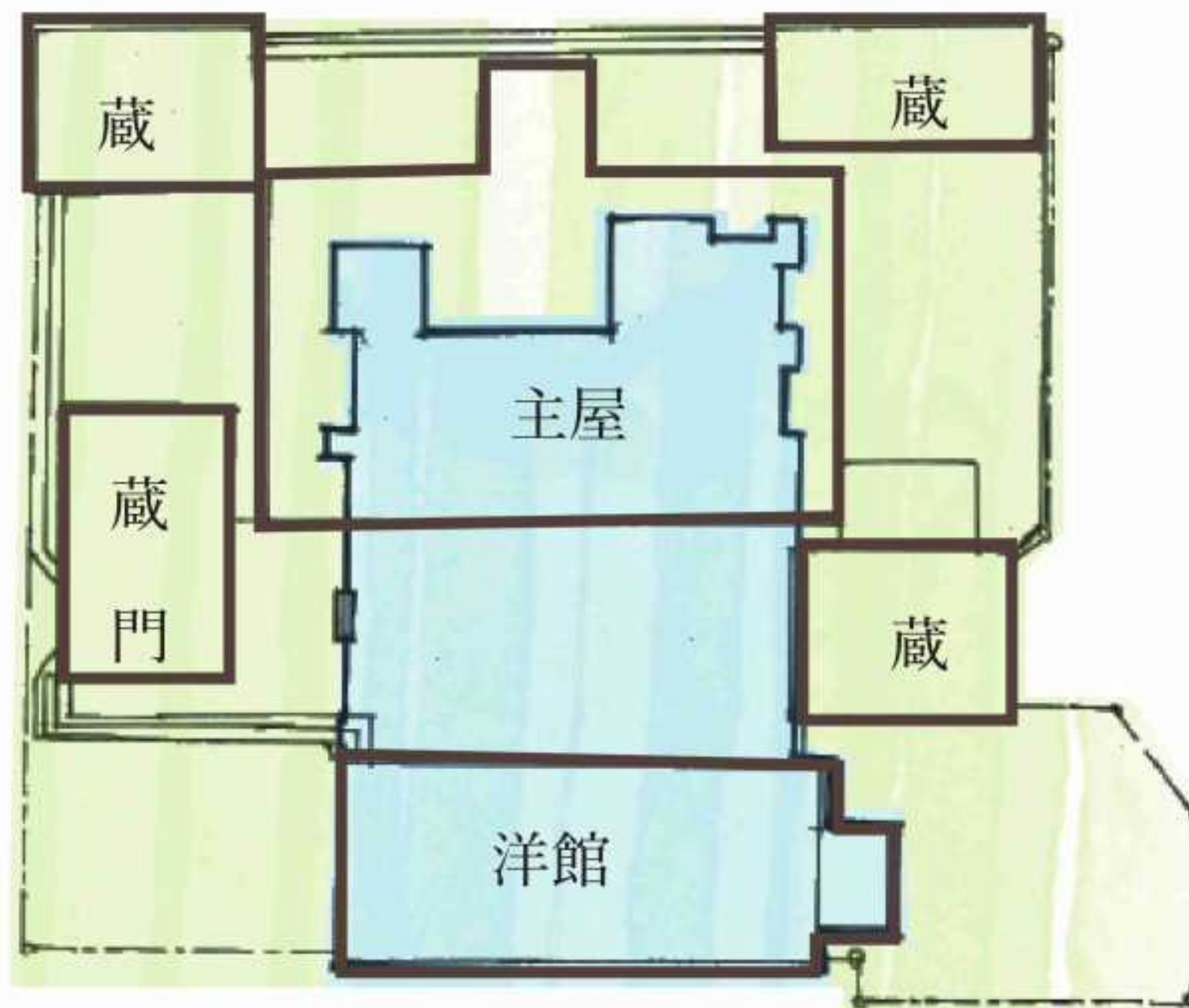
古民家の操作



2. 位置を移動し塀を延長することで
敷地内に2つのエリアをつくる



古民家の操作



3. プライベートとパブリックに分け

住居と古本屋の領域にメリハリをつける



古民家の操作

高齢

濃

部屋に住む人の年齢

淡

年少

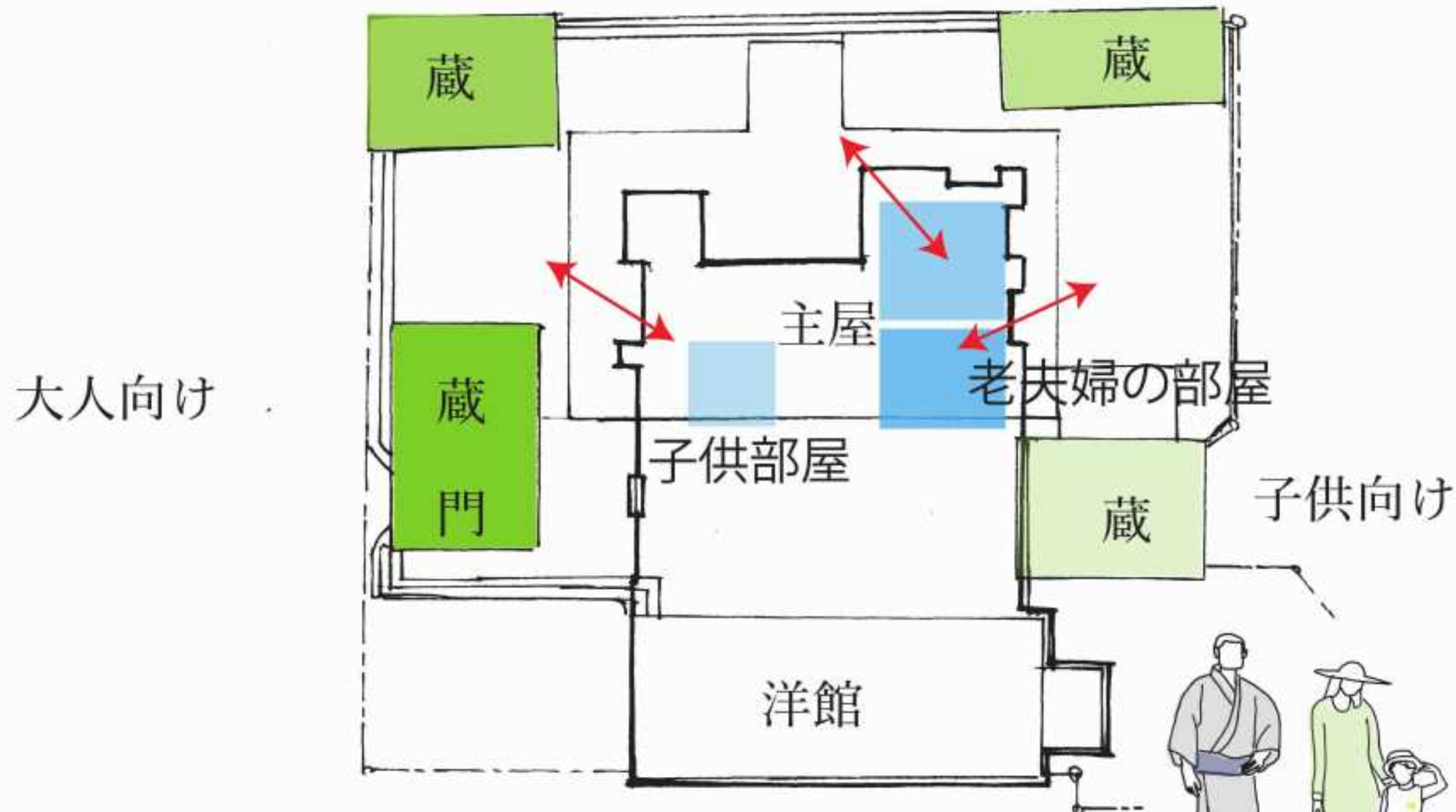
古本の対象



4. 子供向けの本がある蔵の近くに曾祖母、老夫婦の部屋を
大人向けの本がある蔵の近くには子供部屋を配置



古民家の操作

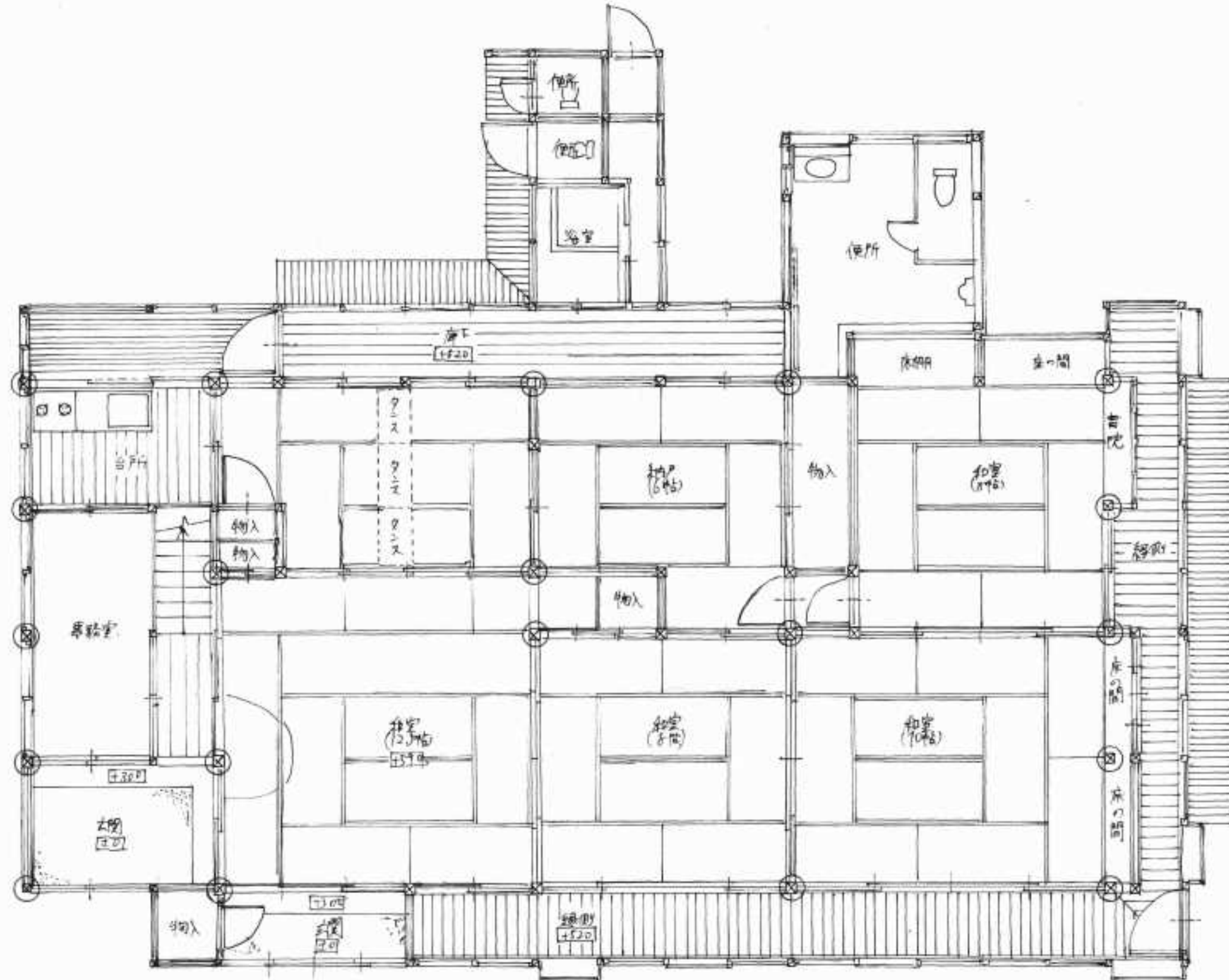


5. 幅広い世代間の交流が促され
利用客と住人との様々な家系図が組み合う



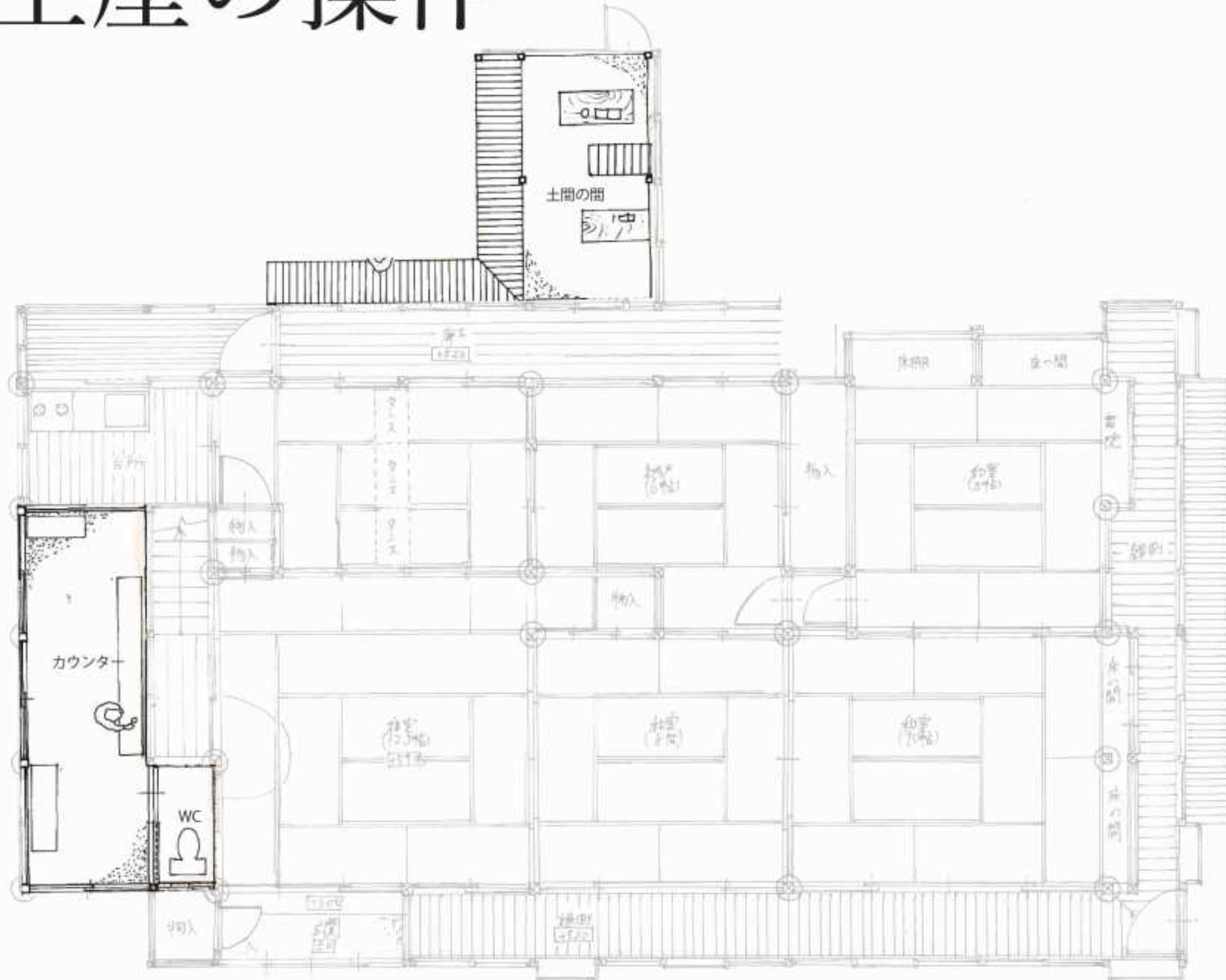


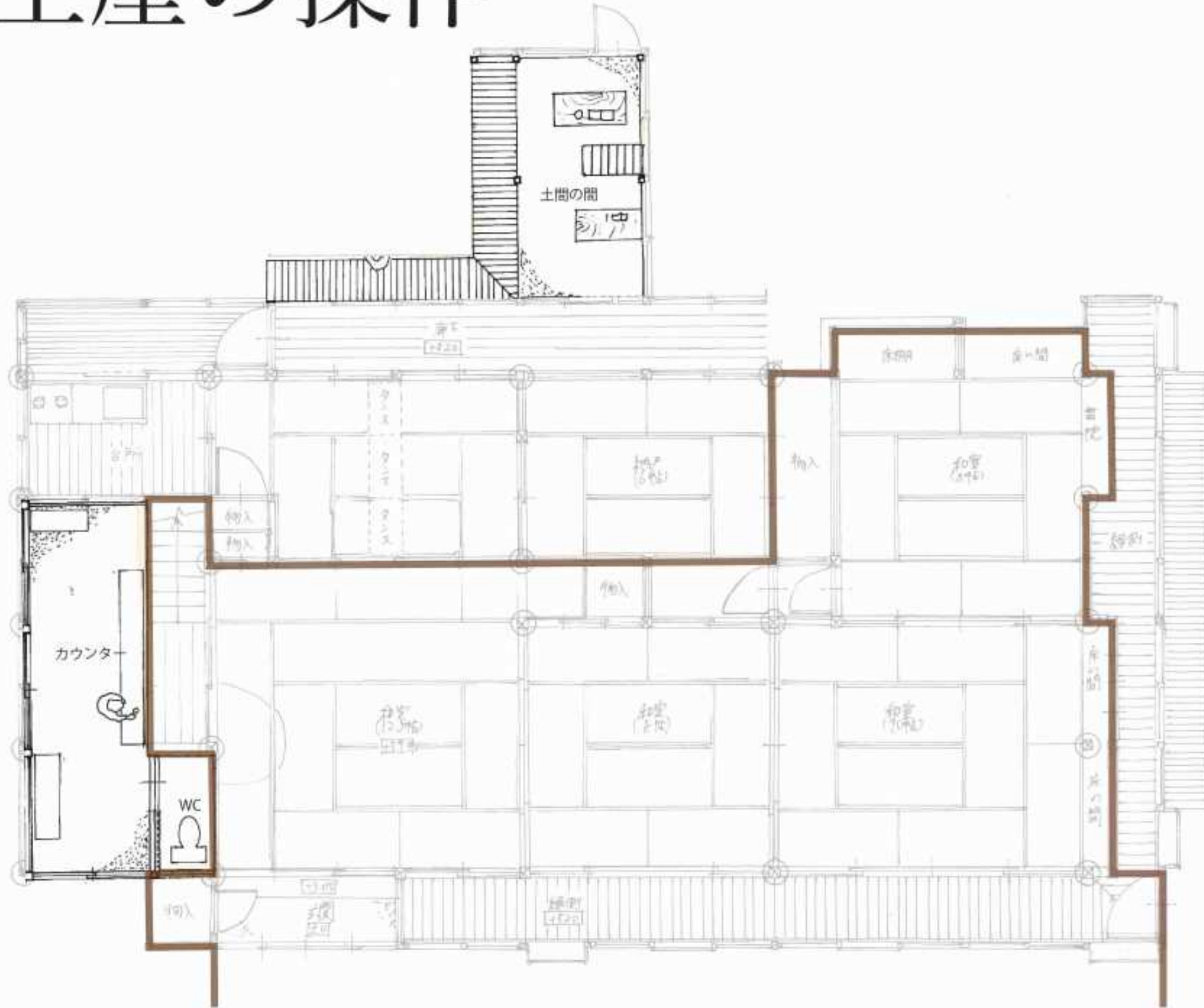
既存

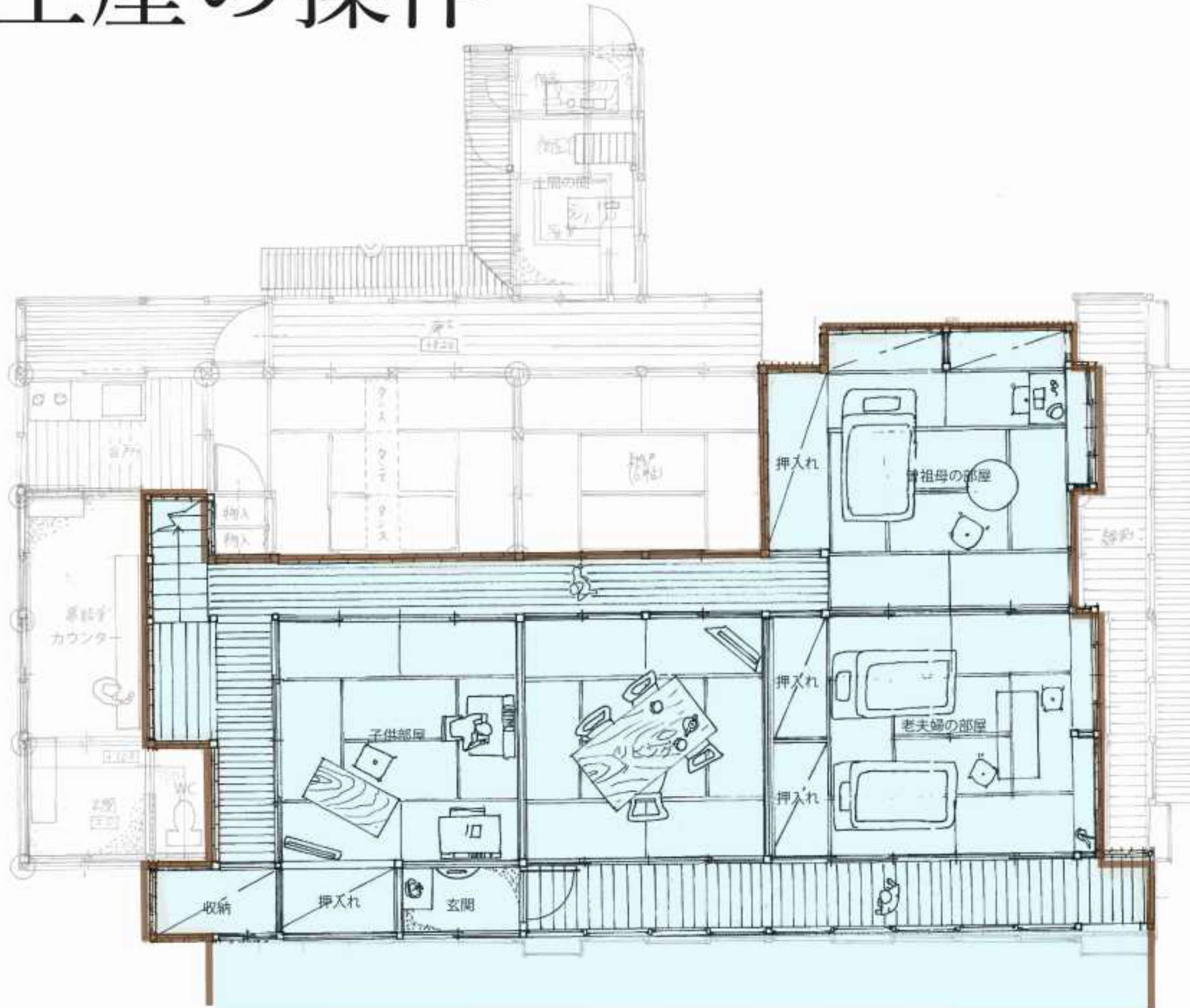




主屋の操作

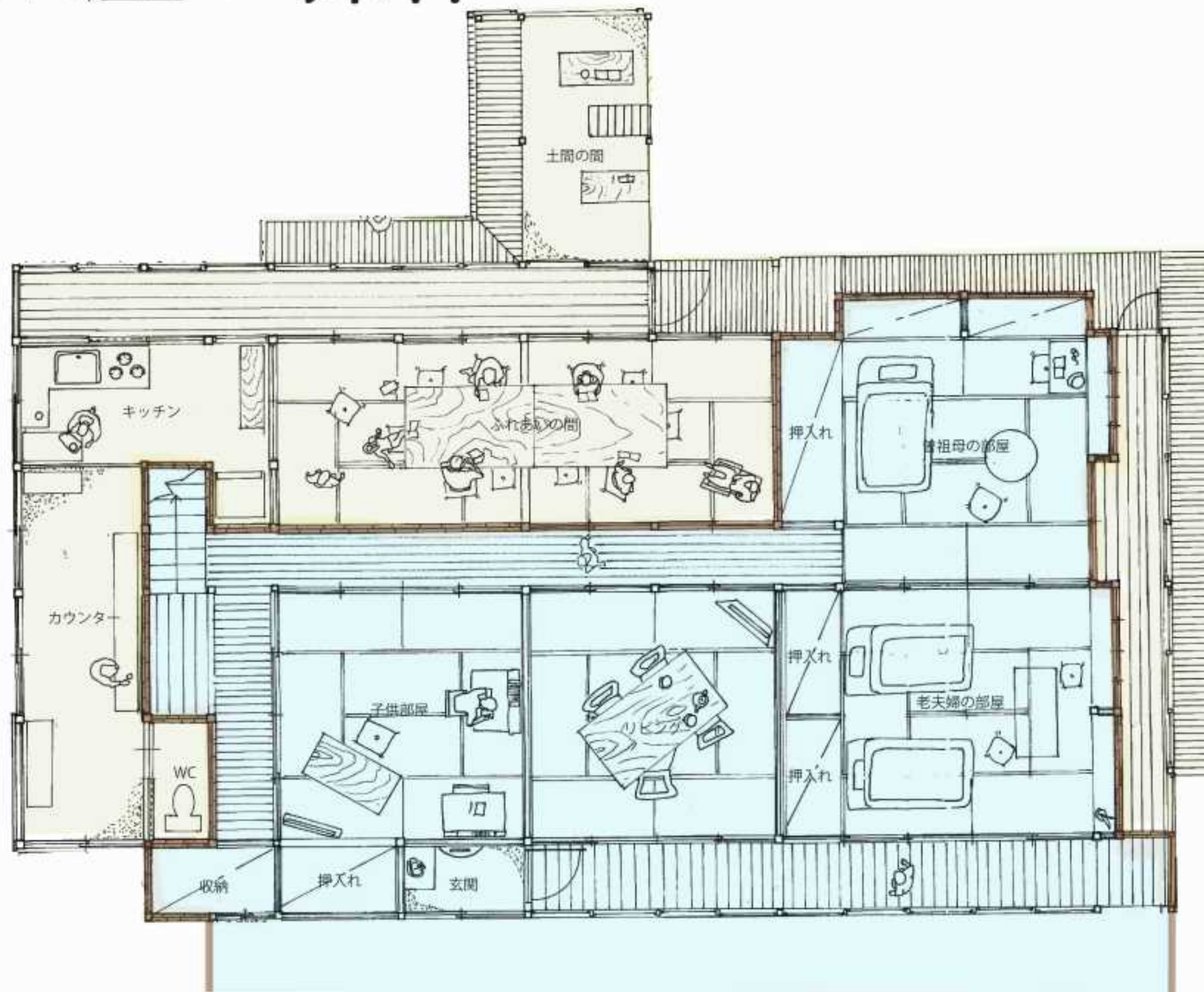


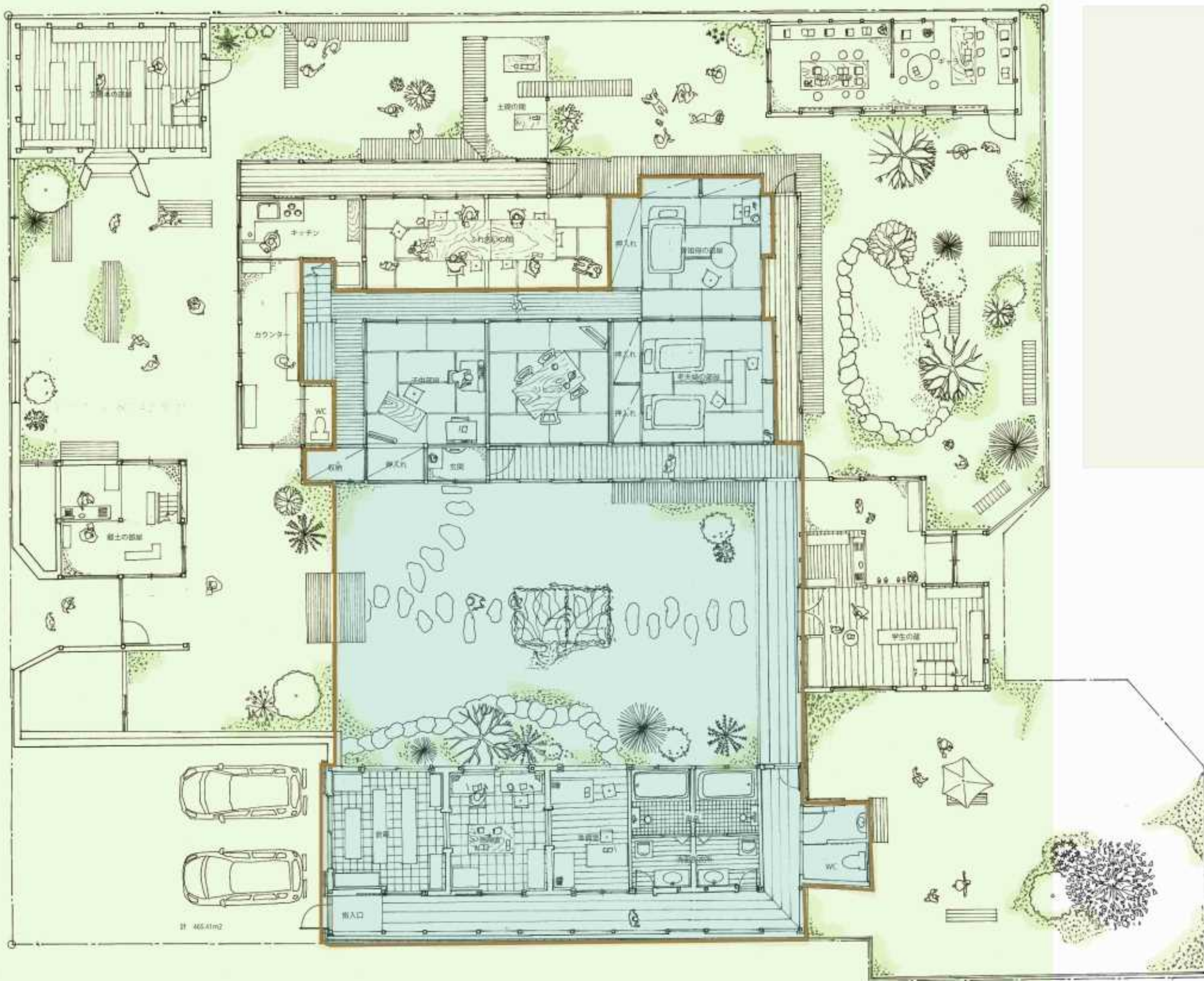


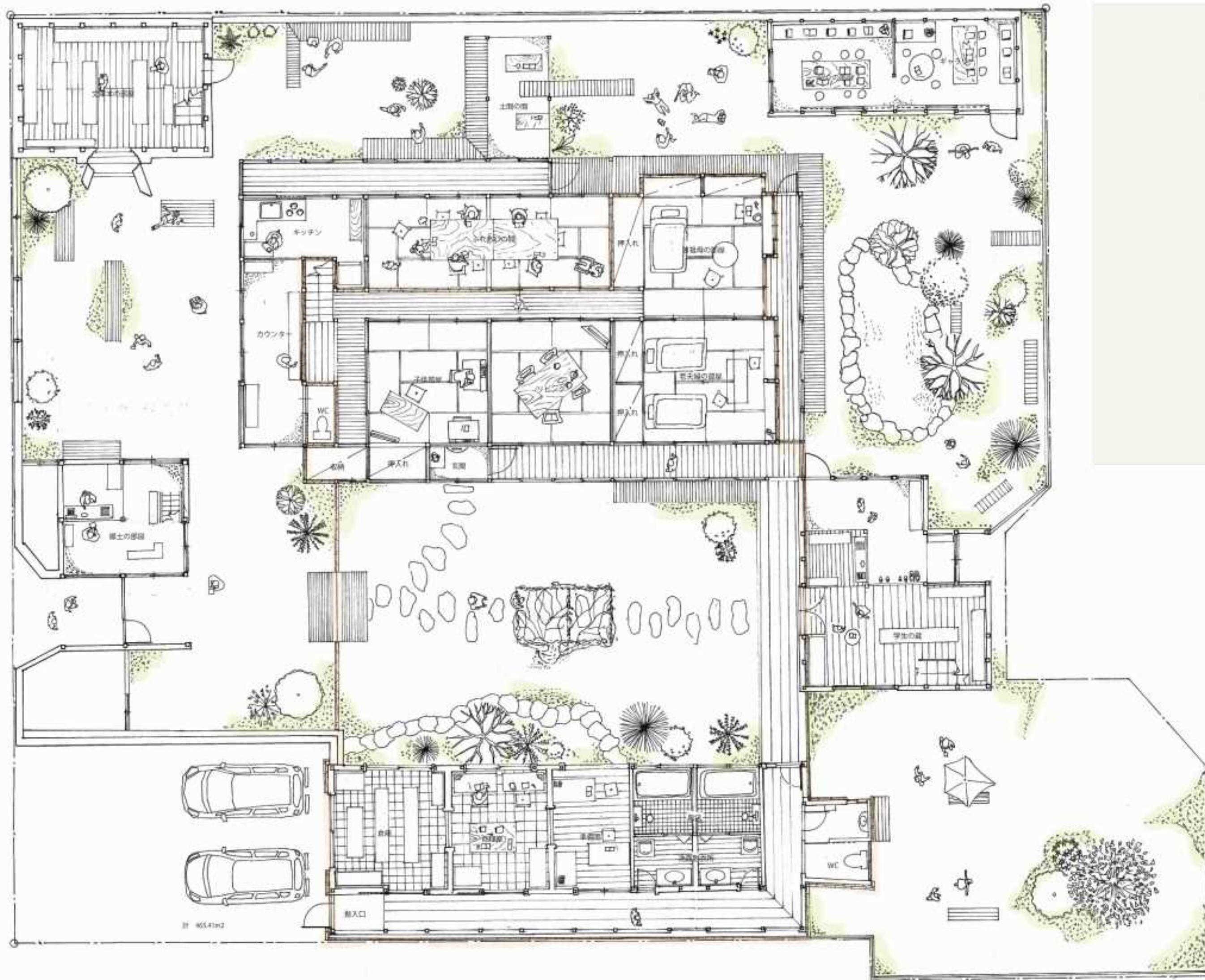




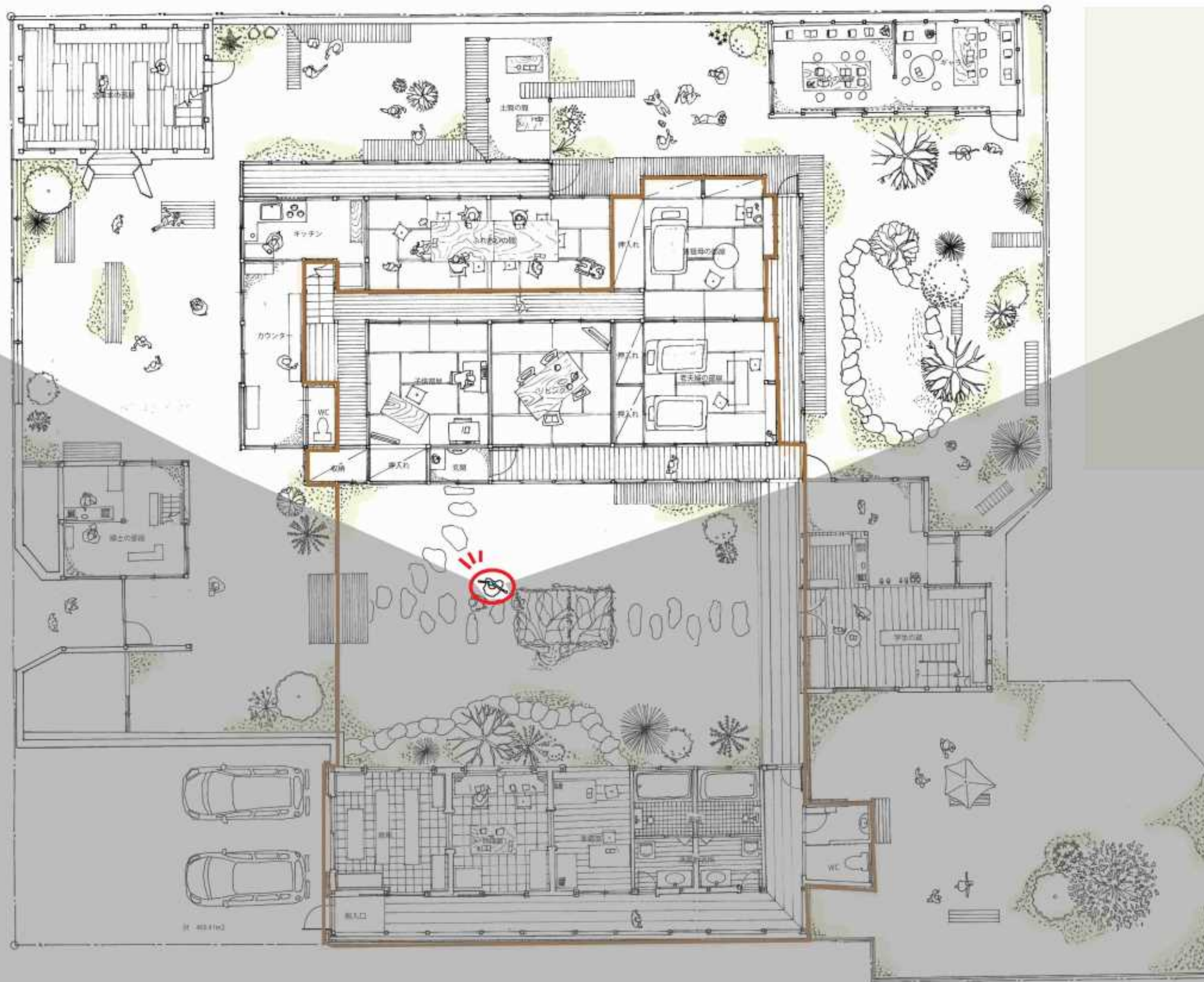
主屋の操作



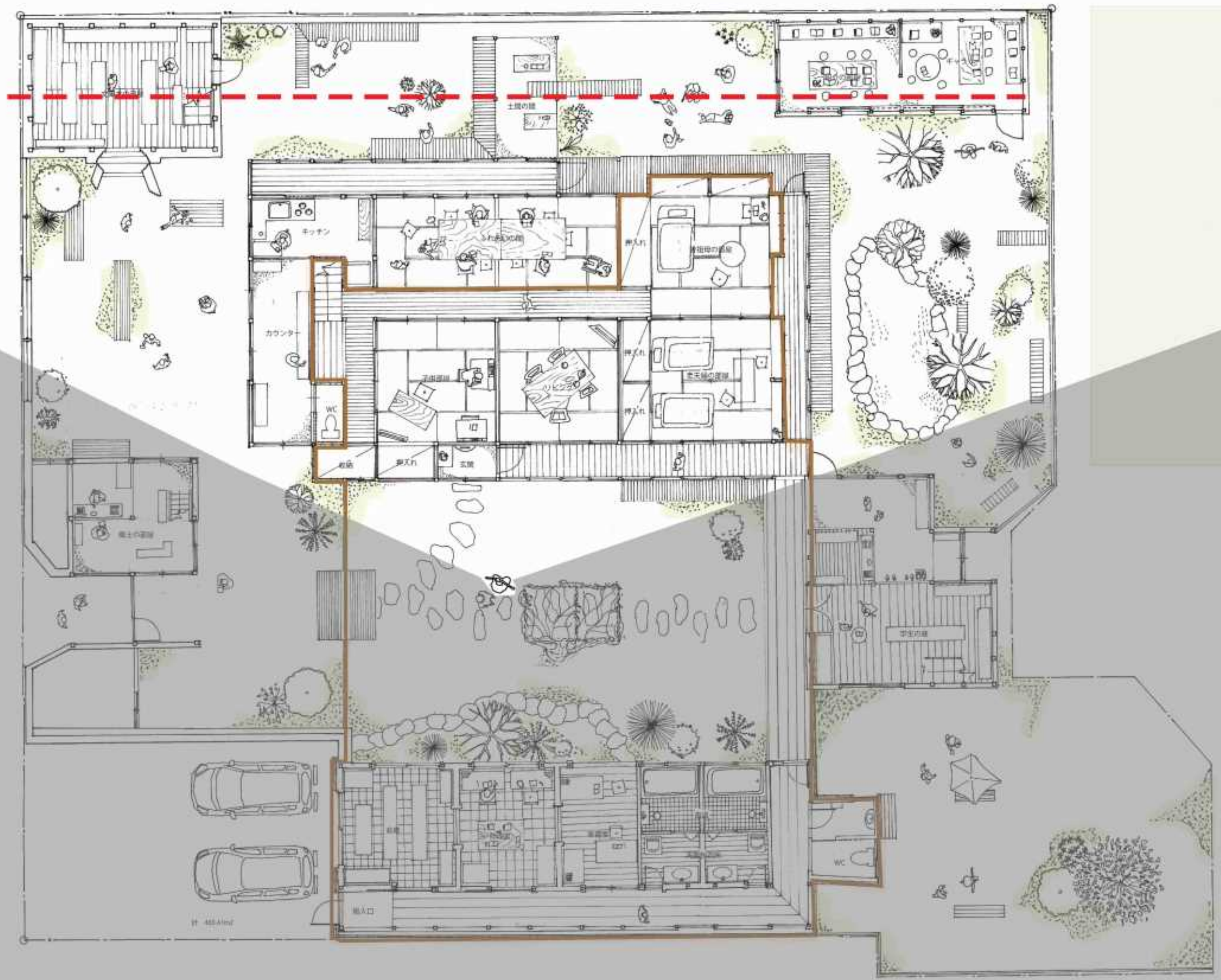




計 465.41㎡













📖 おわりに



ご静聴ありがとうございました。



Family tree

～庭で組み合う人々のふれあい～

信州大学工学部 建築学科 3 年

14T7802B 齋藤 裕



製糸業とともに歴史刻んできた古き良き街である須坂市。
歴史的な建物は美しく保存されている一方で、そのポテンシャルを生かした利用のされ方をしているものは少ない。



実測より、しらふじの奥庭・座敷空間・小屋組に歴史性・美しさを感じた。
軸組模型を作ることで、構造的に不足していることが判った。



奥庭



座敷



小屋組

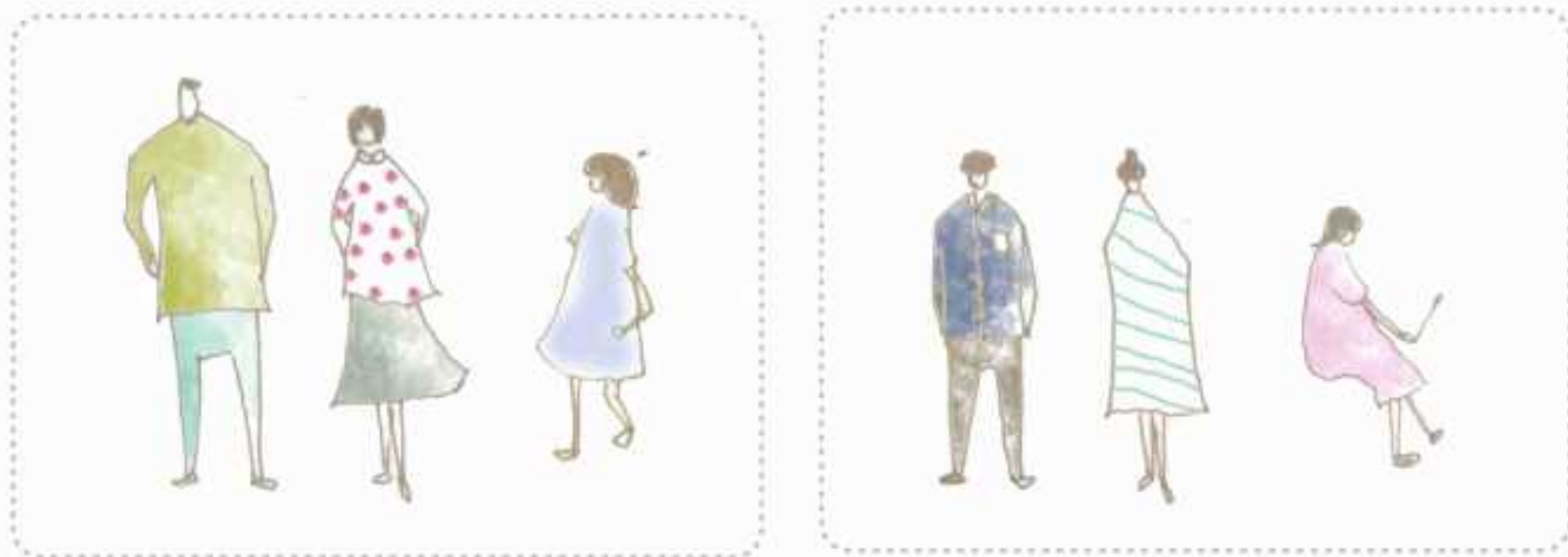
提案

建物全体を保存するのではなく、美しさ・歴史性を感じた部分の空間を
構造的に補強し、新しい価値生み出す。

補強することで、価値のある建築を後世まで残す。

歴史的な建物をアーティストの住居とすることで、須坂市の人々が街に
再び目を向けるきっかけとなる場所を目指す。

アーティストの住むギャラリーのある住宅



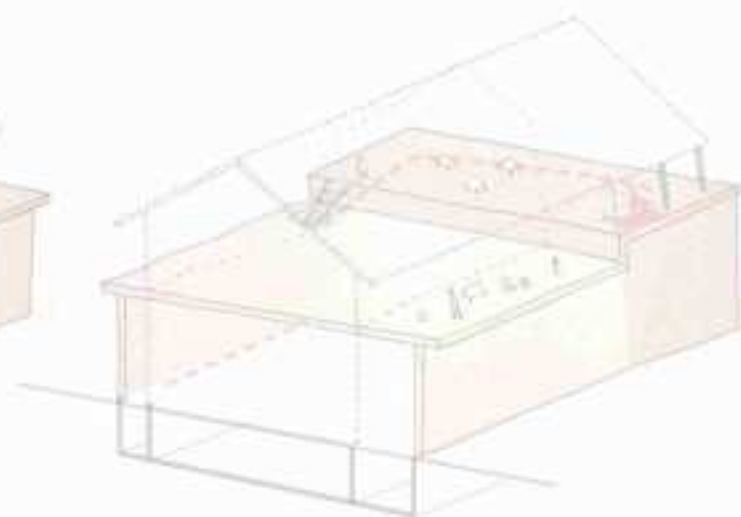
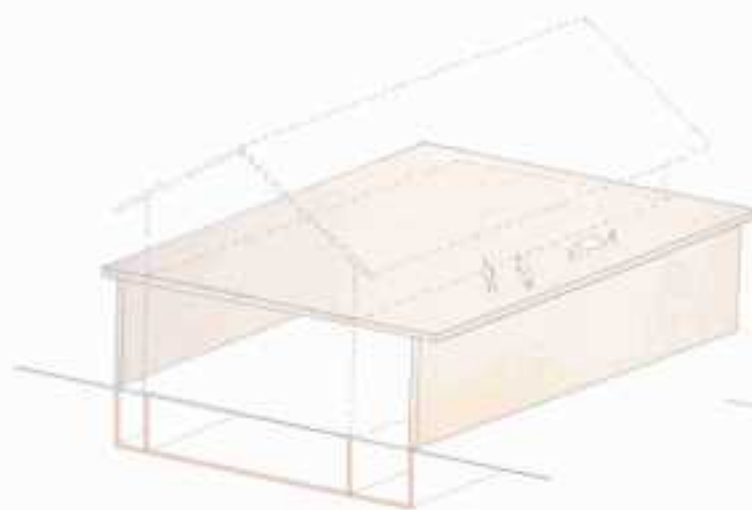
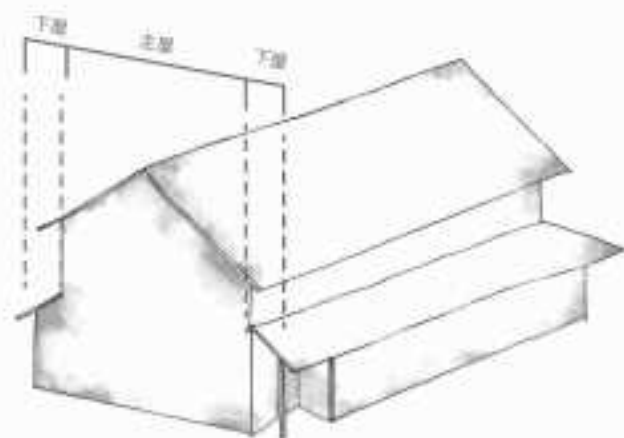
- ・アーティストの夫婦と子供1人×2の6人
- ・週に数回地域向けの絵画教室を行う
- ・ギャラリーでは、アーティストや須坂小学校の児童の作品を飾る



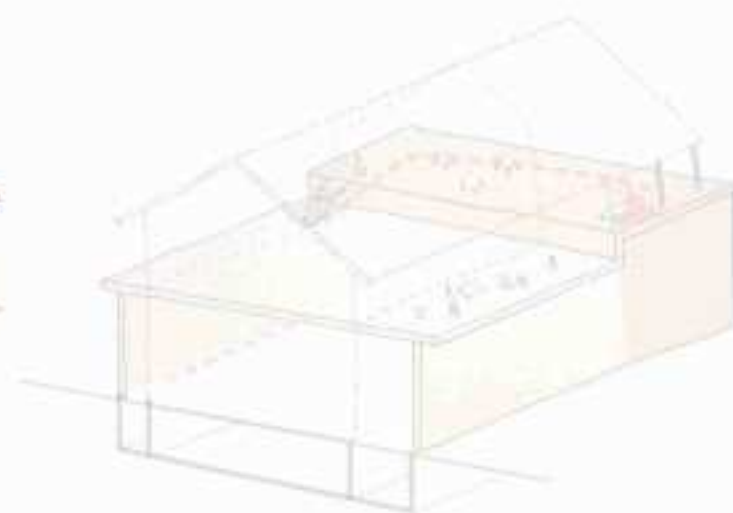
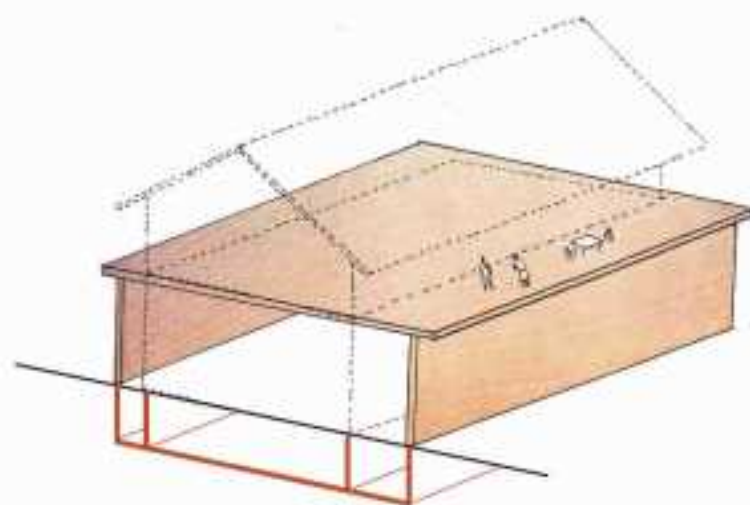
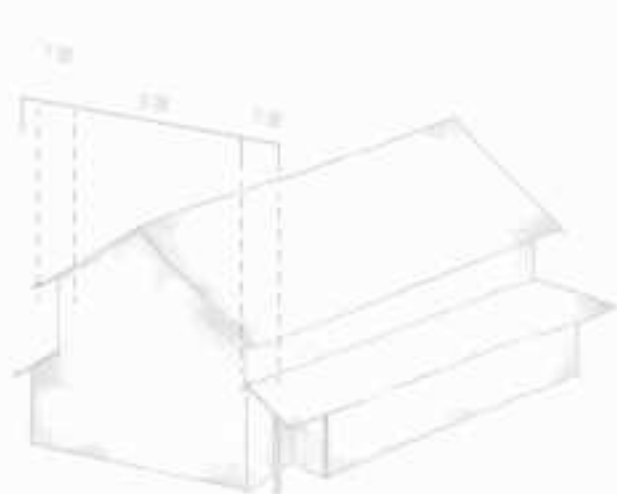
街の人は、作品を通して、街を再び見つめるきっかけを得る。

高基礎を用いた再生の手法

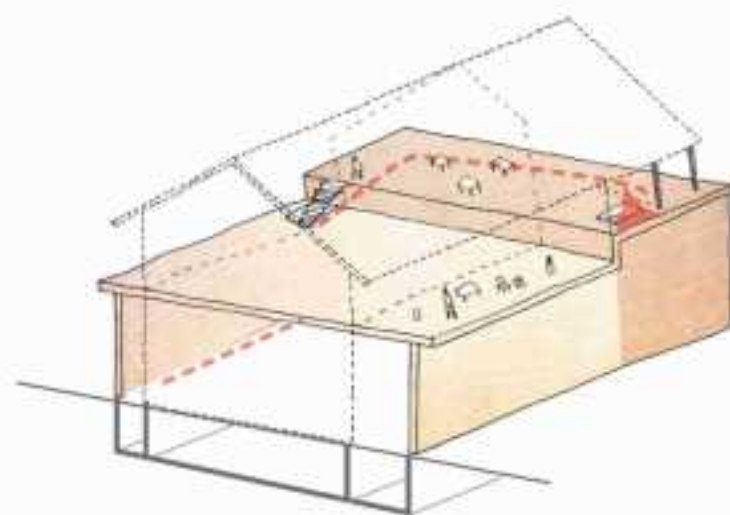
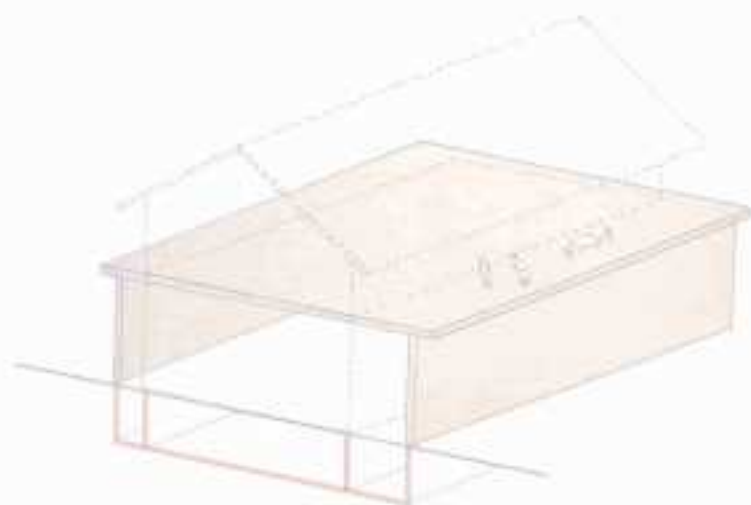
0. 既存の主屋は、主屋と下屋によって構成されており、2階は閉鎖的である。



1.2 階の FL に新たに高基礎を挿入する。構造的な補強を兼ねながら、2 階のテラスとなり、2 階が生活の中心となる。

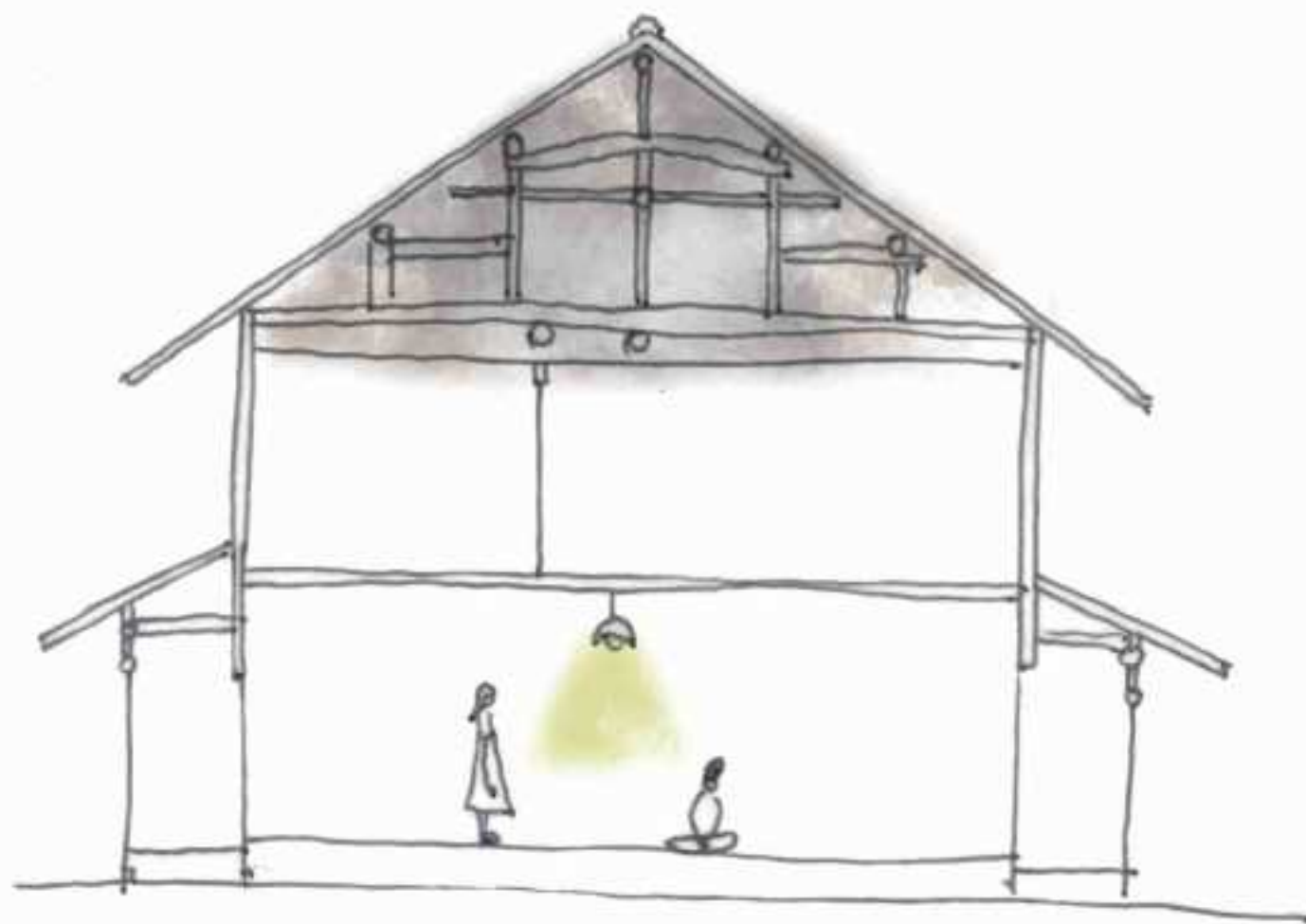


2. 座敷上部は基礎の高さをあげる。構造的な補強が回廊となり、しらふじ全体を巡る動線を生む。



歴史ある小屋組を活かすこと

既存の主屋の小屋組みを覗いてみると立派な小屋組みが現れた。
しかし、天井が貼られており、人の目に触れ流ことはない

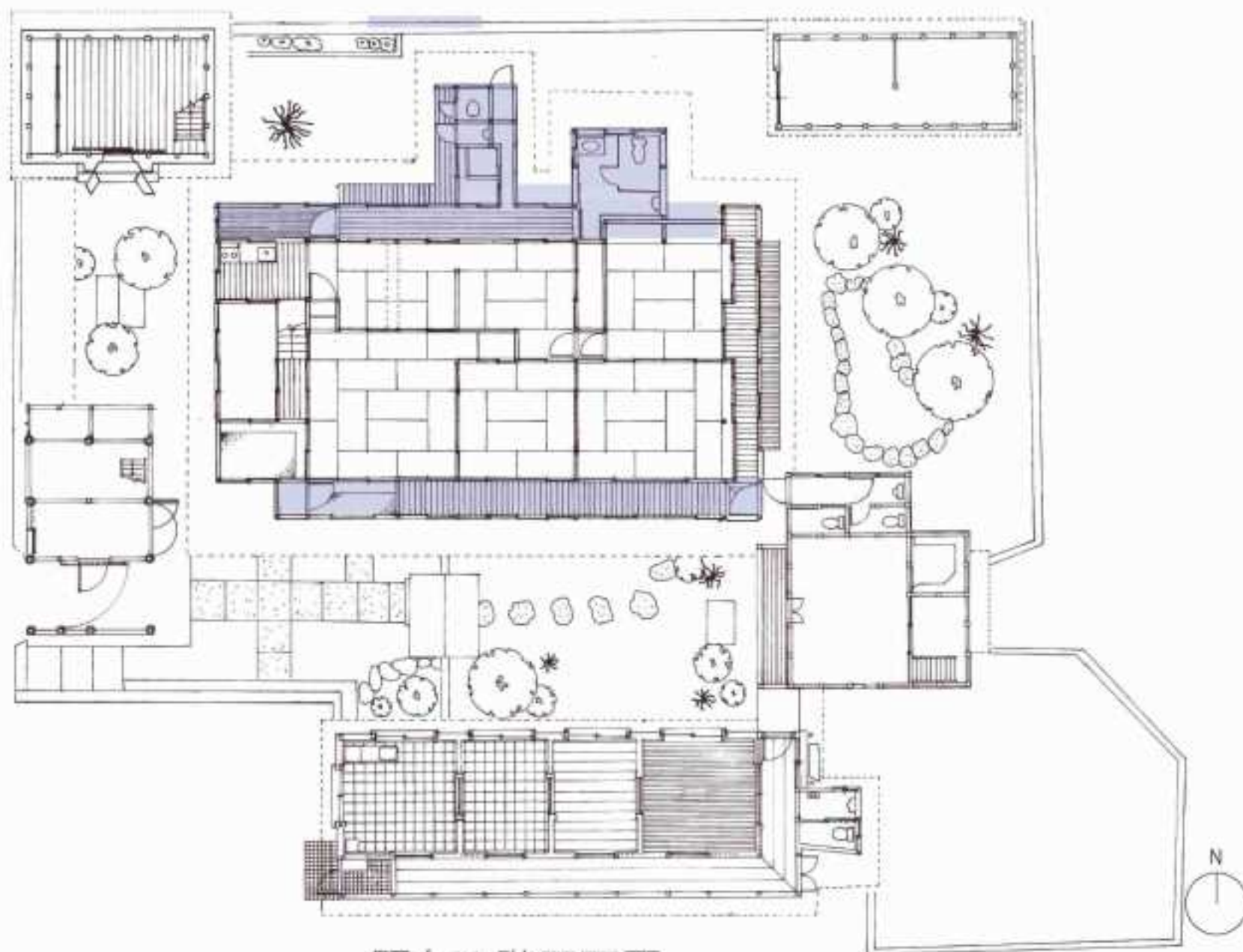


天井を剥がし、高基礎を挿入する。既存の小屋組は、吹き抜けを介し、一階から感じられる空間へと再生される。



後から取り付けられたような不整形な水回りを減築
北側の閉鎖的な塀を一部解体し、新しい動線を生む

減築： 



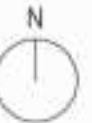
既存1階平面図

観光客・地域の動線

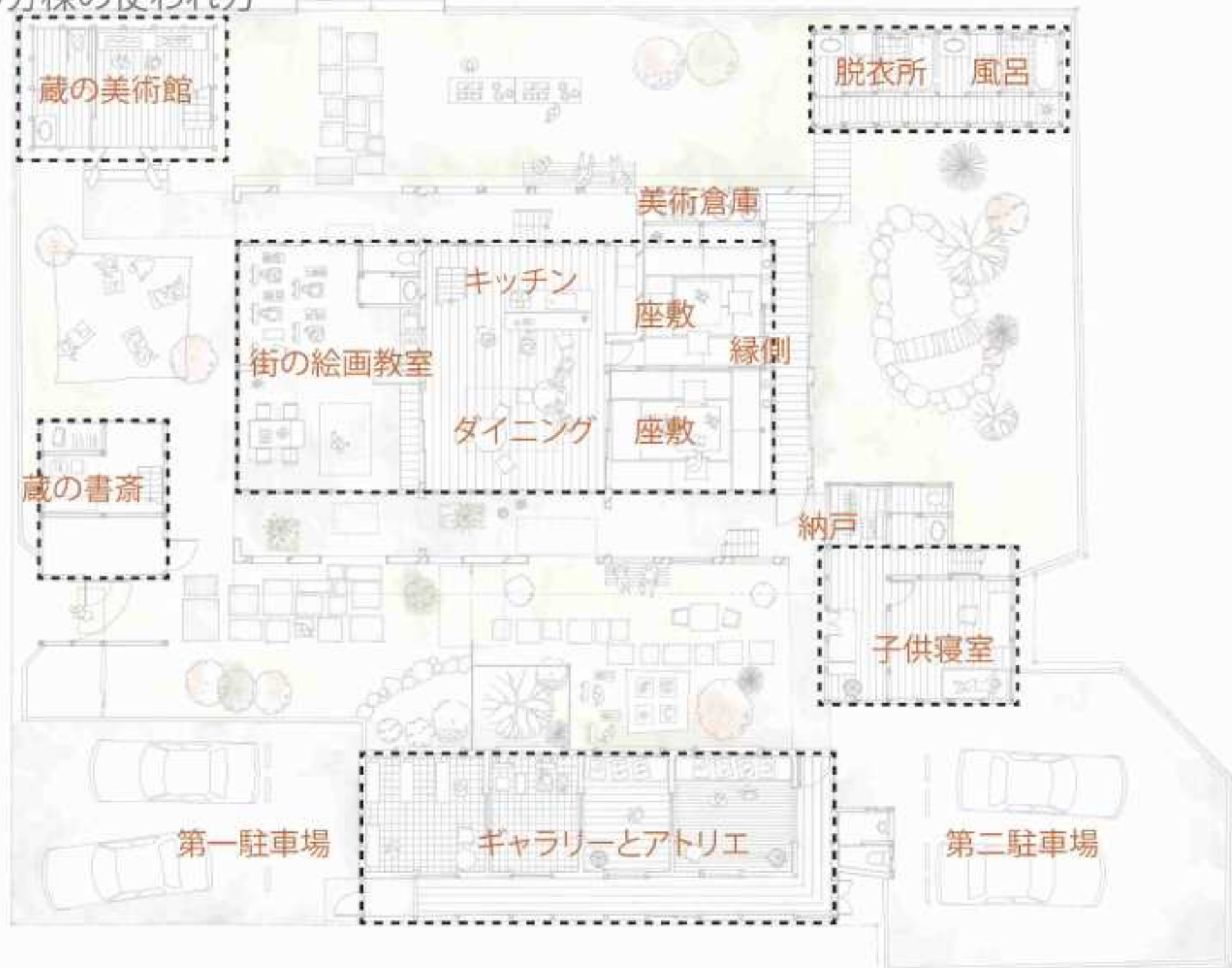
再生後平面図

国道406号線

住人の動線



5つの分棟の使われ方



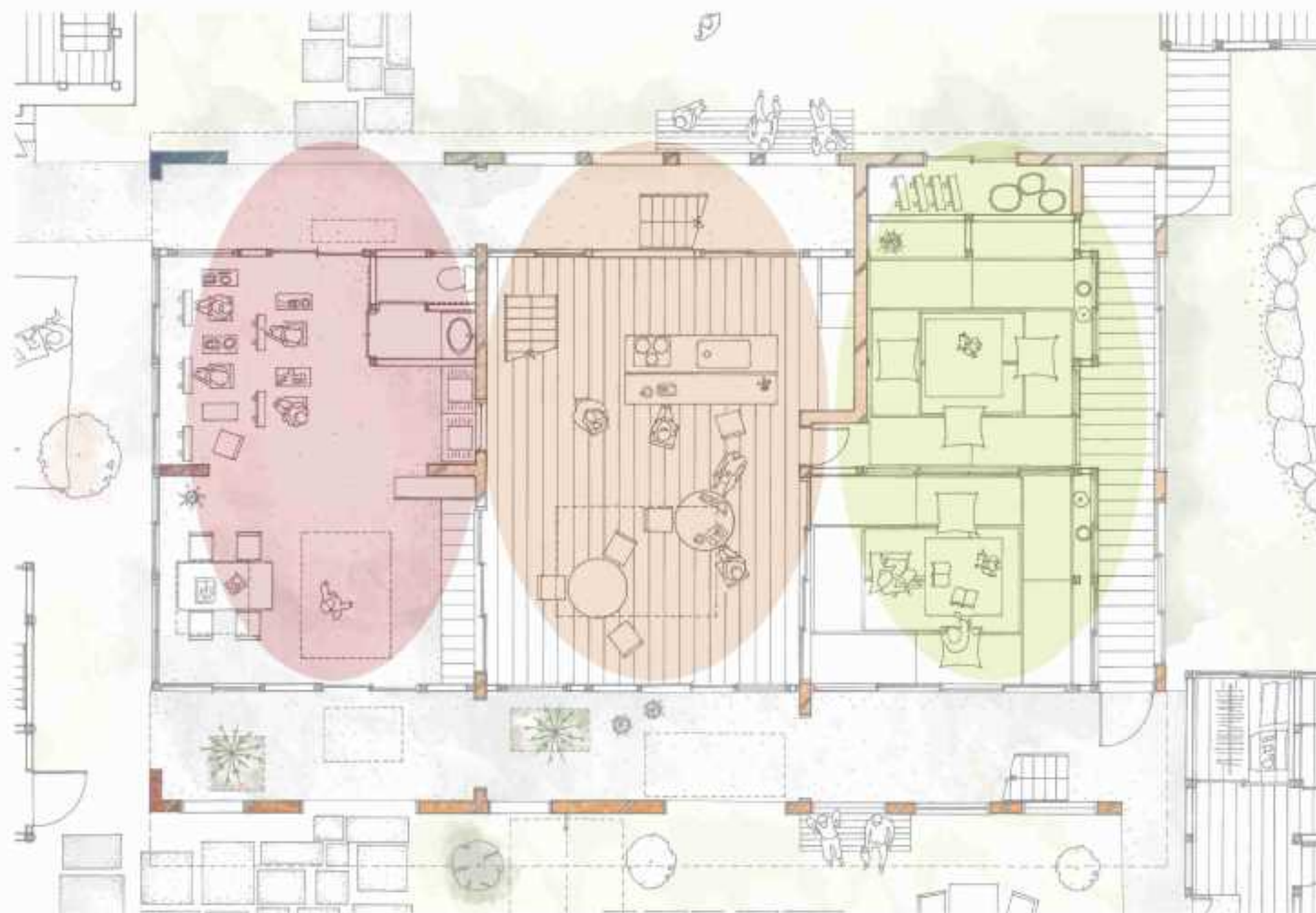
ギャラリーの動線



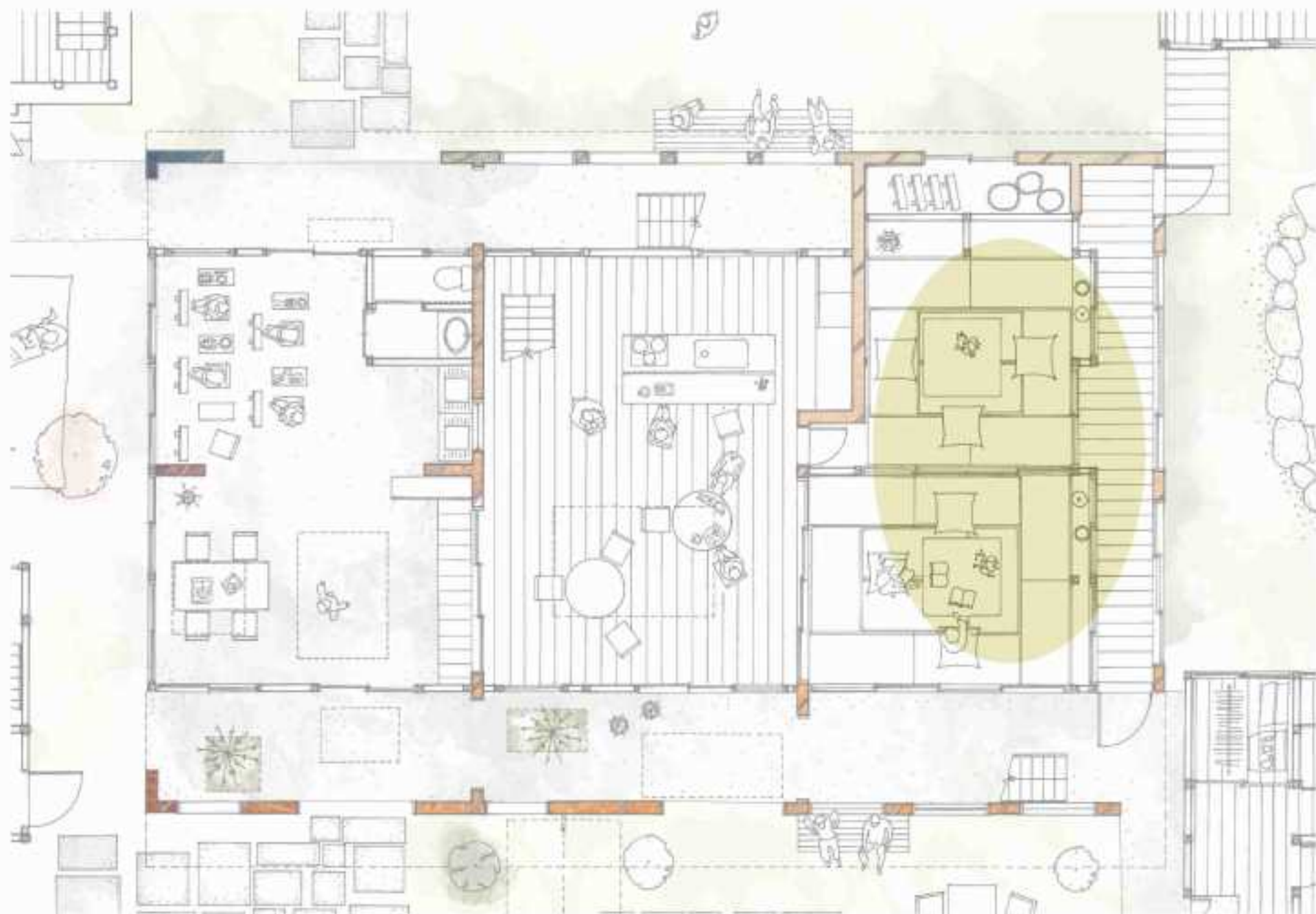
主屋について



挿入された高基礎により、プライベートからパブリックに緩やかに移り変わる住居となる

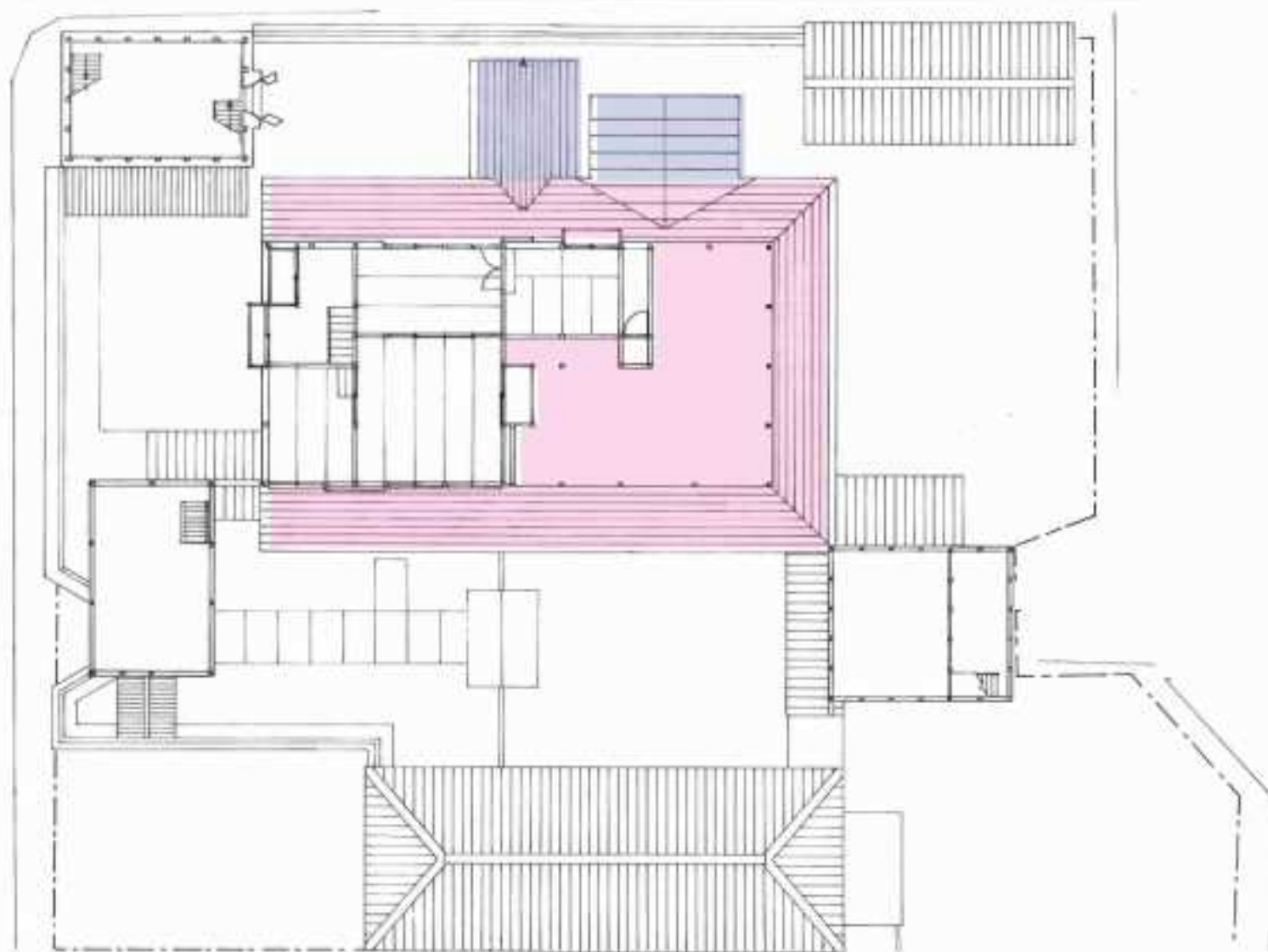


座敷空間、縁側、奥庭の関係性は、保存される



床を延長し、テラスを作る
小屋裏空間に新たに床を増やす

減築： 
増床： 

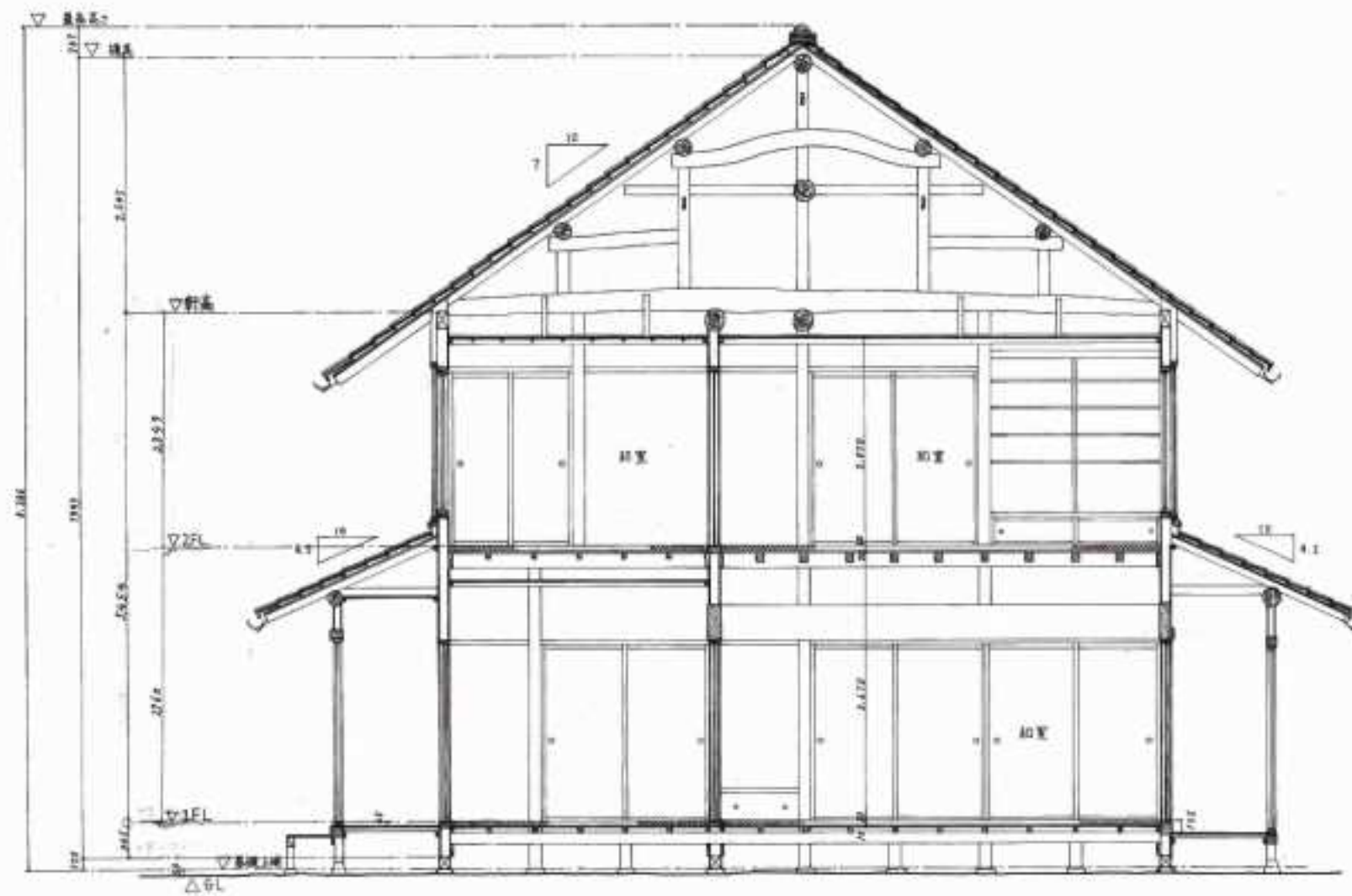


既存 2 階平面図

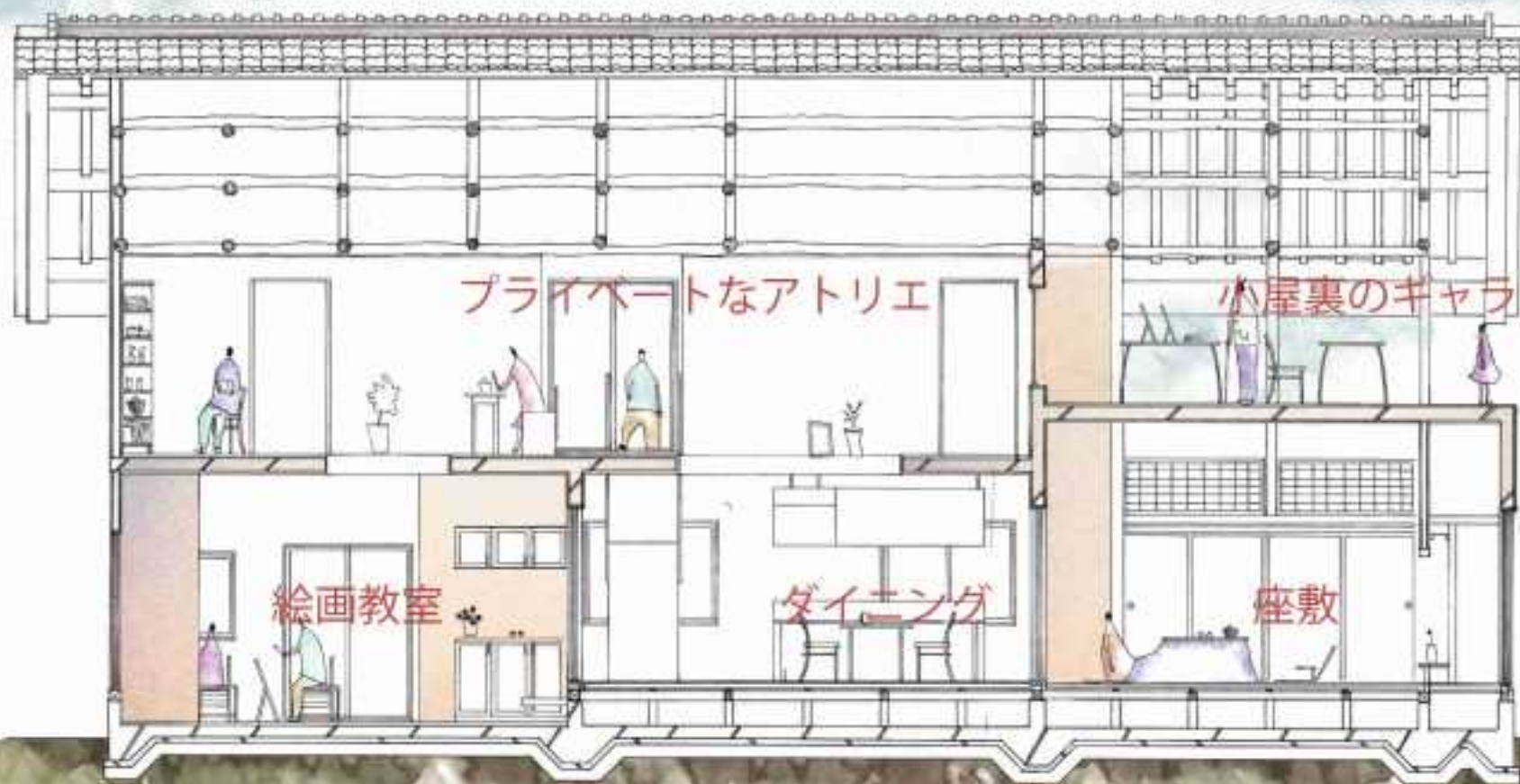
再生後 2 階平面図



再生前断面図







プライベートなアトリエ

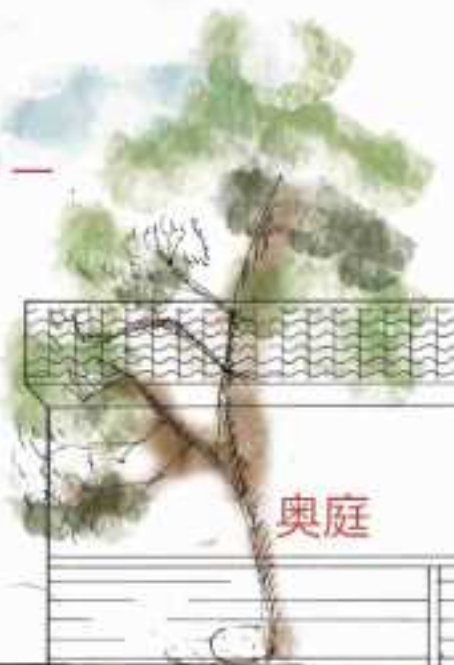
小屋裏のギャラリー

絵画教室

ダイニング

座敷

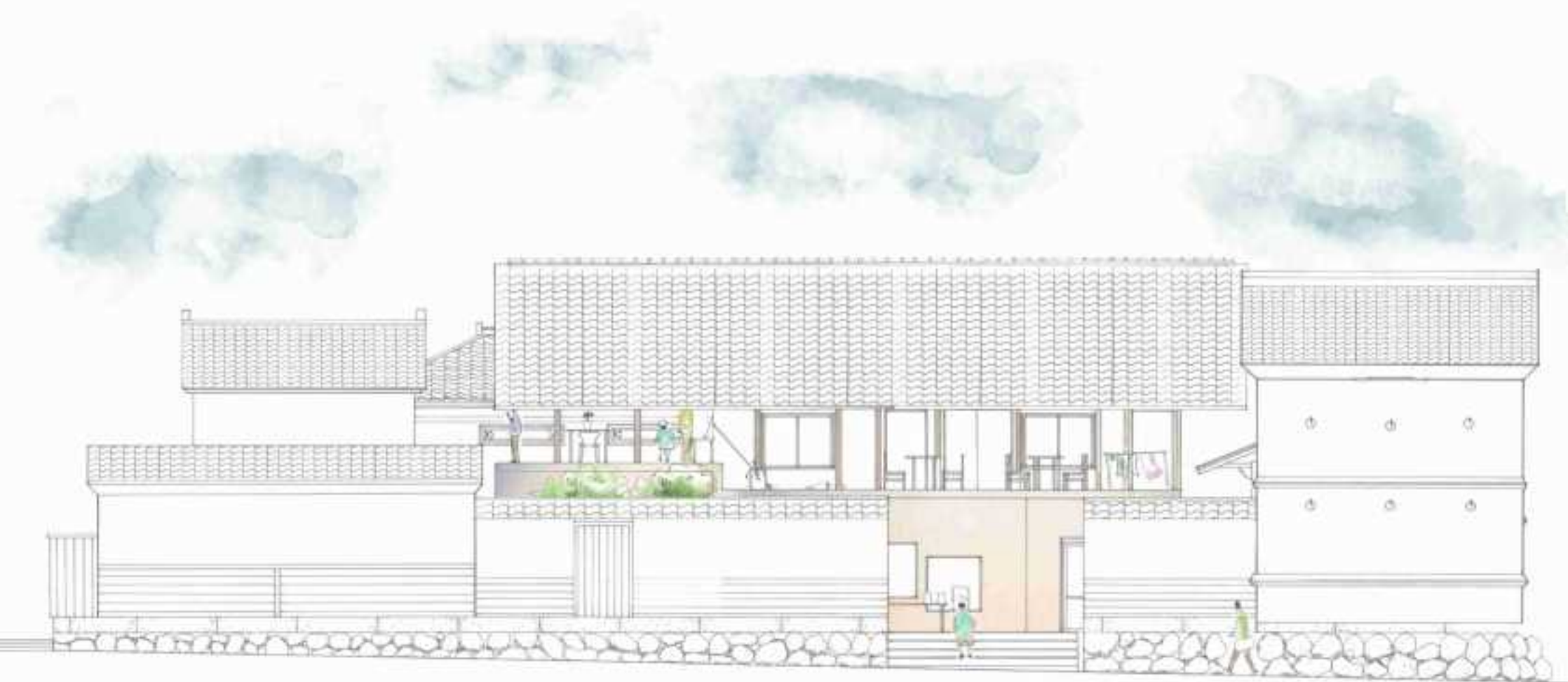
奥庭



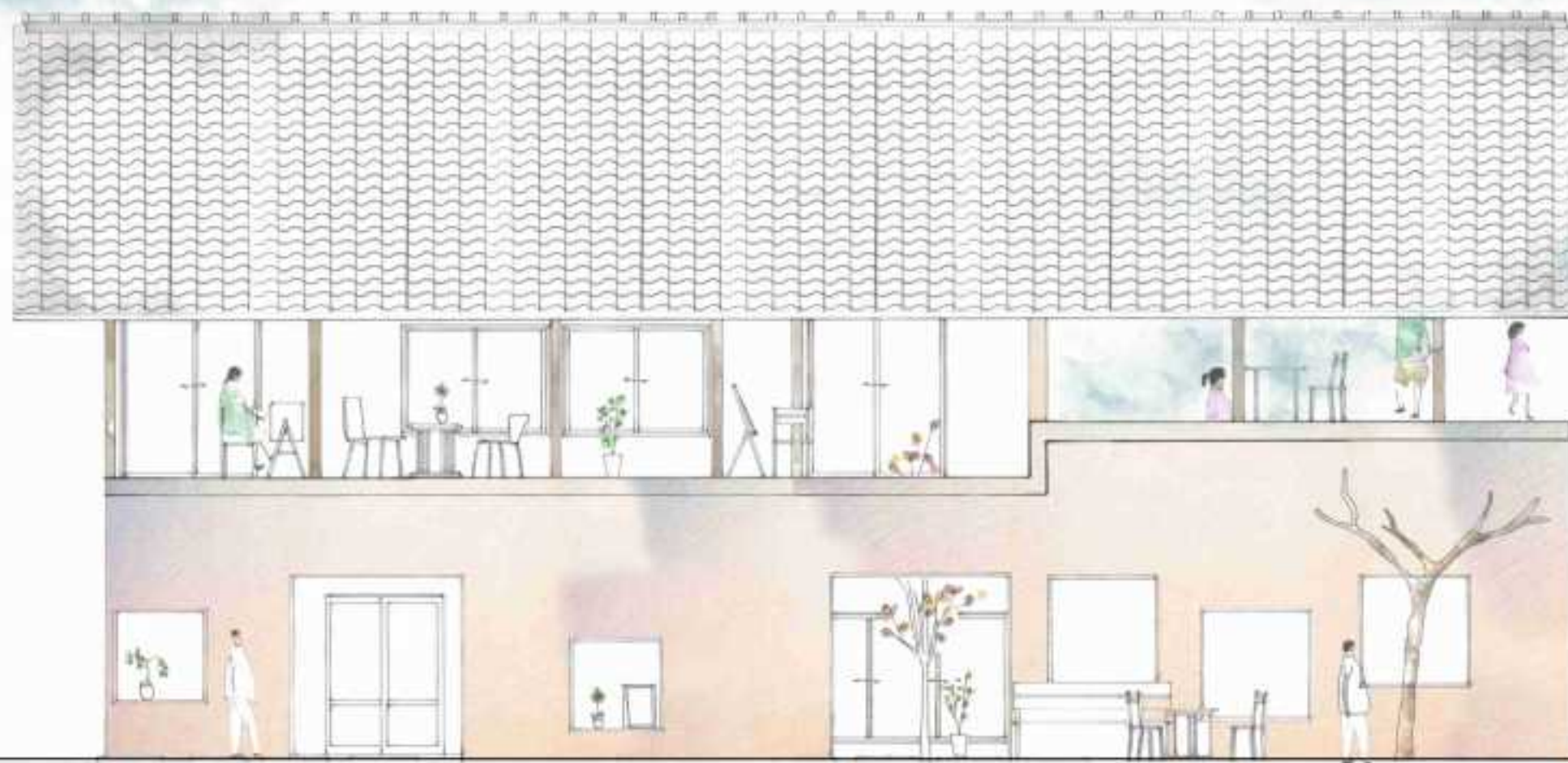
しらふじは高基礎により、ささやかな活気を取り戻し始める



地域の入り口の回廊が見えてくる風景は、人々を誘い込む



建物の表面には、住人の生活や展示物が溢れ出す



住民は、小屋組の下で暮らしながら須坂の歴史に思いを馳せる



高基礎は、ギャラリーとして展示物や植栽に彩られる



由緒ある奥庭は、住人にも街の人にも楽しめる



かつての勢いはないけれど、歴史ある小屋組や展示物は、須坂に暮らす人々に、「ここは歴史ある製糸業の街だ」という自覚さえ蘇らせる



しらふじは、これまでの歴史を高基礎とともに未来へと継承する

継承する立体高基礎



旧小田切家住宅 ベンチ計画

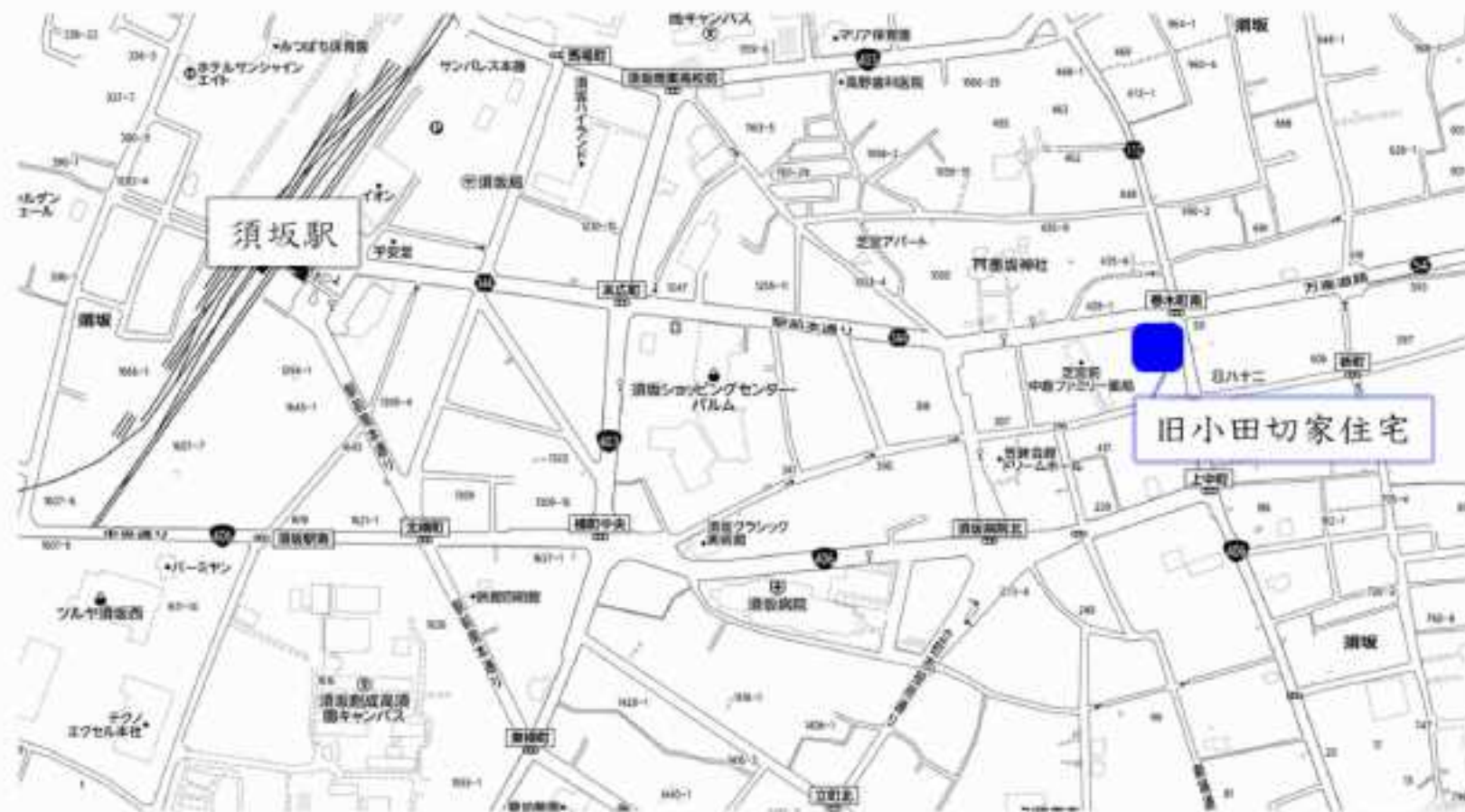
信州大学大学院 修士1年

平尾 真也

讀山 彩代子

旧小田切家住宅

- 明治から昭和初期に製糸業で栄えた須坂市において、蚕糸、麴、呉服商などを営んでいた。
- 現存するほとんどの建物は明治時代に再建。須坂市指定有形文化財(平成25年)である。
- 昨年、喫茶スペースや様々なイベントを行える文化施設として始動。



旧小田切家住宅 【車寄せ】



出典: 旧小田切家住宅調査報告書 - 旧小田切家住宅調査委員会による中間報告 - 信伝研, 2014.3.31

配置図(敷地図)



出典: <http://www.culture-suzaka.or.jp/otagiri/>

- 人力車を収めていた場所
- 木造平屋建て
- 梁間10尺×桁行2間2尺

ベンチの概要

コンセプト



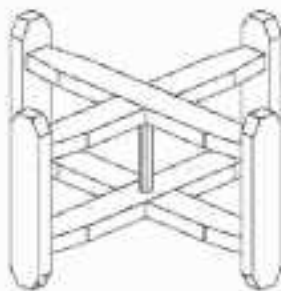
木枠

製糸業の発展に貢献
→ 紡いだ糸を巻き取る
「木枠」がモチーフ

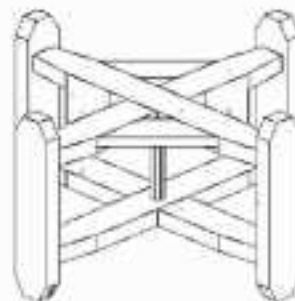
ダイアグラム



立てた状態の木枠



接合、構造面の強化



座面を足す

ダイアグラム



立てた状態の木枠

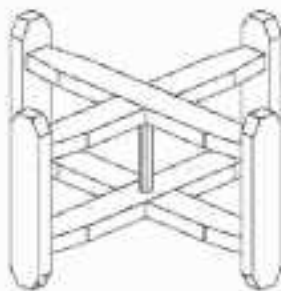


座面を足す

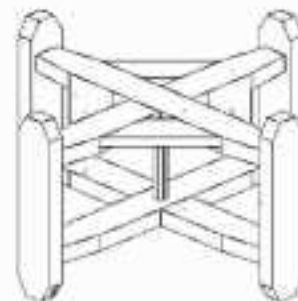
ダイアグラム



立てた状態の木杵



接合、構造面の強化

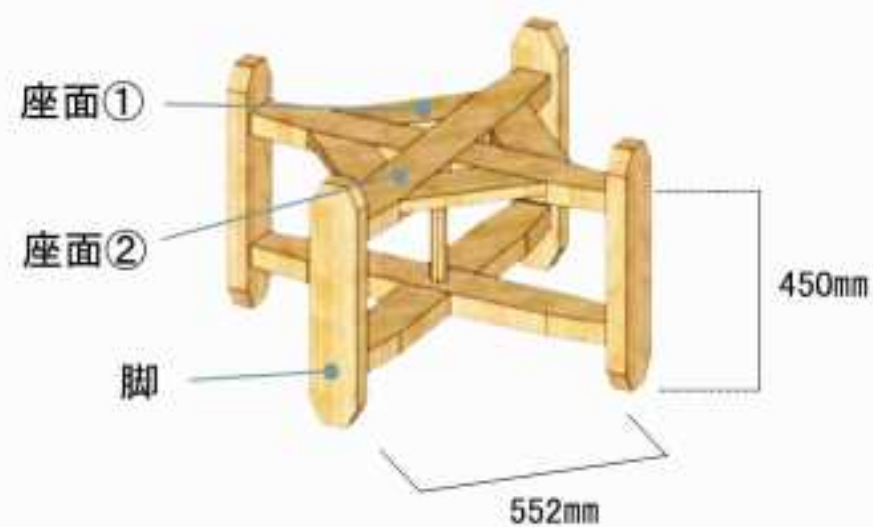


座面を足す

ダイアグラム



寸法



イメージ





須坂市「蔵の街並みキャンパス」
古民家再生プロジェクト
— 平成28年度活動報告 —

文化学園大学・東京工科大学

■ 活動概要

- ▶ 2009年度より,文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート
- ▶ 文化学園大学・東京工科大学の学生,教員が参加
- ▶ 数日間古民家に滞在し,ワークショップや改修作業の活動を行う



└ 須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加

└ 文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■ 目的

①古民家の活用

伝統的生活や建築の理解

現代社会の適応への模索

②様々な拠点づくり

産・学・官・民を結ぶ拠点

地域の人々を結ぶ拠点

都市と地方を結ぶ拠点

③新しいものづくり教育

地域の人々の交流

古民家での生活・再生体験から現代生活のあり方を考える

教育の多様化、新しいものづくり教育の可能性

■古民家の概要

現在平面図



■ 2014年度

① 古民家2階部分のフローリング貼り

土間上2階の10畳と隣接する12畳の2室をフローリング貼り

地元大工さんの指導による施工

将来的に学生の寝室として使用予定

② 地域伝統食づくり体験(おやき・味噌)

地域伝統食に関する活動を行っている主婦の方々の指導

地元の食生活や風習に関する意見などを相互に情報交換

③ 農業体験(梨狩り)

特産物の洋ナシを栽培している農家で梨狩り体験

■ 2015年度

①古民家キッチン改修（床タイル張り）

キッチン南側倉庫の壁と天井撤去、空間を拡張

中央に造り付けカウンターテーブル設置、床にモザイクタイル貼り

将来的に地域交流の拠点として利用したい

②体験ワークショップ(セミ凧とマーブリング)

セミ型をした凧を制作、近隣小学校のグラウンドで凧揚げ

マーブリング手法で凧に貼る和紙とハンカチを染色

キッチン改修(床タイル貼り)



プロジェクト開始前の台所

キッチン改修(床タイル貼り)



床下地作業

キッチン改修(床タイル貼り)



床下地の上に構造用合板を貼っていく

キッチン改修(床タイル貼り)



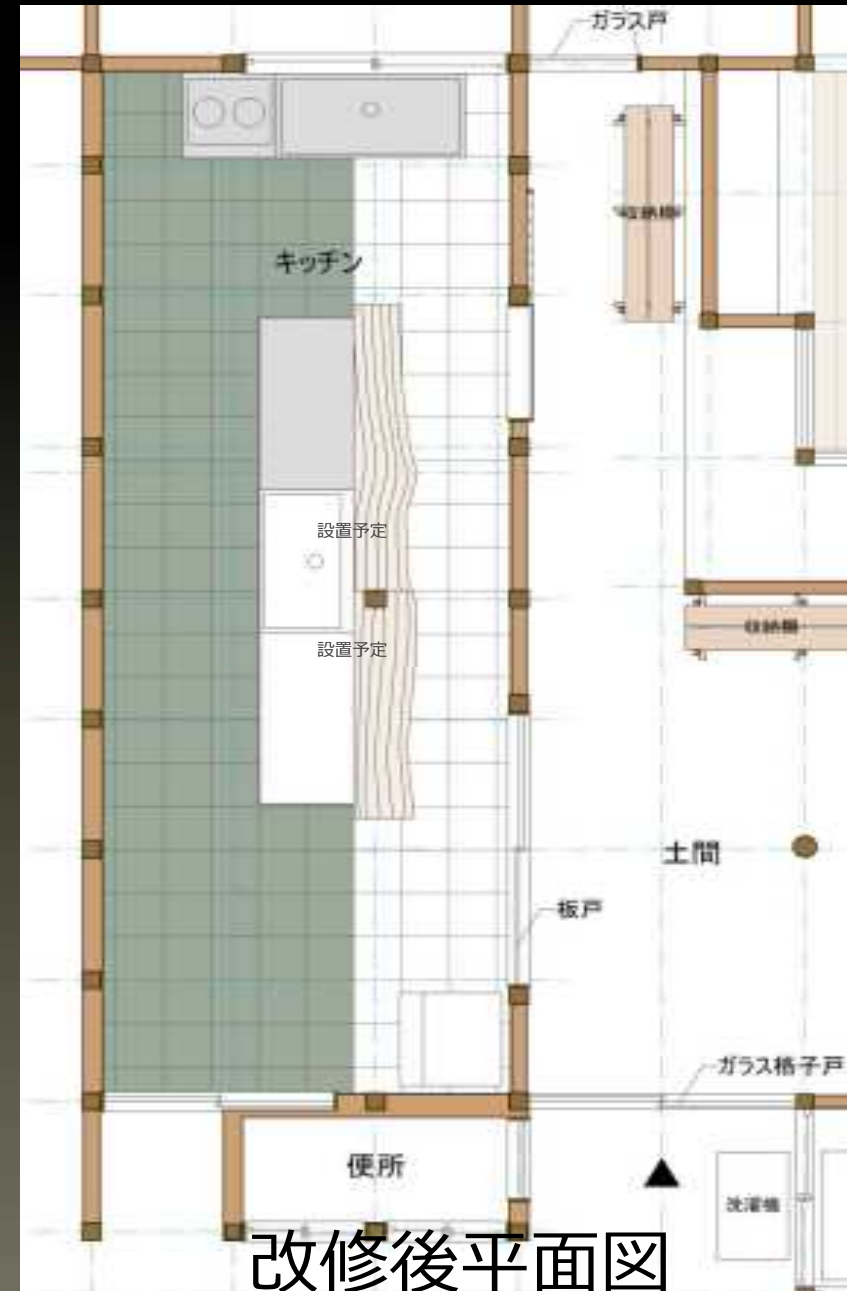
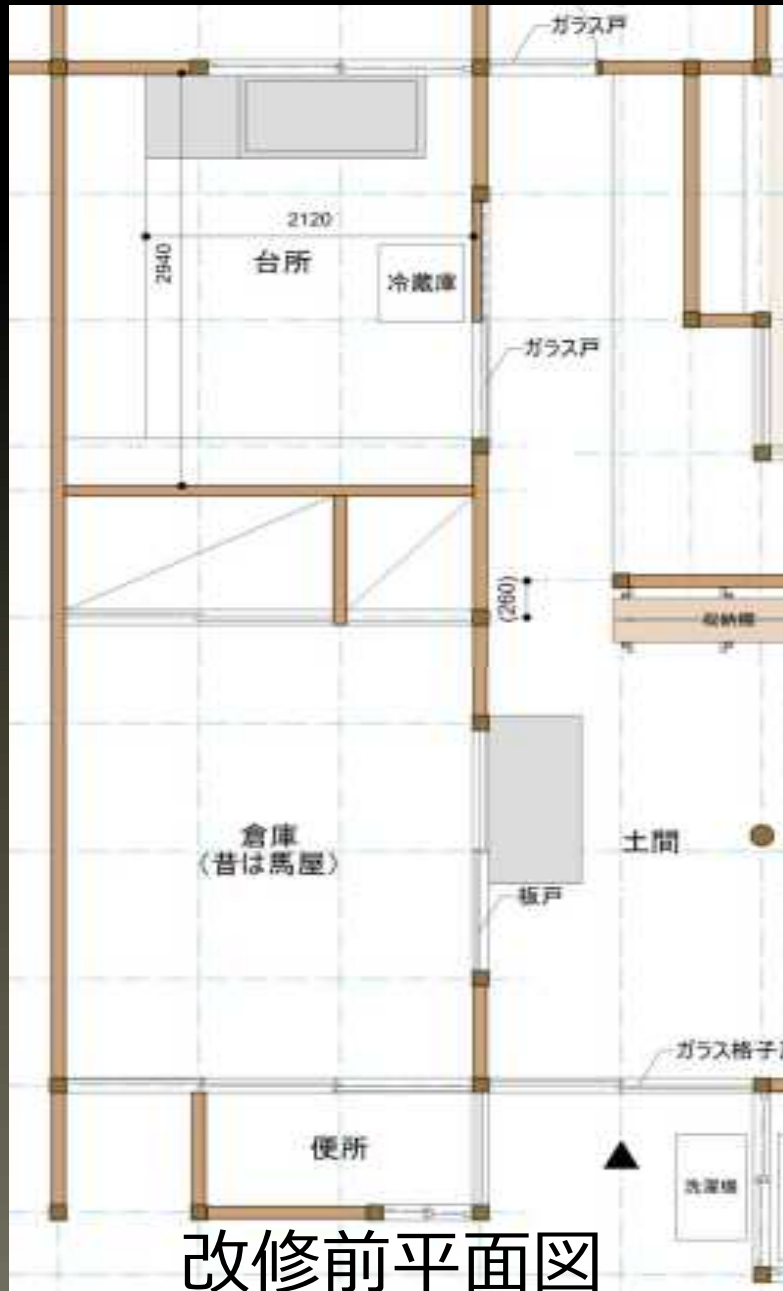
タイル目地を塗りこんでいく

キッチン改修(床タイル貼り)



タイル貼り完成

■キッチン改修(床タイル貼り)

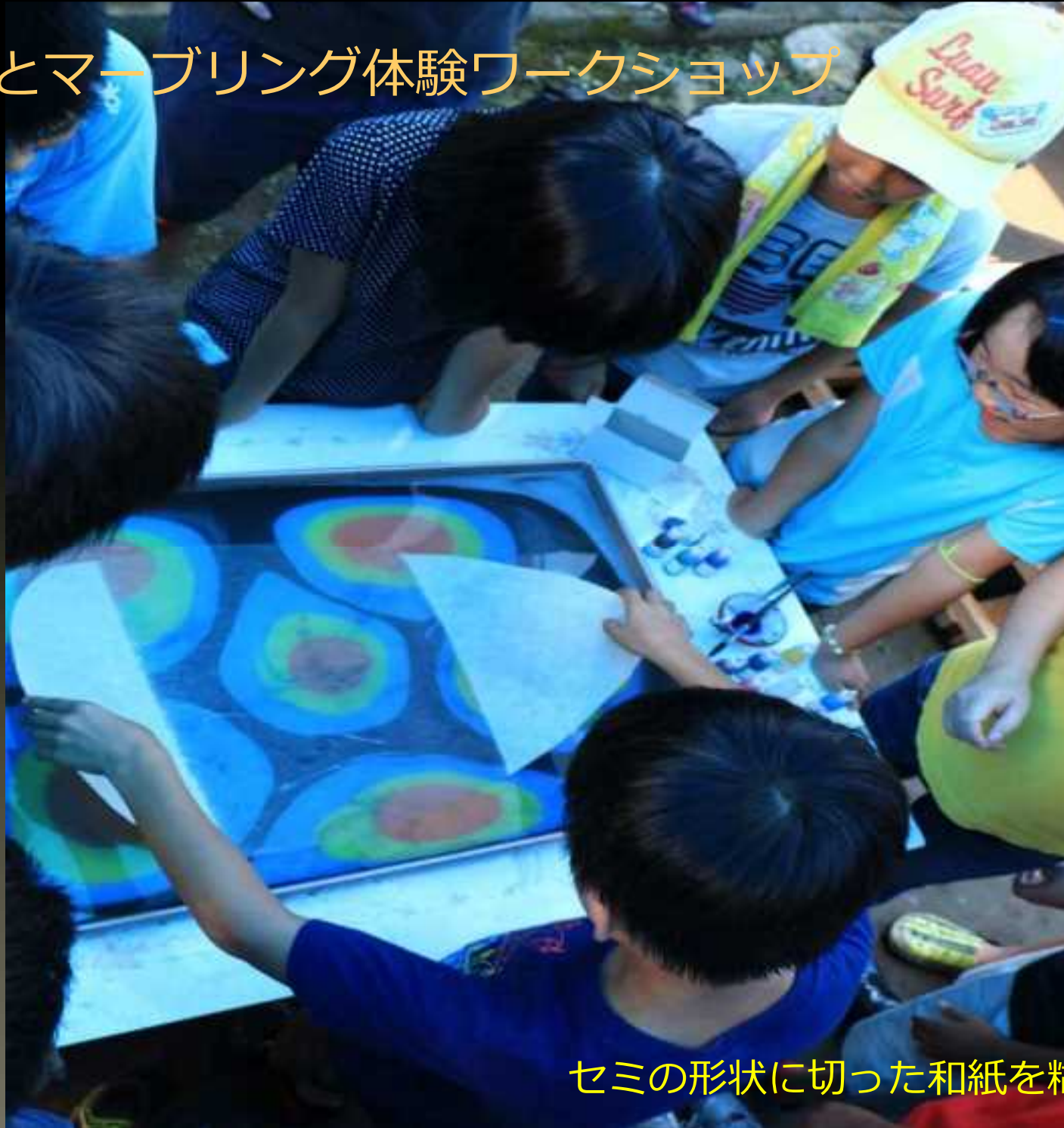


セミ凧とマーブリング体験ワークショップ



凧づくりとマーブリングの先生(文化学園大学教員)

セミ凧とマーブルリング体験ワークショップ



セミの形状に切った和紙を糊の上にのせる

セミ凧とマールリング体験ワークショップ



和紙を乾かす

セミ凧とマープリング体験ワークショップ



仁礼小学校で凧揚げ

■ 2016年度の活動①

「キッチン改修(壁面)」

キッチンと南側倉庫をつなげキッチンスペースを拡張
庭と外部に繋がる空間となった

床にモザイクタイルを貼った

2015年度活動

北側の壁に石膏ボードを取り付けモザイクタイル貼り
東・西・南側の壁に木板を張る

来年度は土間にたたきを造る
将来的には、地域交流の拠点として利用したい

キッチン改修（壁面）



改修作業前のキッチン

キッチン改修（壁面）



作業前の打ち合わせ

キッチン改修（壁面）



木板を切断する

キッチン改修（壁面）



木板を壁に貼り付ける

キッチン改修（壁面）



石膏ボードを切断する

キッチン改修（壁面）



石膏ボードを壁に張り付ける

キッチン改修（壁面）



タイルを貼っていく

キッチン改修（壁面）



タイル目地を塗り込む

■キッチン改修前（壁面）



■キッチン改修後（壁面）



■ 2016年度の活動②

「大人のためのD.i,Y教室」

- ▶ 須坂市仁礼生涯学習委員会、市役所職員を中心に市内でご活躍の17名が参加
- ▶ 焼き杉プレート、ステンシルランチヨンマット制作。
木のカトラリー制作の3種類を体験

大人のためのD.i,Y



木のカトラリー制作

大人のためのD.I.Y



彫刻で木を削っていく

大人のためのD.i,Y



ステンシルランチヨンマット制作

大人のためのD.i,Y



木のカトラリー



焼き杉

大人のためのD.i,Y



ステンシルランチョンマット

■ 2016年度の活動③

「仁礼まちづくり協議会と懇談会」

- ▶ 仁礼まちづくり協議会の方約17名と
学生、教員23名が参加
- ▶ 御神楽保存会による御神楽を披露してもらう

仁礼まちづくり協議会と懇談会



仁礼まちづくり協議会と懇談会



■現在までの主な活動

	第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
古民家改修	大掃除 教員・学生※1 須坂市	庭の窯づくり キッチン整備 教員・学生 須坂市	北側和室(3室) フローリング貼り 地元職人・企業 教員・学生 須坂市	2階土壁塗り(2回目) 地元職人 教員・学生 須坂市 オーナー	2階床 フローリング貼り 地元職人・企業 教員・学生 須坂市	キッチン改修 (拡張と床タイル貼り) 地元職人・企業 教員・学生 須坂市	キッチン改修 (壁板・タイル貼り) 地元職人・企業 教員・学生 須坂市
	南側和室(2室) 床板(合板)貼り 地元職人 教員・学生 須坂市	2階土壁塗り(1回目) 地元職人 教員・学生 須坂市 オーナー	土間拡張 地元職人 教員・学生 須坂市				
		家具制作(収納棚・椅子) 地元企業 教員・学生 須坂市	家具制作(テーブル・ベンチ) 地元企業 教員・学生 須坂市				
WS			藍染めとフロッタージュ 教員・学生 須坂市 オーナー+地域住民	立体凧作りと凧揚げ 教員・学生 須坂市 地域住民		セミ凧とマープリング 教員・学生 須坂市 地域住民	型染め技法で焼き杉プレート &ステンシルランチョンマットづくり 木のカタラーリづくり 教員・学生 須坂市 地域住民
地域資源活用	農業体験 (稲刈りなど) 教員・学生 オーナー※2	農業体験 (ごぼう堀・りんごの葉摘み) 地元農家+NPO法人 教員・学生	地域伝統食づくり (味噌・蕎麦) 地元企業 教員・学生 地域住民	地域伝統食づくり (味噌・うどん) 教員・学生 地域住民	農業体験(梨狩り) 地元農家 教員・学生		
		山林視察 環境講座 教員・学生 オーナー			地域伝統食づくり (おやき・味噌) 教員・学生 地域住民		

*1 文化学園大学と東京工科大学の教員・学生 *2 古民家所有者

■ 成果

- I 期は現地で滞在するための作業・食事・就寝空間の整備が主な活動内容であった
- I 期後半～Ⅱ期に入ると基本整備が完了し、地域住民とのワークショップや地域資源を活用した活動も増加した
- Ⅲ期からは地域の活動拠点として活用することができるようになり、また古民家での活動人口を増やすことが出来た活動を支援する地域住民の輪が広がった



└ 須坂市「蔵の町並みキャンパス」に参加

└ 文化学園大学 文化・住環境学研究所の共同研究としてスタート

■ 須坂市古民家再生プロジェクトの課題と展望

① 学生によるプロジェクトの運営

現時点では、基本企画については教員が実施

長期休暇中の有志による活動のため学生を参画させることが難しい

学生主体のプロジェクトを実施するための組織作りが必要

引き継ぎ

ディスカッション

企画・運営

② ワークショップ実施内容の拡大

プロジェクトに参加する人が増加し、多様化することで
企画の多様化、拡大が図れる。

③ 多様な企画を可能にする活動拠点としての整備の継続

活動拠点としての更なる整備、拡充を計っていく

活動の場と就寝の場を分けることで、参加しやすい環境作り

ご清聴ありがとうございました

